

兩國の結婚を奨励し、東西兩洋の文化を調和、融合せしめんとし、哲學者アリストテレスの意志を實行せんとした。前三三三年、大王は年若くしてパピロンに陣歿、遂に大業は中途に挫折し、その國土は忽ち分裂す。以來末期ギリシア時代、ヘレニスティックの文化期に入り、ローマの勢力は東方に進展し、前一四八年マケドニアもローマに敗れ、遂に前一四六年にギリシアはローマの屬國となる。

B 宗教・神話 原住民民族ベラスキ人は母神ミノスを中心とする母性文化を有す。ギリシア族の侵入以來、初めは多神教で、ゼウスを中心とする組織はなかつた。オリンポスの十二神は「ヘーシオドスの『神統記』、ホメーロスの『イリアス』、オルフェイオスの詩篇等によつて形成せられた。なほ多島海文明の海神ポセイドン崇拜、東方の呪法デーメーテルの大地母神の信仰等がギリシア神話に結成せられ、なほそれは哲學思想の發達と共に體系化され、また一方藝術上の展開は、彫刻、神像、繪畫、工藝等に最も觀念化された宗教形態を表現するに至つた。かくしてオリンポスの神々はローマにも傳來し、これがキリスト教以前の世界宗教の基礎をなしたものであつた。また近世に至り、ニーチェはギリシア本來のアポロン主義とディオニソス思想との對立を明かにし、これを文化形態の根本形式と考へた。

C 哲學 ギリシア哲學は今日の一一般哲學、特に西洋哲學の起源をなすものである。第一期は前六世紀のミレトス市に發生し、約一五〇年、小アジア、シシリ、マケドニア、南イタリア等のギリシア植民地に發達す。ミレトス派にはタレス、アウト、萬物の根源を水として、「哲學の祖」となる。次にアナクサゴラスは萬物の根源を「無限なるもの」(ト・アペイロン)、次に

にアナキシメネオスがそれを「空氣」とするまですべて自然哲學者であつた。またピュタゴラスは「數」の哲學を始め、ヘラクレスは「萬物流轉」(パンタレイ)の思想を出し、第五世紀にはパルメニデスの觀念實在論が生じ、ゾエノンは運動論による辯證法の祖となる。またエンペドクレスは元素の研究を始め、アナクサゴラスは種子(スベルマタ)を主張し、レウキッポスは多元論を唱ふ。

第二期は、前五世紀から一世紀間にわたり、それに自然人間社會の體系時代に入る。最初ソフィスト派は、人間中心説と懷疑説、唯物論を主張し、更にそれを道徳、人生觀にまで體験化したものがソクラテースであり、プラトンはこの人生的思想を最も精彩に、また古代思想と現代とのいかなる聯關に立つかを、對話對論の形式にて、當時の戯曲形式を方法として「哲學的對話篇」を完成す。なほ彼の學説はアリストテレスが學的體系の壯大なる組織化を示し、これによつてギリシア哲學は遠く史上のあらゆる哲學思想を脈流して今日においても最も力強い哲學思想なるものを表示してゐる。

第三期は前四世紀末から紀元後六世紀初までのヘレニズム時代の哲學となる。中心はアテナイよりローマ、アレキサンドリアに及ぶ。この時代は人生をいかに生き、死ぬべきかの研究、實踐の時代であり、ストア學派は禁慾になつて不動心なアパテイアを説くに對し、またエピクテタス學派は知的享樂によつて寂靜なるアタラクシアの境地に達するといふ。共に自殺を肯定し、ローマに入つて大いにこれが発達した。また時代の矛盾はアピロン等の懷疑學派を生み、またプロティエス等の新プラトニズム學派的の神祕説に進む。またこのギリシア哲學はアレキサンドリアにて最も豐潤に開花し、エジプト末期

の燦爛たる文學哲學となる。【ギリシア哲學の影響】以後、ギリシア哲學はキリスト教の勃興と共にこの中に融合した。中世紀にプラトニズム主義とアリストテレス主義の交錯を示し、特にルネッサンスはこの哲學思想の科學主義が發見せられ、カント、ヘーゲル、新カント派等は特にこのギリシア哲學の大いなる影響があり、またオーストリアの學派、フレンターノ、ボルツァーノ、フツセル、ハイデッガー等には非常に大なる力を與へ、またイギリスには、ベイター等の思想となり、今日の西洋哲學思想もまた決してギリシア哲學思想を克服し去つたものとは云ひ得ず、寧ろ古典思想の復活であるときへ考へられる。

D 科學 ギリシア文化はこれが最も近代の科學思想に直接影響あるをもつて特色としてゐる。古代の自然哲學にはすでに、原子論の研究があり、またデモクリトスは近代の唯物論の祖となつてゐる。またアリストテレスは科學的方法の大成者であり、また、元素説は醫學の基礎ともなつた。ヒポクラテスは世界醫學の祖であり、この學派は長く歴史に残る。またアスクレピオスを繼ぐ「アスクレピアデーデンの誓詞」は、アスクレピアデーデン學校となつて、近代醫學はこゝに發達す。またクリシッポス、ディオクレス、プラクサゴラス等は解剖、生理學等に詳しい。アレキサンドリア醫學にはヘロフィロス、エラジホトラス等の病理學者を出す。またヘラクライデスは醫學實驗の大家となる。またヘラクライデスは醫學はピュタゴラスの天體數學以來、プラトニオン、アリストテレスにも非常に發達した。ヘロドトスはその地理學の祖となり、またツキデデス、クセノフォオンは歴史科學の起源をなすものである。

E 美術

【彫刻】 最初の彫刻は「クツアナ」と呼ばれ、紀元前七世紀頃の木彫神像であつた。前六世紀頃になつて大理石が用ひらる。イオニヤはエジプトから技法を學ぶ。古代彫刻はアルカイック時代と云はれ、「アルカイックの微笑」とはその口邊の稚拙がもたらす魅力を云ふ。ギリシア彫刻の發達は、ギリシア人の肉體感の鋭敏性によつて刺戟され、また大理石の豊富な産出に原因する。

前五世紀前半期にはアテナイトのミロンが出て、劃期的な製作をなす。彼の「圓盤投手」は眞の運動形態を與ふ。彼によつてギリシアはアルカイックからクラシックに進展す。この時代はペリクレスの治下であり、當時建立されたバルテノン神殿にはフィディアスの裝飾彫彫がなされ、リアルとイデアルの最高の調和を示す。またその着衣の女神像はその最も秀抜なる技巧の極致である。

彼と同時代にアルゴスにはポリクレスがあつて力強い表現を示した。前四世紀には人間の感覺が強くなり、「ミロのヴィナス」が表出された。またプラクシテレスは前四世紀に出て、全裸のヴィナスを創造す。同時代のスコパスは人間の心理的表現を試む。シキオンのリッソスは優美な古典様式を完成す。これ以後は「ヘレニズム時代」に入つてアレキサンドリア、アンテオケに藝術の中心は移り、技法は末梢的に洗練されたが、眞の最高度性を缺き、「ラオコオン」はこの時代の作品である。ギリシア彫刻はかくて衰亡す。

【繪畫】 ギリシアの古代繪畫は殆んど古壺の側面に描かれたものである。「アッチョ・コリンシアン時代」には人體の描寫が發達す。「アテナイ時代」には、紀元前五—四世紀が隆盛期であり、エピクテトス、エラフロニオス、エウテミ

F 建築

古代ギリシア建築は、前ギリシアのミノス文化時代から發達す。ミケーネ文化時代が出て、前八百年頃からギリシア建築が發生した。かくてドーリア式、イオニア式、コリント式の三様式が創造された。その隆盛期はペリクレス時代のアテナイのバルテノン(前四五—四三八年)の再建に最もよく表現された。これは大建築家イクチノスとカイクラテスによつて建築され、大彫刻家フィディアスによつて完璧となる。これこそドーリア式の最典型的のもので、世界建築上の最も卓越する古典である。またこの時代におけるスニオン岬のポセイドン祠堂、アテナイのプロピレエ等はその代表的のものである。

前四世紀以後はイオニア式建築が盛んとなり、小アジアのエフェソスの建築にこの様式が多い。また前四世紀後半以後はコリント様式が發達し、むしろローマ建築にこの代表的ものが現出した。かくてすべてギリシア建築はローマ人の手によつて保存され、擴大せられて古典性の優越を残してゐる。

G 文學 古代ギリシア文學はホメロスの詩篇「イリヤカス」と「オディッセイ」に始まる。またヘシオドスの「神統記」と「詩篇」とは共に古代神話傳説文學の文宗である。また詩人には抒情詩人のピンダロスがあり、また宗教詩人のオルフェイオス、享樂詩人アナクレオン、女流

の燦爛たる文學哲學となる。【ギリシア哲學の影響】以後、ギリシア哲學はキリスト教の勃興と共にこの中に融合した。中世紀にプラトニズム主義とアリストテレス主義の交錯を示し、特にルネッサンスはこの哲學思想の科學主義が發見せられ、カント、ヘーゲル、新カント派等は特にこのギリシア哲學の大いなる影響があり、またオーストリアの學派、フレンターノ、ボルツァーノ、フツセル、ハイデッガー等には非常に大なる力を與へ、またイギリスには、ベイター等の思想となり、今日の西洋哲學思想もまた決してギリシア哲學思想を克服し去つたものとは云ひ得ず、寧ろ古典思想の復活であるときへ考へられる。

詩人サアフォー等はすべて詩華の最高峯を示すものである。演劇は古代東方のディオニソス祝祭のデュテラムボス、サチュロス等の形式から發生し、ギリシア三大悲劇詩人たるアイスキュロス、ソフォクレス、エウリピデスは世界演劇史上の天才であり、また喜劇詩人アリストファネスは現實社會の解剖として近代戯曲に直接結びつくものである。またプラトニオンの哲學はその壯重絢爛たる文章の美を誇り、クセノフォンの歴史もまた名文として卓越す。ローマ時代に入つて、ディオドロス、ストラボン、アポッロドロス等の諸ギリシア文學者を輩出した、また詩人にはアポロニウス、カツリマコス、等が有名である。

14 サセノ島 伊領 英・露・佛 Savano

アドリア海に臨むアルバニア王國のヴァロナ灣 (Valona Bay) の入口に位してゐるところの、長さ三哩、幅一・二四哩の一小島嶼にして、イタリヤの領有するところである。同島は經濟的には殆んど無價値にして、僅か少數の羊飼が住んでゐるに過ぎない。然し軍事的には極めて重要な位置にあり、イタリヤのアルバニア羈制政策の前進根據地である。従つて、同島には海軍守備隊が駐在し、守備にあつてゐる。またイタリヤからアルバニアに通ずる海底電線はこの島を通過して居り、その他、無線電信所が設けられてゐる。

15

ザール地方 國際聯盟 管理地 Saar Territory, 獨 Saargebiet, Territoire de la Saure.

I 歴史
そのザール地方は、現在と
は多少ちがふけれども一七世紀の終りと一八世
紀のはじめにフランスに属した歴史をもつてゐ
る。ザール地方などといふ地名は一七世紀、ル
イ十四世の時代にフランスの治下にあつた時
名残りである。一八一四年のパリ條約では現在
同地域の中心であるザールブリュッケンを含ん
だ地域がフランス領とされたが、翌年ナポレオ
ンがエルバ島を脱出した時、フランスから奪還
されてドイツ領となり、その後ヴェルサイユ條
約の成立するまでは完全にドイツの一部を形成
してゐたのである。ヴェルサイユ會議でフラン
スの根本的希望はドイツの西部國境をライン河
とするにあつたが、結局目的の通りになつた
のはアルサス・ローレンの回復だけで、ライン
左岸防備が撤廢されることとなつて解決し、ザ
ールでは石炭のみを得ることが出来た。フラン
スがザール地域の併合を要求した根拠としては
この歴史の因縁もあげられ、またローレンの北
部國境が軍事的に危険になることなども主張さ
れたのであるが、どちらかといへば薄弱なこ
の歴史的理由で、住民の九割以上がドイツ人であ
る地域をフランス領とすることには民族自決の
總本山ウィルソン米大統領が眞向から反對し、
また英のロイド・ジョージもウィルソンに同意
した。軍事的に危険だといふこともライン左岸
の防備が撤廢されることになつた以上問題でな

くならつた。従つて結局認められたのはたゞ經濟
上の理由でフランスの北部炭坑破壊に對する補
償として、またドイツの全賠償額の一部支拂と
して、ザール炭坑の完全且つ絶對なる所有權が
フランスに譲渡され、同時にザール地域が條約
により設定され、ドイツは受託者としての國際
聯盟のために同地域上の施政權を放棄し、條約
實施後一五ヶ年を経て同地域の住民をしていづ
れの主權に服することを希望するかを表示せし
めることになつたのである。フランスは一九二
〇年一月一日、ヴェルサイユ條約が效力を發
生するやその一週間後に炭坑を受取つて石炭の
供給をその手におさめ、更に二月二十六日にはザ
ール地方は聯盟理事會任命の施政委員會の支配
下に置かれるに至つた。斯くて聯盟の施政下に
その後一五ヶ年を経た一九三五年一月一日に
至り、一般人民投票行はれたるも、歴倒的多數
を以つてドイツ復歸派の大勝に歸し、遂に同月
一日の聯盟理事會の決議により三月一日を以
つてドイツへの引渡が決定され、遂に永年紛糾
のザール歸屬問題も、經濟的問題は未解決のま
まに、一應の解決を見るに至つた。

II 政治
ヴェルサイユ和平條約の第四九
條の規定に基き、ザール流域地方において國際
聯盟の施政が開始されたのは、一九二〇年の二
月二十六日である。同日以來、ザール地方は聯盟
理事會によつて任命された五名の施政委員會の
施政下におかれ、同委員會はフランス人一名、
フランス人以外のザール住民一名、佛獨以外の
第三國人三名からなり、その五名の中から聯盟
理事會が委員長を任命する。委員の任期は一年
だが再任をさまたげない。この委員會は事實上
ザール政府で、官吏の任免から各種機關の設置
等一切の行政事務を處理する。租税の賦課及び
ヴェルサイユ條約の特殊規定から生ずる一切の

問題についてはこの委員會のみの專管事項とな
つてをり、廣汎な權能を與へられてゐる。而し
てザール地方は一九二五年以來フランスの關稅
行政下にあり、また一九二三年六月以降フラン
スのフランが法定通貨となつてゐる。
一九二二年三月、ザール全住民の總選舉によ
り選出される三〇名の代表者をもつて組織され
る諮問參議會(Landesrat)が新しく設置され
た。また地方巡憲が秩序維持のために殘された
だけで、一切の兵備は條約により禁ぜられてゐ
る。この特殊な國際行政は今日まで、或は一九
二三年のフランスのルール占領を原因とする總
罷業、或は通貨の暴落、石炭業の不況等、政治
的、經濟的に種々な難局に遭遇しながらも、相
當の治績を擧げて來てをり、ザールの豫算は原
則として何等の赤字を示さず、一回の公債も發
行されなかつたほどである。ザール地方の歸屬
問題は人民投票に基いて理事會が決定すべきこ
とはヴェルサイユ條約の規定するところだが、
一九二九年獨佛の關係が一時緩和した際、シュ
トレイゼマン、ブリアン兩外相の間にザールの
即時ドイツ還付につき交渉が行はれたが、經濟
上の問題で不調に終つたことがある。その後、
ドイツにナチス政權が確立し、各方面に對外強
硬政策を振り廻し、ザールの即時回收を叫んで
フランスとの直接交渉を企てたが、却つてフラ
ンスの態度の硬化を見、現在に至つたのである。
施政委員會委員長——ノックス(G. G. Knox)
イギリス人
施政委員會所在地——ザールブリュッケン(Pr.
Saargebiet)、人口一三五、〇二〇人(一九二七年
國勢調査)。

成るいはゆる「三人委員會」が任命され、同委員
會の提案に従ひ六月の理事會は人民投票規定を
決定し、且つその期日を翌三五年一月一日と
確定した。ザールの施政は英人ノックスを委員
長とする施政委員會によつて行はれてゐるが、
更に人民投票の組織、指揮及び監視のため聯盟
理事會の權限下に三名の委員と一名の専門家か
らなる「人民投票委員會」が設けられ、三四年七
月から任務を開始した。その委員の顔觸はスイ
ス人 Victor Henry, オランダ人 D. de Jongh,
スウェーデン人 Alan Rhode の三名である。その
他、本委員會の専門顧問にはアメリカ人サラ・
ワンブルフ女史が任命された。
更に同年一月一日の理事會において、フ
ランス側の要望により、秩序維持のため國際警
察軍の派遣を決定し、その構成はイギリス兵千
五百名、イタリア兵千三百名、オランダ兵二百
五十名、スウェーデン兵二百五十名である。
その間、ザールの住民の間にはナチス側の「ド
イツ戦線」黨と現狀維持派との間に激しい政戰
の展開を見せつゝ、三五年一月一日の人民投
票となつたのである。
斯くて一月一日午前八時半、全領域八六六
ヶ所の投票所で一齊に開始された歴史的人民投
票は雪解けの悪路にも拘らず、五十餘萬の有権
者のうち極めて少數の棄権者をもつて無事終了
した。即ち有権者五三九、五四二名中、投票數
五二八、〇〇五名である。斯くて翌一四日開票
と同時にドイツ歸屬派の勝利が次第に明かとな
り、豫想された如くドイツ歸屬派の歴倒的大勝
に歸した。即ちその結果は次の如し。

ドイッ復歸 四七七、一九票(九〇・三%)
現狀維持 四六、五一票(八・九%)
フランス合併 二、二四票(〇・四%)
無 效 二、二四九票(〇・四%)
斯くてその結果、ドイツ本國歸屬派は九〇%
の歴倒的大勝利を得、ヴェルサイユ和平條約以
來十五ヶ年に亘る國際聯盟施政委員會の統治は
こゝに終了を告げ、ザール河流域、千九百平方
キロ、人口八十三萬に及ぶザール地方は再びド
イツ本國に合併されるに至つた。更に一月一日
の國際聯盟理事會において、ザール地方を三
月一日を以つてドイツに返還すべきことが正式
に決定され、こゝにヴェルサイユ條約の領土條
項はザール地方の歸屬決定を最後として解決を
見るに至れるも、なほ經濟的關係においては獨
佛間に幾多の懸案を残してゐる。

III 經濟
【財政】
ザール地方の財政は聯
盟施政一五年間に亘り概して良好にして、殆ん
ど赤字を見ることなく、且つ一回の公債も發行
されなかつた。一九三二年度には歳入歳出共に
五二九、一六六、二二六フランに上つてゐた。
【貨幣】
ヴェルサイユ條約により、ザール河
流域地方においてフランス貨幣の流通を禁止し
又は制限するを得ず、フランスは鐵山又はその
附屬機關の經營に關する一切の支拂において佛
貨を使用するの權利あることが規定された。然
るにその後、大戰後のドイツのインフレ時代に
マルク貨の大暴落を見、フランスで支拂を受ける
フランス政府所有の炭坑夫、その他の従業員は
爲替差額で非常な利益を受けたに反し、マルク
貨支拂の他の労働者及び勤勞階級は極めて不利
な立場に陥り、給料佛貨支拂の大運動を起すに
及び、ザール施政委員會は一九二三年五月法令
を發してマルク貨を廢して、佛貨フランを法定
通貨と決定し、その後ザールの貨幣制度は一應
の安定を見るに至つた。然るにその後間もなく
その反對に佛貨が低落し始めた結果、佛貨所有
者達は狼狽し、一九二六年の佛貨の平價切下げ
に際して莫大な損失を見、ザール地方にはその

出超過を示してゐる。而してフランスの對外貿易においてザールが白、英、獨、スイスに次いで第五位の重要な市場となつてゐることは特に注目する問題である。一九三五年三月一日以來ザール地方のドイツ還付の結果、この通商關稅問題は炭坑問題と共に獨佛間の困難な問題と見られてゐる。

Ⅲ 社會・文化 ザールの住民の大部分を構成するものはドイツ民族である。従つて一九三五年一月三日執行の人民投票において、ザール住民の間にヒットラーのナチス獨裁を憎む感情の相當大であつたにも拘らず、ドイツ歸屬派が總投票数の九〇%の壓倒的大勝を見たのも當然と云はなければならぬ。然し今後のザール地方の運命は複雑である。ドイツ歸屬派のうちにおいても壓倒的に優勢なナチス影響下の「ドイツ統一派」とこれに次いで有力な共產黨との根本的對立矛盾、更に社會民主黨の首領マックス・スブラウンの指導下にある、フランス勢力を背景とする自治黨の現状維持派と前記のドイツ復歸派の葛藤、この三派のうちに國際的壓力も手傳つて、更にフランスの經濟的勢力の動搖につれて、今後ドイツ復歸後においてもザール地方は極めて複雑な政治的、經濟的、社會的關係を生ずべく豫想される。

【宗教】ザール地方においてはカトリックが絶對優勢である。一九二七年の國勢調査によれば、カトリック五五八、八五七名、プロテスタント二〇一、三五四名、ユダヤ教四、〇三八人、その他、五、七八一人となつてゐる。

【教育】一九三二年五月一日現在におけるザール全區域における學校数は四五六校に上り、その生徒一一七、九四九名、教師二、五二八名である。

V 自然 ザール地方はドイツの最南端、

と生徒とは例外とする。

以上の如くサン・マリノ共和国の政治組織は極めて民主的機構の如くなるも、事實は選舉も行はず、議員は殆んどすべて終身議員にして、過去の貴族の所謂「寡頭政治」が行はれてゐる。またイギリスに自國の代表者を派遣して獨立國の體面を維持せるも、政治及び經濟の方面において多くイタリア政府の保護を受けてゐる。

【大統領】一九三四年のサン・マリノ共和国大統領は次の二名である。

ロッシ教授 (Marino Rossi)
ロンフェルニ (Giovanni Lonfernini)

【首府】サン・マリノ市 (San Marino)

Ⅲ 經濟 【財政】共和国の財政状態も極めて小規模にして、一九三二—三三年度の歳出入は五、一三四、八八〇リラで收支の均衡がとられてゐる。一九三三—三四年度の豫算は四、四一〇、一五〇リラである。その歳出の四分の一乃至五分の一は毎年教育費に支出され、また鹽及び煙草の消費税、及びイタリア政府の關稅償還金とが、サン・マリノ共和国唯一の主要財源を成してゐる。

【貨幣】サン・マリノの貨幣はイタリア及びヴァチカン市のそれが一般に流通してゐる。サン・マリノ共和国發行の貨幣には五リラ、一〇リラ、二〇リラの三種の銀貨がある。また郵便切手も自國のものを使用してゐる。

【産業】同國の主要産物は葡萄酒及び家畜を主とし、ティタノ山 (Mount Titano) からは建築用石材が多く産出し、輸出せられる。

【交通】また交通機關としては一九三二年六月、アドリア海に面するイタリア都市リミニ (Rimini) より、サン・マリノ市まで、約二〇哩の間に電車が開通するに至つた。

Ⅲ 社會 貴族、商人、農民の三階級より

リヌクサンブル公國の東、フランスの東北端に位置する地方にして、國際聯盟の管理地に屬するものはヴェルサイユ條約第四八條によつて境界を定められたモーゼル河の支流ザール河に沿ひ、ロレーンの北に接する七三七平方哩、その人口八一五、九〇七人(一九三二年一月一日概算)の地域である。即ち、面積においては全ドイツの〇・四%、人口においては約一・三%しか當らないが、この地方は元來英大な石炭の主産地として世界的に有名にして、その埋藏量は九十億噸乃至百二十億噸と概算されてゐる。而してこの地方は氣候的には概して濕氣に富み、一面樹木によつて蔽はれてゐる山岳地帯を成し、地味は概して肥沃でない。

【主要都市】この地方の主要都市は多く、工業都市にして、一九二七年の國勢調査による人口を見れば次の如し。ザールブリュッケン (Saarbrücken) — 一二五、〇二〇人。ノイキンレン (Neunkirchen) — 四一、〇三一人。ドゥトワイラー (Dudweiler) — 二二、六四七人。ズルツバッハ (Sulzbach) — 二二、四〇二人。ザンクト・インクベルト (St. Ingbert) — 二〇、八一七人。ザールルイ (Sarrelouis) — 一五、八三六人。フリードリッヒスエタール (Friedrichsthal) — 一三、九〇八人。ホムブルン (Homburg) — 一、二〇一人。

16

サン・マリノ 立憲共和国
英・獨・佛 San Marino
佛 Saint-Marin

I 歴史 イタリア半島中部に位置する小共

構成されてゐる。支配階級は勿論少數の貴族である。商人及び農民は殆んど政治に關與することが出来ない。この國の憲法によれば、大評議會はこの三階級より平等に構成せらるゝことと定められてゐる。然し事實は、國民の大部分は既に過去長い間選舉も行はれず、自然選舉權を喪失し、同國の政治は完全に貴族の掌中に握られてゐる。即ち、古代の貴族の寡頭政治が現在のまゝ行はれて來てゐるのである。然し人口の増加、教育の普及、及び現代思想の影響のため、最近この國においても貴族政治も少なからざる困難を感じて來てゐる。

V 文化

教育は比較的進歩し、數個の小學校と、その他、高等學校が一枚設けられてゐる。この學校は多くの生徒を有し、附近のイタリアよりの留學生も少なくない。而も特に同校卒業生に對してはイタリア各大學に入學資格が附與せられてゐる。

また民族、言語、宗教もすべてイタリアと同一である。宗教は極めて盛んでサン・マリノ市に數個の舊教の寺院が建てられてゐる。また新聞紙はすべてイタリア新聞である。その他、官民の出版物はすべてイタリアにおいて印刷されてゐる。

VI 自然

イタリア半島の北部、アドリア海リミニ市より南方二〇哩の内地にあり、その北部國境を四度度の緯線が通過してゐる。國內はすべて山岳地帯で、アペニン山脈 (Apennine Mts.) の支脈が蟠まり、その最高點は九〇〇米以上に達する。地質は一般には下部が白堊紀、上部が第三紀漸新統に屬する。

サン・マリノの國境線の全長は二四哩、その面積は三八平方哩にして、一九三二年九月におけるその全人口は一三、九四八人にして、一平方哩の人口密度は三六七人に上る。

和國にして、自らヨーロッパ最古の國家であると思はれてゐる。然し一般にはこの國の起原は西歴第四世紀に遡るものと見られ、最初はキリスト教の信者達が「同信徒の國」をこゝに形成し、それが漸次發達して共和市となつたものである。斯くてその獨立は一二九一年に至り、ローマ法王廳により正式に承認されるに至つた。而も一九世紀の後半に至り現イタリア王朝が半島を統一した時にも、このサン・マリノ共和国だけは其の獨立が尊重され、兩國間に條約が締結された。その後、該條約は一九〇七年六月二八日に満了となつたが、超えて一九〇八年及び一九一四年の再度に互つて新條約が締結されるに至つた。またイギリス、ベルギー、オランダ、アメリカ合衆國の諸列強とも亡命者送還條約 (Extradition Treaty) を締結し、獨立國としての基礎を確保せんとしてゐる。

II 政治

國體は共和國である。大統領は Capitani Regenti と呼ばれ、毎年二人宛六ヶ月の任期を以つて、大評議會 (Grand Council) によつてその議員中より選出せられ、共和國のすべての國務を總攬する。大評議會は立法院にして、國民の一般投票により選出された六〇名の議員より構成される。議員の任期は九年にして、三年毎にその三分の一が改選せらる。

一般行政は二名の大統領によつて執行せられ、大統領は「經濟委員會」(Congresso Economico di Stato)、「司法委員會」(Congresso degli Studi)、「勞働委員會」(Congresso degli Studi)、「軍務委員會」(Congresso Militare) 等の大統領任命の各委員會によつて補佐せらる。なほ大統領は重任を許されないので、三ヶ年後には再選を妨げない。また裁判はイタリア市民たる司法官が置かれて、これにあたる。國防は一六歳—一五歳の健康なる男子がこれにあたり、但し教師

17

ジブラルタル 英領
英・獨・佛 Gibraltar

I 歴史 一五世紀にグラナダ王國 (Kingdom of Granada) (併合される迄、ジブラルタルの地はムーア人 (Moors) の領土であつた。スペインの王位争ひの戦争に乗じ、一七〇四年七月二四日、イギリス・オランダの聯合軍は、ルック (George Rooke) の下に、スペインからジブラルタルを奪取した。次いで一七一三年に至りジブラルタルはイギリスに讓渡された。スペインは一七〇五年秋及び一七三六年の兩度にわたつてフランスの援助を得て、ジブラルタルの奪還を企てたが成功せず、一七七九—一八三年に互つて再度の攻圍を續けた。然しながら攻圍軍は非常な痛手を蒙り、一七八三年二月六日に至り、遂に攻圍を解いた。

II 政治

總督 (Governor) は軍司令官 (Commander-in-Chief) を兼ね、行政參事會 (Executive Council) が之を輔佐する。行政參事會は、總督の次位にある陸軍實戰將校 (Donatant Military Officer)、「植民長官 (Colonial Secretary)」、「検事長 (Attorney-General)」、「財務官 (Treasurer) 及び總督の選出三名の非官吏議員を以つて構成される。

裁判所は、治安裁判所 (Magistrates' Court) 及び高等法院が一つ、設けられてゐる。ジブラルタルは海軍根據地であり、軍略上非常に重要な位置を占めて居る。軍港は奥深く、面積は約四四〇エーカーの地を占める。

【總督】ハリントン (General Sir Charles Harrington) 一九三三年八月任命。
【植民長官】コアチイ (Lt.-Col. Hon. A. E. Bantle)

【經濟】【財政】シブラルタルの財政は連年歳出超過を續けてゐたが、一九三二年度は歳入超過となり、歳出一五一、〇三八ポンドに對し、歳入二二九、二〇九ポンドであつた。歳入の主たるものは關稅収入の七四、三五二ポンドであり、歳出の主たるものは俸給費の一〇五、六二四ポンドである。

【金融・貨幣】貯金局 (Government Savings Bank) は、一九三二年末現在、三、二三〇人の預金者と一六、七一五ポンドの預金を有した。法律上の通貨はイギリス本國と同一であるが、スペインの通貨も流通を續けてゐる。一九一四年大戦勃發以來、紙幣が同時に地方政廳によつて發行されてゐる。一九三二年末現在の通貨流通額は一〇萬ポンドに達してゐる。銀行は私立銀行五行を數へる。

【産業】シブラルタルは要塞都市にして、同時に自由貿易港である。従つて生産は殆んど發達を見てゐない。僅かに工業が行はれてゐるも然し未だ重要でない。
【外國貿易】港の貿易は主として中繼貿易であり、入港する船舶には石炭を供給する。酒類、タバコ、自動車用輕油及び香水類には輸入税が課せられる。

【交通・通信】一九三二年度にシブラルタルに入港せる船舶は四、〇九一隻、八、六七四、五五八噸にして、出港せる船舶は四、〇九五隻、八、六七九、一四噸である。また自動電話があり、東方電信會社 (Eastern Telegraph Company) は一電信局を有つて居る。イギリスとの間には毎日郵便輸送が行はれる。一九三二年における郵便取扱数は、手紙及び葉書が二、一二六、五〇〇、新聞、書籍、小包その他が四五四、九三〇に上る。海底電信は大陸、タンジール (Tanger) 地中海の東方諸港、イギリス等との間に設けられてゐる。シブラルタルは近時、南部スペイン及びモロッコ (Morocco) 訪問の旅行者が集るの段々有名になつてきた。

【社會・文化】シブラルタルはイギリス海軍の地中海の咽喉部を占める極めて重要な要塞都市にして、殆んど全く軍事的意味において存在の意義を持つてゐる。その人口は二萬數千に上るも、定住人口はその半ばに過ぎない。その人種別は支配民族たるイギリスは軍人を除き極めて少數にして、多くスペイン人にして、モロッコ人等も多い。
その定住民の宗教は大部分ローマン・カトリックである。プロテスタントの寺院が一つと、

便取扱数は、手紙及び葉書が二、一二六、五〇〇、新聞、書籍、小包その他が四五四、九三〇に上る。海底電信は大陸、タンジール (Tanger) 地中海の東方諸港、イギリス等との間に設けられてゐる。シブラルタルは近時、南部スペイン及びモロッコ (Morocco) 訪問の旅行者が集るの段々有名になつてきた。

ローマン・カトリックの教會が四つあり、この兩者への補助金は年々五〇〇ポンドに達する。五歳から一四歳までは義務教育が施される。イギリスの私立學校が數校設けられてゐる。政府が補助金を支給して居る小學校が一三校あり、その中一校はローマン・カトリックの小學校である。中等學校は四校を數へる。

18

スイス

英 Switzerland, 獨 Schweiz, 佛 Suisse.

立憲共和国

I 歴史概観

一、神聖ローマ帝國時代 ハブスブルク家に統治せられし封建國であり、山間には維多な農民が牧畜を業とす。フィルヴァルトシット湖附近には自由農民を有し、ハブスブルク家に勇敢に反抗的闘争を持續す。このために諸州の反抗的同盟が一四世紀初頭に成立す。一三二五年、一三八六年にはスイス同盟とハブスブルク家との闘争においてスイスの勝利となり、かくて一

四九九年に至りバーゼル協和會議で正式にその獨立を承認さる。
二、スイス諸州の發展 早くから工業が發達して森林の農民と幾分の矛盾を示しつゝ、も自由主義への共同戦線を張つた。一五二五年のルツテル、ツウイングリ、カルヴィン等の宗教改革によるスイス農民戦争はアナバプティストによつて指導されたが、都市のブルジョア階級に抑壓されて終る。
三、一九世紀 フランス革命はこの農民とプ

II 政治

A 政治機構 スイス共和國聯邦の濫觴は、一二九一年八月一日、南部アルプス山間にあるウリ (Uri)、シュニツ (Schwyz)、下部ウンテルヴルデン (Lower Unterwalden) の三州 (Canton) がハブスブルク家の侵略に備へる防禦同盟の結成に始まり、一八一五年、埃・英・葡・露・普よりなるウィーナ會議においてその局外中立國たることは承認せられ、一八四八年スイス二五獨立主權國の人民は新憲法を採用し、スイス共和國聯邦國家を形成するに至つた。一八四八年の憲法はその後一八七四年五月二九日の改正を経て現在に至る。

現行スイス聯邦共和國憲法は次のことを規定す。即ちスイスは民主政體で、主權は人民及び各州 (Canton) にあり、聯邦議會 (Bundesversammlung) 及び聯邦參事會 (Bundesrat) よりなる聯邦政府は宣戰、平和、條約締結の外交大權を有し、且つ陸軍、鐵道、通信、造幣、兌換券、度量衡を統制する權限を與へられてゐる。

大統領は聯邦議會により選出され、任期一ヶ年、副大統領もまた聯邦議會より選出、その任期一ヶ年、大概次年度に大統領に選出されるを通例とする。共に一月一日より二月三十一日まで任期にして、いづれも聯邦參事會員 (大臣) を兼職する。

【大統領】ピレト・ハラツ (Marcel Pilet-Golaz)、急進民主黨出身、一九三三年一月四日議會により選出され、翌一九三四年一月一日就任、任期は一ヶ年。
【副大統領】ミンガー (R. Minger)、任期は一ヶ年。

B 行政

聯邦參事會は任期三ヶ年にして、聯邦議會より選出される七名の議員より構成される。この聯邦參事會は一般各國における内閣に該當し、従つて七名の參事會議員は所謂大臣に相當する。參事會議員はその任期間、他の聯邦又は州の官公職、その他如何なる營利事業をなすことを許されな。

【現内閣】現聯邦參事會は一九三一年一月七日聯邦議會により選出され、一九三二年一月一日より一九三五年一月三十一日までの在職期間を有す。その參事會議員は急進民主黨四名、カトリック保守黨二名、農民・労働者・中産階級黨一名の割合である。各閣僚の顔觸は次の如くである。

- 首相 ロバート・カスリン (Robert Kaslin)
- 内相 アルバート・メーヤー (Albert Meyer)
- 司法警察相 ハインリッヒ・ハムルリン (Heinrich F. Hamelin)
- 軍務相 ルドルフ・ミンガー (Rudolf Minger)
- 財政關稅相 エッター (A. Etter)
- 農工相 エドムント・シュルタス (Edmund Schultess)

C 立法 立法權は國民議會 (Nationalrat) と國家議會 (Ständerat) との二院よりなる聯邦議會 (Bundesrat) に屬す。聯邦議會は著作權、破産、特許權、傳染病警察取締に關する法律制定をし、而して河川、森林、鐵道及び國內の土木事業、官立大學、チューリッヒ工藝學校等の決定はすべて議會の權限にある。
聯邦議會は州代表たる Ständerat と公民代表

ルジョアの内的矛盾を漸く大にし、ブルジョアの商工業團體はヘルヴェチック同盟を作り、デモクラットはベルン市のラガルが指導する組織を作つた。フランス軍の侵入によつて、一七九八年ヴァーアトは獨立してレマン共和國を建設。一七九八年にはフランスは全スイスを統一、ヘルヴェチック共和國に統合す。併し國內の聯邦派はそれに反對して激烈なる闘争を持續し、一八〇〇年には暴動の勃發を見る。一八〇三年、ナポレオンの干渉は遂にスイスをフランスの同盟國たらしめて統一、一八一五年のウィーン會議によつて全國二州よりなる共和的な永久中立國となつた。

四、聯邦派と統一派との闘争 都市的ブルジョアによる統一的傾向と自由なる農民の聯邦派とは幾多の衝突を惹起し、一八四七年には兩者の對立激化し、遂に市街戦の勃發を見、遂に翌四八年には聯盟の統一の下に新聯邦憲法が制定されるに至る。かくてブルジョアの發展は加速度的に大となり、土地所有貴族、農民階級は次第に衰亡した。以來國際的には永久中立の下に工業の發達は農民の反抗を常に抑壓し、全歐の政治的進歩主義、自由主義の代表國となつた。

五、世界大戰 二〇世紀に入り、全國的工業化は益々進展し、世界大戰には絶對中立を宣言、かくてスイスのブルジョア階級は非常なる利益を占め、國運發展し、平和主義の旗の下に世界で自由主義的立憲政治の最も發達した國家となる。併し戰後には却つてこの獨占的利益保持のために、その上經濟恐慌の發展により、遂にその自由主義を放棄してソヴェット・ロシアとの國交斷絶となつた。一九二三年にはヴォロフスキー暗殺事件が生じ、そのブルジョアの防禦的政策は國際聯盟をジュネーヴに置くことによつて愈々強化するに至る。

たる Nationalrat よりなる。總選挙は四年毎に無記名投票によつて行はれ、二一歳以上の市民はすべて選挙権を有し、倍償以外の選挙権所有者は同時に被選挙権をも有す。

立法権は「レフレンダム制」(Referendum)及び「イニシアチヴ制」(Initiative)によつて制限せられる。即ち人民は單に議員の選挙権を與へられてゐるのみならず、レフレンダム、イニシアチヴによつて直接立法、憲法制定に參與する権利を有してゐる。スイスにおいてはレフレンダム制により、八州 (Canton) 以上の公民権所有者三〇、〇〇〇人以上の要求あつた時、法律は再び人民の採否に問はれる。またイニシアチヴ制により、五〇、〇〇〇人以上の公民権所有者の要求ありたる時には憲法の改正、或は變更を人民投票に問ふことが許される。もしイニシアチヴを議會が承認すれば人民及び州の裁決に附せられ、議會之れを否決すれば人民のみの裁決に附せられる。

國家議會 (Ständerat) は所謂上院に相當し、全國二二州より各二名宛選出される四四名の議員よりなる。國民議會 (Nationalrat) は所謂下院に相當し、一九三〇年の人口調査の結果、一八七名の議員よりなり、任期四ヶ年、直接選挙により二二、〇〇〇人につき一人の割合で選出される。

【現議會】 下院は一九三一年一〇月二五日の總選挙により選出されたものにして、現在、上下兩院における議長、及び各政黨の勢力關係は次の如し。

- 上院議長—Antonio Riva (カトリック保守黨)
- カトリック保守黨 一九九名
- 急進民主黨 一八八名
- 農民・労働者・中産階級黨 三名

がカントン政府を代表してゐる。大なる市町村自治體には又立法議會 (Legislative) と行政議會 (Executive) あり、行政議會には議長一名及び四人以上の議員が附屬してゐる。小さな州には參事會のみあり、これ等は地方行政執行に當つてゐる。

F 政黨 スイスは政黨政治の極めてよく發達したところにして、急進民主黨 (Radical Democratic Party)、社會民主黨 (Social Democratic Party)、カトリック保守黨 (Catholic Conservative Party)、農民・労働者・中産階級黨 (Farmers, Workers, and Middle Class Party) 四政黨が主要なものである。現内閣は急進民主黨、カトリック保守黨、農民・労働者・中産階級黨の三黨の連立による。その他、自由民主黨 (Liberal Democratic Party)、社會政治黨 (Social Political Party) 等の少數黨あり、また唯一の階級的政黨としては共產黨 (Communist Party) を見る。以下各政黨の綱領及び黨指導者を列挙すれば次の如し。

【急進民主黨】 進歩的中産階級黨にして現在上院においては第二黨、下院においては第一黨として勢力あり、一八四七年革命に生れ、中央集權制を主張し、一八七四年の憲法に立脚してゐる。政綱としては鐵道の聯邦國有化、國防強化、工場法、社會保險法の改革、アルコール・煙草税の社會施設への寄附、外國人入國制限をかかげてゐる。

黨領袖—Dr. Henri Haebelin (前大統領、現聯邦參事會會員) Dr. Edmund Schulthess (前大統領) Marcel Pilet-Golaz (現大統領) Dr. Albert Meyer (聯邦參事會會員) Dr. Robert Kaslin (首相) G. Keller (前上院議長) R. Schöpfer (前上院議長) Dr. Dremo Bertoni; Oskar Wetsstein (前上院議長) Andreas Laely (前上院議長)

- 自由民主黨 二名
- 社會民主黨 一名
- 社會政治黨 一名
- 計 四四名

- 下院議長—Johannes Huber (社會民主黨)
- 急進民主黨 五二名
- 社會民主黨 四九名
- カトリック保守黨 四四名
- 農民・労働者・中産階級黨 三〇名
- 自由民主黨 六名
- 共產黨 三名
- 社會政治黨 二名
- 少數黨 一名
- 計 一八七名

D 司法

ローザンヌに聯邦裁判所 (Bundesgericht) あり、同裁判所は聯邦議會により選出された六ヶ年任期の二四名の判事、九名の補助判事よりなる。判事は次期再選を許さる。裁判所長、副長はその任期二ヶ年にして、再選を許さず。聯邦裁判所は三部に分たれ、裁判所構成法により各部に訴訟の審理が割當てられる。聯邦裁判所は聯邦と各州、州と州、聯邦又は各州と團體又は個人間の第一審且つ終審を行ひ、三千フラン以上の係争金額たることを要す。又聯邦裁判所は個人間の終審にして同じく三千フラン以上たることを要す。

このほか憲法、立法への訴訟、種々の鐵道訴訟、國事犯、聯邦當局へ對する犯罪の審理に當り、このため告發部 (Chamber of Accusation)、刑事部 (Criminal Chamber)、聯邦行刑部 (Federal Penal Court)、覆審院 (Court of Cassation) に分たれてゐる。巡回裁判所 (Assize Court) の陪審員は國民によりて選出せられ、出席日數に對し、一日一〇フラン支給される。

各州は民事・刑事事件に對し司法自治の原則

に基き各自の司法権を有してゐる。

E 地方行政 スイス聯邦においては主權は人民とともに各州 (Canton) にあつて、國內は二二カントンに分たれ、立法、司法、行政権を賦與されてゐる。スイスにおける二二カントンは地方自治の最も發達せる典型的政治型態を表してゐる。即ち各二二カントン(州)は各々地方政府を有し、その政治組織態様は各州夫々異つてゐるが、人民は絕對主權者であることには變りはない。山間の小カントン、即ちアッペンツェル (Appenzel)、グラルム (Glarus)、ウンターワルト (Unterwald) においては現在尙古代ギリシアにおける如き人民による直接政治會議の方法存在し、議會を經ずして成年男子直接或指定屋外廣場において立法、行政官任命の事務を執行してゐる。これ所謂「ランツゲマインデン」(Landsgemeinden) と稱されてゐるところのものである。

爾餘の大・中カントンにあつては普通選挙によりて選出されたる大會議 (Grossrat) 或は州會議 (Cantonalrat) あり、「ランツゲマインデン」の機能を果してゐる。ランツゲマインデンの各州の憲法は「レフレンダム制」及び「イニシアチヴ制」を採用してゐる。即ちチューリッヒ (Zürich) の如きはあらゆる法律、他州との協定、財政事項、憲法改正は一般投票によつて決定される。又各カントンにおいては立法、憲法事項に關してイニシアチヴ制を採用してゐる。尚ルッセルネ州 (Lucerne) は憲法事項に關してのみイニシアチヴ制を採用してゐる。

なほ州參事會會員は市民中の名門人家へ、極めて僅少の俸給をうくる名譽職である。また各カントンは郡 (Amtsbzirkel) に分たれ、郡は市町村自治體 (Commune) となり、各郡においては一名の知事 (Regierungsrathler)

土地改革、國防強化、農業保護を標榜す。

黨領袖—Rudolf Minger (現國防相) Prof. Ernest Laur; Dr. C. Moser (上院議長) Dr. R. Abt (前上院議長) Dr. R. Koenig; Johann Jenny; Dr. Rudolf Geipke; M. Siegenthaler; Dr. Hans Tschumi; Gottfried Ganig; Dr. Hans Müller; Rudolf Reichling (下院議長) 【自由民主黨】 そのかかげる政綱はカトリック保守黨に類似してゐる。新教徒の利益を代表し、聯邦主義的にして、中央集權化へ反對し、大都市における中産階級分子により支持せられ、労働組合、社會保險を強調し、直接聯邦税 (direct federal taxation) へ反對す。

黨領袖—Maurice Bugard; Dr. Jakob Albert Oeri; Ch. Gorggrat; Jean de Muralt (下院議長) Pierre de Neuron; Frederic Martin (下院議長) 【社會政治黨】 急進民主黨より分裂せる政黨にして、社會主義的社會立法の政綱をかかげ、經濟活動の國家統制、中央集權化を強調す。黨領袖—Eduin Hauser (上院議長) R. Tschudy (下院議長)。

G 外交

スイスはもとオーストリアの領土であつたが一五世紀に至つて獨立す。この地は歐洲の中心にあり、獨、佛、奧、伊の四強國の分水界地に當り、關係諸國はこれを自らの勢力範圍に入れんとするを要求す。かくてこの争闘の渦中から超越するために、列國の緩衝地帯たるの必要が起り、一六四八年にウエストファリア條約にて獨立を承認し、一八一五年のウィーン會議で永世局外中立國となつた。世界各國に對する其外交關係は最も平和主義を徹底せるものである。かくて一九一九年のパリ平和會議にてヴェルサイユに國際聯盟の本部が設立さる。歐洲大戰にも中立は犯されず、最も國際的平和外交に長ぜるものである。そのために世界の國

最近の輸出入 (単位ポンド)

年度	輸入	輸出
1929	111,353,932	84,178,185
1930	105,568,055	70,700,064
1931	90,048,162	53,951,952
1932	70,507,152	32,040,320
1933	63,778,192	34,111,392

輸出入は三千四百萬ポンドにしか過ぎない。即ち輸出は輸入の殆んど二分の一に近しい現狀である。これ等の莫大な輸入超過は、國際收支上多く海外よりの觀光客の消費する金銭によつて補はれてゐる。即ち一九二九年の統計を見るに、全國ホテル数は七、七七一、その使用人六三、二五八名(女子四一、六一〇名、男子二一、六四八名)である。また一九三一年における海外よりの觀光客は二、二〇二、四六七人(一九三〇年には二、五六九、六四六人)に上る。

一九三三年度主要國別貿易 (単位千フラン)

國名	輸入	輸出
ドイツ	460,740	138,772
フランス	243,689	142,345
イタリア	133,833	80,132
オーストリア	35,804	22,757
イギリス	90,697	87,635
アメリカ	90,285	57,553
デンマーク	6,804	9,597

今一九三三年における貿易中、輸入品においては、穀類(一一八、四二三、〇〇〇フラン)、鐵物(一二七、七五五、〇〇〇フラン)、鐵製品(九

六、四五九、〇〇〇フラン)等多く、輸出品においては綿製品(一〇一、三一〇、〇〇〇フラン)、絹製品(一〇〇、三四一、〇〇〇フラン)、時計(九六、〇一四、〇〇〇フラン)等が多い。

一九三三年の貿易を主要國別に見ると別表の如く、その輸入貿易においてはドイツを首位とし、フランス、イタリアを主たるものとし、その輸出貿易においてはフランス及びドイツを主要なものとする。

G 交通 主要道路は九、八〇〇哩ある。鐵道全長三、三三四哩(電車及び索條鐵道を除く)あり、國有鐵道は次第に電化され一九三三年の初頭において通常軌道の電化された箇所一、一三一哩ある。一九三三年における聯邦鐵道經營收入は三三五、二二九、六九六フランにして、その支出は二四九、五九四、九一六フランに上る。水路には「マーショール湖 Lago Maggiore」を除いて一九三二年に一三會社によつて經營される船一〇四がある。航空路は次第に發達し、一九三二年には飛行回数一〇、六一八回に上り、輸送旅客数は三二、四〇四名である。

H 通信 郵便局数は四、〇一三局、一九三二年の郵便収入は四三三、四〇四、〇〇〇フラン、同支出一二九、八七七、〇〇〇フランである。電信・電話は完備し、一九三二年に線路延長一、一七六、九一〇哩あり、局数は三、三八六、電話加入者数は三三九、〇六二人である。而して一九三二年における電信・電話収入九〇、三三七、〇〇〇フラン、歳出四三、八七五、〇〇〇フラン、純益一、一〇〇、〇〇〇フランである。また、無線電信は主要局三局を數へ、その他地方局が三局ある。

四 社會

農民を本來としたスイスは次第に手工業の發

達を見、特に世界大戦以後は世界金融界に重要な地位を占めるに至つた。戦後の國際決済銀行、國際聯盟本部の設立は軍隊をも著しく増大した。一九三〇年の人口の職業比率は農業二五%、工業、鑛業、四八%、商業一九%、其の他七%、九%かくて全國は殆んど工業的労働者が多數であり、特に時計工業は最も大なる労働者數を有してゐる。

なほ人種的にはドイツ人は全部の約七割を占め、フランス人、イタリア人、ユダヤ人がこれに次ぐ。

【階級運動】 中世紀から近世紀にかけてスイスは専ら農業國であつたが、十九世紀初から工業的發展が著しく、特に時計等の精密機械工業が急速に進歩す。かくてこの手工業的なるものが労働團體を結成する基礎となる。一八三八年に小ブル的なグリエトリ・フェラインが組織される。六〇年代には工業プロレタリアートの出現を見、第一インダナショナルへの傾向が見られた。なほ大工業的發展もあり、自由主義的階級運動はグライリッヒに指導される社會民主主義團體を形成する。一八八九年には社會民主黨が成立す。この間、ブルジョア・リベラリズムは多くの全歐的政治的急進的亡命者を遁入せしめた。大戦後には社會民主黨が著しく勢力となる。なほ左翼的インダナショナル派も生じた。併しグライリッヒの右翼派はこれを排撃し世界恐慌と共に中間派もまた右翼化し、一九二二年に成立した共產黨と激烈に闘争してゐる。

V 文化

A 概観 世界の公園としてのスイスは、工業的藝術を有した思想上にはラテンとゲルマンの美しき調和を表現す。ルソーの自然に對する要求は全くスイスの風物によるものであ

り、アミエール、セナンクールは共にこの風土の必然的創作である。風景美、健康なる高原、湖畔、山嶽またウインタースポーツの發達をもたらし、ホテル、呼吸器病の療養所、クラブの著しき發達を示す。國人の勤勉にして技術的才能に富めるために機械的工作にすぐれ、また農民藝術にも興趣深き制作をなし、また時計製造はその技術の繊細なること世界に冠たるものがある。

また教育文化もベスタロッチに代表される如く學校制度も完備し、平和的文化要求は早くより大である。今日の國際聯盟の根源をなす仲裁裁判制を布き、一八六四年スイス人ゲユナはジュネーブ條約によつて赤十字社を結成す。一九二〇年にはスイスの聯盟加入と聯盟本部をジュネーブに定む、この時スイスにはかなりの對立意見があり、一九二〇年五月一六日のレフレンダムで、一三カントン對一二カントン、四一六、八七〇人對三三三、七一九人の投票差にて決定す。以後世界的な地位を占め、國際政治の策源地ともなつた。更にまた聯盟の特別行政機關として世界の左翼的労働運動に對する防禦たる國際労働局を設立。なほこの世界的團體がスイスには實に多數に組織された。

赤十字社國際委員會、萬國議會聯合、國際新聞記者協會、國際學生協會、自由平等國際婦人協會、兒童救濟聯合中央局、國際教育事務局、萬國エスペラント聯盟、クエーカー學生ホーム、フリーメイソン國際協會、宗教聯合協同中央局、國際ユダヤ團體事務所、國際問題研究所等はジュネーブに存立す。その他にローザンヌのファッシンスト研究所、フリーブルの國際問題研究カトリック聯合局、チューリッヒの第二インダナショナル事務局、ベルンの萬國郵便聯合事務局、バーゼルの教育映畫國際協會、國際決済銀行等は悉

く世界の政治、文化、經濟等の重要な中央統制機關をなしてゐる。

B 宗教 スイスにおいては信教の自由は絶対的に且つ完全に認められてゐる。一九三〇年一月一日の國勢調査による住民の主要宗派別を見るに、プロテスタント二、二三〇、三三六名(全人口の五七%)、ローマン、カトリック一、六六六、三一七名(四一%)、ユダヤ教一七、九七三名(〇・四%)である。

C 教育 スイスの教育行政はその聯邦制が發達してゐる結果、地方分權制が行はれてゐる。すべての州(Canton)においては初等教育は無月謝である。一九三一—三二年度の統計によれば、小學校四、三六二校、教師一六、六九二名(男子八、一九四名、女子八、四九八名)生徒四七、一九八八名(男子二二、三八〇名、女子二二、九一八名)、中等學校七四七校、男生徒三二、三七一人、女生徒二九、九五〇名、男教師二、四二八名、女教師五九六名である。

スイスには大學は七校を數へる。即ち一四六〇年創立の Basel、一八三二年創立の Zurich、一八三四年創立の Bern、一八七三年創立の Genève、一八九〇年創立の Lausanne、一八八九年創立の Fribourg、一九〇九年創立の Neuchâtel の七校である。

D 科學 パーゼルの大學は一四五九年ボブリス二世が創設し、一八一七年再築、校内に附屬植物館と植物園あり、大圖書館には二四萬卷の書籍を有す。ジュネーブは學術、科學の中心であり、機械工業の研究、生産が最も盛んである。特にチューリッヒには工業的發展が著しい。古くカルヴィンの宗教革命は舊カトリックの思想に對する新興科學の反旗に外ならず、これによつて科學的資本主義の勃興を見せた。ジャン・シャック・ルノーは啓蒙思想の頂點を

なす近代社會科學の先驅である。ベスタロッチの教育思想は實に近代教育科學の基礎をなすものである。なほジュルス・マリヤはニイチエが彼の根本的哲學をなすツアラツストラの「永劫輪廻」の思想をなせしところである。なほアミエールの思想には近代精神に對する深い反省あり、最近のトールナイゼンに見る辨證法哲學は科學と宗教との根源的なる矛盾を追求してゐる。

E 美術 中世紀にはサン・ガールの修道院等が文化の中心となりキリスト教文化の發達を見た。封建制が發達しゲルマン文化とラテン文化の交流地となつた。一六世紀にはベルンのニコラス・マヌエルがイタリア・ルネッサンス文化を移入す。一八世紀にはリオル、アントン・グロフ等の畫家を出す。一九世紀に入つてはロマンティズムが盛んとなり、アカッス、ロベール等はダウイド風の古典主義に進む。アングラを師とするジュネーブのバルテルミー・メン(Barthelmy Menu)はそれ以後のスイス美術の主流となる。更に山嶽畫家としてボード・ボヴァイ(Baud-Bovy)が卓越し、特にセガンティニ(Segantini)は最も天才的なアルプス風景を表現す。更に人物畫家としてはアンケル(Anker)等を出す。なほドイツ畫壇に新浪漫派として大成したブックリン(Booklin)はパーゼルに生れ、その「死の島」等に示される象徴的怪異の想像は全くユニクのものであつた。現代のフランス畫壇に立つフェリクス・ヴァーロトン(Felix Vallotton)はローザンヌの生れである。

F 新聞 スイスは極めて新聞の多いところである。全國に主要新聞は四三紙を數へ、その殆んどすべては政黨新聞である。その發行地も大都市に集中されることなく、各都市において發行されてゐる。うち最も有力な新聞はジュネーブにおいて發行されてゐる Journal de Ge-

liberal Party) 同新聞は自由民主黨(Liberal Democratic Party)に属し、外國においてもその權威を認められてゐる。これに次ぐものにチュリッヒにおいて發行されてゐる Neue Zürcher Zeitung があり、同紙は現政府黨たる急進民主黨に属し、特に經濟的報導においてその權威を認められてゐる。

なほスイスにおけるニュース報導機關としては Swiss Telegraphic Agency があり、同社は政黨的色彩は有してゐない。

G 風俗 山嶽重疊せる地勢は國人に強剛克己の精神を養ひ、ゲルマン文化とラテン・イタリア文化との交錯による特殊な風習を形成す。農民は自由を尙び獨立的意慾に富む。この傾向は十八世紀にジュネーヴにルソーを生み、また近代資本主義の基礎をなす宗教革命者カルヴィンを出す。以來スイスは常に文化の先頭に立ち、隣邦諸國の中に超然として風光明媚なる永久平和の中立性を固く守る。清澄なる湖畔に「オーベルマン」を書けるセナンクール、或は神秘に輝く思索を日々記したアミエールの書等、スイス人は美しい心情の内的生活を有してゐる。同時に素樸な牧歌的風習、そのアルプスの歌謡、或はその世界各國の觀光客を集むるホテルの完備等に大きい特色を有してゐる。また世界的に著名なスイスの時計は一五八七年フランスより傳へられ、その中心地は「モバド」時計のシヨード・フォン、「タヴァン」時計のタヴァン、「ゼント」時計のル・ロクル、「オメガ」時計のビエヌヌ、等の熟練工による藝術的時計を出す。一九三〇年の時計工は三十三萬五千、附屬労働者二十三萬を數ふ。嘗ては輸出品の第一位を占め今日も主要輸出品の一つである。

VI 自然

C 氣候 スイスの氣候は土地の高低によりて非常に相違し、特に氣温の差は甚だしい。山上は四時雪に蔽はれ、氷河懸り、非常に寒冷であることは云ふまでもない。低地は冬期三ヶ月を除けば、同緯度の他國と比較して氣温は低いが、酷烈と云ふ程ではない。アルプスの北部にあるチュリッヒに於ては、一月、一月は氣温が氷點下に降るけれども、七月には約一八度の最高氣温を示す。ジュネーヴは土地が南西に位するから比較的温和であり、最低の一月は零度、最高の七月は約一九度に達する。スイスで一番氣候の酷烈なのは一般に谷地の冬であつて山頂よりも甚だしいとされる。これは寒冷な大氣が谷地に沈降するが爲めである。比較的高い谷地は乾燥して晴天が連続する。ダヴォス・プラツ(Davos Platz)は、この故に、寒氣は強いが肺患者の療養地となつてゐる。地中海よりアルプスを吹き上つた風がその北面に吹降り、や、所謂フエーン(Föhn)即ち雪喰ひ(Show-down)となり積雪を融かし、氣温を高め、又著しく乾燥せしめる。

雨量はヨーロッパの北東地方よりも多く、チュリッヒの年降雨量は一、二〇〇ミリ、ジュネーヴは八四八ミリとなつてゐる。チュリッヒに於ては、降雨量は六月が最大で、一月が最小となる。ジュネーヴに於いては最大は一〇月に於いて二月が最小となつてゐる。

D 面積・人口 一九三〇年一月一日の調査によると、スイスの總面積は一五、九四〇平方哩あり、人口數は四、〇六六、四〇〇人である。人口密度は一方哩につき二五五人となる。一九二〇年一月一日の人口に比較して、一九三〇年の人口は十年間に五分の増加を示したに過ぎない。外國への移住者の數は一九二九年には四、六〇八人であつたのが、一九三二年には一、三〇

A 位置 スイス(Switzerland)は、東にオーストリア、西にフランス、南にイタリア、北にドイツの諸國をめぐらし、ヨーロッパの略々中央に位する。極東は東經一〇度二七分、極西は東經五度五七分、極南は北緯四十五度四八分、極北は北緯四十七度四六分の位置に當る。

B 地勢 【山脈】 スイスは全く臺岳、山地によつて構成される。北にはユラ山脈(Mts. of Jura)が、東々北より南東に向つて走り、南にはこれと平行してアルプスの連山が雄大なる峻峯を雲表に突出してゐる。この兩者の間には平野が横がり、全國の平均高度は九八〇メートルに達する。ヨーロッパ大陸中の純然たる陸國にして又第一の山岳國である。

アルプス山脈とは多くのアルプスの總稱にして、ローヌ河の北を略々東西に走るものはベルネル・アルプス(Berner Oberland)及びその東北につゞくトウーデー・アルプス(Todi Kette)であり、ローヌ河の南方國境をベルネル・アルプスに平行して走るものはエンニン・アルプス(Pennine Alps)とす。エンニン・アルプスは東北に延びて、レボンタイン・アルプス(Lepontine Alps)を作り、更に延びてレティアン・アルプス(Rhaetian Alps)となる。レボンタイン・アルプスの南方にはこれに平行してティチノ・アルプス(Ticino Alps)があり、レティチノ・アルプスの南方にはヘルニナ・アルプスがある。これ等諸アルプス中有名なる山はヘルネル・アルプスのユングフラウ(Jungfrau 四、一六六メートル)、フィンステルアールホルン(Finsteraarhorn 四、二七五メートル)、メンニン・アルプスのマッテルホルン(Matterhorn)、モンテ・ローザ(Mte. Rosa 四、六三八メートル)等である。ユラ山系はアルプスに比して高度小なるのみならず、狀貌亦甚だ異なり、數多の山背が北東より

南西へ平行に走り連波狀をなしてゐる。【河川】 スイスは西ヨーロッパにおける諸河川の水源地である。サンゴタルド峠(St. Gotthard)あたりは主要なる河川の水源をなし、ライン河は東北に流れ、一度ボーデン湖(Bodan See or Lake of Constance)には入り、北流して北海に注ぐ。ローヌ河(Rhone)は西流して一度レマン湖(Lake Lemann or Lake of Geneva)に流入し、それよりフランス領に入る。ティチノ河(Ticino)はマヂョーレ湖(L. Maggiore)に注ぎ、イタリアのポー河となる。イン河(Inn)は東流してオーストリア領に入り、ダニューブ河と合する。以上の河川は何れも甚だ急流である。

【湖沼】 スイスには湖水甚だ多く、廣大なるものも相當あり、特色としては風光明媚を以つて知られる。又河水の濾過と調節に甚だ貢獻し、湖水の下落は清澄なる碧水と化し、水害の憂ひが少ない。有名なる湖水を挙げれば、レマン湖は一名ジュネーヴ湖と呼ばれ、フランスとの國境にあり面積二二〇平方哩にして最大の湖水である。ローヌ湖は一名コンスタンツ湖と呼ばれ、ドイツとの國境にあり、レマン湖に次いで大きく、面積は約二〇八平方哩ある。この外、國の中央にはルツェルン湖(Luzern)あり、南端イタリアとの國境にはマヂョーレ湖がある。ルツェルン湖の東北にはチュリッヒ湖(Zürich)が、ジュネーヴ湖の東北にはニューシヤテル湖(L. of Neuchâtel)がある。スイスの湖水は二種に區別することが出来る。一は高原に横はる大湖にしてジュネーヴ、ニューシヤテル、コンスタンツ、ルツェルン、チュリッヒの諸湖がこれに屬し、二はアルプスに横はれるもので、氷河湖に屬し、風色の美を以つて鳴る。

E 住民 スイスの住民の種別は頗る複雑である。ドイツ人が最も多く全人口の約七割を占め、北部及び東部に住する。フランス人は約二割にして西部に住み、イタリア人は約一割に過ぎず南部に住する。従つて言語は各人種によつて異なり、住民の大多數がドイツ語を話す州は、二五州の中一九州に及び、フランス語を話す州は五州、イタリア語を話す州はティチノ

19

スウェーデン

Sverige, 英 Sweden, 獨 Schweden, 佛 Suède.

立憲君主國

I 歴史概観

一、古代史 ゴート人、スウェード人の古代ゲルマン種族がスウェーデン人の祖である。バルチック海に貿易が發達すると共にスウェーデン人が史上に活動し始めた。メラル湖地方を中心とする貴族が國家組織を創設す。ウプサラに都したイングリングル王家は大主となりウオラタン神を祀り、北方の雄となる。キリスト教は九世紀頃に移入す。

二、中世史 ハンザ同盟の出現までゴットランド島のヴィスビー市が商業貿易の中心地となる。一世紀にはキリスト教が益々盛んとなり北歐の宗教は廢せらる。一〇六〇年イングリングル王家倒れ、スウェルケル家が統治す。一二五〇年ストックホルムを首都とす。この頃フィンランドを征服す。十字軍に出陣し二つにスカンディナヴィアは分裂す。一はデンマーク・ノル

(Ticino)州に限られる。公用語としては、獨・佛・伊の三國語が用ひられる。F 主要都市 一九三〇年一月一日のイス主要都市の人口は次の如し。チュリッヒ(Zürich)一四九、八二〇人(一九三三年には三二二、六〇〇人)。バール(Bale)一四八、〇六三人。ジュネーヴ(Geneve)一四二、八八二人。首府ヘルン(Berne)一一一、七八三人。ローザンヌ(Lausanne)一七五、九一五人。

ウエーであり、他はスウェーデンを中心とするものとなる。一二四八年にカトリックがスウェーデンの國教となる。一四世紀に入るや強大なハンザ同盟に對立するためにスウェーデンとノルウェーとは共同し、更に一三九七年にはデンマークの女王マルゲタによつて三國が支配される。三、農民反亂 デンマークはスウェーデンに農奴制を布かんとして國人の反抗を起し、エングレブレットはこの農民反亂を指導し、これに小地主、貴族も加入しスウェーデンの民族運動に展開す。これは一世紀間繼續し、遂に一五二〇年デンマーク王クリスティアン二世の時にスウェーデンの門地高き貴族の代表八二人を斬殺し、「ストックホルムの血の海」の事件を惹起す。これに屈せず農民は反抗し、商業の發展と共に益々スウェーデンの民族運動が進展し、貴族のグスタフ・ヴァザはこの大反亂の總指導者となり、ハンザ同盟のリップベク市に同盟者を

見出し、これより一五二三年にスウェーデンはグスタフ・ワザを國王に推挙し、これと共にハンザ同盟より隔離す。

四、スウェーデン王國 黄金時代の國勢をもたらし、新教を採用、内は貴族を抑ふ。北國の最強國となりバルチック地方を占領し、ストックホルムを首府とし、一方、彼の爲に戦つた農民等は却つて國王ワザのために裏切られ、すべては「森の賊」として自らの主張を守る。一七世紀に入り、カール九世はルーテル教會を基礎として國勢を統一す。なほバルチック沿海を征服、エストニアをロシアより奪ふ。一六一一年グスタフ・アドルフが即位、名宰相オクセンシエルナによりて内政を改革、軍備を充實し、三〇年戦役起るやフランスと結びドイツの新教諸侯を援け、バルチック海を制し、舊教軍を撃破連戦連勝、北方の地は彼の馬蹄の下に蹂躪され、遂に一六三二年敵將ワルレンシュタインとリユッツェンに戦ひ、勝利を得て陣歿す。宰相は王の遺志を繼ぎ、舊教軍と戦ひ四八年のウェストファリア條約にてドイツの領土を確保す。ドイツ國會に出席し、北方の最強國となる王女クリスティーナはアドルフの唯一の王女であり、彼女はフランス文化に關心を有し、哲學者デカルトを招きて、「感情論」を講ぜしめ、且つ文化に對する熱情は政治軍事を首相に託し、ブランドンブルクの太子、フレデリック・ウィリアムとの結婚を忌避し、自ら學藝文化に没頭し、グロチウス國際法を學び、平民階級の登用を盛んに行ひジュエイト派、カルビン派との文化的交渉ありしために貴族僧侶の反對により一六五四年従兄チャールズ・グスタフに位を譲り、國を去つてローマ、フランス等の文化國に赴き、グスタフの死後、一六六六年に一度歸國したが、排斥せられ、ローマに去り一六七四年アカデミーを建設。この地に死す。

す。この文化的對立を経てスウェーデンは七二年チャールズ一世がフランスのルイ一四世のオランダ征討を助け、オランダの同盟軍、ブランドンブルクとデンマーク軍に大敗す、九七年チャールズ二世立ち、この時ロシアの大帝ピーターは一七〇〇年にスウェーデンに侵入。このチャールズ二世は領土擴張期の最盛期で二年に互る北方の大戦には遂にロシアのために敗れ、國力は全く消耗し、衰退期に入る。五、對ノルウェー關係 ナポレオン大帝の時代には皇帝に接近し、ロシア遠征以後は聯合國に走り、これによりノルウェーを合併す。以後スウェーデン内部にノルウェーとの内的矛盾を大にし、特に兩者の工業貿易の進展は海外市場のために全く對立するに至る。一八六六年に憲法を改正、一九〇五年多年の宿望たるノルウェーは獨立す。六、世界大戦 大戦中にはスウェーデンは好況にめぐまれ、ロシアの勢大となり、大戦後は世界恐慌とロシア革命のために國內大に不安となる。一九二〇年には遂に公式にソヴェットと通商條約を結ぶ。なほ一九三一年には國內の情勢悪化し、アーダレンの爭議悪化して流血の慘を呈す。

皇室

皇帝——グスタフ五世 (Gustaf V.)、一八五八年六月一日誕生、一九〇七年二月八日、父王オスカー二世 (Oskar II) の没後王位を繼承す。一八八一年九月二日、バーデン大公フリードリッヒ (Friedrich, Grand Duke of Baden) の女、一八六二年八月七日誕生のビクトリア姫 (Princess Victoria) と結婚す。ヴィクトリア皇后は一九三〇年四月四日崩御。グスタフ五世はボンテ・カルウオ家 (House of Carlew) の一員。

政治

A 政治機構 立憲君主國スウェーデンの憲法は一八〇九年に確立せられ、三權分立主義に基礎附けられたものであつて、所謂「四基本法」は(一)一八〇九年の制定にかゝる歐洲最古の憲法、(二)一八六六年の議院法(一九〇九年より一九三三年にかけて修正された)、(三)一八一〇年制定の皇位繼承法、(四)一八一二年制定の出

版自由法より成る。

現行憲法によればスウェーデン立憲君主國は皇帝獨り之れを統治し、皇位は皇位繼承法の定むる所により、ベルナドッテ王朝 (House of Bernadotte) の男系之れを繼承す。皇帝は外交大權、宣戰媾和大權、陸海軍統帥大權、官制大權、官吏任免大權、議會解散權、榮典授與大權、及び行政大權、司法大權を有し、立法大權は皇帝及び議會に屬す。

政府

行政執行は責任内閣之れに當り、皇帝は閣員二名よりなる閣議においてのみ行政權を執行し得るのであつて、皇帝の決議は國務大臣の副署により初めて効力を有す。しかし右の決議が憲法違反の場合には國務大臣は副署を拒否する權限を有す。國務大臣は議會に對し責任を有し、議會は各委員會を通じて政府を監督する。内閣の首班は總理大臣にしてその下に國務大臣九名、無任所大臣二名を置く。

首相

- 首相 ハンソン (P. A. Hansson)
外相 シー・ハンヌラー (Richard J. Sandler)
法相 シェリター (Karl J. D. Schlyter)
國防相 ヴェネルスマン (Yrar T. Vennerström)
社會相 メーラー (F. Gustav Möller)
選相 レノ (Hening V. Leo)
藏相 ウィグホルム (Dr. Ernst J. Wigforss)
教育、宗教相 エングベルク (J. Arthur Engberg)
農相 スケルム (P. Edvin Skold)
交通相 ヘッケマン (J. Frihof Ekman)

無任所相 ウンデン (Professor B. Osten Unden)

立法

立法權は國王と議會 (Riksdag) にあり、議會は第一院 (Första Kamnaren) 第二院 (Andra Kamnaren) の兩院より成り、兩院の權限は同一にして、一九一一年より比例代表制を採用し、一九二一年より婦人參政權が實施せらる。租税及び豫算に關しては議會のみ決議權を有し、皇帝は單に發案權を有するにすぎない。租税及び豫算案に對する兩院の一致を見ざる時は共同投票行はる。一八〇九年の憲法によれば議會は貴族、僧侶、市民、農民の四階級の代表機關であつたが、一八六六年四階級制を廢止、普選、比例代表法による二院制を採用す。通常議會は毎年一月一日召集せられ、兩院議長は一九二一年迄は皇帝の任命にかゝつたが、現在は院內選舉によつて決定す。兩院共議長一名、副議長二名である。

議會の權限

議會の權限は立法關與權、決議權、上奏權、監督權、租税決定權、豫算決議權にして、議會は開會毎に一定の會計検査官を任命し、各省會計を検査せしむ。【上院】「第一院」(Första Kamnaren) にして、縣會及び六大都市においては特定選舉人によりて選出された議員一五〇名よりなり、任期八年、選舉區を一九に分ち、各選舉區はその人口に應じ全國一五〇分の一毎に一人の議員を選出する。毎年九月一日一部の改選を行ふ。議員の被選舉資格は三五歳以上の男女にして選舉前三ヶ年五萬クローン以上の財産を有し、所得税三千クローン以上を有することを要す。選舉は間接比例代表制にして選舉權は滿二七歳以上の男女に與へらる。【下院】「第二院」(Andra Kamnaren) にして

議員二三〇名よりなり、任期四年にして、全國を二八の選舉區に分ち、全國人口の二三〇分の一に相當する人口毎に一名の割で選出される。選舉權は滿二三歳に達した男女何れも之れを有するが、(一)禁治産者、(二)破産宣告をうけたる者、(三)選舉前三年間自治體に納税せざりし者、(四)貧民扶助を享くる者、(五)刑法上の判決を受くる者、(六)前年未遂に完了すべかりし兵役義務を終へざる者、を除く。選舉法は直接比例代表制を採用す。

スウェーデン議會において注目すべきは委員會制度である。委員會は兩院共通の常設委員會、特別委員會、外交委員會、合同委員會である。【現議會】一九三二年九月の總選舉により選出されたものにして、上下兩院の議長及び各政黨の勢力關係は次の如し。

Table with 2 columns: Party Name and Number of Members. Includes Social Democrats (61), Conservatives (47), Peasants (18), Liberals (18), Communists (1), and Unaffiliated (4). Total 150 members.

判所によつて執行される。

【大審院】唯一の最高裁判所にして最高行政裁判所と共に皇帝の司法権を委任される。大審院長は王室の法律顧問官である。大審院は皇帝の任命する判事四名以上より成り、通常三部に分ち、各部共七名以上の判事より成る。大審院に提起せられるすべての上告事件は大審院において裁判せられる以前に大法官廳(司法大臣が議長)において審理せられ、大法官廳より大審院に事件は提起せられるのである。

【控訴院】全國を三控訴院區に分つてゐる。現在はストックホルム市のスヴァ控訴院、ヨネチヨール市のヨルク控訴院、マルメヨ市のスコネブレキング控訴院の三つである。控訴院は數個の部に分たれ、院長、判事、陪席判事より成る。而して控訴院判事は皇帝の任命にかゝる。

【第一審裁判所】地方裁判所と市裁判所より成る。地方裁判所は皇帝の任命する判事一名と公選陪審官二名より構成される。而して全國を一九の裁判區に分つ。市裁判所は市長を裁判長とし、市會の選出した陪審判事二名以上より成る。

【最高行政裁判所】行政訴訟は通常裁判所において裁判せられることなく、所轄關係行政官廳によりて裁判せられる。而して七名の行政裁判官よりなり、大審院と共に皇帝の司法権を委任されてゐる。

【特別裁判所】通常裁判所以外に、更に水利裁判所、土地裁判所、軍法裁判所、警察裁判所等が設けられてゐる。

E 地方行政 スウェーデンの地方行政は原則として地方分権主義を採用し、全國を二四縣及びストックホルム府に分ち、各縣に知事、ストックホルムに總督を置く。知事及び總督は皇

帝によつて任命され、且つその就任者は大體前大使、前公使等の高官を任命することになつてゐる。

【ストックホルム總督】その権限は大體知事と同様だが、ストックホルム市のみの行政を管轄し、而して「ストックホルム」の行政機關は總督廳、稅務廳、警視廳より成り、一般行政事務には總督廳之れに當り、總督の補助員として副總督、府書記官各一名がゐる。稅務廳は主として府財政、稅務を處理し、府會計官長之れに當る。警視廳は府の警察事務を取扱ひ、警視總監、警察裁判官、若干名の警視之れに當る。

【縣知事】その権限は一八五五年の知事法令に規定されて居り、その規定によれば知事は縣内の治安警察、國有財産、國庫收入等、司法事務のみならず財政事務までも擔當した形である。而して一般行政については縣書記官、國庫財産收入については縣會計官之れに當る。縣書記官は縣事務局長、縣會計官は縣會計局長であり、知事の下に縣檢察官一名、郡檢察官若干名を置き、縣檢察官は縣警察部長兼檢察事であり、郡檢察官は郡長兼檢察事である。かくの如く縣知事、郡長共に單に行政上の事務のみならず、司法上の事務、特に檢察を兼ねることは如何にスウェーデンにおいては地方分権主義が完全に行はされてゐるかを物語するものである。

【地方議會】縣會は各市町村より選出せる任期四ヶ年の議員二〇名以上より成る。縣會議員は二七歳以上の公民権を有する者によつて選出される。但しスウェーデン全人口の百五十分の一以上を有する都市は縣會より除外して別に市會によつて治められる。これ等の都市は、ストックホルム、ギムテボグ、マルムウ、ノーマークツピング、ヘルシングボグ、ケプル等であ

國際法の發達を希求し、内政においては生産の私有制確保、より高き農村税の設定をかゝぐ。
黨領袖—Avid Lindman (前首相、前外相)、Ernst Trygger (前首相、前外相)、
【人民黨】一般農民、中商工業者を代表し、國際聯盟の支持、軍縮の促進、男女平等權、トラストの統制、農民への土地の賦與等の政綱をかゝぐ。
黨領袖—Carl. G. Ekman (前首相)、Ola Jeppson; S. H. Kvarnzelius; Felix Hamrin (前首相)。
【農民黨】保守的にして農民の政治的、經濟的利益を擁護し、農業税、農村税の引下、地方自治制促進を標榜す。
黨領袖—C. Olsson; Nilsson。
【共產黨】共產黨陣營内には二つのグループがあつて、一は第三インタナショナルに關係し、他は獨立的立場にある。政綱は第三インタナショナルと同じである。
黨領袖—Hugo Silén (第三インタナショナル派)、K. Kihlon (獨立派)。
【自由黨】外政においては國際平和、國際法發達を希求し、内政においては産業商業等の自由放任政策を主張する。
黨領袖—K. A. Aderson; Filial Lofgren (前首相)。
G 外交 バルチック海を中心とする北歐スカンディナヴィア諸國には一般に汎スカンディナヴィア主義が濃厚である。スウェーデンは一七世紀にグスタフ・アドルフの時代以後、非常に興隆し、バルチック海沿岸を始めとして、一六九〇年商業上の利益保護のためにスウェーデンはデンマークと同盟、更に一七五五年イギリスの對佛封鎖の際、この兩國は再び同盟、一七七八年に、ロシア、スウェーデン、デンマークは三

帝によつて任命され、且つその就任者は大體前大使、前公使等の高官を任命することになつてゐる。
【ストックホルム總督】その権限は大體知事と同様だが、ストックホルム市のみの行政を管轄し、而して「ストックホルム」の行政機關は總督廳、稅務廳、警視廳より成り、一般行政事務には總督廳之れに當り、總督の補助員として副總督、府書記官各一名がゐる。稅務廳は主として府財政、稅務を處理し、府會計官長之れに當る。警視廳は府の警察事務を取扱ひ、警視總監、警察裁判官、若干名の警視之れに當る。

【縣知事】その権限は一八五五年の知事法令に規定されて居り、その規定によれば知事は縣内の治安警察、國有財産、國庫收入等、司法事務のみならず財政事務までも擔當した形である。而して一般行政については縣書記官、國庫財産收入については縣會計官之れに當る。縣書記官は縣事務局長、縣會計官は縣會計局長であり、知事の下に縣檢察官一名、郡檢察官若干名を置き、縣檢察官は縣警察部長兼檢察事であり、郡檢察官は郡長兼檢察事である。かくの如く縣知事、郡長共に單に行政上の事務のみならず、司法上の事務、特に檢察を兼ねることは如何にスウェーデンにおいては地方分権主義が完全に行はされてゐるかを物語するものである。

【地方議會】縣會は各市町村より選出せる任期四ヶ年の議員二〇名以上より成る。縣會議員は二七歳以上の公民権を有する者によつて選出される。但しスウェーデン全人口の百五十分の一以上を有する都市は縣會より除外して別に市會によつて治められる。これ等の都市は、ストックホルム、ギムテボグ、マルムウ、ノーマークツピング、ヘルシングボグ、ケプル等であ

國盟同に進み、一八〇〇年にはこれにプロシアを加へたが、常にイギリス外交はこの結合を自國防禦のために破壊せんと努力した。併し一度平和が來れば北歐諸國は相互に争ひ、分裂した。併しナポレオン戦争後スウェーデンのテゲネルの思想は、汎スカンディナヴィア主義を盛んとし、ドイツのデンマーク侵略のために力を失ひ、かくてスウェーデンはノルウェーを併合するためにこの運動を主張し、イギリスはノルウェーを支持して、この運動を妨ぐ。かくてノルウェーは民族獨立のためにこの運動を否定す。併し世界大戦に際し、再びこの運動が生じ、スウェーデン王グスタフ五世が創唱して、第一回を一九一四年スウェーデンのマルメに開催、以後九回に亘つて開催す。大戦中は非常に相互に密接であつたが、大戦後は再びこの運動は冷却して分離の状態に入る。今ではスウェーデンはソウェイトに對して、そのバルチック海諸國の對立を非常に努力して進展せしめてゐる。ポーランドとも親密であり、これも對ソウェイト政策の必要より來るものである。またスウェーデンは平和外交を主張し、バルチック海諸國のプロテスタント教會を援助し、ボルシエヴィズムに對する防壁を強化してゐる。なほスウェーデンはイギリスがノルウェーを支持するに反對し、常にその力に對立し、バルチック海の制海權を維持することに外交政策の全力を傾注してゐる。

H 國防 【陸軍】徵兵制度で二〇歳乃至四二歳の二三ヶ年の兵役義務あり、最初の一年は第一豫備役、次の四ヶ年は第二豫備役、最後の八ヶ年は後備役である。
在營服務期間は歩兵九〇日、騎兵、砲兵、工兵一四〇日である。而して歩兵は聯隊教練のある時二五日間宛二回召集され、騎兵、砲兵、工兵は三〇日間宛二回教練をうける。軍隊は東西

南北四個師團編成にて、アップバーノアランド及びゴットランドには別隊が配置される。
一九三三年には士官二、二九六名、志願兵二五、九五四名あり、この外約二萬五千の補充兵等あり、全く國民皆兵主義に則り現在兵籍にある者五十七萬五千人に及ぶ。即ち第一豫備役將校及び下士約三萬人、第二豫備役三五萬人、後備役一九萬人である。一九三三—三四年の軍事豫算費は六二、八三八、二九七クローネを算す。
【空軍】總司令官、航空教官、四個の航空隊及び數個の飛行學校、格納庫、飛行機製作所より成り、一九三三—三四年における服役人員一、〇四〇名である。
【海軍】ストックホルム、ガールフ、クローナに海軍鎮守府あり、ボトニア灣、バルチック海において主として海岸防禦の任に當る。海軍は三級に分れ、(一)現役、(二)豫備役、(三)後備役である。現役には五名の將官、八名の準將官、三五名の大佐、一一五名の中、少佐、一〇八名の大、中尉、五五名の少尉、五二八名の準士官、三、二九九名の下士官あり、うち約三六〇名の士官は豫備役に屬す。
而してスウェーデンの現有勢力はA級巡洋艦三隻(二萬千噸)、B級巡洋艦七隻(四萬五千五百四十噸)、驅逐艦二隻(千七百九十噸)、潜水艦十六隻(六千七百五十噸)を有す。

III 經濟

A 財政 スウェーデンは天然の資源豊富にして經濟的に頗る恵まれ、而も歐洲大戦に臨んで終始中立を嚴守して經濟的に非常な利益を得た國家だけに、現在の世界的不況のうちにあつても同國の財政は他の列強に比して頗る餘裕があつて、一九三一—三二年度を除き年々いづれも歳入超過を示してゐる。而も世界各國が最

る。被選舉權は破産者、禁治産者、裁判所の判決による失格條件に該當しない男女之れを有す。而してその選舉方法は國會議員選舉の場合におけるが如く縣町村會議員も亦比例代表による。女子も亦官公吏となる資格がある。各選舉區は何れも最低五名最高九名の議員を選出する様に區分されてゐる。縣會は財政、經濟、衛生、産業、教育、治安維持等の縣知事の權限外の事項にして縣會に議せらるべき事項に關し決議、議事、討論するの權限を有す。通常縣會は毎年九月に開會し、その會期は休日を除き六日間とされてゐるが、特別の場合には會期が二日間延期される。

F 政黨 現在スウェーデンの政黨の中で第一黨は社會民主黨(Social Democratic Party)にして、之れに次ぎ保守黨(Conservative Party)農民黨(Agrarian Party)人民黨(People's Party)共產黨(Communist Party)自由黨(Liberal Party)等を數くることが出来る。第一黨たる社會民主黨は労働者階級の利益を代表し、第二インタナショナルに屬し、一八九七年には議員は僅か一名に過ぎなかつたが名黨首ヤルマル・フランツの指導下に大發展を遂げ、現在は左翼派を代表し、且右翼派の保守黨以上に勢力をもち、現在政權を握つてゐる。
【社會民主黨】立憲的社會労働黨にして第二インタナショナルに屬す。外交政策においては國際平和の立場に立ち、國際法の發達を助成すること、内政においては産業管理の民主化、國教會の廢止、國內改革、社會保險、失業保險等をその綱領とする。
黨領袖—Per Albin Hansson (首相、黨首)、R. G. Sandler (外相)、Gustav Möller (内相、黨書記長)。
【保守黨】君主主義政黨、戰爭防止としての

主要農作物

(1933年度)

Table with 3 columns: Crop Name, Cultivated Area (Hektar), and Yield (Metric Tons). Rows include Small Grains, Rye, Large Grains, Oats, Potatoes, Hay, Straw, and Beans.

経済が農業から工業へ轉化せんとする傾向を示してゐる。その最もスウェーデンは、工業の發達は阻害されて来た。然しスウェーデンは水力に富み、最近水力電氣の利用が著しく盛んとなり、石炭に乏しい缺陷を補つて工業の發達に拍車をかけたのである。その他、農業工業に比較する主要産業に林業と鑛業とがある。殊に總輸出額の半額以上が木材、パルプ、及び紙等の林業關係の産物により占められてゐるのを見て、林業は、スウェーデンの國民經濟上重要な役割を爲してゐることが明かである。その他、水産業も盛んに行はれるが、隣國ノルウェーの如く國民經濟の主要なる部分を占めてゐない。

飼養が行はれてゐる。【林業】スウェーデンにおいては林業は農・鑛工業と共にその主要産業を成してゐる。一九二七年の農業調査によれば、森林面積は全國土の五五%にして、その他が全國土中耕地一〇%、自然牧場二%、不生産地三三%なるを見て、如何にスウェーデンが林業に恵まれてゐるか、明かである。スウェーデン森林面積の概算は二三、一八一、二〇〇ヘクタールにして、その木材保有量は、一四一七億立方メートルに上ると概算される。林産物のうち、松、樺、樺の類は殆んどその北端にまで分布し、菩提樹、榆、赤楊、柳等は北緯六三度まで、樺は北緯六一度ま

主要家畜飼養数 (1932年)

Table with 2 columns: Animal Type and Number. Rows include Horses, Cattle, Sheep and Goats, and Pigs.

【畜産業】この國の主産業にあらざるも相當盛んに行はれてゐる。一九二七年の秋に行はれた農業調査によれば、全國土の約二%にあつた、一、二、六、九、〇〇〇ヘクタールが天然牧場にして、乾草の栽培は一九三三年度において、一、六四〇、九四八ヘクタール、その收穫高は四、七八九、二七五噸に及ぶ。また同年度の家畜類の輸出は七千萬クローネにして、輸出總額の約七%を占めてゐる。牛を主とし、馬、羊、豚等が多く飼養されてゐる。また北部には馴鹿の

主要鑛石の産額 (1932年度)

Table with 2 columns: Mineral Type and Production Amount (Metric Tons). Rows include Iron, Lead, Copper, Zinc, Manganese, and Coal.

【鑛業】スウェーデンの鑛業は古くからこの國の主産業を爲し、鉄鑛製造に石炭が使用されるに至らなかつた産業革命以前には、ヨーロッパにおける最大の鑛石生産國であつた。石炭の缺乏は、ラップランド (Lappland) の山岳地方の豊富な鑛山が今日原料鑛石の採掘のみに止まらざるを得ない理由を物語るものである。最近その豊富な水力電氣を利用して鑛を精練せんとせる試みは好成績を得たるも未だ充分なる發達を見ない。また製鑛業は漸次盛んとなりつゝあるが、その燃料たる石炭は多く輸入に仰ぐ。一九三三年度における鑛鑛の採掘高は三、二九八、九八九噸にして、鉄鑛生産は二六四、九八九噸、鑛鑛生産は五二八、二七八噸に上る。石炭はスウェーデンの南部地方に産し、年産額三〇萬噸を越へる。その他、銀、鉛、銅、亜鉛、マンガンの産出も少くない。また鑛道用石材の産

最近の歳出入

(單位1,000ポンド)

Table with 3 columns: Year, Income, and Expenditure. Rows show data for 1929-30, 1930-31, 1931-32, 1932-33, and 1933-34.

註 (1) 豫算とする。

近の世界經濟不況の影響を受けて、財政の縮小を見て、反して、スウェーデンのみは堅實な發展の傾向を示してゐる。

項目別歳入

(1933-34年度豫算)

Table with 2 columns: Item and Amount (in million Kroner). Rows include Tax Income, State Business Income, National Bank Income, Capital Income, Public Debt, and Total.

之に次ぐ。

【主要歳入】次に歳入を見るに、實經費においては教育費、内務省費、公債利息、國防費が最も大にして、いづれも總歳入の割五分乃至一割以上を占めてゐる。國有財産の改善及び負債償却に關する經費は、一九三三—三四年度豫算においては、二八九、九六九、〇〇〇クローネ

項目別歳出

(1933-1934年度豫算)

Table with 2 columns: Item and Amount (in million Kroner). Rows include Defense, Provincial, Transport, Education, State Business Improvement, National Debt Interest, National Debt Repayment, Public Fund, and Total.

に上り、うち公共金庫立替基金及び國營事業改善費が大部分を占めてゐる。

【公債】一九三三年一月三十一日現在における國債總額は二、三、五、〇、五、六、四、三、八、一、クローネに上り、主として鐵道、その他の生産的目的のために使用せられたものである。【金融】スウェーデン國立銀行たる「リクスバンク」(Riksbank)は完全に國家の所有にして、議會選出の任期三ヶ年の理事によつて經營する。但し總裁は國王によつて任命せられる。同銀行は議會の監視の下に置かれ、その資本及び準備金はその定款によつて確定せられ、その紙幣發行權はその金銀保有高とその内外に有する流動資産とによつて決定せられる。然し實際の紙幣流通高はこの制限に遙かに達しない。現在、スウェーデンには合資銀行は九行、株式銀行は二〇行を數へることが出来る。然し一九〇三年一月末日以來、紙幣發行權はリクスバンクのみに限られて許さる。一九三三年度における郵便貯金局は預金者總數一、五九五、一八二人、預金總額四五一、一七九、四〇九クローネに上る。またスウェーデンにおいては私立株式銀行も貯蓄銀行の業務を取

【貨幣】貨幣單位はスウェーデン・クローネ (Swedish Krona) にして、一クローネは一〇〇エーレン (Öre) である。英貨にして一シリング・一ポンスに等しい。即ち約一八クローネ一六エーレンが一ポンスに等しい。二〇クローネ金貨は純分九〇〇の金、重量八・九六〇五七二グラムにして、純金八・〇六四五グラムを含有する。クローネ銀貨は純分八〇〇の銀七・五グラムにして、純銀六グラムを含有する。ニッケル貨は一九二〇年以來鑄造せられるに至つた。現在金本位制が採用せられてゐるが、實際においては金貨は流通してゐない。國立銀行紙幣は五、一〇、五〇、一〇〇、一、〇〇〇クローネの四種にして、法貨として無制限に通用する。中央銀行は同紙幣を提出すれば金と兌換すべき義務を有してゐるが、現在その義務は停止されてゐる。【度量衡】メートル法が義務的に採用されてゐる。【生産】産業大觀】スウェーデンは古來農業を以つてその國民經濟の根幹と爲してゐる。一七五一年には、農業以外の各種産業及び商業に従事せる人口は僅かに全人口の九・五%であつた。この比率は年々膨脹して、一八七〇年には一五・五%、一九〇〇年には二九・一%、一九一〇年には三七・八%、一九二〇年には四四・二%に達するに至つた。従つて現在においては、スウェーデンの人口は農業とその他の各産業及び商業に従事せるものと殆んど折半せられるに至つた。現在スウェーデンは農業を主産業とするも、世界大戰を契機として急激に勃興するに至つた工業が漸次優勢な地歩を確立し、この國の基本

が多く、一九三二年にその賣却せられたるものは八、二四九、九六五クローネに上る。また一九三二年における鑛山及び鑛石精錬業に従事せる労働者は四七、一四九人に上る。

【工業】スウェーデン工業の最近の發達は目覚ましく、全国各地において盛んに行はれてゐる。就中、最も重要な製材工場はボトニア湾(Gulf of Bothnia)の沿岸各地に發達し、軟鐵及び鋼鐵の製鍊は古くから中部スウェーデンに盛んである。鉄鐵の製造はサンドウイケン(Sandviken)・ドムナルヴェド(Domnarvet)・ウッデホルム(Uddeholm)・ファゲルスタ(Fagersta)を主とする。またこの地方における乳脂分離機、擔球装置、燈臺用機械、電話機、發動機、各種電氣機械等の製作は極めて盛んにして、優秀な製品を生産する。陶器製造はグスタフスベルグ(Gustavsberg)に、硝子製造はコスタ(Kosta)及びオレフォルス(Orefors)に盛んに行はれ、世界市場においてその製品の聲價を認められてゐる。

スウェーデンにおいては木材を原料とする各種工業は極めて重要で、非常に盛んに行はれてゐる。一九三一年において、製材工場は一、三三七、その従業労働者は三七、二九七人、その生産額は二二三、四五八、〇〇〇クローネに上る。木材加工工場は一、一七一、その従業労働者は一六、六七四人、その生産額は九四、六六六、〇〇〇クローネに上る。バルブ製造工場は一〇七、その従業労働者は一八、七一一人、その生産額は二二七、九四〇、〇〇〇クローネに上る。製紙工場は七八、その従業労働者は一七、〇九六人、その生産額は一八三、三六六、〇〇〇クローネに上る。スウェーデンの全工場(鑛山を含む)は一九三〇年には一四、六一〇にして、一九三一年には一四、七二二である。その使用動力は一九三一年

主要國別貿易額 (1933年度)

Table with 3 columns: Country, Import (千クローネ), Export (千クローネ). Rows include USA, UK, Germany, France, etc.

デンの輸出超過に終つてゐる。然し對獨貿易は一九三三年度において輸入三億クローネに對して、輸出は一億クローネに過ぎず、著しい輸入超過の片貿易に終つてゐる。また同年度の日本よりの輸入は五百萬クローネであるに對して、日本への輸出は千六百萬クローネであつて、日本の著しい輸入超過を示してゐる。

【交通】道路】スウェーデンは位置的に北に偏在し、その北部は北極圏内に屬してゐるため、不生産地帯も多く、人口も概して稀薄にして、従つて交通網も發達してゐない。然し隣國ノルウェーと比較する時、スウェーデンは遙かに完備した交通網を持つてゐる。一九三二年一月一日現在における全國の道路延長は四七、八八〇哩に上る。【鐵道】一九三二年末における鐵道の全長は一六、七七六軒にして、うち六、八七八軒が國有鐵道にして、他の大部分は民營鐵道である。一九三二年末迄におけるこれ等の鐵道の建設費は國有鐵道一、四三三萬クローネ、民營鐵道七三三萬クローネに上る。ルレオ(Lulea)とリクスグレンセン(Riksgransen)間、ゲーテボルグ(Göteborg)とストックホルム(Stockholm)間の鐵道は電化されてゐる。

年には四、二五八、〇〇〇馬力に上る。またそれ等の工場に従事せる全労働者の總數は一九三一年において、男子三二三、四四四人、女子七二、八四五人、一八歳以下の少年二四、四六九人同じく少女九、三二二人である。E 外國貿易 農・林・鑛・工業の着實なる發達により外國貿易は極めて盛んである。一九二九年には貿易額は最大となり、輸出入共に一億ポンドに近い額を示してゐる。その後、世界經濟不況の影響を受けてスウェーデンの貿易額も漸減し、一九三三年には輸出入ともに約四割の減少振りを示してゐる。同國の貿易は年々多くの輸入超過を示してゐるが、その額も殆んど一千萬ポンドを越えることとなく、而も多額の貿易外収入がある故、何等憂ふべきもの、今日のスウェーデンの經濟界は概して良好であるといふことが出来る。

最近の輸出入 (單位ポンド)

Table with 3 columns: Year, Import, Export. Rows for 1929, 1930, 1931, 1932, 1933.

【主要輸入品】スウェーデンの輸入品の主なるものは纖維原料及び織物、石炭、野菜、化學製品、金屬及びその製品等、いづれも總額の割以上二割近くまで及んでゐる。その他、各種の食料品、皮革類、機械類、自動車等が多く輸入せられる。主要輸入品及びその價格は別表に示す如くである。輸入價格の最大なるは纖維原料及び織物で一九四、六九九、〇〇〇クローネに上る。これに次いでには鑛産物である。

主要輸入品 (1933年度)

Table with 2 columns: Commodity, Value (千クローネ). Rows include raw materials, food, chemicals, etc.

【主要輸出品】その輸出總額の半ば以上は林業生産が占めてゐる。即ち、一九三三年度においてはバルブ、紙及びその製品の輸出は三億五千萬クローネに上る。これを見てもスウェーデンの産業部門において林業が如何に重要な地位を占めてゐるか、明かである。その他、金屬製品、各種機械、家畜及び畜産物、鑛物、化學製品等を主要輸出品とする。

主要輸出品 (1933年度)

Table with 2 columns: Commodity, Value (千クローネ). Rows include pulp, paper, metals, etc.

【國別貿易】スウェーデンの輸出入貿易を取引相手國別に見る時、イギリス、ドイツ、アメリカ合衆國を最高とし、デンマーク、ノルウェー、フィンランド、ロシア、フランス、スペインが之に次ぐ。これ等の諸國のうちドイツ及びロシアを除く諸國との貿易はいづれもスウェー

【船舶】スウェーデンは海運の極めて盛んな國であるが、然しその所有船舶はノルウェーの約半ばに過ぎない。一九三三年一月一日現在における二〇噸以上の船舶は帆船九六四隻、八七、六二〇噸、汽船及びモーター船一、四八二隻、一、六六二、五二七噸、合計二、四四六隻、一、七五〇、一四七噸に上る。一九三二年度におけるスウェーデン各港に外國の港灣より入港せる船舶は三二、二四〇隻、一四、七七〇、八四噸、出港せる船舶は三二、二四九隻、一四、八四九、一〇噸に上る。また同國の最も出入港の頻繁な港灣はゲーテボルグを第一とし、ストックホルムに次ぐ。

【航空】スウェーデンの航空輸送は政府の補助の下にA・B航空輸送會社(A/B Aerotransport)によつて行はれてゐる。その年補助金は六五〇、〇〇〇クローネである。一九三二年において、同社に屬する航空機による定期航空路飛行機は四六八、九八二軒にして、乗客輸送數は六、四四〇人に上る。

【通信】一九三二年における電信線は五八、三六五軒にして、うち二八、一四三軒は鐵道に屬する。國有電話線は一、一八、一九九軒にして、うち三三、四七八軒は鐵道に屬する。また一九三二年における電話機數は五七七、二八一機にして、うち鐵道用一二、四二〇機、私設電話一、五二四機である。

一九三二年度における郵便發着數は總計八三七、二一三、〇〇〇個に上る。同年末における全國郵便局數は三、九一五局である。同年度の郵便總收入は七七、九七六、二三〇クローネにして、總支出は六四、八一四、五一〇クローネである。

V 社會

國內の民族的組織は極めて單純であり、大部

VI 文化

A 文化概観 スウェーデンは北方スカンディナヴィア文化の本質を形成してゐる。古來、北歐は文化において南方のそれと比してその影響下にありながら、しかも時代によつて却つて尖端的に指導したことを史的に認められ得る。スウェーデンの北方神話、傳説はキリスト教と混入して、特殊なる北方文化を形成し、その

瞑想的な形而上性は南方文化に對し一つの積極的批判者となつた。一九世紀以來、近代ヨーロッパ文化の移入強く、その工業的發達は一般文化水準を著しく高め、時代意識と共に自我意識、個人主義の思想が發達し、ストリンドベリイによつて最も典型的に代表せられ、また近代のフェミニズム思想はエレン・カイが極力主張し、新しき戀愛觀と自由結婚論を表明す。併し一般には生活に恵まれ、その生活享樂のために現代は却つて文化は前時代の如く展開せず、併し映畫文化にはかなりの發達を見せ、モリス・ステイレルの名監督、またグレタ・ガルボを出して、機械文明に對する積極的な發展方向を暗示してゐる。なほスウェーデン人は體育文化を重んじ、スウェーデン體操は世界的名聲を有す。一九世紀初めにリンドグによつて始められ、全身の柔軟なる調和的發達を期し、近代體操の典據となる。

B 宗教 スウェーデンの住民の大部分は國教たるルター・プロテスタント教會 (Luth. herren Protestant Church) に屬する。一九二〇年の國勢調査によれば、「福音教會ルター派 (Evangelical Lutheran) 五、八八〇、九四一名、プロテスタント非國教派 (Protestant Dissenters) に屬するもの、バプテリスト派 (Baptist) 七、二六五名、メソヂスト (Methodist) 五、四五二名である。他の宗派はローマン・カトリックの三、四二五名、ユダヤ教六、四六九名、その他、九三七名に上る。

C 教育 スウェーデンには二大學、即ち Upsala 大學 (一四七七年創立)、Lund 大學 (一六六八年創立) あり、スウェーデンの最高學府を爲す。一九三二年には公立中等學校一三六校、國民高等學校五五校、高等工業學校二校、初等工業

學校八校を數へる。その他、醫學校、陸軍學校、航海學校、醫學校等を數へられる。初等教育は一八四二年以來義務制が採用せられ、就學年齢は七歳より一四歳迄とする。一九三二年における全國小學校の教師は二八、四一四名、児童は六六三、九六九名に上る。

D 文學 古代にはスカンディナヴィアの古典「サーガ」が文學の典據となり、一六世紀にはベイトリによつて「バイブル」が翻譯され、グスターフ・ヴァザはスウェーデン史を書く、詩人ステイルンハイエルムは一七世紀に出て、詩の父と云はれる。なほクリスティーナによつて移植された文化は幾多の文化的結實を生み一時文化の黄金時代を現出す。一八世紀には世界的に有名な植物學者リンネウスは近代植物分類學の基礎を定め、また神祕論者エマヌエル・スウェーデンボルグは當時の思潮界を風靡し、カント、バルザック等はこれを大いに問題にし、またストリンドベリイはこれを最大の影響を受く。彼は最初數學者であり、五七歳頃に神智學に入り、「天界と地獄」等の著書を出す。以後アウグスト・ストリンドベリイ(一八四九—一九二二)によつて世界文學の最高峯に達しその豊富な百科全書的認識は特異な生活と思想により、最も近代的なる自然主義文學から、神祕主義思想にまで展開し、小説、劇、詩、史書、思想科學等文化の全面的問題を描破す。またセルマ・ラゲリョフは女流作家でありノーベル賞を得。また詩人グスタフ・フリョーデングはその宏大なる詩構が深刻なる宗教問題に進んでゐる。またマクセル・カールフェルトは近代の大詩人である。彼は死後一九三一年にノーベル賞を與へらる。なほ現代作家にはリッパマンの大作、ベルグマンの神祕主義等が特筆すべきものである。

E 新聞 スウェーデンの日刊新聞を黨派別に見るに、現在最も有力にして政府黨なる社會民主黨の新聞は Social-Demokraten (發行地 Stockholm) Ny Tid (發行地 Gothenburg) Arb-et (發行地 Malmö) S 三紙、第二黨たる保守黨の新聞は Nya Dagligt Allehanda (發行地 Stockholm) Svenska Dagbladet (發行地 Stockholm) Göteborgs Morgonpost (發行地 Göteborg) Göteborgs Dagbladet Smliposten (發行地 Malmö) S 四紙、その他「自由黨系」は首府發行の Aftonbladet; Dagens Nyheter; Stockholms-Tidningen-Stockholms Dagblad, テンペルツ發行の Göteborgs Handels-och Sigtids-tidning; Göteborgs-Posten; Morgontidningen の六紙、人民黨系には首府發行の Svenska Morgonbladet の一紙、農民黨系には、マルメ發行の Skanska Dagbladet の一紙を數へる。また階級的新聞としては共產黨系の新聞に首府發行の Folkets Dagblad と Ny Dag と S 二紙あり、またサンナカリメアの機關紙たる Arb-taren がある。

自然

A 位置 スウェーデン (Sweden) はヨーロッパの西北部、スカンディナヴィア半島 (Kandianawien) の東斜面を占め、西北部より西部にかけてはノルウェーと境を接し、北東はバルト海 (R. Tornea) によりフィンランド共和國と接する。東部より南部一帯はバルチック海 (Baltic Sea) 及びその一部なるボトニア灣 (Gulf of Bothnia) に向し、西南はカテガト海峽 (Kattegat) 及びスント海峡 (Sund) を隔てデンマークに對する。スウェーデンの極東はハラランダ市 (Haparanda) の東端にして東經二四度一〇分、極西はスカゲラック海峡 (Skagerak) に臨む西端部にして東經一二度〇五分、極北は

フィンランド及びノルウェーとの國境にして北緯六九度〇五分、極南はサンドハルマンにして北緯五五度二〇分となつてゐる。國の形狀は北々東より南々西へ長く、東南バルチック海上にゴットランド (Gotland) 及びオーランド (Åland) の兩島がある。

B 地勢 【海岸】 東海岸の北半分は小屈曲が甚だ多いが、これは多く水河によつて作られた峽灣である。河川が土砂を運んでこの海岸は遺淺となり、百年に約一メートルも陸地が海上に伸びるとの事である。東海岸の南半分よりファルステルボ (Falsterbo) に至る間は著しく海岸線の屈曲に富み、就中ストックホルム州はその最たるもので島嶼、小灣が無數にある。カールマル州 (Kalmar) の對岸には同名の海峡を隔てて細長いオーランド島が横はり、オーランド島の東北海上にはゴットランド島がある。西南海岸はデンマーク領のゼーランド島 (Sjælland) が接近して狭いズント海峡をなして居る。ズント海峡の北はカテガト海峡にして海峡の北部海岸近くにはオルスト島 (Orust) がある。

【地形】 スウェーデンの地は一帯に高原性を呈する。海岸近くは低地をめぐらしてゐるが、ノルウェー及びフィンランド國境に至るに従ひ、土地は段々に高起する。地勢上スウェーデンは北部ノルランド (Norland) 中部スウェアランド (Svealand)、南部ゴットランド (Gotland) の三地方に分けられる。ノルランドの地方は北部五州を含み全面積の約三分の二に當る。この部分にはスウェーデン中一番土地が高く、ノルウェーとの國境を最高とする。こゝにスウェーデン一の高峯ケブネカイス山 (Kebnekaise) が峙ち、その高さ二、一三五メートルに達する。ケブネカイス山附近の連山は千古不滅の雪に蔽はれ、數多の氷河が懸つてゐる。スヴァルチセン

水河 (Svartefors) は最も大きく、廣袤約一千方キロメートルに及ぶ。スウェアランドの地方は土地低平で西カテガト海峡に面し、東はバルチック海に臨む。平均高度は約五〇メートルにして、最高處といへども百メートルを超えない。湖沼は非常に多く、土地は豊穰にして、實にスウェーデンの豊庫と稱されるところである。ゴットランド地方は西南部の八州を占め、スウェアランドの如く土地が低平ではないが、それに次いで豊穣なところである。湖沼も中部程多くはないが、相當に澤山ある。

【河川】 フィンランドに於けるが如く、スウェーデンの河川と湖沼とは密接の關係を有し、兩者は結合されてゐる。スウェーデンの河川及び湖沼は非常に多く、大體東方に注ぐ北部の水系と南西に注ぐ南部の水系とに分けられる。南部水系に屬するものには大なる湖沼が多い。ウェーネル湖 (Vänar Lake) は最大にして、面積五、五四三方新、深さ八九メートルに達する。ウェッテル湖 (Vätter or Veten) は面積一、八九〇方新、深さ一一九メートル、メーラル湖 (Mälaren) は面積一、一五〇方新、最大深度六四メートル等である。メーラル湖には無數の島嶼があり、沿岸には皇宮があつて、風景絶佳を以つて知られてゐる。水流は湖沼と同じく北東より南西に向ふ。クラーレ河 (Klar Elv) はノルウェーより流出してウェーネル湖に注ぎ、ゲタ河 (Göta) となつてカテガト海峡に流入する。ウェーネル湖の水は他方ゲタ運河によりウエッテル湖に運ばれ、それより數湖の水を集めて東バルチック海に注ぐ。南部水系に屬する地方は鐵鑛を多量に産し、スウェーデンの富と文化の中心であるといはれる。北部水系に屬する河川湖沼は總て西々北より東々南へ向ひ、水源はノルウェーとの國境高地にあり、各川とも湖沼を連ねて東

別に見るに、現在最も有力にして政府黨なる社會民主黨の新聞は Social-Demokraten (發行地 Stockholm) Ny Tid (發行地 Gothenburg) Arb-et (發行地 Malmö) S 三紙、第二黨たる保守黨の新聞は Nya Dagligt Allehanda (發行地 Stockholm) Svenska Dagbladet (發行地 Stockholm) Göteborgs Morgonpost (發行地 Göteborg) Göteborgs Dagbladet Smliposten (發行地 Malmö) S 四紙、その他「自由黨系」は首府發行の Aftonbladet; Dagens Nyheter; Stockholms-Tidningen-Stockholms Dagblad, テンペルツ發行の Göteborgs Handels-och Sigtids-tidning; Göteborgs-Posten; Morgontidningen の六紙、人民黨系には首府發行の Svenska Morgonbladet の一紙、農民黨系には、マルメ發行の Skanska Dagbladet の一紙を數へる。また階級的新聞としては共產黨系の新聞に首府發行の Folkets Dagblad と Ny Dag と S 二紙あり、またサンナカリメアの機關紙たる Arb-taren がある。

ボスニア灣に注ぐ。その中河川の大きなものを擧ぐれば、南よりダル河 (Dal Elv) リウスネー河 (Ljusne) インダルス河 (Indals Elv) ルネア河 (Lulea Elv) 等である。これ等の河川は傾斜が急であるから水力の利用に適する。湖沼は總て水河の侵蝕によつたものである。

C 氣候 南部地方は比較的温和で、ノルウェーの南部地方とあまり變りないが、北方に行くに従ひ次第に大陸的性質を帯びる。これは西に高いスカンデナヴィア山脈があつて大西洋との間を隔絶し暖流の影響がないからである。年平均氣温はズント海峡にては七度、ストックホルム (Stockholm) にては五度六分、北方ハバランダにては〇・五度となつてゐる。冬季は各地とも寒く且つ長い。ストックホルムすら冬季四ヶ月間は氷點下にある。東方ボスニア灣は結氷期長く殆んど海洋としての役目を果さない。

【雨量】 スウェーデンでは雨量は同じくスカンデナヴィア山脈に妨げられて、甚だ少ない。ノルウェーのベルゲン年の降雨量が二千新以上に達するに反し、ストックホルムの年降雨量は約四三〇耗の程度に過ぎない。雨量は夏秋の候に多く、八月が最も多い。一月、二月、三月は降雨の最も少い期間である。中部以北は非常に乾燥する。

D 面積・人口 一九三二年一月三十一日におけるスウェーデンの面積は一七三、三四九平方哩、人口は六、一九〇、三六四人であり、一方哩につき人口密度は三九人強となつてゐる。人口密度の最大なるものも一平方哩二八一人強にして、スウェーデンの人口密度は甚だ粗であることが知られる。一九三二年の人口中、〇・五八、五二八人は男子にして、三、一三六、八三六人は女子である。近年における人口増加の狀況は一八八〇年四、五六五千人、一九一〇年五、五二

二千人、一九二〇年五、九〇四千人、一九三〇年六、二四一千人、一九三二年六、一九〇千人と漸増をつづけたが、増加のテンポは段々鈍つた。一九三二年の移出入者の数を見るに、移入者八、九九〇人、移出者二、一七七人となつてをり、これを一九二五年の移入者五、〇五三人、移出者一、九四八人に比較すれば、移出者は著しく減じ、移入者は可成りの増加を示してゐる。

○年二月三日スウェーデンには二、八一人の外人が居住してゐたが、それは主としてフィンランド人、ドイツ人、ノルウェー人、デンマーク人、ロシア人、アメリカ人、イギリス人等である。

十字軍のためにキリスト教國は地中海貿易の發展を來し、都市は繁榮し、こゝに近代國家が出現す。

20 スペイン 立憲共和國

España, 英 Spain, 獨 Spanien, 佛 Espagne.

I 歴史概観

一、古代史 古代にはイベリヤ人が住み、イベリヤと呼ばる。前千百年頃にフェニキヤ人が移住し、八世紀頃にはギリシアの植民が定住す。六世紀頃には北方からケルト人が來住す。二四〇年頃には南半がカルタゴの領地となり、そのローマとの第二ポエニ戦役以後はローマ領となる。ローマの屬州としてローマ文化の一大中心地であつた。

は國王レカレドが舊教徒となりトレドの宗教會議は國勢の中心となる。七一〇年國王ウチカが敗れ、アラビアの回教徒に援を求めた機會に乗じ、アラビアは大舉、半島に渡り、北部以外全半島を占領す。七五五年アブデララーマンがコルドヴァにカリフ王朝を立て、サラセン文化を創造す。一〇世紀がその文化の最高潮となる。一一世紀以來國勢次第に衰退、北方からキリスト教南下し、回教徒を破り、一四九二年にサラセン帝國は亡ぶ。この間四世紀に互り、特に東方聖地の奪還の十字軍遠征はスペイン貴族の統一をなし、一三九九年ポルトガル王國建設。カスチラ國はコルドバ、セウイラを奪ひ、アラゴン國はコルシカ、サルザニヤ、シシリヤ等を取る。

三、スペイン王國 一四七九年カスチラとアラゴンの同君聯合成り統一的なスペイン王國が建設さる。一四九二年にはグラナダは陥落してサラセンは全く衰退す。コロンブスの北米航海(一四九二年)を初めて支持す。アメリカ植民地を開拓し、世界の最強國に發展す。一五一六年ハプスブルク家よりチャールズ一世即位し、ドイツ皇帝をも兼ねチャールズ五世と稱す。プラシ以外の南アメリカの大部分、中アメリカはスペイン植民地となる。かくてオーストリア、フランス、ドイツ西南部、ナポリ、シシリア、スペイン、その他の大植民地を含み、フランスからは北イタリアを奪ひ、世界覇權を握る。併し國內の經濟情勢は物價の異常な騰貴を來し、この生活苦は一五一九、二一年の全國的大反亂を來した。一五六七―七三年のニードランド革命はスペインの海上權に致命的打撃となり、フィリッパ三世はイギリス征服を企て八八年「無敵艦隊」を派すも潰滅され、遂に世界政策は全く挫折し終り、フランスは六八年に獨立し、八一年にはオランダは建國し、國勢全く衰ぶ。

て專制政治を施き極端な反動的壓迫を加ふ。この間アメリカのスペイン植民地は續々獨立す。メキシコは一八一〇―二二年、コロンビヤは一八一九年に自由となり、更にベルは一八二四年、チリは一八一八年に、アルゼンティンは一八一六年に獨立す。なほ國內には王位繼承問題が起きイサベラ女王は追放され一八七三年共和制宣言、イサベラの王子アルフォンソ二世即位して王制復古す。この間に米西戦争が勃發し一八九八年スペインは西インド及び太平洋植民地をアメリカに奪はる。

七、王制廢止 一九二九年重要輸出品オリウの價格が激落、リウエラ政府大いに不安となり遂に三〇年一月二八日、リウエラ内閣瓦解、新にベレンゲル内閣成立す。同年一月から二月に全國的革命運動勃發し、遂に三一年ベレンゲル内閣崩る。アスオール内閣代る。共和黨大勝利を來し四月一日國王國外に亡命。共和黨首アルカラ・サモラが臨時政府を組織、同日スペイン共和國成立す。七月一日、共和國憲法發布さる。併しこの革命後國內の動搖治まらず、更にその反亂を大にして行く。

格化である。彼は議會によりて選ばれ、平等、直接、秘密、普選によりて選出される。大統領は市民權、參政權を有する四〇歳以上のスペイン市民たるを要す。その任期六年にして次期再選を許さない。何時でも議會を臨時に召集し得る權能を有するも、任期中二回以上解散することは出来ない。議會の六割以上の議員の不信認決議あれば如何なる場合においても辭職せざるを得ない。大統領故障ある場合には議長その事務を代行す。同様に大統領空席の場合には議長假大統領となり、新大統領の選舉は八日以内に行はれる。大統領は内閣總理大臣及び各大臣の任免權を有し、宣戰媾和權、國際條約批准權、政治協商締結權、議會解散權を有す。

五、國內の矛盾 國內は自由黨と保守黨と交代し、アナキズムの大なる生長をもち、カタルニアの民族獨立運動、アンダルシアの農民反亂が勃發した。また工業と農業との對立は著しく、この闘争は宗教勢力をも加へてスペインの重大問題となつた。スペインは植民地回復のためにモロッコ遠征をなし、これは労働者の反抗を招きバルセロナにゼネ・ストを起し、一九〇九年六月の「血の一週間」を現出す。指導者フェラ・銃殺されて漸く鎮壓す。

六、世界大戦後 世界大戦中は中立宣言し最後までこれを守る。一時軍需工場大いに勃興、これを國內をミラタリズム化し軍事團體(フンタ)を形成せしむ。一九一九年再びモロッコ遠征し、アヌアルに敗る。國內大いに騒然。議會制度は亂れ、フンタの勢力は大となり、遂に二一年首相ダト・暗殺。バルセロナの労働者反亂を極度に抑壓してフアンシズムの力大となり、一九二三年九月一日カタロニア軍司令官アリモ・デ・リウエラは國王アルフォンソ一二世と相通じてクーデターを斷行。このリウエラ獨裁の軍事行動が實施され、コルテス(議會)禁止、自ら大統領となり、九人の獨裁政府を作り、フアンシスト團體「愛國同盟」が組織さる。一九二五年フアン

憲法保障裁判所(Tribunal of Constitutional Guaranty)は又非立憲的な法律の解決の任に當り、私權の保障、各自治州及び國と自治州間の立法上の齟齬の解決、等々について規定す。而して憲法保障裁判所々長は議會によりて任命される。憲法改正案は政府或は議會の四分の一の議員よりなる決議案に基き上提せらる。しかしその改正には結局政府と議會との一致及び立憲共和制最初の四ヶ年間は議員の三分の二の賛成、その後は絕對多數を必要とす。憲法改正の際には議會は自發的に解散し、新議會は六〇日以内に召集されねばならぬ。かくて召集された新議會は憲法會議として憲法改正に當り、その後通常議會として存続す。

【大統領】ニセト・アルカラ・サモラ (Niceto Alcala Zamora) 一九三一年一月一〇日選出

【首相】マドリード (Madrid) 人口九三、〇〇〇人 (一九三二年二月三十一日概算) B 行政権は大統領の任免にかか

【現内閣】は一九三四年三月三日組閣されたレルー内閣にして、その閣員の顔ぶれは次の如し。

- 首相 ナー・ガナン (Don Alejandro Lerroux Garcia)
外相 ユタ・ロメロ (Don Leandro Pita Romero)
法相 アルヴァン・バルマス (Don Ramon Alvarez Valdes)
陸相 イダルゴ (Don Diego Hidalgo)
海相 ロシヤ・ガルシア (Don Juan Jose Pecha Garcia)
内相 アロンソ (Don Rafael Salazar Alonso)
文相 ヤマリアガ (Don Salvador de Mazaruga)
土木相 グラホ・トル・リオ (Don Rafael Guerra del Rio)
労働相 エスタテラ・アル (Don Jose Estalola Arno)
農相 デル・リオ・ロドリゲス (Don Cirilo del Rio Rodriguez)
商・工相 リカルド・サニヤン (Don Ricardo

Samper Itaneg) 交通相 ホセ・フリア・シム (Don Jose Maria Cid Ruiz Zorrilla)

C 立法 立法権は一院制の議會 (Cortes) にあり、議員の任期四年にして普選、比例代表、平等、直接、秘密投票制を採用し、二三歳以上の男女はすべて選挙権、被選挙権を有す。

【現議會】一九三三年一月一日と二月三日に行はれた總選挙によつて選出されたものにして、現議會における議長、及び各派の勢力分野を右派、中央派、左派に分けて列挙すれば次の如し。

- 右派
農民大衆黨 一〇四名
農民黨 三九名
右派獨立派 二四名
傳統黨 一七名
イヌバニア革新黨 一五名

バスク國民黨 一一名
中央派計 二二二名
中央派
急進黨 一〇一名
カタロニア同盟 二五名
保守共和黨 一八名
自由民主黨 九名
中央獨立派 六名
進歩共和黨 三名

左派
社會黨 五八名
カタロニア左翼黨 二二名
カリシヤ聯盟 六名
行動共和黨 五名
獨立急進社會黨 四名
急進社會黨 一名
聯邦黨 一名
共產黨 一名
左派計 九八名
以上總計 四七二名

D 司法 スペインの司法権は裁判所により行使される。判事の任免は法律により規定され、その身分を保障されてゐる。

裁判権は一大審院 (Tribunal Supremo) 一五地方裁判所 (Audiencia Territoriales) 五〇州裁判所 (Audiencias provinciales) 九、二六七市裁判所 (Juzgados Municipales) により行はれる。

大審院は共和国大統領の任命にかゝる院長及び三司法官 (一は行政、二は軍法に關する訴訟) よりなり、民事、刑事の最終審の行はれる所にして、國家國民間におこつた訴訟の第一審、第二審及び王族、閣僚、院議に關する判決に當る。

地方裁判所は一九二三年改正前の民事事件第二審、州の刑事事件第一審を行ふ。

州裁判所は第一審において過失的判決のあつた場合、該事件審理の権限が與へられてゐる。軍部獨裁政權樹立の間は州裁判所の権能は中止されてゐたが、最近又復活を見た。

市裁判所は一人の判事と二人の補助判事よりなり、二〇、〇〇〇ペセタ以下の民事訴訟、小裁判に當る。

E 地方行政 各州は自治體聯合 (Asociation of Municipalities) によりて構成され、各自治體は普通選挙により選出された「理事團 (Ayuntamiento)」を有す。理事團はそれの中から選出した「市長 (Alcalde)」によりて司會される。大都市は数名「副市長 (Tenientes de Alcalde)」が設けられてゐる。

アフリカにおけるスペイン自治は中央政府の監督下であり、カナリー各島は「支島廳 (Cabildo Insular)」として知られてゐる自治體を有してゐる。バlearick島も亦それに準ず。

各州は各々州會 (Diputacion provinciales) を有し、州議員は各州の選挙民によりて選出され、州議會は毎年開かれる。

各地方 (regions) においてはその自治を中央政府に委任してゐる所もある。もしも同じ史的經濟的性質を有する州は同一自治地區 (Autonomous region) を構成することになつてゐる。また地方の訴願 (Appeal) は國勢調査名簿登録者の少くとも三分の二の選挙民によつてのみ提起され得る。

かく共和国憲法は各州に廣範な自治の権限を認めてゐるが、次のことは中央政府の権限に屬せしめ、州の行使を許さない。即ち(一)宣戰、外交官領事官任命、(二)教會立法、(三)平和條約締結、國債、(四)陸海軍々備、(五)關稅改革、

(六)商船の私有、(七)國家による鐵道、通信、航空路の私營、(八)大審院裁判等の入項である。

向一八七六年の憲法は州議會及市議會の自治権を確保し中央政府及び議會は各州自治に與へられた権限の不可侵を規定してゐる。

【バスク諸州自治】バスク諸州 (Basque Provinces) 即ちアラバ (Alava)、ギプスカ (Gipuzuan)、ビスク (Bizkaia) の三州における自治は先きの内閣後、一時消滅してゐたが、一九三三年一月一日再びバスク條令 (Basque Statute) により承認されるに至つた。

【カタロニア地方自治】カタロニア (Catalonia) の獨立問題は常にスペイン中央政府を悩ます一つの盛である。カタロニア地方はスペインに於る最も盛んな工業地帯にして、他の諸州の農業地方と經濟的に對蹠的地位にある。即ちカタロニアの工業第一主義と諸州の農業第一主義に對する中央政府の態度は常に農業主義に加擔し、農産物關稅を高めるに工業品の保護關稅の値下を設定し、しかもカタロニアよりの納稅徵集多く、その税金は農業地方の開発、土木工事に向けらるゝ結果、カタラン人の中央政府への不平の聲常に絶ゆることがない有様である。一九三二年九月十五日のカタラン條令 (Catalan Statute) によりその自治は認められるに至つた。カタロニア諸地方はバルセロナ (Barcelona)、ゲロナ (Gerona)、レリダ (Lerida) タラゴナ (Tarragona) の四州より成り、面積一萬二千平方哩、人口約三百萬にして、傳統的に政府に反旗を翻す所である。カタロニア諸州の代表機關は議會、大統領、行政參議會によつて構成される「理事會」(Consell) に委任される。理事會の議長、即ちカタロニア大統領は八五人よりなるカタロニア議會によつて選出される。カタロニア議會の最初の選挙は一九三二年

一月二〇日行はれ、一月六日開會された。現在のカタロニア大統領 (President of Catalonia) はドン・ルイ・コンバニス (Don Luis Companys) にして、一九三三年二月三十一日の選出にかゝるものである。(最近のカタロニア獨立の擾亂に就いては「政治の動勢」の項を参照)。

F 政黨 スペインには十有餘の政黨があるが、之等を大別して右派 (Right) 中央派 (Centre) 左派 (Left) の三陣營に分けることが出来る。即ち右派に屬すべきものには農民大衆黨 (Agrarian Populist Party) 農民黨 (Agrarian Party) 傳統黨 (Traditionalist Party) イヌバニア革新黨 (Renovacion Española Party) バスク國民黨 (Basque Nationalist Party) 國民黨 (Nationalist Party) の諸黨あり、中央派には急進黨 (Radical Party) カタロニア同盟 (Catalonian League) 保守共和黨 (Conservative Republican Party) 自由民主黨 (Liberal Democratic Party) 進歩共和黨 (Progressive Republican Party) の諸黨あり、左派には社會黨 (Socialist Party) カタロニア左翼黨 (Catalonian Left Party) ガリシヤ聯盟 (Galician Federation) 行動共和黨 (Accion Republicana Party) 獨立急進社會黨 (Independent Radical Socialist Party) 急進社會黨 (Radical Socialist Party) 聯邦黨 (Federal Party) 共產黨 (Communist Party) の諸黨を數へることが出来る。

以上の諸政黨のうち、現在議會において最も有力な政黨は右派の農民大衆黨、農民黨、中央派の急進黨、カタロニア同盟、左派の社會黨、カタロニア左翼黨の諸黨である。以下各政黨の綱領及び黨指導者を列記すれば次の如し。

【右派】 農民大衆黨 保守的、カトリック教政黨なるにも拘らず、黨指導者は共和制體を承

認する。
黨領袖—José María Gil Robles
農民黨—強くカトリック主義、保守主義を主張し農民の利益及び教権擁護を標榜す。
黨領袖—José Martínez de Velasco; Antonio Lovo Vilanova; Abilio Calderon

【中央派】 急進黨—法律の漸進的變革により共和制の統一と改革の達成を期す。
黨領袖—Alejandro Lerroux Garcia (首相)
Diego Martinez Barrio (陸相)
Rafael Guerra del Rio (土木相)

【左派】 社會黨—共和制の確立を標榜し、生産の社會化、大土地所有の沒收を政綱とする。
同黨は一九三三年末施行の總選挙において著しく勢力を失墜す。
黨領袖—Francisco Largo Caballero; Julian Besteiro; Indalecio Prieto; Fernando de los Rios; Ferrniglo Caballo; Jimenez Asua; Manuel Gordero.

【右派】 社會黨—共和制の確立を標榜し、生産の社會化、大土地所有の沒收を政綱とする。
同黨は一九三三年末施行の總選挙において著しく勢力を失墜す。
黨領袖—Francisco Largo Caballero; Julian Besteiro; Indalecio Prieto; Fernando de los Rios; Ferrniglo Caballo; Jimenez Asua; Manuel Gordero.

保守的政黨である。
黨領袖—Nicolet Alcala Zamora (共和國大統領)
Juan Castiello; Carlos Blanco; Cirilo de Rio. (農相)
【左派】 社會黨—共和制の確立を標榜し、生産の社會化、大土地所有の沒收を政綱とする。
同黨は一九三三年末施行の總選挙において著しく勢力を失墜す。
黨領袖—Francisco Largo Caballero; Julian Besteiro; Indalecio Prieto; Fernando de los Rios; Ferrniglo Caballo; Jimenez Asua; Manuel Gordero.

ポルトガルとは従来接壤國の關係上屢々利害衝突のため兩國緊張あるを免れなかつたが、ブリモ・デ・リウニャ獨裁政權の對葡親善外交により兩國關係の好轉の機漸次熟しつゝある現狀である。特にメキシコ以南の中米・南米の二〇ヶ國よりなるラテン・アメリカ聯盟協會は何か問題ある毎にスペイン擁護の立場をとり、且つ聯盟協會總裁にスペインを戴かんとする運動の氣運さへある程である。この事實は國際聯盟會議においてスペイン、ラテン・アメリカ諸國は種々なる議案に關して常に同一歩調をとり協同的態度に出づることによつて立證される。以上の如く現在、スペインの國際的地位はその地理的條件により著しく平穩にして、殆んど大した外交上の困難な問題を見ない現狀である。
【對日關係】 スペインと日本との關係は天正二年(一五八四年)大村、有馬の遣ローマ使節がマドリッドにてフィリップ二世との謁見に初まる。その後、一六一五年支倉常長のフィリップ三世會見を経てフィリップを仲儀とする兩國貿易關係愈々進み、明治元年九月二八日に至り外國官副知事東久世通禧、同知事寺島陶藏、非關齊右衛門とスペイン全權公使ガルシア・デ・ケウニョ (Garcia de Quevedo) との間に修好條約、航海條約が締結され、三三年特別通商條約、四四年修好交通條約等が結ばれ、一九二九年新通商取極により日本よりスペインへ生絲、絹布、陶磁器、樟腦等輸出、スペインより日本へコルク、苛性加里、苛性曹達、葡萄酒等の輸入は一段と増加し、兩國の貿易關係益々好轉と共に、その親善關係は一段と強化される傾向にある。
【陸軍】 強制徵兵制度を採用し徵兵適齡は二一歳、服役期間は一八ヶ年、一九二五年の徵兵勅令は現役二ヶ年を規定したが、現在では一年である、豫備役は五ヶ年である。

陸軍は第一線兵(現役及び豫備)、第二線兵(後備)及び國民兵よりなり、第一線兵は毎年の入營數は一三五、〇〇〇人、第一線兵戰時動員數は百萬を突破す。平時兵力は本國二〇萬、植民地六萬人とす。
【海軍】 スペイン海軍はかつては無敵艦隊(Invincible Armada)として大西洋制海權掌握のため、大英帝國へ挑戦した歴史を有してゐる。しかし現在では主として沿岸防備の消極的守勢的海軍政策をとる。ビスケー湾にフェロー、大西洋にカデイス、地中海にカルタヘーナ三鎮守府を設け、且つフェロー、カルタヘーナに造船所がある。

現有勢力は舊式戰艦二隻、二八、四四八噸、A級巡洋艦二隻、二〇、〇〇〇噸、B級巡洋艦六隻、三六、三〇〇噸、驅逐艦一七隻、二四、六三六噸、潜水艦一六隻、九〇、一四噸、航空母艦一隻、一、三三五噸である。

【政治の動勢】 頻々たる内閣の更迭】 一九三一年四月の革命以來、首相の重任を帯びて新共和國の建設に努力して來たアルカラ・サモラ (Niceto Alcala Zamora) は一〇月一四日閣僚マニエル・アサナ陸相 (Manuel Azana) に内閣を託し、一先づ政權を去つたが、憲法議會が二月九日新共和國憲法を出席議員三六八名(缺席議員九八名)を以つて満場一致可決するに及び翌一〇日の議會に於ける大統領選舉にて歴史的多數で大統領に選出され、舊憲法下にあつたアザナ内閣も亦同一三日形式上辭職したが、即日再組閣を命ぜられた。尙スペインとしては憲法の制定は過去百十九箇年間に今回で六回目で、唯新憲法の特徴とする所は君主制憲法を廢して進歩的共和制のものになつたことである。斯くてアサナ内閣は左翼諸政黨の支持の下に進歩的政策を實施し、銳意共和制の確立に努力

したが、その後、三三年に至り内閣とザモラ大統領との間に意見の衝突を見、六月八日總辭職を執行したが、同月一日に再び全閣僚の留任を見たも、九月八日に至り地方選挙に破れて辭職するの止むなきに至つた。
この急進黨首領レル (Alejandro Lerroux Garcia) は穩和派を中心とし、社會黨を除く外は連立内閣を組織したも、一〇月三日に至り議會において社會黨提出の政府不信任案が一八九票對九一票にて通過せるため、直ちに辭職す。次で各黨の首領により四度新内閣組織が試みられたもいづれも失敗に終り、遂に急進黨のマルティネス・パリオス (Martinez Parias) は共和派九政黨を網羅して新内閣を組織するに成功し、この急進黨の勝利により議會の解散が斷行され、一月一九日總選挙行はる。然るに該選挙は最初の婦人投票を伴ふものであつたが、定數中百餘名は法定票數に満たなかつたので、之等は一二月三日再投票を行つた結果、議員總數四七二名中、右派二二名、中央派一六二名、左派九八名にして同八日共和國最初の通常議會が開かれた。當時極左分子が三日の再投票前後を狙つての暴動計畫露見し、政府は全國に互り民間武器を押し、未然に事を防いだが、その後尙バルセロナ、サラゴサ地方等に暴動あり、延いて全國的に一大騷擾を現出したので、新政府は之が鎮定を機として二月一六日總辭職し、再度急進黨首領レルの下に急進黨を基礎とする中央派及び右派の連立内閣が成立し、同月二〇日、二五五對五三の多數で議會の信任投票を得た。然るに右派内閣の出現に不満の極左派は再び策動を續け、三四年二月一二日には全國土木労働者三萬名が總罷業を行ひ、物情騒然たる中に、レル内閣は與黨カトリック行動大衆黨 (Catholic Action Popular

Party) の支持を失つた爲め、三月一日總辭職を行つたが、結局再組閣の命下り同三日新内閣を組織した。然して同内閣は左翼の騷擾に對し強硬な彈壓政策を以て臨み、三月七日以來全國に戒嚴令を施した。然も其後の形勢ではフアッシュの反對の労働争議は全土に擴大され險惡なる事態を續けてゐるうちに、四月二五日に至り三度辭職するの止む無きに至り、この同一政派の支持の下にリカルド・ゼムバー (Ricardo Sempere) は内閣を組織するに成功し、新内閣は二一七票對四七票の壓倒的優勢を以つて議會の信任を得た。然るにその後内閣は、カタロニア問題に端を發して議會の彈劾を受け、遂に一〇月一日にゼムバー内閣は總辭職をした。この急進黨の四度、急進黨の首領レル内閣はカトリック行動大衆黨より三名の閣員を得て組閣に成功し、現在に至る。
【カタロニア共和國の獨立と擄滅】 前述の如くカタロニア問題に端を發して一九三四年一〇月一日、ゼムバー聯立内閣が瓦解し、國內は非常に混亂し、共和國はプロレタリア獨裁に展開せんとした。この急進黨の首領レルに後繼内閣を委す。レルは中間急進黨を中心にして右翼カトリック農民黨を加へ、前首相リカルド・ゼムバーを外相とした。この保守的内閣の成立に對抗して社會黨系の労働組合は四日全國のゼネストを宣言す。四百名の組合員が檢束さる。セウイラ、バルセロナ地方に暴動が起る。六日には國都マドリッドにも暴動が生じ、市街戦が突發す。六日には漸くこれが鎮定に赴く。政府はこの騒動で死者三一名、重傷者四六名を出し、極左分子約千名を捕へ、六日には戒嚴令を布く。この急進黨の首領レル内閣はカトリック行動大衆黨 (Don Luis Companys) の

はアサナ前首相の援助の下に執政評議会の決議により、六日、カタロニア地方の獨立政府の建設を宣言す。六日は全市中猛烈なデモが敢行された。新大統領コンバニスは「スペイン聯邦カタロニア共和國の獨立」を民衆に宣し、バルセロナの法廷はすべて占領さる。

政府はこれに對し戰時状態を宣言し、七日早朝からバルセロナ政廳の砲撃を始め、遂に獨立軍は破れ、コンバニス大統領は政府軍に逮捕され、マドリッドに送らる。またアサナ前首相外多くのものが捕縛された。かくて獨立は僅か一日にて壊滅し、カタロニア青年黨は最も勇敢に戦つて敗れた。

八日にはマドリッドに更に暴動勃發、死傷多數を出す。市街戦は猛烈を極め、各労働組合は益々不穏となり、社會主義各派は反動打倒のため八日夜クーデターを斷行せんとしたが、政府は動員令を發し、全國鐵道従業員に對し二四時間の猶豫を與へ、出頭せざるものを嚴罰にするを宣す。またバルセロナ一帯の獨立運動は依然州内の各要地によつて政府軍に對戦す。セウイラ中心にゼネ・スト勃發す。死傷も甚だ多い。また北部オウイニドにもアストリア鐵山地帯に反亂起き、大いに政府軍と戦ふ。バスク地方にも暴動があり、モン・ドラホンは反軍に對し「絞首臺」を作つて對抗した。しかもこの左翼的大反亂も九日早朝になつて漸く鎮靜、スペイン臨時國會は同日午後再開す。次で満場一致、新内閣を認め、反亂に對する死刑を復活し、次期議會はスペインの平穩になるまで開會は延期されることになつた。

III 經濟

A 財政 植民地を領有してゐた時代においては、スペインの財政はこれ等の植民地から

最近の歳出入 (單位千ペセタ)

Table with 4 columns: Year, Income, Expenditure, Balance. Rows for 1930, 1931, 1932*, 1933*, 1934*.

註 *印は概算数とする。

經濟は急にその缺陷を暴露し、その財政も年々多額の歳入不足に苦しんで來た。然し一九二三年に至り、突如出現したプリモ・デ・リウヰエラ將軍の獨裁政府は銳意財政改革に努力した結果、一九二七年に至つて過去二〇年以來始めて收支の均衡を見ることが出來た。その後、多少の赤字は見ると、歳入歳出の状態は著しく改善せられ、健全の歩行を辿つてゐる。

【主要歳入】その歳入の主要なるものは直接税と間接税とであつて、兩者合して全體の六割以上を占めてゐる。次に重要なものは政府の獨占事業による歳入が一九三三年豫算には約十億

項目別歳入 (1933年度豫算)

Table with 2 columns: Item, Amount (Unit: Pesetas). Rows for Direct Tax, Indirect Tax, State Enterprise, National Assets Income, etc.

採取せる富の輸入に依り、極めて良好な状態を續けて來たが、これ等の植民地を失ふに及んで、スペインの

項目別歳出 (1933年度豫算)

Table with 2 columns: Item, Amount (Unit: Pesetas). Rows for Public Debt, Army, Navy, etc.

を占めてゐる。後述するが如くスペインの國債は二百億ペセタの巨額に上り、スペイン財政の痛である。公債費に次ぐものは土木事業費にして八億ペセタに上る。斯くの如く土木事業費が巨額に上つてゐるのは、歴代スペイン政府が民心を迎ふため鐵道の建設、道路の修築等盛んに土木事業を起して來たによる。その他、陸海軍費合計の約八億ペセタを主とし、内務行政費、教育費、年金費等が主要なるものである。

最近の公債

Table with 2 columns: Year, Amount (Unit: Pesetas). Rows for 1928, 1929, 1930.

のみが法貨として強制通用力を有してゐる。D 度量衡 一八五九年一月一日以來、スペインにおいてメートル法が正式に採用を見るに至つた。然しメートル法の外に次の舊スペインの度量衡が一般に使用されてゐる。

- (lbs. avoirdupois) リブラ (Libra) 一〇一四常衡ポンド
(酒類) アロバ 二・七五イギリス・ガロン (油類) スクエア・ヤード (Square Yard) 一・〇九ツァラ (Vara) 一ヤード
フアナガ (Fanega) 一・五イギリス・ブツシヤル

E 生産 【産業大觀】スペインの産業において歴史的役割を演じてゐるのは農業で、工業の發展は可成り貧弱である。即ち農業には人口の五六%以上が従事してゐて、農産物は全輸出の約六〇%を占めてゐる。然し農業は極めて低い技術的段階と、その結果の低い生産性を有する粗放的經營によつて行はれてゐる。この原因はその自然的條件に求められると同時に、今日にまでスペインにおいて維持されて來てゐる農地地主の封建的關係にもある。スペインの自然的條件は、多少の缺點はあるとしても、むしろ農業の發展に有利である。然しその土地の大部分は尅大な領地を有する少數の大地主の掌中に集中されてゐる現狀である。即ち六七%の耕地は二%の大地主によつて所有されてゐると同時に、乃至一〇ヘクタールの小土地を有する八六%の小地主は一三%の耕地を有してゐるに過ぎない。これに對する救済策として一九三二年九月一五日の共和國議會を通過した「一般土地改革法案」(General Land Reform Bill)によつ

主要原因は、歴代政府の財政放漫政策の結果にして國家の赤字財政を公債で賄つてゐた爲めである。

B 金融 スペインの中央銀行はスペイン銀行 (Bank of Spain) である。一九二一年一月二日末日を以つて同行と政府間との契約が終了し、一九二二年一月一日より新契約が有効となるに至つた。それに依れば政府は或る程度まで銀行の純利益金の分配に與ることが出來、その紙幣發行權は向ふ二十五ヶ年間、即ち一九四六年末まで延期せられた。そして銀行の資本金は一億五千萬ペセタより一億七千七百萬ペセタまで増額され、且つそれを二億五千萬ペセタまで増額することを許さる。一九三四年二月三日現在における同行は、金貨保有二、二六一、六三九、〇〇〇ペセタ、銀貨保有六五七、六七六、〇〇〇ペセタ、青銅貨保有二、二六〇、〇〇〇ペセタであるに反して、流通紙幣四、七九〇、六三九、〇〇〇ペセタに上る。

またスペインにおける一般貯蓄銀行の預金は一九三一年末において二、二四、七五二、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタに上る。政府の郵便貯金局は一九〇九年六月四日の法律によつて規定され、一九一六年三月二日に開設された。一九三一年末における郵便貯金は九二六、二七〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタに上る。また普通銀行の貯蓄部の貯金は七五〇、二七六、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタに上る。以上を合計せるスペインの全貯蓄預金は總計三、八〇一、二九八、〇〇〇、〇〇〇ペセタである。

C 貨幣 一八六六年より一九〇七年に至るスペインの貨幣發行高は、その額面高において、金貨一、一〇三、七〇五、〇三〇ペセタ、銀貨一、三三〇、五八九、八〇七ペセタである。一

最近の輸出入 (単位千ペセタ)

Table with 3 columns: Year (1928-1933), Imports, Exports.

大戦當時の輸入は...

主要取引国 (1932年度、単位金ペセタ)

Table with 3 columns: Country (UK, USA, France), Imports, Exports.

輸入品は...

【船舶】一九三三年四月三〇日現在における...

織機及び一九、四八九の編物機が使用されて...

種別輸出入貿易 (1932年度、単位金ペセタ)

Table with 3 columns: Category (Raw materials, Manufactures, Foodstuffs), Imports, Exports.

【主要貿易品】輸入品は製造品を第一とし...

【道路】一九三一年におけるスペインの各種...

て廣範圍に互る土地の強制的買上げに就いて...

作物別耕地 (1932年度)

Table with 3 columns: Crop (Wheat, Potatoes, etc.), Area, % of total.

主要農作物は小麦、大麦、燕麥、ライ麦、...

主要穀物産額 (1932年度)

Table with 3 columns: Crop (Wheat, Barley, etc.), Area, Production.

(Cwt. = hundred-weight = 120 pounds)

羊の飼養は盛んで、二千萬頭に行はれ、...

家畜飼養数 (1931年)

Table with 3 columns: Animal (Horses, Cattle, etc.), Number.

【水産業】スペインの漁業においては最も重...

主要礦物産額 (1931年度)

Table with 3 columns: Mineral (Iron, Coal, etc.), Quantity, Value.

【工業】鐵と石炭が多量に産出し、且つ利...

二八噸、帆船三四六隻、三九、八三四噸である。以上、スペイン所有の商船總噸数は一、二七八、六九二噸である。

【航空】共和国政府は航空路の免許を取消し、現在國家がマドリッド・バルセロナ間及びマドリッド・セウイラ間の二線を経営してゐる。

【郵便】郵便局は一九三一年において九、四〇〇局にして、収入一〇二、四七二、七五〇ペセタ、支出七五、三〇〇、八六五ペセタに上る。

【教育】最近の國勢調査(一九三〇年)の報告によれば、人口の四七、二二%は読み書きの能力を有し、そのうち、讀むことのみが出来るものは〇、九四%である。

【思想】スペインの熱情的民族性よりして思想は殆んど熱烈なる調子を有してゐる。

【美術】中世紀にはサラセン文化があり、東方的色彩を多分に表現す。コルドバのモスケと

Telephone and Telegraph Corporation of New York) とスペインの會社たる Compania Telefonica Nacional de España によつて經營されてゐる。

III 社會

古代よりの幾多の史的発展を遂げた國土は、今は全く疲弊して、民心は全く衰亡、消耗し、徒らに興奮を煽動的に勃發するために社會状態は全く危険である。

【階級運動】スペインの労働階級運動は一九世紀の中頃から始まつた。六〇年代に第一インターナショナルの支部には約十萬の會員が出來た。

【藝術】「音樂」一二世紀頃にプロヴンス地方にトルバドール(Troubadours)が流行し、こゝに獨りな南方音樂を創造した。

【美術】中世紀にはサラセン文化があり、東方的色彩を多分に表現す。コルドバのモスケと

一時この運動が中止さる。一九一七年に到り再びこれが俄然激化し、カタロニアにはソヴェエトが組織さる。

V 文化

【文化概観】スペインは古代ローマ時代から、中世紀のサラセン文化時代を経て、東方諸國文化の影響が極めて濃厚であつた。

【宗教】一九三一年一月九日發布の新共和國憲法により、スペイン共和國は何等の國

宮殿には典型的なるものがある。一三、一四世紀のアルハンブラの宮殿は、絢爛なること驚くべきものがある。

も少く、大陸性気候の代表的なものである。要するにスペインの気候は全體的に見て概して不良にして、その産業の振はざる一大原因を爲してゐる。

D 面積・人口 スペインの大陸面積は一九〇、〇五〇平方哩にして、バレアリック諸島(Balearic Islands)及びカナリア諸島(Canary Islands)を含める総面積は一九六、六〇七平方哩に上る。一九三二年末におけるその概算人口は二四、〇二二、四三〇人にして、人口密度は不生産地が多いため概して小で、一二・一人である。従つてスペインの人口密度は他のヨーロッパ諸

人口の増加 (國勢調査による)

Table with 3 columns: Year, Total Population, Annual Increase Rate. Data for 1887, 1900, 1910, 1920, 1930.

國に比較する時極めて小にしてフランスの半ば以下で、殊に山地に粗にして北部及び南部に密である。

E 住民 スペインの先住民はケルト系のイベリア族(Iberians)で、石器時代に既に北アフリカより移住して来たが、同系のゴール人が移住して来てこれと混血した。その後、ラティン系のフェニキア人、ギリシア人、カルタゴ人、ローマ人等が多くこの地に植民し、その支配的住民となるに至つた。これと同時に北方よりチュートン族が南下して来たり、次でアラビア族がアフリカより侵入して来て、これ等の各民族が混血して現在のスペイン人及びポルトガル人を形成してゐる。従つてスペイン人はポルトガル人と同一系統にして、ポルトガル人より極めてラティン民族の血が多く流れてゐる。

F 移民 スペインはイタリアに次いでヨーロッパにおける移民國である。そもそもスペインの國內産業(主として農業)は一部の特権階級に利益を集中せられて、發展の餘地少く、二四四萬の人口を養ふに充分といふことは出来なない。従つてスペイン人は好んで新天地を海外に求めて盛んに移住する。アルゼンチン、キューバ、ブラジル、ウルグアイ、メキシコ等に移住する。その上、これ等の諸國は嘗てスペイン領の一部であつたために、言語、風俗、習慣等すべてスペインと等しく、種々の便宜が多く、且つ本國に於けるより経済的に希望があるため盛んに移民するのである。スペインにおいてこれ等移民の途金とその國際貸借決済に一大役割を演じてゐるのを見て、如何に移民が盛に行はれて来たか明かである。

最近の移民数

Table with 4 columns: Year, Male, Female, Total. Data for 1929, 1930, 1931, 1932.

G 植民地 スペインは嘗て廣大な植民地に侵略し、八六二年ノルマンの酋長ルーリックはスラヴを征服、ノヴゴロドに都を定め、ロシアの基礎を作る。その末裔が益々盛んとなり、スラヴ地方を大いに侵略し、キエフに首都を建て、九八八年キエフの大公ウラヂミールはキリスト教に改宗、東ローマ文化を移植し、全領土を四子に分配し、キエフが中心となる。東ローマ帝國滅亡後は、イヴァン三世(一四六二—一五〇五年)は自らその帝國の後継なりと稱し、一四八〇年キプチャク汗國を敗り、ロシアを統一するに至る。イヴァン四世(一五三三—一五八四年)に至り初めて皇帝(ツァール)の稱號を用ひ、「雷帝」と稱せり。なほコサックのイェルマクはオビ河以東にまで侵略し、ハンザ同盟の都市ノヴゴロドを平定す。ボリス・ゴドノフの治世に一六〇三年、デメトリウス一世はイヴァン四世の孫と自稱し、遂にコザックとポーランドの背景によつて帝位を篡奪す。以來國內は紛亂に陥り、國力もまた衰退す。

ソヴェート・ロシア

CCCP 蘇 Russia (U.S.S.R. or Union of Socialist Soviet Republics) 獨 Russia (U.R.S.S. or Union der Sozialist. S. wietepubliken) 佛 Russie (U.R.S.S. ou Union Republicque Socialist Soviétique)

社會主義共和國

I 歴史概観

一、上古史 トルキスタン地方に紀元前五千年前の原始文化の遺跡が最近発見され、また小アジア、中央アジア西方は人類起源の發祥地と稱せられる地方である。併しそれにはなほ幾多の研究と考古學の發達を必要とする。これ以後は全く文化斷絶して人口稀薄となり、その土地は未開のままに遺棄されてゐた。

二、スラヴ民族の起源 スラヴの民族的起源は約紀元二世紀にまで遡ることが可能である。カルパティア山脈の北方に集團を作つて、その緩慢な斜面がスラヴ民族の居住地であつた。この時代は部族の生活をなし、この地方を出て、ドニエプル沿岸地方にまで植民し、多くの市場を作り、小都を造營し、また民選議會を作り、それ等は相互に平和なる交渉をなしてゐた。併しこの平和なる生活は蒙古人、トルコ人、ウァリヤ人等の侵入によつて破壊された。斯くてその後、この地方は土地が豊沃で生活に良好なるために諸民族の侵入の目的地となつた。その結果、征服、被征服の階級、民族闘争が行はれ、文化は殆んど發達することが少かつた。

三、中世紀 九世紀頃になつても依然ヨーロッパ・ロシアは人口僅少であり、スラヴ諸族はフィンランドの住民を壓迫し、これを聯合す。なほスウェーデンのノルマン人が東ローマ帝國

に侵略し、八六二年ノルマンの酋長ルーリックはスラヴを征服、ノヴゴロドに都を定め、ロシアの基礎を作る。その末裔が益々盛んとなり、スラヴ地方を大いに侵略し、キエフに首都を建て、九八八年キエフの大公ウラヂミールはキリスト教に改宗、東ローマ文化を移植し、全領土を四子に分配し、キエフが中心となる。東ローマ帝國滅亡後は、イヴァン三世(一四六二—一五〇五年)は自らその帝國の後継なりと稱し、一四八〇年キプチャク汗國を敗り、ロシアを統一するに至る。イヴァン四世(一五三三—一五八四年)に至り初めて皇帝(ツァール)の稱號を用ひ、「雷帝」と稱せり。なほコサックのイェルマクはオビ河以東にまで侵略し、ハンザ同盟の都市ノヴゴロドを平定す。ボリス・ゴドノフの治世に一六〇三年、デメトリウス一世はイヴァン四世の孫と自稱し、遂にコザックとポーランドの背景によつて帝位を篡奪す。以來國內は紛亂に陥り、國力もまた衰退す。

帝國であつたが、英、佛、獨、米の諸資本主義列強の勃興と共にその大部分を奪はれ、或は獨立を見、現在では別表の如く、アフリカに面積十二萬平方哩、人口七十四萬に上る植民地を領有するに過ぎない。(各植民地に就いてはそれぞれ獨立植民地として取扱はれてゐるから、詳しくはその項を参照)

各植民地別面積・人口

Table with 3 columns: Territory, Area (square miles), Estimated Population. Data for Rio de Oro and Adrar, Ifni, Spanish Guinea, Fernando Po, Annobon, Corisco, Great Elobey, Little Elobey, Spanish Morocco, Total.

H 主要都市 スペインにおける人口十萬以上の主要都市は一九三二年一月三十一日の概算によれば次の十市を數へる。バルセロナ(Barycelona)一、〇四一、八六五人。首府マドリッド(Madrid)一九九三、六四六人。ヴァレンシア(Valencia)一三三、四二九人。セウイラ(Sevilla)一三三、三九三人。マラガ(Malaga)一八九五、二八一人。サラゴサ(Zaragoza)一八〇、〇七五人。ビルバオ(Bilbao)一六八、〇七五人。ミユルシア(Murcia)一六二、二五一人。グラナダ(Granada)一一二、一六〇人。コルドバ(Cordoba)一〇九、〇六八人。

位一八五五—一八八一年)立ち、自由主義を探り、ツルゲネーフの「獵人記」に見る農奴解放運動は益々積極化し、遂に一八六一年農奴は解放され、六三年には自由主義的な大命令が發布され、六四年には司法権が確立、六六年には地方自治が行はれたが、却つて社会主義思想が大いに盛んとなり、バクーニンのアナキズム、ゲルツェンの社会運動となり、ツルゲネーフ、ドストイェフスキ等に見る社会思想が益々猛烈となつた。一八六六年四月一日、カラマゾフなる青年がアレキサンドル二世を暗殺せんとし、以後、帝の態度は一變して全く保守弾壓の強行政治となり、こゝにロシア思想は二分して、一はザイバドニキ(西歐派)、一はナロードニキ(農民派)として相対立し、かくてロシアのインテリゲンツィヤの時代となり、プロレタリアートの問題は漸くその社会の中心的位置に迫つた。また帝の晩年の弾壓主義は愈々この反抗運動を激化し、遂に一八八一年、盧無黨員により暗殺される。

七、マルクス主義の發達 アレキサンドル三世即位(在位一八八一年—一九〇四年)し、ニコラス一世の保守政策を實行し、地方自治を廢止、自由大學令の禁止、バルト海邊に大ロシア政策を實施す。チエホフの小説に見るニヒリズムの時代の傾向を示す。一方マルクス主義はプロレタリアートに移植され、メンシエヴィキとボルシェヴィキの運動が發生す。次にニコラス二世(在位一八九四—一九一七年)立ち、その政策は一変せず、ロシアの社会情勢は益々沈鬱となる。

八、日露戦争 その極東征略は遂に一九〇四年の日露戦争となる。然もこの遠征に敗れ、専制政治の腐敗が暴露し、国内紛亂し、レーニン等の革命(一九〇五年)が勃發、冬宮の大虐殺を見る。斯くて同年憲法を發布、國會を開催、民衆の緩和を計ると同時に革命運動に非常な弾壓を加ふ。なほバルカンに對する野心を捨てず、またロシア資本主義の發達は階級闘争を急激化した。

II 政治

A 政治機構

1. 社会主義體制 十月革命による舊ロシア帝國の崩壊と共に、その領土内の幾多の民族は、従来の支配階級の羈絆より脱して、各々その集團生活の領域において自治國家の形成に努めた。而してその中、既に共産黨員の勢力強きものは共産主義によつてソヴェート國家を形成し、しからざるものは所謂資本主義的共和國を形成するに至つた。ロシア、ウクライナ、白露、高加索の各ソヴェート共和國は前者であり、ポーランド、エストニア、リトアニア、ラトビア、フィンランドの諸國は後者である。

共産黨の主動の下に成立した民族共和國は、民族自治を基調とするソヴェート國家組織であつたが、歐洲戦争及び国内戦争のためにその國民經濟は極度に疲弊し、これを圍繞せる資本主義諸國に對して、完全なる獨立を保し難きに到り、こゝに、資本主義國家に對する共同戦争を張り、世界唯一の社会主義社會實現のために、各共和國間に條約を締結し、次いで一九二二年一月三〇日に至り、聯邦組織の一國家を結成し、「ソヴェート社会主義共和國聯邦」(Union of Socialist Soviet Republics)と稱するものになつた。

當時聯邦に加入した共和國は、(一)ロシア社会主義聯邦ソヴェート共和國(Russia S.F.S.R.)、(二)ウクライナ社会主義聯邦ソヴェート共和國(Ukrainian S.S.R.)、(三)白ロシア社会主義聯邦ソヴェート共和國(White Russian S.S.R.)、(四)トランスコーカシア社会主義聯邦ソヴェート共和國(Transcaucasian S.F.S.R.)の四ヶ國であり、その後一九二四年二月新たに、(五)トルコマン社会

主義ソヴェート共和國(Turkoman S.S.R.)、(六)ウズベック社会主義ソヴェート共和國(Uzbek S.S.R.)の二共和國成立し、翌一九二五年三月聯邦に加入す。更に一九二九年従來ウズベック共和國の一部が獨立共和國を形成し、(七)タジク社会主義ソヴェート共和國(Tajik S.S.R.)として聯邦に加入し、現在ソヴェート聯邦を形成する共和國は右の七共和國である。

以上の七共和國より成るソヴェート社会主義共和國聯邦は、加盟共和國間の條約に、對外的に一國家を形成し、モスクワに中央政府を設けて、各加盟共和國をその統制下に置いてゐる。しかしながら、各共和國は、そのために、その主權と獨立を侵害せらるゝことなく、憲法によつて、聯邦脫退の自由さえ認められてゐる。

而して各加盟共和國の中には、幾つかの自治共和國と自治州とを含んでゐるが、これは、その共和国内の小民族が、當該共和國中央政府の支持のもとに自治制を獲得してゐるものであつて、完全な獨立國として存するものではない。

【ロシア社会主義聯邦ソヴェート共和國】 同共和國の憲法は第五回全露ソヴェート會議によつて採擇せられ、その原文は、一九一八年七月九日に公布され、その後これが敷衍せられてゐるが、これが、聯邦の他の國々の憲法のモデルとされてゐる。その憲法に従へば、これは共和國の「基本的法律」だと宣言されてゐるが、ロシアは、労働者・兵士・農民の代表者のソヴェート(會議)よりなる共和國であり、すべての中央並に地方權力は、これらのソヴェートに附與されるものであると言ふ。土地の私有は廢棄され、あらゆる土地は、人民の共通財産となり、すべての森林・礦山・水力は國家的な重要性を持ち、すべての家畜、什器、模範的財産、農業關係のものは、國家の財産である。國家が、すべ

し、戰時共産體は漸くその世界革命主義より一國社会主義建設の必要を知るに至つた。特に二一年の凶作は益々經濟的貧困を深刻化した。遂にレーニンはこゝに新經濟政策を斷行し、國內の經濟的安定を實現せんとした。レーニンが二四年に死し、以後スターリンは一層この方針を積極化し、そのために世界革命主義を棄するトロッキ等の急進派との對立を見た。尙レーニンの農村電化、技術の進歩を實現するために國家經濟を資本主義的に増大せんとし、復興經濟を極度に要求するに至り、かくて都市のネップマンの出現と強化を必然ならしめた。尙技術上の著しき進展は益々經濟力の増大を來し、こゝに更に此方向における計畫經濟の展開となつた。

一、五ヶ年計畫 第一五回大會(二七年)以後、國民經濟大いに増進し、遂に一六回大會において二九年四月、五ヶ年計畫は採用されるに至つた。一般はその實現を甚だ危んだにも拘らず併し豫定計畫以上の好成绩を示し、一九三〇年には戰前の生産額の二倍に達した。また農村のソホーズ、コルホーズの展開は更に積極化し、一九三〇年には、重要な穀物生産地方の四〇乃至五〇%まで集團經營が確立せられた。かくて豫定五ヶ年を四ヶ年に、またドニエープロイの世界第一の大水力發電所も完成せられた。ゴスプランによる社会主義建設は更に第二の五ヶ年計畫を實行し、プロレタリアート獨裁の展開は農民との問題を集團化的方法で次第に解決しまたアメリカとの通商復活等はソヴェートの經濟力を眞に強力ならしめんとしてゐる。なほ一九三四—三五年には國際聯盟に加入、ナチスの勃興に對するソ佛同盟の締結、また國內のトロツキイ主義の反亂及び幹部キーロフの暗殺、等々なほ幾多の困難を前途に豫期せしめつゝも、外に内に大躍進を遂げつゝある。

ロシア社会主義聯邦ソヴェート共和國は、すべてのロシア労働大衆の自由なる社会主義者の社會である。信仰・言論・印刷・集會の自由は憲法によつて保證されてゐる。革命にて獲得せるものを防衛せんがために國民はすべて軍務に服する義務がある。しかしながら、軍隊に入つて革命の防衛をなすことは、労働者階級にのみ限定されてゐる。住民のうち、労働せずして生活せるものは、他の軍務に服することになつてゐる。ロシア市民としての政治的諸權利は、労働の目的をもつてロシア共和國領土内に在住する外人に對しても、なんらの手續もなく許されてゐる。

國家の最上權力は、全露ソヴェート會議に屬するものであつて、これは選舉人二五、〇〇〇人に一人の割合で選出される都市ソヴェートの代表と、人口一、二五、〇〇〇人に一人の割合で選出される地方會議の代表とからなつてゐる。この會議は、全露中央執行委員を選出するのであるが、これは四〇〇名よりなり、共和國の立法、行政、管理の最高の主體をなし、四ヶ月一回以上の集會をなし、時事問題は、常任委員によつて處理される。

選舉權は、宗教、民族、住居、性、等々の相違を問はず、すべての市民にして一八歳以上、生産労働乃至陸海軍の兵士(指揮官をも含む)となつて自らの生活費を獲てゐるものには全部與へられてゐる。

選舉權を剝奪されてゐる階級は、利潤を目的として他人を雇はせるもの、労働によらざる收入によりて生活せるもの、あらゆる宗教の僧侶

及び司祭、舊官憲の代理者並に被備者、舊朝廷員、低能者及び被後見者、刑事裁判所によりて市民権を剥奪せられたるもの、等々である。

しかしながら、最近の法令によれば、賃銀労働者を雇ふ人々、乃至、労働によらざる収入或ひは貿易に従事することによつて生活する人々も、地方選挙委員会によつて、選挙権を與へられ得ることになつてゐるが、但し、それも、彼等が、地方工場委員会、地方労働團體、地方産業組合よりの證明書を提出し得て、選挙當時において、當該個人が、自らの労働による収入によつて生活し、他人の労働を搾取し居らざる證明の立つ時に限られてゐる。

農業に従事し、聯邦共和國憲法の農業の條項に明記されてゐる限度内において賃銀労働者を備へる人々も、若し彼等に別に不都合な點がなければその選挙権を剥奪することなし。同様に、労働者貯蓄銀行の預金の利子を受けるもの、又は、政府及び市の公債の利子を受けるもの、他に不都合な點がなければ、亦選挙権を與へられる。

憲法の中には、又、村落及び都市における地方ソヴェート並びに毎月開催される諸地方の諸會議による地方行政のための條項をも設けてゐる。各會議は、各々執行委員を選出し、これが次會議開催までそれぞれの行政に當る。

2. 聯邦ソヴェート大會 ソヴェート聯邦の最高權力機關として聯邦ソヴェート大會(All-Union Congress of Soviets)が設けられた。同大會は二ヶ年間に一回開催され、都市ソヴェート及び州(地方)ソヴェート大會の選出代表員よりなる。都市ソヴェート代表は、當該都市選挙権者數二千五百人につき一人の割、州ソヴェート代表は、當該人口一二五千人につき一人の割合で選出される。州を有せざる共和國は當該共和

第二に屬するも、聯邦人民委員部は、單一人民委員部と稱せられ、第三に屬するものは、總括人民委員部と稱せられてゐる。

【現聯邦人民委員部の構成】 現聯邦人民委員部はモロトフを議長として一九三〇年一月二五日に組織されたものにして、一九三一年三月一八日、再選出を見たものである。各委員の顔は次の如し。

- 議長 モロトフ (V. M. Molotov)
- 副議長 ルスタク (J. E. Rudantak)
- アンドレーエフ (A. A. Andreyev)
- クイブシエフ (V. V. Kuibyshev)
- 外務人民委員 リトヴィノフ (M. M. Litvinov)
- 陸海軍人民委員 ウオロシロフ (K. E. Voroshilov)
- 國內供給人民委員 ウエイツェル (L. V. Vainikova)
- 外國貿易人民委員 ローゼンマン (A. B. Rosenfeld)
- 食料工業人民委員 ミローニン (A. I. Mikoyan)
- 交通人民委員 アンドレーエフ (副議長兼任)
- 水運人民委員 パホモフ (N. I. Pakhomov)
- 通信人民委員 ルイコフ (A. I. Rykov)
- 勞農檢察委員會議長 クイブシエフ (副議長兼任)
- 重工業人民委員 オルザホニキゼ (G. K. Ordzhonikidze)
- 輕工業人民委員 リニヒョーキン (I. E. Likhonin)
- 織維工業人民委員 ロゴフ (S. S. Logov)
- 農業人民委員 チェルノフ (M. A. Chernov)

和國ソヴェート大會から直接選出される。

聯邦ソヴェート大會は、聯邦中央執行委員部の選任、聯邦の根本問題に關する政府の報告聴取、政策及び立法の根本方針の決議、總括的命令の制定などを任務とするが、中央委員部、その他の機關が存在するため、事實上は國家の根本方針を指示するに止まる機關となつてゐる。

3. 聯邦中央執行委員部 この中央執行委員部 (Central Executive Committee) は、聯邦ソヴェート大會の閉會期中、年三回以上召集される聯邦の立法・執行・行政の最高機關で、聯邦會議 (Council of the Union) と民族會議 (Council of Nationalities) とより構成せらる。

a. 聯邦會議—聯邦ソヴェート大會の席上、各加盟共和國代表者中より、各共和國の人口に比例して選出される。一九三一年五月現在における總員は四六九名に上る。

b. 民族會議—少數民族の權利擁護のため、聯邦内のあらゆる民族の代表者を組織し、各加盟共和國代表五名、各自治共和國代表五名、各自治州代表一名よりなり、議員は聯邦ソヴェート大會の承認を必要とする。一九三一年五月現在における總員は一三八名である。

すべの法律は、この二院を通過するを要するものである。議長は、加盟七共和國より各一名宛選出され、交互に其の職に當り、尙、議長資格は、次に述べる聯邦中央執行委員部幹部の會員たるを要するものである。

- 【聯邦中央執行委員會議長】
- ロシヤ (R. S. F. S. R.) 選出—カリーニン (Mikhail I. Kalinin)
- ウクライナ (U. S. S. R.) 選出—ペトロウスキー (G. I. Petrovsky)
- 白ロシア (W. R. S. S. R.) 選出—チェルウィアコフ (A. G. Chervikov)

内務人民委員 ヤエダ (G. G. Yagoda)

國營農場人民委員 ユルキン (Tikhon Yurkin)

財政人民委員 グリニコ (G. I. Grinko)

國家計畫委員會議長 メスローク (V. I. Mezlov)

同時に、共和國の検事總長及び國家保安部の議長も、この委員會に参加する權利を有す。尙、人民委員會に附屬せる主なる機關に、労働・國防會議 (Council of Labour and Defense)、實施委員會 (Council of Labour and Defense)、労働・國防最高裁判所がある。

【労働・國防會議】 ソ聯邦の國民經濟の大綱並に國防方策の考究決定に任ずる機關で、議長は聯邦人民委員會議長が兼務する。

【實施委員會】 一九三〇年一月二四日の布告により、人民委員會附屬の機關として新たに設けられたもので、社會主義構成に對する政府の諸指令の實施並に政府機關の活動を遂行せしめ、その遂行状態を監視し、その實績を検討する機關である。

議長—モロトフ (聯邦人民委員會議長兼任)

【合同國家保安部】 フロレタリアの無産階級社會建設の過渡期にあるソ聯邦は、國內殘存資本主義分子の陰謀と反抗を彈壓し、これら反革命分子に對する資本主義的諸國の援助を防止するために、組織された武裝組織の警察機關であつて、その活動は未だ公式に發表されたことなく、その正確なる組織を知るを得ない。

【聯邦首府】 モスコ (Moscow) 一九三三年の人口二、七八一、三〇〇人。

B 司法

1. 總説 裁判所組織の基礎は、全ソヴェート聯邦を通じて同じであるが、各共和國の憲

トランスコーカシア (T. S. F. S. R.) 選出—ムサベコフ (G. Musabekov)

トルコマン (Turkoman S. S. R.) 選出—アイトコフ (N. Aitkov)

ウズベック (Uzbek S. S. R.) 選出—ホヂヤエフ (F. Hodiyev)

タジク (Tajik S. S. R.) 選出—ヌスラツラ (M. Nusratulla)

4. 聯邦中央執行委員部幹部會 上記ソ聯邦の最高機關たる聯邦ソヴェート大會並に之に代行する中央執行委員部は、何れもその召集開會期間短期なるため、これに代つて最高機關の實權を掌握するが、この中央執行委員部幹部會 (Presidium, or Standing Committee) である。

幹部會委員も亦全民族の平等を考慮して、その定員二七名のうち、前記聯邦會議、民族會議の兩院より各九名を選出し、兩院共同にて九名を選出する。尙、本幹部會議長は、中央執行委員會議長これを兼任する。

5. 聯邦人民委員部 聯邦人民委員部 (Union Council of People's Commissars) は聯邦憲法に基いて、聯邦中央執行委員部が組織する國家行政の直接機關であり、所謂内閣に相當するもので、その議長及び議長代理並に各委員は、中央執行委員部これを選任する。

ソ聯邦特種の國家組織の下に、各加盟共和國は、行政權の一部を全然自國に保留し、或る部分を悉く聯邦に委任し、又或る部分に關しては、其の總括的統制と指導權を聯邦に委任し、單に直接事務だけを自ら掌つてゐる。

かくして、この聯邦人民委員部にあつても、これが三種に分けて考へることが出来、その第一は、聯邦に存在せず、第二は、聯邦人民委員部のみ設置され、第三は、聯邦にも加盟共和國にも設けられてゐるものこれである。而して

法は、種々の變更をなし、法の適用に對して、各國自らの法則を作り得る權利を有してゐる。社會主義ソヴェート共和國聯邦最高裁判所が、首位にあり、各聯邦共和國の監督機關となつてゐる。

一九二四年一月二九日における社會主義ソヴェート共和國聯邦の中央執行委員部によつてなされた宣言によれば、社會主義ソヴェート共和國聯邦の裁判所組織の基本的目的はプロレタリア革命の勝利を保護し、勞農政府と、この政府の規定した諸法律の防衛にあると言ふ。

大體においては、各共和國間に存する法律と其の適用の相違は、甚だ僅少である。それ故、ロシア社會主義聯邦ソヴェート共和國の法律組織を例として説明すれば、他の聯邦共和國のそれも、ほゞ知られるわけである。

2. R. S. F. S. R. の裁判所組織 ロシア社會主義ソヴェート共和國の裁判所は、人民裁判所 (People's Courts) と特別裁判所 (Special Courts) との二つに分けられてゐる。

【人民裁判所】 同裁判所は人民判事 (People's Judge) と二名の陪審官 (Assessor) よりなり、彼等の職務は、主として民事刑事の第一審をなすにあり、そのうち、重要なものは、地方裁判所 (Regional Court) にて行はれ、尙重要なものは、最高裁判所 (Supreme Court) に廻付される。地方裁判所は、人民裁判所の活動を監督し、同時に、人民裁判所の判決に對する控訴裁判所として活動す。最高裁判所は、この共和國内の全裁判所の監督をなし、地方裁判所の控訴判廷となつてゐる。

人民裁判所の判事及び地方裁判所の所長並に所員は、任期一ヶ年にして、地方執行委員部によつて、選挙権を有すると同時に公的・法的業務に對する必要な資質を有するもの、中より選

出される。人民陪審官は、義務として一ケ年に六日、選挙人名簿より、田圃地方・産業的企業・軍隊の中にあるものが召集される。地方裁判所の陪審官は、共和国の中央執行委員によって決定される。【特別裁判所】人民裁判所の他に、次のやうな五つの特別裁判所がある。

- (a) 人民裁判所労働部 (Labour Section of the People's Court)
(b) 農村委員 (Rural Commissions)
(c) 仲裁委員会 (Arbitration Committees)
(d) 軍事裁判所 (Military Tribunals)
(e) 懲戒裁判所 (Disciplinary Courts)

あり、共和国の検事総長に直屬してゐる。検事の任務は、すべての國家機關によつてなされる法の適用を監督するにある。

C 地方行政

帝政ロシア時代の縣・郡・村の地方行政體系は、ソヴェート政府成立と共に、その變更が問題となり、その根本方針として、經濟的、地方的、即ち主として當該地方の經濟的、産業的發展を考慮して、これを行政區劃に反映せしめ、行政的、自治行政に參與練達せしめるにありとなし、政府はこの方針によつて先づ國家計畫委員會に立案せしめ、後特に中央執行委員會附屬機關として行政區劃委員會を新設、一九二六年に至り州(又は地方)・管區・區・村の新地方行政區劃を決定したが、一九三〇年一月管區は廢せられ、現在の地方行政體系は、「州(オブラスト)」「村」或は「地方」(タライ)、「區」(ライオン)、「村」(セロ)の三種となつてゐる。

D 政黨

1. 共產黨獨裁 ソヴェート聯邦における政黨は、單一絶対的指導者として、全聯邦共產黨が存するだけである。聯邦内における地方中央を

一九三〇年四月一日 一、七三一、五九八
一九三〇年七月一日 一、八四二、一六〇
一九三二年七月一日 三、一三〇、〇〇〇
この數字において、一九二〇年より二二二二にかけて黨員の減少を見たのは、所謂「清黨運動」の結果であり、一九二五年に黨員の激増を見たのは、その前年の一月レーニンの死後「レーニン記念召集」をなし、廣く労働者階級に黨の門戸を開放したためである。

職業別黨員百分比

Table with 5 columns: 月日現在, 労働者, 農民, 勤務員, その他, 計. Rows for years 1928, 1929, 1930, 1930*, 1932.

註 *印は4月1日現在の統計を示す。

3. 黨指導者 共產黨の中央指導機關は前述の中央委員會にして、その一局を構成する政治局(Political Bureau)は一〇名の委員と三名の補助委員とより成り、黨の最高權力を有し最高指導方針を決定する。中央委員會の半数以上の委員はソヴェート政府に重要位置を占め、就中現在の聯邦人民委員會(内閣)の一七メムバー中一一メムバー、第三インターナショナルの執行委員會において八メムバー等が主なるものである。これ等の指導者のうち黨書記長スターリンは個人的に最も強大な影響力を有してゐる。

【黨政治局指導者】 以下に列挙する一〇名の委員を以つて現在の全聯邦共產黨中央委員會の政治局が構成され、ソヴェート聯邦の事實上の支配的位置を占めてゐる。
スターリン (Joseph Stalin) — 共產黨中央委員會書記長、第三インターナショナル執行委員會委員、聯邦中央執行委員會委員、労働・國防會議議員、一九二八年開催の第三インターナショナル第六回大會黨代表。

共和國別黨員數 (1930年7月現在)

Table with 3 columns: 黨員數, その中割合, 人. Rows for Ukraine, White Russia, Caucasus, Tajikistan, Turcoman, and Total.

註 最後のソ聯邦總計のうちにはロシア社會主義聯邦ソヴェート共和國をも含む

グリニコ (Grinko) — 財政人民委員、労働国防會議議員。
カルマンヴィッチ (Kalmnovitch) — ソ聯邦國立銀行理事局長、聯邦中央執行委員、財政人民委員次席。

政治警察 G. P. U の長官、黨中央委員、聯邦中央執行委員。
ミコヤン (Mikoyan) — 食料工業人民委員、前國家供給人民委員、黨政治局補助委員、第三インターナショナル第六回大會黨代表、聯邦中央執行委員、労働・國防會議議員。

ソヴェート共和國中執行委員會議長、黨政治局補助委員、第三インターナショナル第五回大會黨代表。
ローゼンゴルト (Rozenholz) — 外國貿易人民委員、黨中央統制委員會委員。

ルズタク (Ruzhnik) — 黨中央統制委員會會議長、聯邦人民委員會副議長、労働・國防會議副議長、第三インターナショナル第六回大會黨代表。
リイコフ (Rykov) — 通信人民委員、黨中央委員會委員。

シワルツ (Schwartz) — 工夫組合長、労働・組合中央會議議員、黨中央委員會委員。
スミルノフ (Smirnov) — 前黨中央委員會書記、聯邦中央執行委員、第三インターナショナル第六回大會黨代表。

不安なる争闘の裡にあるうち、獨りソヴェート・ロシアのみは平和主義を孤守してゐる。帝國主義的資本主義諸國はファシズム的方向をとりながら、その内的矛盾は愈々増大してゐる。またドイツのナチスは國家社會主義と云ひながら全く社會主義の一原子をも見出すことは困難である。國際政局の動向は新たな帝國主義戦争に傾いてゐる。しかも来るべき帝國主義戦争は革命を誘致し、資本主義なるものゝ存在を否定するであらう。なほブルジョア諸國の戦争計畫は眞に笑ふべき愚かなることである。なほソヴェート聯邦とアメリカとの間に正常關係が確立したことは、國際關係の全體系に最大の重要性を有するものである。なほ日ソ關係につき、不可侵條約の締結は日本政府もソヴェート聯邦に劣らざる必要とするところである。北鐵問題、東支鐵道、ソ従業員の拘束問題等は外交關係の円滑でない表現であり、ソヴェート聯邦は終始平和政策にて日ソ兩國關係の改善を努力しなければならぬ。われ等の外交政策は、平和を維持し凡ての國家との通商關係を確立する政策である。

3. 對日外交政策
スターリンに次いで陸海軍人民委員ウオロシロフが「極東の危機」の切迫を説く。「日本は世界市場における軍需品、軍需工業用原料の主要買入國であると同時に、日本の國內における戦争に對する政治的準備が支那に對する場合よりも大規模に進められてゐる。日本は軍事的、經濟的基礎に基いて軍隊の再組織再軍備、増兵を行つて居り、最近には滿洲にその練兵場を準備するに至つた。滿洲は日本の最も鞏固な根據地と轉化しつつある。日本帝國主義者が極めて危険であり且つ困難な戦争を始めることに決心したならば、彼等は凡ゆるものを賭して之を開始するであらう。然し周知の如く我々は海陸何れよりするも他を

ツイクホン (Tikhon) — 黨中央委員會委員、聯邦中央執行委員。
ヤコフレフ (Yakovlev) — 前農業人民委員、聯邦中央執行委員、黨中央執行委員、労働・國防會議議員。
エヌキチエ (Yenukidze) — 聯邦中央執行委員書記。

E 外 交

1. ソヴェート外交の基調
一九一七年一月七日、所謂「十月革命」によつて、ボルシェヴィキが政權を握ると共に、その對外政策は「即時媾和」「民族自決」「舊債放棄」等の宣言に見られる如く、國際的協調破壞にその努力を向け、社會主義ソヴェート共和國が帝國主義諸國と相並んで永久的に存続することは考へ得べからざるものとなし、必然にこれは世界革命へと導かれなければならぬものとして、ソヴェート共和國の成立と資本主義諸國との關係を、一時的な休戰的對立と見做した。

ソヴェート對外政策の本質が、政權そのもの存続と世界革命の實現にあることは明かであるが、急速に實現すべしと考へた西歐の革命化は失敗し、對ボヘミアン革命戦争の敗北と共に、戰時共產主義時代は終つて、一歩退却したかに見える所謂「新經濟政策」時代となり（一九二一年—二七年）、對西歐經濟關係は次第に復活の徴を示すと共に、一方では、東洋における革命工作の積極的強化となつて現はれ、支那におけるボロツシンの活躍の如きがそれであるが、西歐にあつては、ソ聯邦並に資本主義諸國共に、ソ聯邦の經濟的復興こそ、同時に西歐經濟復活の有力なる手段と考へるに至り、資本主義諸國は新經濟政策への移行に樂觀し、こゝに西歐諸國對ソ聯邦の經濟關係は、略々順調に發展する時代

攻撃せんとする意思は無い。我々は單に我々の海岸、國境を防備せんと欲するものである。（日ソ外交關係に就いては日本の「外交」の項及びカレント・トビツクス篇を、また北鐵譲渡に就いては滿洲國の「政治的動勢」の項を参照。）

4. 對蒙古關係
三四年七月二四日、カラハンはクローンにおいて施行された蒙古共和國建國十週年記念式典にロシア政府を代表して参列、「蒙古共和國は政府、黨及び人民の團結が完成し、文化、藝術の異常なる發達と近代の軍事技術の修得により國防及び文化の中心勢力たる蒙古赤軍の組織に成功した」と絶讃し、ソ蒙關係の親善を強調す。なほ日本の外蒙古進出に關する抗爭のためにカラハンは隨員中に多數の陸軍高官を同伴したと云はる。またソ聯は三三年以來、西部外蒙烏梁海ラブト地方における棉の試培に成功し、三五年製糖工場を建設、棉花を買取、ロシア技術の下に大規模の製糖を開始せんとしてゐる。この他にも製薬、製鹽の諸事業を確立せんとしてゐる。

5. 聯盟加入問題
十五回總會の近づくと共に加入問題が積極化し、特にソ聯駐佛代理大使は三四年八月一六日パリの國際聯盟協力的協力協會にロシアが加入する旨を右總裁でリオン市長たるエリオに通告す。此加入につき反對の態度を示したのはスイス政府である。併し九月八日フランスとポーランド兩外相が會見し、ソヴェート聯邦の聯盟加入は愈々具體化する。九月一〇日秘密會議を開き全會一致加入を決定。九月一〇日は幹部委員會から除外さる。なほ一二日にはアイルランド代表はソ聯の加入に關し大國の故をもつて特殊の待遇を承認することに反對す。なほ小國側の反對は一時險悪化した。遂に一五日、加入賛成の諸國は相次いでフランス代表をホテルに訪れ招請に賛成す。約四十ヶ國で必要

を見るに至つた。

かくて新經濟政策時代は、言はゞ西に隱忍して東に攻むる消極的對外政策時代であつたが、これは、かの「永久革命」をモットーとするトロツキー一派の取らざるところであつて、彼等は、西歐における積極的な革命工作がなされなければ、ソ聯邦の存続は不可能なりとなし、再び戰時共產主義へ復歸すべしと主張した。然るに之に對して、スターリンの一派、所謂幹部派は「一國社會主義建設可能論」を主張し、言ふまでもなく、社會主義と資本主義との共存が不可能なりとする理論においては、兩者とも一致するのであるが、この一時的な對立に對する期間的解釋に相違を來たし、トロツキーは之を短期と考へ、むしろ進んで此の對立を破壊すべしとなし、スターリンは之を可成りに長期に互る對立と考へ、スターリンの獨裁なるに及んで、その對外政策は、唯に資本主義諸國のみならず、植民地、半植民地においてさえ、積極的な革命強化主義を取らず、其國家内部革命分子の自力的成長に對する消極的援助に止めるに至つた。更にソヴェート諸制度の許容する限りは、かのボルシェヴィキの舊債不承認の傳統を抛棄してまでも、先進資本主義諸國との經濟的諸關係を緊密ならしめ、彼の所謂社會主義的建設、即ち五ヶ年計畫の支障なき遂行を計らんとし、依然として自國經濟發展のための隱忍政策が續けられ、最近のリトヴィノフのアメリカとの條約締結、西歐における諸活動、特に國際聯盟加入、並に對滿日積極的平和工作、等々もその現れてなければならぬ。

2. スターリンの外交報告
一九三四年のソヴェートの外交報告は、第一七回全聯邦共產黨大會においてスターリンにより五時間互つて詳細に演説された。その主旨は「世界諸國が全

な三の分二以上なるために、同夜直ちにソヴェート政府に招請の發電す。一七日、加入案は委員會に付託、表決に付せられ、出席五三ヶ國の中、三八票の賛成にて可決さる。スイス、オランダ、ポルトガル三國代表は反對投票す。斯くて一八日夜、リトヴィノフは、ソヴェート聯邦の内政不干渉を要する演説をなす。一九日開會の理事會に常任理事として始めて出席、ソ聯邦の加入が完成す。

6. 佛ソ協定
三四年一二月四日、フランスのマルシンドー商相のモスコ親善訪問は、米ソ間に進歩中の舊ロシア債務決議問題に對抗する意圖を有するものである、フランスの對露債權はアメリカのそれに比し巨大であり、このためにこれを先にすることをソヴェートに要求し、且つまた一方に佛ソ通商促進のことが重要な目的である。一二月六日佛ソ兩國間に「東歐ロカルノ協定」が成立するまで佛ソ兩國は前もつて相互に協議することなくしては如何なる國とも二國協定を締結せざること」の協定が成立した。これによりソヴェートとの軍事同盟説は否定されたが、東歐ロカルノ協定案にソヴェートの賛成なることは明白となつた。一二月一九日、佛ソ通商協定書正文が發表された。また一方、アメリカの對ソ債務關係が第二次的となつたために、アメリカ政府は今日までのソヴェートに對する經濟關係を變更するに至り、その大使館員の縮小が實行された。

F 國 防

1. 總説
ソヴェート聯邦は、世界唯一のプロレタリア國家として、又社會主義的國家として、之を圍繞する資本主義諸國より常に脅威を感じてゐるものであるが、元來ソ聯邦は、世界革命を窮局の目的とし、その實現手段を自國

の武力に認められるため、聯邦成立以來、資本主義諸國の對ソ聯邦攻撃を口實に、國を擧げて軍備の充實、國民の軍事化に狂奔し、今や列國の水準線に達するのみならず、却つて之を凌駕するの勢を示してゐる。

聯邦の軍備は、諸國と同じく、陸軍、海軍、空軍に分たれ、別に國家保安部に屬する特別軍隊即ち「オ・ゲ・ベ・ウ」軍隊、及び護送軍隊を有し、聯邦陸海軍人民委員部之を統轄してゐる。特にその陸軍は、勞農赤軍として革命の當初よりソ聯邦の政權と密接な關係を持ち、今日尙同國軍備の大部分を占め、空軍及び海軍之に次ぐ。

聯邦の兵役制度は、革命の間は一九一八年一月一五日人民委員會の決議により義勇兵主義を以つて赤衛軍を編成したが、一九一八年四月必任義務兵役制度を布き、同年七月制定の憲法において之を認めた。その後國內戦及び一九二〇年のソ波戦の試練を経て、一九二二年徵兵令を制定し、次いで之に所要の改正を施して、一九二五年九月ソ聯邦兵役法を發布し、更に一九二八年及び三〇年に若干の改正を行つた。

2. 陸軍 ソヴェート陸軍は正規部隊と民兵部隊に別れてゐる。正規部隊は赤軍の中堅をなすもので、主として國境方面に配置され、服役、その他は他の列強の正規軍と大差はないが、民兵制度は赤軍獨特のものである。

國軍の基礎を民兵に置かんとするのは、ソ聯邦成立以來の理想であつたが、内外の情勢はその實現を見るに到らしめず、一九二三年初頭から一般師團の改編に着手し、同年八月法令を以つて民兵師團制度を確立し、逐次主として國境にあらざる正規軍を民兵師團に改編するに到つたが、この制度が訓練不足に基き幾多の有形無形の危険不安を藏してゐるために、軍部當局は總兵力の大半のみを民兵部隊にするに止めた。

民兵部隊は、基幹部と交代部から成り、基幹部は正規部隊と殆んど變るところなく、交代部は當該召集區より毎年一定期間之を召集する。正規部隊及び民兵部隊に入らざるものは隊外現役勤務に服し、五年間に六ヶ月の教育を受ける。特別軍隊のうち國家安保部(O.G.P.U.)の軍隊は、國境守備、反革命運動の鎮壓、交通線の守護などに任じ、護送軍隊は、輸送物品の護送に任ずる部隊である。

右の他に義勇兵制度があつて、志願者を現役勤務に服せしめ、又勤勞婦人も義勇兵に服することが出来る。

【現有兵力】一九三三年における赤軍平時總兵力(特別軍隊を含む)は約百三十萬にして、正規兵約四十七萬(民兵部隊基幹部人員を含む)、民兵部隊交代部約六十萬、特別軍隊約二十四萬(G.P.U.軍隊約十五萬、護送軍隊約九萬)より成り、概ね左の如く編成されてゐる。尙別に空軍陸上部隊の兵力二萬三千を有してゐる。

步兵師團 二九 計七六
民兵步兵師團 四七
騎兵正規師團 一〇
同 民兵師團 三 計一三
同 獨立旅團 八
空軍諸部隊(純海軍用を除く) 飛行隊二四二
ケ中隊、氣球一〇ケ中隊、航空船三ケ中隊、その他の獨立諸隊

3. 空軍 全航空部隊は赤軍空軍本部長之を統べ、革命軍事會議に直屬する。軍管區司令官は作戦及び衛戍關係においてのみ、管内所在の航空部隊を統轄し、空軍本部長は教育、補給、人事、その他の業務に就き軍管區航空部長を通じて航空部隊を指揮して居る。

三〇日現在において、舊式戰艦四隻、九三、四八〇噸、B級巡洋艦四隻、二八、一五〇噸、驅逐艦二四隻、二五、二二八隻、潜水艦一八隻、一一、三二〇噸である。

5. 軍事費 ソヴェート聯邦における軍事費は別表の「最近の軍事費」に見られる如く、最近歐洲及び極東におけるその國際關係の逼迫と共に著しい激増振りを示してゐる。然しこれを豫算全額に比較して見る時、極めて少く五分以下にして、日本の約四割強、英米の約一割五分に較べて格段の相違を示してゐる。

G 政治の動勢

一、ゲ・ベ・ウの廢止 ソヴェート政府は一九三四年七月に至り、秘密武裝警察制度として知られるオ・ゲ・ベ・ウ(O.G.P.U.)、即ち合同國家保安部を解消し、新たに内務人民委員部を設置して、一切の警察行政事務に當らせることに決し、同月一〇日聯邦中央執行委員會令を公布し、内務人民委員部を設置、合同國家保安部の事務を管掌せしめ、合同國家保安部司法幹部會は之に解消するに至つた。而して内務人民委員部の職能、構成、新幹部は次の如し。

- 【職能】内務人民委員部は次の諸項を管理する。革命的秩序並に國家治安の維持、「社會主義的」公共財産の保護、國境警備、登錄事務。
- 【構成】内務人民委員部は次の各機關を以つて構成せらる。
- (一) 内務人民委員部は次ぎの各局より成る。國家保安局、國境警備隊局、國內警察局、消防局、勞働懲治局、その他。
- (二) 各共和國内にも同じく内務人民委員部を設置する。但しロシア共和國(R.S.F.S.R.)においては、全權委員會を設置する。各自治共和國、クライ(地方)及びオブラスタ(州)

には内務人民委員部所屬各局を設置する。【警察司法事務管轄】内務人民委員部及び所屬地方各機關は各種犯罪の搜索審理に當り、審理終了後聯邦法律によつて設置された當該司法機關に移管する。

- (一) 國家治安事件は最高法院に移管。
- (二) 叛逆罪、機密洩漏罪等は犯罪の性質に應じ最高法院軍事部に廻付す。
- (三) 内務人民委員部に特別評議會を設置し、國外追放及び退去、流刑、五ヶ年を限度とする勞働懲治收容所監禁等の行政令權限を付與す。

【新内務人民委員部幹部】而して新設内務人民委員部の委員は左の如く發令された。

- 同 委員部第一首席—ヤコフ・アグラノフ
- 同 第二首席—ヨルジュ・プロコフィエフ
- 二、ロシア共和國行政區劃改正 ロシア社會主義聯邦ソヴェート共和國中央執行委員會幹部會は一九三四年二月七日、行政區劃改革案を可決した。改革案内容は左の通りである。
- (一) 西部シベリア州に屬するオムスク地方を分離してオムスク州となす。首府オムスク市。
- (二) クラスノヤルスク地方を同じく獨立州となす。首府クラスノヤルスク市。
- (三) 中部ヴォルガ地方を二分して(イ)中部ヴォルガ地方、(ロ)オレンブルグ州となす。
- (四) ゴルキー地方を二分して(イ)ゴルキー地方(首府ゴルキー市)、(ロ)キロフ地方(首府キロフ市—舊ウイアツカ市)となす。
- 三、食糧品配給制廢止令 聯邦人民委員會は一九三五年一月一日を期し、食糧品配給制度を廢止し、一般販賣制度を實施するに決し、一二月八日右の廢止に關する委員會令を公布した。

その兵力は一九二二年陸上部隊約二〇ケ中隊に過ぎなかつたが、二五年には七八ケ中隊、二八年には一〇一ケ中隊となり、今や陸上部隊二四二ケ中隊、その機数は約一割強の海軍機を含みて約二千五百機以上に達した。而して戰闘爆撃隊の増加は特に顯著である。

尙空軍の器材を充實するため、ソ聯邦は一九二二年以來、獨・伊・英・米・佛等の諸國より飛行機を購入し、又國內の航空機製造工場の整備を急ぎつゝあつたが、第一次五ヶ年計畫の完成と共に航空工業、原料資源産業は之に確立せられ、異常な進展を遂げつゝある現狀である。

4. 海軍 革命後のソ聯邦海軍は、帝政時代の陸主海従の傳統を依然として繼承し、近年におけるソ聯邦の陸空軍の異狀なる發展と比較する時、むしろ其の懸隔が甚だしくなつたかに見える。

現在ソ聯邦の海軍は、バルチック艦隊、黒海艦隊を主力とし、その他黒龍江、ヴォルガ河及び裏海等に若干の勢力を有するが、それらを合せて見たソ聯邦海軍の主要勢力は、一九三三年九月

最近の軍事豫算 (單位千ルーブル)

年 度	豫 算 總 額	軍 事 豫 算
1926-27	約 4,959,960	約 635,480
1927-28	約 6,461,503	約 780,000
1928-29	約 7,864,120	約 979,000
1929-30	約 11,390,000	約 1,159,000
1930-31	約 21,774,000	約 1,390,000
1931-32	約 27,541,966	約 1,396,500
1932-33	約 35,010,920	約 1,573,700

法令の要旨は左の通りである。

- (一) 一九三四年限りパン、麥粉、穀類の切符配給制度を廢止し、一九三五年一月一日以降販賣制度に統一する。
- (二) これ等の生産物に對する従来の商業價格對配價格の開きを調整し、地方的の法定價格を設定する。
- (三) 全國を八區に分ち、その地域内におけるパン、麥粉、穀類、マカロニ、豆米、大麥、オートミルの價格を法律を以つて公定する。
- (四) 價格調整斷行の結果、パン價は従来の配給價格に比し若干騰貴せざるを得ず、その對策として勞賃、給料、修學給與、年金を一九三五年から適宜増加する。その結果、國家の支出は合計四十二億ルーブルの増加となる。
- (五) 穀物を生産しない地方に對する配給價格における穀物の分配、並に農業原料の分配を停止す。その結果、農業原料價格を騰貴せしめるため義務的に國家に納入する穀類に對しては、一九三五年以降一〇パーセント、國家並に消費組合に自發的に賣却すべき穀類に對しては一九三五年九月以降二〇パーセントその價格を引上ぐる。
- (六) 一九三五年二月一日迄に一萬三百軒のパン小賣店を増設し、パン製造能力を同じく二月一日迄に一日當り一萬七千五百噸増加させること。
- (七) 配給價格における大麥分配停止のため大麥の價格が騰貴するため、木材、泥炭坑、金鐵と契約を結びつつあるホルホーズ農業者で、自己所有の馬器を使用する者に對しては總額五億三千三百八十萬ルーブルを増加支拂ふものとす。

4. 公債 ソヴェート聯邦において公債は最初歳入不足を補填する目的を以つて、一九二二年に現物公債を發行したに始まり、次いで市場公債、並に國民大衆に頒布する所謂「民衆公債」を發行するに至つた。現在ではソヴェート

邦の公債は國民經濟の發達を促進すべき資源として發行されてゐるので、國家財政の赤字填補の如き消極的意義を有するものでない。殊に一九二七—二八年以來は勞銀及び労働者の増加、社會主義的自覺の發達と相俟つて、公債は投資の収集を目的とする積極的且つ重大な意義を有するに至り、斯くて公債に據る動員資金は一九三二年度一〇月一日現在においては、實に總計八、五〇四、五〇〇、〇〇〇ルーブルに達するに至つてゐる。

政權把握の當初における經濟政策の基調は、現存資本の利用により如何にして生産力を復興せしむるかにあつた。これがために第一に、大戦、革命及び國內戦時代に著しく浪費された國營工業の流動資本を復興し、生産工程に要する總べての要素を取揃へる必要があつた。流動資本の不足は先づ第一に工業企業に生産負担を微弱ならしめ、生産コストを甚だ高價ならしめた。と同時に一方では、帝政時代から繼承されて來た固定資本に甚だしい不足を來たすに至つた。こゝにおいてこれが再生産の問題は次第に緊急なものとなり、固定資本再生産問題特別委員會が設置され、その活動となつて、同委員會の立てたプランが、後幾變遷して今日の所謂五ヶ年計畫なるものが出現したのであるが、今日、この固定資本の不足に基因する物資の不足に堪へながら、全國的に労働力を動員して、可及的投資の増大と、資金の集約化、全經濟部門に互る節約及び最大合理化と、技術員の養成とにより、積極的にこの危機を切り抜けんとしてゐる。

(八) 地方ソヴェート當局及び商務機關は各地方の需要に應じ諸種のパン販賣を組織し小賣に支障のない様責任を負ふ。
(九) 内務人民委員部は配給制度廢止を投機の目的に利用しようとする思惑業者及び仲介業を嚴重取締ること。

III 經濟

A 財政

1. 總説 ソヴェート聯邦の財政制度の特色は資本主義國家のそれと異り、社會主義國家としての特色を發揮してゐるところにある。その収入は主として多く國家の經濟的活動、即ち各種の國家企業により得られ、租税は収入の一部であるに過ぎない。また支出においても、資本主義列強においては多く軍事費、或は多く戦争の結果としての債務の支拂ひにその大部分が支出されてゐるに反して、ソヴェート聯邦は總額の約四分の三を國民經濟に對する支出にあてゝゐる。

最近の歳出入

(單位百萬ルーブル)

	歳入	歳出	差引
1928-29	8,112.4	8,021.1	+ 91.3
1929-30	12,799.7	12,335.3	+ 464.4
1930-31	23,053.1	23,068.8	- 15.7
1931-32	27,416.6	27,542.0	- 125.4
1932-33	35,010.9	33,230.9	+ 1,780.0

最近のソヴェートの歳出入を見るに、資本主義諸國が何れも赤字難に當面して極端な減少を見てゐる時に於て、ソヴェートの財政状態は著しい發展を遂げ、歳出入共に

を以て統一の財政案によつてソヴェート國家における全般の收支を統轄し、各種の財政計畫を決定することとし、一九三〇年特別四半期及び一九三一年度において適用されるに至つた。而してこの單一財政計畫は個別的な財政計畫、即ち産業案、保證案等々に先立つて編成され、後者の限界は單一財政計畫によつて決定される。

2. 財政政策

最近國家財政は極めて劃期的な變革が試みられた。即ち、一九三〇年特別四半期及び一九三一年度より適用されるに至つた單一財政計畫がこれである。資本主義諸國においては國家の全收支は豫算によつて示され、豫算經濟と國家經濟とは一致するが、ソ聯は全くこれと異り、豫算面の全收支とは一致しない。それはソヴェート國家が豫算面に現れない收支を有するからで、これは國家企業における商業的勘定の導入により説明される。斯くて國家企業が商業的基礎の上に社會化せられた結果、ソ聯の豫算にはこれ等諸企業の利益の項と社會化企業の進展を計るためにその企業に對し國家の支出する金額を示す項とが含まれる。従つてソ聯の國家經濟は豫算と非豫算の二つの部門が出來て來たわけである。これが改革案とし

3. 一九三四年度單一國家豫算

以上のように單一國家豫算の歳入部において決定的重要性を持つてゐるものは社會化經濟收入にして、一九三四年豫算では總額の約八五%を占めてゐる。社會化經濟收入は専ら投資並に經濟機關の流資として支出せらるゝ社會化經濟資金にして、これは社會主義的蓄積の基本を構成する資金であ

歳入豫算

(1934年度ソ聯單一國家豫算)

項目別	歳入額 (單位千ルーブル)
I 社會化經濟收入	
取引税	29,227,790
特別商品基金	5,300,000
商品外收金	225,000
コルホーズ農業税	300,000
社會化經濟收益控除	1,521,020
經濟機關流通資金追加控除	15,800
運輸及び通信收入	2,921,600
八分利附内國公債	445,000
儲貸收入	10,000
諸税及び公課	2,000
社會化企業所得税	137,100
ソフオーズ税	19,900
計	41,125,210
II 國民資金動員	
組織的蓄積	3,880,000
特別計	2,546,030
計	6,526,030
III その他收入	
税關收入	230,000
運送證券、旅客切符特別税	227,000
雑收	171,176
労働組合納付奨學金	600,000
計	1,228,176
總計	48,879,416

歳出豫算 (1934年度ソ聯單一國家豫算)

項目別	歳出額 (單位千ルーブル)
I 國民經濟	
重工業人民委員部所管工業	11,360,850
輕工業人民委員部所管工業	1,157,750
映畫、寫眞工業本部	79,870
林業人民委員部所管林業	957,530
その他工業委員部	1,199,100
輕物生産ソフオーズ人民委員部	1,905,560
農務人民委員部	3,974,374
建設及び施設	635,750
配給人民委員部食料別工業	3,824,660
國營商業配給及び調達機關	96,100
外國貿易	103,050
公共施設及び住宅事業	3,736,000
鐵道運輸	913,100
水上運輸	562,330
各種道路、自動車運輸	225,300
民間航空	85,200
北洋航路管理局	301,500
通信	1,300,000
勞働國防會議儲蓄委員會	72,700
單一海洋氣象施設	791,630
その他國民經濟支出	33,383,364
II 社會文化施設	
教育	2,668,655
保健	212,870
體育	24,877
勞働組織及び保護社會保障	112,465
計	3,018,857
III 國防及び行政	
國防人民委員部	1,665,000
特務軍除	130,000
國防經濟一般管理及び調整	1,078,295
並に社會化事業行政	2,873,295
計	2,873,295
IV 國債關係諸支出	1,702,070
V 國家收入より地方豫算への分付金	3,697,955
VI その他財政機關への交付金	
社會保險勘定	125,275
國立銀行勘定	1,000,000
國營保險局交付金	30,000
計	1,156,275
VII その他支出	1,476,580
以上歳出總計	47,308,416
國家豫備金	1,571,000
果計	48,879,416

C 金融

金融機関は、専ら聯邦國立銀行これを統制し指導することになつてゐる。一九三〇年に公布した金融改正令によれば、國家機關、組合機關、及び外國資本の參加せざる株式會社に對しては、信用による商品貸付並に相互間の融通を禁止し、すべて國立銀行を経由する信用に變更し、又農業信用組合の業務は擴大され、區内の農業金融を取扱はしめ、その金融を統一することになつてゐる。

聯邦國立銀行 (State Bank) は、國家豫算及び地方豫算に關する金庫事務を取扱ひ、短期貸付を集中し、貨幣の流通を調節し、綜合信用計畫案を作成し、諸銀行の指導統制をなす。一九二八年六月財務人民委員部の手を離れ、獨立機關となり、資本金二億五千ルーブルである。尙、五ヶ年計畫の進捗を計る目的をもつて一九三二年聯邦財務人民委員部の管下に長期投資特殊銀行設立され、各産業部門に對する投資事務をなさしめてゐるが、その出納事務は専ら國立銀行これを行ひ、金庫の單一を計つてゐる。なほ一九三四年一月一日現在における國立銀行

聯邦國立銀行の資産・負債 (1934年1月1日現在)
Table with 2 main sections: 資産の部 (Assets) and 負債の部 (Liabilities). Assets include 現金及貨幣 (80,770,800), 外國銀行手形 (4,277,900), etc. Liabilities include 銀行券發行高力 (343,250,200), 銀行存款 (20,249,600), etc.

D 貨幣

貨幣の單位はチエルウオネツ (Chervonez) で、革命前の一〇ルーブル (Ruble) に相當す。通貨は國立銀行券、國庫券、及び補助貨幣 (銀銅、青銅) の三種である。國立銀行及び聯邦財務人民委員會これを發行し、各加盟共和國は自國貨幣を發行する權利を持たない。銀行券は、一、二、三、五、一〇、二五、五〇チエルウオネツの額をもつて發行されるが、今日兌換は行はれなす。國庫券 (Treasury Note) は、金を基礎に一、三、五ルーブルの三種である。補助貨幣のうち銀貨は、一〇、一五、二〇、五〇コペック (Kopeck) 及び一ルーブル、銅貨は、半、一、二、三、五コペック、なほ、銀不足のため、一九三二年、ニッケル貨發行され、一〇、一五、二〇コペックの三種とする。

E 度量衡

メートル法は一九二七年一月一日以來採用せられてゐる。舊ロシアの度量衡は次の如し。
一 ヘルスト (Verst) = 五〇〇サツェン (Sazhen) = 三、五〇〇フイート (Feet) = 一、一三〇メートル (Meters)
一 サツェン = 三アルシン (Arshin) = 七英フイート (Feet)
一 アルシン = 一六 (16) ヴルシク (Vershok) = 二 (2) 八インチ (Inches)
一 平方ヘルスト (Square Verst) = 〇・四三九 (0.439) 平方方哩 (Square Miles)
一 デシアティン (Desiatina) = 一六、九九七二英エーカー (Acres)
一 ポンド (Pound) = 九六ソロチニク (Solotnik) = 三三三 (333) ロット (Lots) = 一〇・七英ポンド (Pounds)
一 ロット = 〇・九〇二八三三ポンド (Pounds)

F 生産

1. 産業大觀 ソ聯邦は近年に到るまで、歴史的に農業の優勢な國家であつたが、革命後急激に工業國になつたのであつて、一九一三年には、工業的生產が、全體の四二・一%、農業生產が五七・九%であつたものが、一九二九—三〇年には、工業生產五八%、農業生產四二%になつてゐる。特に産業の第一次、第二次五ヶ年計畫によるアメリカ的統制により、或は急激な工業電化等により、ソ聯邦産業發展の將來には、

主要農産物 (1930年度)
Table with 3 columns: 作物 (Crop), 面積 (單位千ヘクタール) (Area in thousands of hectares), 收穫 (單位10噸) (Yield in 10,000 tons). Crops include 小麦 (Wheat), 大麦 (Barley), 燕麥 (Oats), etc.

最近の工業生産額 (單位百萬ルーブル)
Table with 3 columns: 年度 (Year), 生産額 (Production), 1913年に対する (%) (Percentage compared to 1913). Years range from 1924-25 to 1928-29.

G 商業

1. 國內商業 ソ聯邦の國內商業は、國家供給人民委員會の管理するところであり、その實際的業務は殆んど共産黨を中心とする各種協同組合の活動による。
2. 外國貿易 ソ聯邦の外國貿易は國家の獨占で、外國貿易人民委員部の掌中であり、この委員部の許可なくしては、會社若しくは個人が、輸出入貿易に従事することは出来ない。しかも、この種の特權は、極めて限られた關係者にのみ與へられるもので、多くは特種の商品に制限されてゐる。貿易は、最大限度の保護政策で、輸入貿易は内國産業と調和して統制され、海外への注文は、國內において生産し得ない品物に限るやうに注意が拂はれてゐるが、特に目下の特徴としては、消費材の輸入を犠牲にしても生産材の輸入量を増加せんとするところにある。
最近のソヴェート聯邦の外國貿易は別表に見られる如く世界的經濟不況の影響を受けて著し

著しく注目し値するところのものがある。
2. 農業 一九二七年—二月の第十五回共産黨大會に基く農業革命の斷行によつて、かつての新經濟政策、新々經濟政策の結果發生してゐた富農・中農・貧農の懸隔が急激に減少され、大農法による集團化・社會化は、遂に一九三二年末第一次五ヶ年計畫の最終年度には、全國の貧農の全部が基礎的な集團化を終るに到つた。
3. 畜産業 ソヴェート聯邦の畜産業は全國に亘つて行はれてゐるが、特に南部の草原地方に盛んである。一九三三年現在における主要家畜の頭数を挙げれば、馬千六百六十萬頭、牛三千八百六十萬頭、羊及び山羊五千六十萬頭、豚千二百二十萬頭に上る。
4. 林業 ソ聯邦における森林の面積は、二、〇四〇、三三〇、〇〇〇エーカーと言はれ、そのうち一、九八四、五四七、五〇〇エーカーは、ロシア共和國内にあり、五五、七八二、五〇〇エーカーが他の共和國内に存在する。ヨーロッパ・ロシアのみでも、四〇五萬エーカーあり、その多くは北部にあり、次いで中央部にあり、南部には僅少である。
ロシア共和國内の森林地帯の多くは、アジア・ロシアにあり (約三〇〇、〇〇〇、〇〇〇エーカー)、道路の缺乏のため、いまだ作業困難な状態にある。これに反してコーカサスの森林地帯は、世界市場に無限な供給をなしてゐる。その全面積一八、六〇〇、〇〇〇エーカーと言はれる。
5. 水産業 舊ロシア時代から、その領海や河川で漁獲される魚族の量は實に豊富を極めてゐる。わが日本で漁業利権を得てゐる極東露領の海洋漁獲高だけでも、年々多額に上るのであるが、ソヴェート領内の魚族の賣量は、實に裏海である。世界大戦前のロシアの漁獲量は實に七千萬ポンドで、その中の五割六分までは、ソ

最近の輸出入

Table showing recent trade statistics with columns for year, quantity, and value for both imports and exports.

減退を示してゐる。その輸入は価格において見ると、一九三一年度を最高として、一九三三年度には約三分の一に、その輸出は一九二九年に比し、約二分の一に減少してゐる。

一九三三年度主要國別貿易額

Table of trade statistics by country for 1933, listing countries like Belgium, Germany, and the USA with their respective import and export values.

にして、輸入総額の四六・一%、イギリスの二・九%、アメリカの四・五%（一九三一年度には二・一%）にして、アメリカよりの商品輸入が極めて盛んで、その著しい転落は最近の米ソ外交の變化を物語るのでなければならぬ。

【主要輸入品】 ソ聯の輸入貿易に就いて見ると、一九二一年乃至二四年の新經濟政策時代においては、生産用品六八・二%、消費品二八・八%の割合であつたのが、一九二五年乃至二八年の復興時代には生産用品八一・七%、消費品一四・八%に變化し、更にその後の一九二八年乃至三一年の五ヶ年計畫時代においては生産用品八九・八%、消費品七・四%にまで大變化を遂げてゐる。

一九三二年度輸入統計

Table of 1932 import statistics categorized by goods such as food, raw materials, and machinery.

【主要輸出品】 またその輸出貿易に就いて見ると、一九二一年乃至二四年の新經濟政策時代には農畜漁業生産品六一%、工業生産品三九%の割合であつたのが、一九二四年乃至二八年

一九三二年度輸出統計

Table of 1932 export statistics categorized by goods such as agricultural products, industrial goods, and metals.

の復興時代には農畜漁業生産品五四%、工業生産品四六%に變化し、更に一九二八年乃至三一年の五ヶ年計畫時代には農畜漁業生産品四一%、工業生産品五九%にまで變化し、完全にその位置を轉倒し、ここにソ聯の工業化への躍進が見られる。なほ一九三二年度における輸出品に就いては別掲の輸出統計に見られる如く、工業生産物は更に一層の著しい躍進を遂げ、金額において約総額の六八%を占めるに至つてゐる。

ての種類を網羅し、保険範圍極めて廣く、雇傭労働者に起り得るあらゆる生活上の事故、即ち疾病、負傷、出産、廢疾、老衰、死亡、失業は勿論、傳染病による隔離、家族の病人看護等、労働の不能及び労働機關の喪失に對する總べての場合を悉く含み、被保險者の範圍も亦廣汎にして、強制保険によつて全部の被保險者に之を適用し、他人に雇はれて報酬を受けるものは總べて雇傭せられると同時に當然被保險者になるものであり、保険料は雇傭主が之を負擔し、社會保險機關は被保險者によりて經營されてゐる。

H 運輸・交通

1. 道路 一九二八―一九二九年度には、道路總延長は約百十七萬五千軒、うち國道五萬軒、地方道路百十二萬五千軒となつてゐるが、歐洲大戦から革命勃發以後、打撃内亂によつて、その多くが荒廢に歸し、第一次五ヶ年計畫において、總額約七億七千萬ルーブルを支出し、その大修理を試み、特に自動車發達と共に、聯邦中央道路自動車運輸局の管理の下に、着々その完成を見つゝある。

3. 船舶 一九二八年一月一日における商船は、汽船一、三三七隻、二七七、四四九噸、帆船八〇九隻、二六、六七九噸である。一九三二年には一七の新造船の注文あり、うち一〇隻はロシア國內で建造されることになつてゐる。古船一六隻、六九、九八噸が外國より購入さる。毎週、レニングラード・ロンドン間に、ソヴェート汽船による旅客並に貨物の定期航路がある。一九二七年に於ける國內水路には、汽船三、三三七隻、總馬力五二六、〇〇〇あり、うち二、八一〇隻、馬力五一五、〇〇〇は國有である。尙その他、蒸氣によらざるもの一〇、二六一隻、四、一八八、〇〇〇噸を數ふ。

通信事業は、聯邦人民委員部之を管掌す。一九二九年國內取扱郵便物は封書五四二、三九一、四八三通、葉書一一一、八二一、〇七〇通、外國より入手せる封書一〇、八五二、五五五通、葉書一、九八一、三四六通、外國へ發送せる封書一、七一一、八五一通、葉書一、九七二、四六〇通である。

一九二九年一月一日現在の電信線二四九、三五六キロメートル、電信局數八、〇八一。電報數、國內三四、五三七、二八八通、國際四五二、四一三通に上る。また電話線三四六、二〇三キロメートル、通話數三九、一八一、一九九回である。

J 經濟の動勢

一、第一次五ヶ年計畫 ソ聯邦國民經濟第一次五ヶ年計畫は、一九二七年一月の全聯邦共產黨第一回大會にてその計畫が提唱され、その實施に關する政治的・經濟的一般方針が決議されたことに始まり、その目的とするところは聯邦の工業化、農村の社會主義化、國內經濟體制における資本主義的要素の克服と社會主義要素の強化にある。

この計畫の作成は、主として國家計畫委員會が中心となり、膨大な規模を以つて諸資料の調査をなし、一九二九年四月最高國民經濟會議において、それが提案を基礎として、聯邦加入の各共和國の代表者参加の下に、労働・國防會議と協同して成案を作成し、同年五月聯邦政府の承認を得、同月二〇日の全聯邦ソヴェート第五回大會において之を決定する。

五ヶ年計畫は一九二八―二九年度より一九三二―三三年度に亘るものであるが、聯邦政府は之を四ヶ年、即ち一九三二年に完了せるものと見、これに續いて更に膨大な第二次五ヶ年計畫を編成、三二年一月三〇日より開會された第

一七回共產黨大會において、人民委員會議長モロトフより之を報告、各代表の歴史的的支持を受けて可決確定された。

【第一次五ヶ年計畫の成果】 スターリン、モロトフ、クイビシエフ等の報告に基き聯邦共產黨中央委員會總會によつて採擇された「第一次五ヶ年計畫の成果」を承認する決議案は、大要次の如きものであつた。

一、工業化政策並に廣汎なる社會主義攻勢政策を遂行せる結果、第一次五ヶ年計畫の基本的課題、即ち國家經濟全般の社會主義的基礎の確立は見事に實現され、第一次五ヶ年計畫を四ヶ年三ヶ月を以つて實現したことは偉大すべきことである。第一次五ヶ年計畫は、要するに新工場の新設、新農業形態即ち國營農場並に共營農場の計畫にして、この新建設に對する熱意こそ第一次五ヶ年計畫の最も顯著なる特色であつた。第二次五ヶ年計畫は第一次五ヶ年計畫と異り、主として工業新組織の獲得、並に新農業形態、即ち國營農場及び共營農場の組織強化の計畫を旨としてゐる。

二、第二次五ヶ年計畫 以上の如く第一次五ヶ年計畫は結局において近代的生産設備と農業の社會主義化とを急速に實現することに成功し、その結果、更に一九三三年に始まり一九三七年に終る第二次五ヶ年計畫が準備され、第一次五ヶ年計畫による新設工場及び新組織の農場において、新しい技術を習得し、生産力を高め、品質の改善を計るにある。即ち前述のスターリン、モロトフ等の黨中央委員會總會の報告に見られる如く、第一次五ヶ年計畫と異り、主として工業上の新組織の獲得、並に新農業形態、即ち國營農場及び共營農場の組織強化を計るにある。斯くて第二次五ヶ年計畫の最初の二、三ヶ年間は、生産數量の増加速度を第一次五ヶ年計

畫におけるよりも緩めることとし、即ち第一次計畫においては毎年の増産率を二一%乃至二二%と豫定されたに對して、第二次計畫においては一三%乃至一四%としてゐる。

斯くて第二次五ヶ年計畫の企圖するところは第一次五ヶ年計畫の到達點から出發し、一九三二年を基準として、工業生産を全體として二四%増加し、特に消費財の生産に意を注ぎ、毎年の生産増加率を二一・九%とする方針である。これに對して重工業の生産増加率は一五・九%と豫定されてゐる。而して第二次五ヶ年計畫の資金投下豫定額は一、三三四億ルーブルにして、その内訳は工業六九五億ルーブル（生産財工業五三四億ルーブル、消費財工業一六一億ルーブル）、運輸業二六三億ルーブル、農業一五二億ルーブルである。

【第二次計畫による一九三三年度國民經濟計畫】 なほスターリン、モロトフ、クイビシエフ等の報告に基き、聯邦共產黨中央委員會によつて採擇された「一九三三年度國民經濟計畫」を承認する決議案は次の如きものである。

第二次五ヶ年計畫第一年度（三三年度）の工業生産増加率は前年に比し一六・五%とし、全經濟部門における産業計畫義務量は左の如し。
發電量——一六三億キロワット
鑄鐵——九〇〇萬噸
石油——二、四五〇萬噸
機械製造高——六五億ルーブル
化學工業生産高——二〇億ルーブル
協同組合費——八〇億ルーブル
耕作面積——九、五〇〇萬ヘクタール
工業資本投資——一〇〇億ルーブル
運輸事業——三九・七六億ルーブル
農業——二一・四八億ルーブル
地方自治體經濟への資本投資——二〇億ル

I プル以上

労働大衆の社會的文化的施設費——一一一六・一六億ルーブル
一九三三年度における賃金引上率——一九三二年一ヶ年平均賃金率に對して六・八%、特に工業部門において九%

國家豫算收入——三四六・八九億ルーブル

III 社會

A 社會構造

ソ聯邦が世界における唯一の階級なき社會を構成してゐることは周知の如くであり、一働かざるもの喰ふべからずの一労働者の社會であり、労働者の國家であり、労働者のみが一切の政治上の權利を享有し、その社會構造は、搾取なき共產主義社會として、他の資本主義社會と明確に對立する。従つて、階級運動の如きも、原則的には認められず、プロレタリア獨裁の實を擧げ、階級運動は寧ろコミンテルンの指令により、ソ聯邦を圍繞する他の資本主義諸國に向けられてゐる。

B 民族運動

今日世界中民族の多種多様な點において、ソ聯邦に及ぶものはない。これを細分すれば一九〇種以上にも及ぶと言はれてゐる。その中心勢力をなすものは、スラヴ族であり、帝政ロシア崩壊後は、各民族が獨立して各々共和國、自治共和國、自治州等を建設し、大同團結してソヴェート社會主義共和國を結成することになつたのであるが、人民委員會の選出にも現はれてゐるがごとく、政治的に各民族に不公平を來たさざる如く留意し、また新聞の發刊状態にも

見られる如く、各自國語による新聞は次第に増加を示し、各民族の政治的・文化的獨立は明かに認められ、漸次強化しつゝある現状である。

C 労働

ソ聯邦は労働者の國家であるから、その労働法は徹頭徹尾労働者の利益を原則とし、他の何れの國の労働者と雖も享有し得ざる特典と權利が與へられてゐる。

ソヴェート市民は労働部の機關を通じて任意雇傭手續をとることが出来る。併し求職者が政治的信頼あり、又特殊の技能を有する場合に労働部を経由しないで直接雇はれることがある。しかしこの場合には雇傭契約成立後労働部の當該機關に登録しなければならぬことになつてゐる。

ソヴェート市民は、天災又は重要な國家的事業遂行のため労働力の不足を來たした場合に、人民委員會若しくは其の委任を受けた機關の特別命令に従つて義務労働につかなければならない。

労働時間に就いては、一九二七年一月五日の聯邦中央執行委員會の宣言書によつて、七時間労働の實施を決定し、同時に一週五日制を採用するに到つたが、一九三一年一月一日から再び六日制を實施する旨を聯邦人民委員會が布告した。

休暇は總べての労働者に對して、毎週四二時間以上繼續的に與へられることになつてゐる。五ヶ月半以上勤務したものは二週間の休暇が與へられ、その上、一八歳未満の労働者及び危険且つ有害なる労働に従事せるものには更に二週間の追加休暇が與へられる。なほ休日として、一月一日及び五大革命記念日がある。また賃金の最低額は、人民委員部によつてそ

の標準が指示される。

婦人及び少年労働者も多いが、婦人に對しては、これを完全に解放して男子と絶對な平等を保たしめるためには、社會化せる經濟と婦人の生産参加を必要とするといふレーニンの言葉と共に、尙五ヶ年計畫による労働力の不足は必然的に婦人も社會建設への労働力動員することになつてゐる。少年労働者も労働力の不足を補ふために動員されてはゐるが、一八歳以下の少年を、有害な労働及び地下労働に使役することは禁じられてゐる。

労働爭議調停機關としては、(一)、評價爭議委員會、(二)、調停裁判所、(三)、陪審裁判所、(四)、人民裁判所労働部がある。

D 衛生

ソ聯邦に加盟する七共和國には各々その保健人民委員部を有し、各州及び各管區又は市の保健部を経て、民衆の労働状態を調査し、労働能力及び保健増進を圖るため各種の方策を講じてゐる。保健人民委員部の事業の内容は、治療機關を總轄するに止まらず、防疫事業に力を注ぎ、衛生施設の完備を圖ると共に、社會衛生知識を普及するにあり、ソ聯邦における保健施設の最も一般的なるものを掲ぐれば、妊婦相談所、産院、母の家(妊婦預所)、兒童保健相談所、託兒所、兒童保健部、一般治療所、特殊患者治療所、傳染病々院、サナトリウム、温泉。
尙、一九二七年發布の衛生組織法を基礎として、保健人民委員部社會衛生局防疫課は、各種の衛生防疫事業に従事し、又、交通衛生管理局は交通衛生に關する一切の事業を管理し、結核病に關しても特に意を用ひ、幾多の施設及び豫防宣傳をなしてゐる。
またソ聯邦中央政府の國民保健費は一九二七

一八八年度には五五二百万ルーブル、一九二八年度には五七〇百万ルーブル、一九三二年度には一、八九五、三百万ルーブルに上り、躍進的發展を遂げつつある。

V 文化

A 宗教

一九一八年一月三日の法令によつて、ソヴェト政府は、その國教を廢止し、教會の財産の或ものはこれを沒收した。一九一七年三月の革命より、一九二九年五月に至るまでは、すべての宗教は、聯邦内において、その自由を持つてゐた。一九二九年五月に、ロシア社會主義ソヴェト共和國憲法の數條が改正され、從來、宗教並に無神論に對して、等しく自由を認めてゐた文字は抹殺され、無神論の色彩益々濃厚となり、信教の自由は認められてはゐるも、改めて無神論のみ、専ら其の信念を宣傳せしめる權利を與へることとなつた。爾來、政府は、教育人民委員部に新たに反宗教宣傳の視學を設けしめ、新法令の實施と、すべての宗教的宣傳禁止を監督せしめてゐる。一方、反宗教運動は次第に熾烈となり、ゲ・ペ・ウの活動と共に、その効果は、着々と進捗してゐる。

B 教育

プロレタリア革命の成果を擁護し、共產主義社會を實現せしむる要具として、教育は、ソヴェト政府の大いに意を用ひるところであつて、一般的に言へば、一方文盲者の清算を期すると共に、教育と労働の關係を密ならしめ、専ら實用を離れず、高等教育も漸次専門職業教育化し、同時に政治と教育を分離せしめず、將來のソ聯邦の健全なる一員たらしむることを忘れてゐない。

い。勿論、すべての學校は男女共學である。

C 科 學

1. 概説 ソヴェト・ロシアはその社會主義の文化建設のために科學を決して實踐から遊離せしめず、生産、生活と密接なる聯關の上に發達せしめる。従つてブルジョア科學の部分化を極力否定す。かくて國家的・政治的統制のもとに科學は、明かに社會主義建設の實踐力となつてゐる。特に破壊より創造の段階に入ると共に技術は社會的に統制され、學術研究は極めて尊重され、其機關は盛んに設立されてゐる。【聯邦學士院】(アカデミア・ナウク)ソ聯邦の最高の學術機關であり、一七二五年ベートル大帝の勅命にてベテルブルグに創設された。現在、人民委員會に直屬し、レニングラードに存在する。物理科學部と人文科學部に分たれるを目的とする。物理科學部は、研究所、博物館等を有す。現院長は地質學者カルビンスキーである。

2. 哲學 【革命前のロシア哲學】 革命前の哲學界は西歐諸國の影響の下にあつて、特にフランス、ドイツの勢力が濃厚であつた。一六、七世紀からスコラ哲學が盛んに移入されたが、自らの哲學體系を有するに至らなかつた。一八世紀末から一九世紀にかけてドイツ哲學の移入があり、カント、啓蒙哲學、及びロマンテイク哲學が盛んとなる。其後この他にフランスの革命的唯物論もまた多く研究される。

西歐派とロシア派——ロシア哲學には西歐派とロシア派の對立があり、西歐派は政治的問題に進み、バレン(A. Herzen, 1812—70)、ヤーリンスキー(Balinski, 1810—48)、マクレーニン等の社會思想家が輩出す。ストラウ派は主として内的な哲學問題を研究し、宗教と知識との矛盾を

嚴密な批判をなし、社會學者アクセルロード・ウサラビヤノフのプレハノフ主義を批判し、またテイミリヤゼフ、ペロフ、ウァリヤシユ等のブルジョア自然科學的哲學をも大いに否定す。

【史的唯物論】(一九二二)が最も大なる勢力を有し、彼の經濟理論の基礎をなしたが、それがプレハノフの均衡論の上に立つた技術主義なることが問題となり、デボリン等の否定することとなる。更にこれに次で機械論的唯物論、イン、ペロフ等が辯證法を否定することに對する劇しい排撃があり、これはヘーゲル及び哲學史一般の研究に没入するに至る。かくてレニンの段階に立つ政治的實踐から離脱するものとなり、これはプレハノフを繼承せるデボリン主義の根本的誤謬で、政治的實踐を否定するヘーゲル的觀念論の盲目的繼承なるを暴露され、また新カント主義者ルービン主義との聯携を否定せられ、一九二四年以來數年デボリンは機械論を克服すると共に、今は却つてこれが「戰間的唯物論」に反するものとして、アドラツキー、ボクローフスキー等によつて排撃され、哲學の黨派性を缺くことのために「レニン、スターリン的段階」に反し、ミイテレ、ラリツェウイツ、ユディン等から批判されて没落す。

【宗教批判】 ソヴェトにおいては宗教批判が徹底的に實行され、二九年六月の反宗教主義者全國大會ではバハリンは、「科學と宗教とは互に相対する全然異つた二つの世界である。我々は科學を觀望して宗教を棄らなければならぬ。そして我々は新しい方式、新しい習慣、新しい行爲の形式を創造しなければならぬ」と強調す。かくてプロレタリア哲學はあらゆるブルジョア觀念論、宗教、科學に對して挑戦し、

解決せんと努力した。キレフスキー(J. Kireevskii, 1806—56)、キトヤノフ(Chomjakov, 1840—69)、アツカノフ(K. Aksakov, 1817—63)、ヤヴリン(Juri Sannarin, 1819—76)、メナラヤン(N. Struchov, 1838—96)等がある。特にメナラヤンは新ヘーゲル學派であり、心理學、生理學の研究をなし、その他ヘーゲル主義が非常に盛んであつた。ゴトツキイ(S. Gotskii, 1813—90)はカント哲學を批判し、哲學辭典を編纂す。またチツチェリン(Cicerin, 1828—1904)は新ヘーゲル學派でモスコフの國語學教授で、「科學における神秘主義」「論理學及形而上學の基礎」「法律哲學」等の著書を有す。なほ實證主義者にはラヴロフ(P. Lavrov, 1823—1900)があり、歴史哲學者にして、相對論的なる主觀主義に進む。またミハロフスキー(Mihalovskii, 1821—1904)は歴史的研究をなし、文學史的著書に卓越せるものがある。

【人道主義】—このロシア的神秘主義者にウラディミール・ソロフョフ(V. Solovjev, 1853—1900)がある。モスコフ、ベテルスブルグの教授。神人合一の思想であり、神意の生活化が、眞善美の全人的生活があるを説く。なほ一方に西歐主義から人道主義を強調し、原始キリスト教に遡んだレフ・トルストイの莊大なる思想、また西歐主義を惡魔と神との深刻なる矛盾の中に徹底し、更に來るべき超人的思想を示したゾーデル・ドストイエフスキーの哲學は、全く前者と共に近代思想の最高峰に立つ哲學である。この他に戦前には新カント學派があり、また一方末期的思想は今日の日本で問題となつたシェストフの悲劇的哲學、懷疑的唯物哲學を出す。

マルクス主義哲學—その後、マルクス主義哲學が盛んに研究され、レニン、プレハノフ、ルナチャルスキー等は革命前から非常に大

批判し、更に新しき世界を創造してゐる。

3. 社會科學 【社會科學的發展】 ロシアの近代化と共に、西歐派とロシア派の二大社會思想が對立した。前者は近代的個人主義に基く人道主義科學を建て、この中に三派がある。チェマエフ(Peter Yakovlevich Chadaev)は三〇年代の神政主義に立ち、ベリンスキー(Balinski)は四〇年代の人道主義思想を主張し、ルンケン(Alexander Herzen)はチルニツフスキー(Nikolai Chernichersky)と共に、六〇年代の民衆主義を強調す。

【社會學(建設)】 ミハロフスキー(Mikhailovskii)は主觀的なる社會科學を體系化する。これと同時に社會運動は科學的なる基礎を置くことに努力す。これによつてロシアの社會科學は獨自なる形式を獲得す。これは八〇年代に入つてマルクス主義社會科學の移入により、全く勢力を失ふ。プレハノフ(Gregory Plekhanov)はこの創設者であり、彼はあらゆる思想と戦ひ、ヘーゲル哲學の本質的批判をなし、マルクス修正派にストルツェ(Sturzev)・ツガン・バラノフスキー(Tugan-Baranovskii)があつた。トルストイ、ドストイエフスキーの人道主義は多くの社會科學の基礎をなした。クロポトキン(Peter Kropotkin)は地理學的社會思想を強調す。カウレフスキー(M. Kavalovsky)・ド・ロベティ(De Roberty)・ノヴィコフ(Novikov)等は純粹社會學の體系化に進む。これと共にロシアの帝政末期の神秘主義、象徴主義の時代に入り、一方、レニン等の唯物辯證法が盛んに社會理論に積極化され、マルクス主義社會科學の展開をなす。

【大革命後の社會科學】 レニンの社會科學は彼の全著書により、全面的に體系立てられた。またバハリンの經濟學、唯物史觀はマルクス

き影響を與へ、特にレニンはその「唯物論と經濟批判論」(一九一〇年)において、當時のマツハ、アウエナリウスの哲學を批判し、その唯物辯證法哲學は、ナロードニキの主觀主義を破り、新カント主義者ストルツェの歴史的客觀主義、ボグダノフの經驗一元論を尖鋭に批判す。なほプレハノフ(G. Plekhanov, 1857—1918)はマルクス主義哲學の基礎づけをなし、またロシア社會民主主義論の確立者である。ロシアにおける「マルクス主義の父」である。マルクス、エンゲルスの唯物辯證法を把握し、ヘーゲル、フォイエルバッハの研究も非常に精密的確であり、その哲學的著書には「唯物論史のために」(獨語、一八九六年)、「マルクス主義の根本問題」(口語、一九〇八年)、「一元論的歴史觀の展開の問題に對して」(口語、一八九五年)、「チルニツフスキー」(獨語、一九〇八年)その他非常に多くの藝術文學批判書を出す。

クロポトキンの思想——クロポトキン(P. Kropotkin, 1842—1921)は地理學の研究から社會思想に進み、そのアナキズムの思想はダウインの生存競争に對する相互扶助の思想を出し、「叛逆者の言葉」(青年に訴ふ)、「農場・工場・仕事場」(パンの略取)等は最も鋭利なる社會批判であり、また「相互扶助論」「倫理學」はこの生物間の相愛扶助の思想によつて、徒らな闘争を否定し、理想社會の根本的原理を示す。

【大革命後の展開】 レニンはソヴェト建設に際し、哲學の役割を非常に大に考ふ。彼の「哲學ノート」は彼がいかにあらゆる科學的宗教的方面に哲學的批判をなせるかを表示するものである。彼は唯物辯證法を徹底的に實踐と理論との統一と考へ、理論なきところに行動はあり得ないと主張す。また總括的唯物論或は一般的機械的唯物論に反對す。自然科學に對しても

主義社會科學の代表的著作となつた。これと共にボクダノフ、マツハ主義者の批判をなせるデボーリンの出現は、唯物論社會科學の建設に努力した。またロシアの社會史はボクダノフスキによつて精密に組織立てられ、またミーン、ラズモフスキ等はプロレタリア科學の積極性を指示す。なほソヴェートの社會科學は決して個人的業績ではなく、常に中央執行委員、科學アカデミー等の協力を必要とするものであり、五ヶ年計畫、コルホーズ、ソフゾーズ、ゴスプラン等はこの社會科學の具體化である。

【マルクス主義學術研究機關】大革命後、プロレタリア科學建設のため、唯物辯證法による努力は、ブルジョア科學の排撃となり、全部門にマルクス・レーニン主義の徹底を必要とし、プロレタリア獨裁の科學研究に入る。

a、共産主義アカデミー——マルクス主義學術研究の最高峯で、ソ聯邦中央委員會に直屬す。一九一八年創立、一九二三年までは社會主義アカデミーと稱す。現總裁はエム・エン・ボクダノフスキである。マルクス主義方法による科學的研究、闘争、批判をなす。構成は幾多の研究所、セクション、學會よりなる。研究所には哲學、ソヴェート建設史、世界政策等があり、セクションには農業、法律、國家、自然科學、經濟、文學、コーペラチブ等があり、なほマルクス主義雜誌、「共産主義アカデミー報告」、「農業戰線」、「世界經濟と世界政策」、「自然科學とマルクス主義」等、またソヴェート百科辭典が編纂出版されてゐる。

b、マルクス・エンゲルス研究所——一九二二年共産黨アカデミーより分立し、二四年中央委員會の下に創立、モスクワにある。科學的社會主義の研究、革命的共産主義の發生及び發達の研究をなし、無数の蔵書、資料を有し、「マル

クス、エンゲルス全集」(ドイツ語、全四十卷、ロシア語八卷)を出版、なほアレハノフ、カウツキー全集が出版される。機關誌としては「マルクス・エンゲルス・アルヒーフ」、「マルクス主義年譜」を出す。

c、レーニン研究所——一九二三年三月に分立す。レーニンの生活思想、運動、黨史の研究編纂をなす。レーニン全集、レーニン選集を出版、レーニン博物館、圖書館等がある。一九三一年一月にはマルクス・レーニン研究所はレーニン研究所に合併され、以後マルクス・エンゲルス・レーニン研究所と改稱される。

d、レーニングラード・マルクス主義研究所——一九二七年に創設される。經濟、哲學、歴史、社會學の四部より成る。研究、教育が行はる。e、マルクス主義・レーニン主義ウクライナ研究所——ハリコフにあつて一九二四年に創立、經濟、歴史、哲學の三部よりなる。f、ウクライナ學士院——キエフに一九二六年秋、マルクシズム、レーニニズムの講座が開設される。

4. 自然科學 【天文學】 ロシアの詩であるブルコウオ觀測所を有してゐる。一八三九年、著名な星學者ストルツェガレングラードから一七露里の郊外、ブルコウオ村に建設。その三〇インチのレフレクトルは世界有数の觀測機である。また南方ニコラエフ、クリミヤのシメイゼの各地にも觀測所を有す。なほ革命後にはモスクワ、レーニングラードに星學研究所が設立される。一九三〇年、スモレンクは木星の衛星の觀測を精密に決定。ゲラシモウイチ、ブラシニコは變光星の觀測をなす。

【物理・數學】 ロシアにおいて數學は古くからよく發達し、ツエルヌイヌスカヤの數學、ロバ

【植物學】 學士院附屬の植物博物館、及び植物生理研究所がある。權威ある學者としてはバラザン、ナヴシシ、コマロフ等の有數な學者を有してゐる。なほ「科學アカデミー」には「植物生理試驗所」がある。

【地理學】 人類學の諸地方探検調査により、地理學、特に地質學は非常に進歩す。一七三三年にはレーニングラードに鐵山學校が設置され、一九世紀半には地質學委員會が作られ、カルピンスはその主宰をなす。

なほウラルには白金礦が発見され、學士院附屬に白金研究所を有してゐる。アナキストたるクロボトキンもその本來は地理學者として大なる學的貢獻をなしてゐる。

なほ「科學アカデミー」の直屬の委員會に「常設地震委員會」、「北極委員會」、「學術探検委員會」等がある。

D 藝術

1. 音樂 かつて、ゲリンカ、チャイコフスキ、リムスキー・コルサコフ、スクリヤピン、ボロゲン、ムツソルグスキ、等々の世界的音樂家を出したロシアも、帝政時代にあつては大衆は音樂から完全にロククアウトされてゐたが、プロレタリア革命以後、音樂の大衆化が叫ばれ、その發展は、他の藝術の諸部門とは、やゝおくれてはゐるが、この大衆化の運動は次第に發展し、今日では労働者の音樂團の發達は著しく、労働者の數十名集るところには、必ず音樂團體があり、職業專家を招いては、日曜祭日、晝休みの時間、終業後などに演奏を行つてゐる。モスクワ、レーニングラード等の大都市に幾多の専門的交響樂團のあることは人々の知るところであり、シーズン毎に、世界一流の指揮者に出

ツェフスキの非ユークリッド幾何學等は世界的に有名である。現在、ソヴェートの科學アカデミーには「物理數學研究所」があつて、理論數學、應用數學、機械學、純正物理學、實驗物理學、地球物理學の研究をなす。

なほメンデレエフの元素の分子量の研究は非常に大なる學的價值を有してゐる。ルーゲンの集合論、實數函數論の研究がある。ウリゾンはトポロギの研究をなし、一般ダイメンション論を構成す。モスクワにては現在、このトポロギ研究が極めて盛んで、アレキサンドロフは最もこの方面で卓れてゐる。

なほ應用數學にはキシケン、コルモゴロフの能率論の研究、ゴルベフの航空力學の研究等がある。

【化學】 ソヴェート政府は化學を特に獎勵し、民間には、革命後、アヴィヤヒム(化學飛行協會)が設立され、最近にはオリアヴィヤヒム(國防飛行化學協會)と改稱される。全國に互る一大團體にまで組織されてゐる。

また物理的化學の權威に學士院のクルナコフが居る。ロシアの金屬學を創設す。彼は物理的化學分析研究所、及び革命後のモスクワの化學研究所を主宰す。なほ化學者にはメンデレエフ(一八三四—一九〇七年)がその化學元素の週期的法則を發見す。

化學研究所のセメーフの「鎖狀分岐」は酸化行程の一系を明かにす。なほカルポフ物理化學研究所長、パツハはアンモニヤの有機的合成を研究す。

【生理學】 一九〇七年に生理學者バウロフが所長となり、條件的反射説による高等動物の腦髓作用の研究をなして世界的貢獻を示す。彼は一九世紀のロシアの大科學者セチェネフの大膽なる獨斷説を繼承し、それを實證的に組織

演させてゐる。

【最近の音樂界】 ソヴェート音樂はこれがブルジョア音樂と區分するものは、集團的音樂の強調である。大衆音樂が社會主義文化建設の一つの重要な問題となつてゐる。今日の作曲家には寧ろ單なるプロレタリア・イデオロギイのみでないものが多い。アレクサンドロフ、グリエ、イツボリト、イワノフ等があり、また新しい革命的作曲家にはペルリイ、ダウイデンコ、コワリ等の新人を數へ得る。彼等は「赤色作曲家樂壇人協會」を設立してゐる。大衆音樂にはロバチヨフ、ワシリー、ブグライ、コルチャヨフ等が主なるものである。かくて民謡作曲家が非常に多くなつた。クラシエフの「クリミヤの歌」、「タメルラン行進曲」、「ベトルシカ」等が著名である。なほウクライナの作曲家にはウレキエフシキイ、レウチキイ等が名聲を有してゐる。一方、新様式の音樂創造が努力されてゐる。ロバチヨフ、ヨルチマリヨフ等は構成主義音樂を創造してゐる。なほ現實的な生活描寫が強調されてゐる。「十月」、「労働頌歌」等は物質音樂として唯物性を主張する。これはショスタコウイチの音響のダイナミズムが要求され、「音樂のモンタージュ」はリヤウゾフによつて始められた。なほ老大家のミヤスコフスキの最近の「第十一、十二交響樂」、「シエパールの「レーニン」、ボロウインキンの「赤軍交響樂」、「ジウオトフの「西歐」等はイデオロギイと藝術性との辯證法的統一を熱心に要望してゐる。

せるものにして、反射作用を徹底化したものである。彼の研究は神經醫學にも多大の效果をもたらした。メチニコフ(一八四一—一九一五年)は傳染病學の權威、白血球學説を創唱す。

【人類學】 廣大なる領土を有するために、風俗、民族、人類等の研究は古くから發達した。ロシア學士院により、同院創立の二年後、一七二七年に自然科學者メッセルシミットの七年間のシベリア探検による實地研究と蒐集、及び、一七三三年には第二回カムチャツカ探検(第一回は同院創立以前に行はる)が行はれ、シベリアの考古學研究は劃期的發展を遂ぐ。ミルレル、グメリン等は一ヶ年を北地に暮し、ミルレルの「シベリア史」とその研究資料は重要なものであり、またグメリンの「十年紀行」、クラシエニコフの「カムチャツカ論」等は貴重なる文獻である。更に一七五七年、學士院は一層大規模なロシア各地の調査のために、學士會員バラス、ゲルデンシテト、グメリン、フアルク、ゲルオギ、レベヒン等の多數の學者、畫家、技術家等による大調査隊を作り、その學術的業績は驚異すべき分量に上る。

更に以後幾度かの調査探検隊が派遣され、ラングスドルフのブラジル探検、ヴォズネネンスキイの北米探検、シレンクの黒龍江探検、カストレンの同所探検等は主要なるものであり、地理學協會後援のラドロフ、オルデンブルクのトルキスタン探検は世界的に著名である。

なほ「科學アカデミー」には「國立考古學委員會」、「人類學・人類學博物館」等がある。

【動物學】 ソヴェート・ロシアにおいて動物學は地理的に特色を有して居り、動物博物館、動物學實驗所、セバストポール生物學研究所等を有してゐる。學士院のナソノワは世界的に著名なる學者である。

く落着きを見せたソヴェット畫境には、一九二六年頃から「アフルル」(後に「アフル」と改稱)、「四美術」、「オスト」、「オムフ」等の團體が作られ、主としてプロレタリア・リアリズムの主流に來つて發展したが、かの五ヶ年計畫に動員されることによつて、畫家達は工場、農村、鑛山地等に赴き、所謂報告畫の作製に努力するに到り、「オスト」の解散、「オムフ」、「四美術」等の漸次的解體現象となり、こゝに左翼、右翼の内部的闘争を現はし、最近、左翼勢力の著しき據頭を物語つてゐる。

3. 文學 トルストイ、ドストイエフスキ、ツルゲネフ、チエホフ、ゴールキイ、アンドレーフ等の近代文學を持つロシアは、革命によつて急激な變革を見たが、今日のソヴェット文學と言つても、種々多様であつて、所謂プロレタリア文學、農民文學、同伴者文學、新プロレタリア文學等に分かれ、その動きとしては、プロレタリア文學とブルジョア文學の中間に介在する同伴者の益々急激化された分裂、同伴者の右翼轉向による新プロレタリア文學の結成、同伴者の左翼への並に農民文學の量的成長と文學戦線のボルシエヴィキ化、新プロレタリア文學とプロレタリア文學との階級闘争の尖鋭化等が擧げられる。なほ、プロレタリア文學とプロレタリアの實際的生活との間のギャップを充たさんとするものに、ソヴェット報告文學、突撃部隊の文學等がある。

【最近のソヴェット文學界】

a. 文學技術上の論戰——三四年三月、ソヴェット作家同盟の「文學新聞」紙上で數回、新進作家のパンフィヨロフの作品「ブルスキ」に關して、ゴールキイとセラフイモロウイチとが論戰した。ゴールキイは「ブルスキ」の文

學技術及び文學用語上の缺陷、粗雑を指摘し、パンフィヨロフの如き新進作家が餘りにも激賞されることは若い作家に悪影響を與へ、また一般プロレタリア文學の技術上の進展に有害であると論じた。これに關してセラフイモロウイチは反駁し、この問題は一般藝術作品の形式の問題に發展し、アレキセイ・トルストイ、シヨロホフ、ノヴィコフ、プリボイ等も参加し、三月初のソヴェット作家同盟組織委員第三回總會はこの論争を中心的に取りあげ、ソヴェット文學建設の重要問題とした。今日に達せる言葉によつて社會主義的文學を藝術的に創造するための闘争に展開した。

b. 作家同盟規約——三四年の作家大會が六月二日から八月一日に延期され、五月六日に、プラウダ紙に「作家同盟規約」が發表され、社會主義リアリズムの建設を根本目的とする。五月半から大會準備會が盛んに開かれた。また白系ロシア作家同盟大會を始め各民族共和國の作家大會が七月初までに開かれた。

c. 詩人會議——ウシエヴィツ女史とチホーノフ等の報告があつた。そしてソヴェット詩人たちの遅れてゐることが主張された。チホーノフは、藝術性を失はれた單本に書くこと、また構想の大きい叙事詩を書くことを要求す。

d. 作家同盟大會——一九三四年八月一七日から二週間、モスクワで開會。ゴールキイの「ソヴェット文學について」の報告によつて始まる。それはプロレタリア文學の世界文學史における地位の明確なる表示であり、更に副報告としてウクライナ、白ロシア、タタール等の各民族共和國作家同盟の報告がなされる。次にラデツクは「世界文學とプロレタリア藝術の任務」によつて社會主義リアリズムを論ず。

e. 詩人會議——ウシエヴィツ女史とチホーノフ等の報告があつた。そしてソヴェット詩人たちの遅れてゐることが主張された。チホーノフは、藝術性を失はれた單本に書くこと、また構想の大きい叙事詩を書くことを要求す。

年計畫の狀況が盛んにリアリストイックに描寫され、ドニエプロストロイの歴史、ドン・パスの歴史が計畫され、イシエフスキ工場史、スターリングラド工場史が發表された。なほ極東問題を取扱つたルビンシュテイレの「サムライの道」は日本軍隊の分析を試みてゐる。

4. 演劇

現在ソ聯邦の演劇は完全にプロレタリア革命發展のために奉仕してゐる。政治教育演劇部の宣言に曰く、「革命の結果、將來の演劇文化建設の任務を自己の掌中に收めた労働大衆は、演劇の方面においても、自分自身の要求、自己獲得の創造力を表現することに向つて第一歩を試みてゐる。そこで從來の國民的國際的演劇は、その地位を純階級的演劇に譲つた。そしてこの階級的演劇は二つの主なる河床に沿つて發達してゐる。それは労働者劇と農民劇とである。これらの新劇の目的とするところは次の諸點に歸着する。集團の創造力を解放すること、演劇における舞臺監督の絕對權を廢止すること、世界文學の劇的材料を大衆的に再改造すること、俳優と觀衆とを唯一の創造的過程に結合すること、舞臺及び演出全體に互つて、集團精神と力學の原理を高めること、等である。かくして新劇の道程は、今日演劇文化の支配形式となつてゐる個人主義的演劇から、完全な意味における民衆劇への移動でなければならぬ。」

現在、有名な劇場は、モスコイ藝術座、ワフタンゴフ劇場、ユダヤ室内劇場、タイロフ劇場、

メイエルホルド劇場、プロレトクリト劇場、モスコイ職業組合劇團等あり、その他に幾多の農民劇場、児童劇場がある。

【最近の演劇界】

ソヴェットの最高の演出家ウセオルト・メイエルホルドの満六十歳祝賀が三四年二月一日モスコウで開催。なほ三月三十一日にはゴゴリの生誕二二五年演劇祭に彼の「檢察官」が全聯邦各地で上演せられた。なほ九月には一日から十日までモスコイで大規模に演劇祭が行はれた。スタニスラウスキは「セーウイラの理髮師」を演出、メイエルホルドは新作「カミイラ」を上演す。なほタイロフはモンタージュの演劇を試み、「クレオパトラ」を新しく戯曲化するためにブーシニョンの「エジプトの夜」、シエークスピアの「アントニーとクレオパトラ」、シヨオの「シーザーとクレオパトラ」を新しく編曲することによつて新様式の演出を示さんとした。

5. 映畫

ソ聯邦の映畫が他の諸國の映畫と異なるところは、それが國家の統制下にあること、目的が商業的でなく教化的である點にある。ソ聯邦を構成する各共和國には、各自國立の映畫製作所があり、映畫の製作はかりでなく、その配給、映畫劇場の經營、地方移動映畫隊の支配、映畫教育への直接参加、フィルム並に映畫機械の製作までもなし、各共和國は各々獨立的に仕事をして來たのであつたが、一九三〇年以來、モスコイに本部を有する國立全聯邦映畫寫眞統一部(ソユエツキー)の組織に加はり、映畫事業の集中化が完成されつゝある。映畫の國營と相俟つて、ソ聯邦映畫組織の中で最も活躍してゐるものに「ソヴェット映畫の

文學についての報告とブハーリン、チホーノフのソヴェット詩に關する報告がなされた。これ等に關し盛んなる討議が行はれた。なほ劇文學の報告の際、土方與志伯もそれに参加したことが、日本政府の問題となり、遂に華族から除籍されることとなつた。

e. ゴールキイの活動——ゴールキイは今日のソヴェット文學の中心となり、セラフイモロウイチとの論争も、そのゴールキイの論旨が最後には正しいことが一般に認められ、一層積極的に文學技術的發展を必要とし、かくしてブルジョア文學の眞の克服が可能であると考へられた。また「ドスチガエフ、その他の人々」を書き、革命直後のインテリゲンチヤの姿を描く。また作家大會における彼の演説は、世界文學史の堂々たる批判であり、ドストイエフスキイに對しても痛烈なる批判を與へてゐる。

f. 文學作品——パンフィヨロフは問題作「ブルスキ」の後篇を書き續け、すでに數千枚を越へてゐる。その第四部が出版される。またプリボイは日本海軍の「ツシマ」によつて一躍名聲を馳せ、その後も續々作品を發表してゐる。シヨロホフの「靜かなるドン」と「ひらかれたる處女地」は共に現代文學の最高峯に立つてゐる。アレキセイ・トルストイは「ビョートル大帝」の第二部を完了。フェーゲンは「ヨロツバの掠奪」を發表。またフェセウオロド・イワノフは五部作「托鉢僧の通歴」を出し、一九一一年から一八八年に亙る生活の描出である。なほシウホフは長篇「決闘」を書き、チホーノフの「闇の憩ひ」は問題の新作である。なほレオノフは「スクタレーフスキ」を戯曲化する。

g. 現代史文學——ゴールキイの主張する「工場の歴史」、「市民戦争の歴史」等の文學作品が書かれんとして居り、第一次、第二次の五ヶ

最近の映畫館の増加

年 度	映畫館數
1917年(革命前)	1,045
1927年10月	7,251
1930年10月	21,985
1931年 1月	22,704
1932年 1月	32,000

廊にあつて、宣傳批判等をなし、映畫事業に協力するものである。

E 新聞・雜誌

1. 概説——ソ聯邦政府は、印刷物にも重大な注意を拂ひ、これによつて民衆の日常教育を進行させてゐる。一九二八年の初めに發刊されてゐた新聞數は五五七種、發行部數九百萬部であつたが、一九三二年には六、六八三種、發行部數三千五百萬部に達してゐる。次に一九二八年度に發行された書籍類は二億二千六百萬部であつたが、一九三二年度は八億三千六百萬部と稱されてゐる。

新聞紙の多くは、共產黨、職業組合、またはソヴェット執行委員會の手によつて發行され、すべて共產黨の機關紙である。その著しい特徴は、全體としてその黨内、また國內で暴露された缺陷に對する忌憚なき報道と批判とをなしてゐることであり、同時に工場(Rabkor)及び農村(Selkor)からの労働通信員の通信文を多く發表し、それによつて國內一般のプロレタリア讀者の密接な交通を助けてゐる。

2. 新聞——ソ聯邦の新聞において最も特徴のあるのは、各種工場、軍隊、共產黨學校、青年訓練所などで製作される手製の壁新聞である。又一つの特徴としては、近年益々各民族自

國語によつて發刊される新聞の増大である。
3. 主要新聞 ソ聯邦における主なる新聞名を挙げれば、ブラウダ (Pravda)、イズヴェスチヤ (Izvestia)、エコー・ド・モスクワ、ジーズニ (Zvezda)、オムニチカヤ (Omnichestkaya Zhizn)、ザ・インダストリアル・リチヤ (Za Industriyatsia)、トルド (Trud)、ク拉斯ナヤ・ズヴェズダ (Krasnaya Zvezda)、コムモリスカヤ・ブラウダ (Kommunisticheskaya Pravda)、ソチアル・スチエチエス・ゼムレデーリ (Sotsialisticheskoe Zemel'de)、「ク拉斯ナヤ・ズヴェズダ」ガゼータ (Krasnaya Gazeta) 等々である。

4. 圖書出版 ソ聯邦の圖書出版において最大なる役割を演じてゐるものは国立出版所ゴズイズダットである。最近のソ聯邦における國內工業化、農業集團化、社會主義建設問題の解決、文化事業の發展等々の成功の成果は一般の書籍、雜誌の需要を著しく増大せしめつゝある。

F 風俗

ソ聯邦における社會的並に個人的生活の姿は、政治的革命的嵐の過ぎ行くと共に一大變革を來たしつゝある。資本主義的・個人主義的生活様式の殘滓の中から、社會主義的新様式が眼ましくも發芽し、こゝに文化的革命は急速なテンポを以つてソ聯邦の人々の上に發展しつゝある。且つ、風俗習慣を異にする驚くべく多種多様な人種を含むソ聯邦としては、その文化革命の過渡期と相俟つて、その國民の生活様式は、必然に複雑多岐なるをまぬがれ得ない状態にある。

一般にロシア人の服装は質素で階級性を持たない。物資の缺乏勝ちな今日は特にそれが甚だしい。婦人服におけるヨーロッパの流行なども關稅によつて阻止されてゐる。婦人の男装もアメリカなどに流行するものとは又別な意味で行はれてゐる。

ロシア人の飲食物としてよく知られてゐるものに、ポリーシチ(スープ)、胡瓜漬、ザクニスカ、ウオッカ、黒パン、クッス、サモワルなどがある。なほロシア住宅で特徴のあるのは「イスバ」と稱せられる特殊な建築様式を持つ農家と、二重壁になつた家屋を暖めるストーヴ「ペーチカ」であらう。

【最近の傾向】 ソヴェート聯邦は一九三四年を契機として更に新しい文化的段階に入るべく努めてゐる。舊ロシアの宗教的・アジア的風習と生活とは革命により急激に變革され、プロレタリアート國家は益々近代のメカニズムと科學的文化とにより、盛んに唯物辯證法的方法によりて形成されてゐる。特に教育には今年より單にマルクスの原則主義よりもより純粹なる文化科學一般を増加し、歴史、地理、文學等の興味ある文學的色彩を濃厚にす。新聞記事、ラヂオの放送も、今までの官廳的宣傳風をより娛樂的の放送も、スポーツは特に奨励される。モスコの市街では益々文化的施設を大にし衛生清潔を重んじ、市街の裝飾、外國品がトルグシ(外貨商店)以外にも販賣を許され、食料品も非常に豊富にさる。更に市民の服装にしても、今日までのプロレタリアートとしての質素なルバシカ風より解放されてブルジョア式として排撃された「白カラー」もまた奨励され、婦人達もまたフランス風の流行を示すに至つた。かくてソヴェート文化は革命期の共産的公式主義を放棄して、新文化建設への方向を辿るに至つた。一方、農村地方には、各種族の集合多く、古い各種の風俗習慣を多分に保有してゐる。

【年中行事】 その年中行事は依然盛んで、一九一八年二月一日、新曆法採用後、宗教的

G スポーツ

革命前までのロシアにおけるスポーツは、充分な發達をとげず、僅かに大都市に小規模な體育團體が存する位に過ぎなかつたが、革命後、社會秩序の恢復と共に、ソヴェート政府は精神教育と共に大衆の肉體的訓練をも重大視し、大に之が發展に努力するに至つた。その特徴としては、特にスポーツが階級易い競争的な缺陷を排除し、スポーツの個人主義主義を禁止し、肉體の訓練は、スポーツそのものが目的ではなく、大衆の肉體的條件を向上せしめ、團體的な訓練をなす手段とするところにある。

ソヴェート・スポーツの最も重要な指導機關となつてゐるのは、一九二二年、全露ソヴェート中央執行委員幹部會の決議に基いて、同會直屬の機關として創設された最高體育委員會である。州・縣・郡・地方の各ソヴェート機關内にも、この最高體育委員會の地方機關として體育委員

スポーツ諸團體

Table with 3 columns: Year, Number of Clubs, Number of Members. Data for 1913, 1927, 1931, 1932.

會が設置されて居り、それが各労働組合關係の下級體育團體や、大・中・小學校内の體育團體を指導して體育の生産への適合、競技の組織、スタヂオの新設擴張、指導者の養成、文献の發行等をなし、體育の正しい普及と發展に努めてゐる。

II 自然

A 自然的條件

ソヴェート聯邦はヨーロッパの東北部、アジアの北部を占め、歐洲大戰後分離せるフィンランド、ポーランド、エストニア、リトワニア、ラトヴィアなどを失ひしと雖も、なほ約二、一三五萬平方キロあり、全地球陸地の約六分の一、日本の約三〇倍、その面積において英國に次いで世界第二位である。その最北端は北緯七十七度、最南端は同四〇度、東經二七度より一九五度に擴がる。北は北氷洋に面し、南は支那、ベルシア、アフガニスタン、トルコに隣接し、東はオホーツク海を隔てて日本と相對し、ベリリಂಗ海を境にアラスカに隣り、支那との境界線約七、五〇〇キロ、北氷洋の海岸線は約一六、〇〇〇キロに達し、太平洋の海岸線約一三、五〇〇キロに及んでゐる。西方の境界は殆んど一直線をなし、東

B 地理

ソ聯邦の從來ヨーロッパ・ロシアと呼ばれた領域の大部分は殆んど渺茫たる大平原で、主なる山地としては、その東邊を南北にウラル山脈が延び、南邊裏海と黒海との間にはコーカサス山脈が聳えてゐる外、大平原の中央より稍西南に寄り中部ロシア臺地あるのみである。

ウラル山脈は歐亞の境界をなす山脈として有名で、延長においてヨーロッパの三分の一にも及ばず、北より南するに従ひ低く次第に丘陵地化して、山脈の幅が非常に廣くなつてゐる。

コーカサス山脈は裏海、黒海間を東西に走る峻峻な山脈である。中部ロシア臺地は南東より北西の方向に走る丘陵地で、北氷洋とヴォルガ河の支流の分水嶺となつてゐる。

以上の山地を除いては他は殆んど無邊の廣野であるが、その内中部ロシア臺地以北の北氷洋に面する平原は「ツンドラ」即ち凍土帯で、藪苔一面に地表を覆ひ、一年中夏季一、二ヶ月間を除いては解氷することがない。凍土帯の南邊は森林繁茂し、森林ツンドラ地帯を形成する。ツンドラ地帯の南に續いて平原中部の森林地帯に到り、その南ヴォルガ河下流よりドン河に到る一帯に所謂黒土地帯と言はれる豊饒なる地帯あり、その南東部にはステップ地帯と言はれる不耗の地帯がある。

祭日は一切廢止され、「風俗による」休日なるものを永久に廢す。この反宗教主義による「革命記念」の祭日が設けられ、一月七日「プロレタリア革命の日」、五月一日「メーデー」、三月一日「君主獨裁廢滅の日」、一月二二日「血の日曜日」、三月一八日「バリ・コムニョンの日」の五大節である。その他に一月二二日「喪の日」、二月二三日「赤軍の日」、三月八日「國際婦人労働者の日」、四月一七日「レナ金銀化における労働者射殺の日」、五月五日「労働新聞の日」、六月五日「國際コーボレイションの日」、七月六日「ソヴェート聯邦憲法制定の日」、八月一日「國際赤色デー」、九月七日「國際青年の日」、一〇月一四日「豐作と農業集團化の日」、等々の一〇の革命記念日を有す。その日にはデモンストレーションを行ひ、全國が赤旗を掲ぐ。

C 氣候

大陸の常として地方によつて氣候も甚だしくその趣きを異にし、それぞれの特長を持つてゐるが、概括して言へば大陸的氣候で寒氣厳しく、春秋の二期が非常に短いのを特色とする。一年中にて最も暖いのは七月、最も寒いのは一月から二月、北緯五五度以北では一月から

翌年の三、四月の頃まで約半年は水點下にあり、東より西に進むにつれて漸次緯度の割合には温

七 共和國別面積・人口

(1926年12月の國勢調査)

Table with 3 columns: 共和國 (Republic), 面積 (面積) (Square Kilometers), 人口 (Population). Rows include Russia, White Russia, Ukraine, Transcaucasia, Turkmenia, Uzbekistan, Tajikistan, and USSR total.

D 面積・人口 ソヴェート聯邦は別表に見られる如く、七共和國により構成せられ、その總面積は地球全陸

行政の實務に當る。ソ聯邦においては、社會主義完成のあかつきには、現存する都市と村落との相違は必然的に

VII 年誌 (自一九三三年一月)

- 一九三三年 一月 駐支大使にボゴモロフを任命
ソ聯邦政府は日本の東支鐵道東部線の使

- 一七 日ソ不侵略條約の交渉大要を公表
新駐日大使にユレニエーフを任命
二月 日本政府、小笠原入港のソヴェート捕

- 下る
二〇 ソ聯邦政府、駐英通商代表を召還
二九 反共主義者を追放
五月 軍縮會議安全保障委員會でソヴェート

- 七月 邦人漁夫射殺に關しソ聯に嚴重抗議
北鐵賣買のソヴェート側委員入京
北鐵賣買の交渉開始
邦人漁夫射殺に關しソ聯に嚴重抗議

- 四 スターリン運河の完成を記念し工事に従事した政治囚の大免減刑を發表
- 六 ベルギーのソヴェート承認交渉
- 八 イギリス大使更迭、後任はチルストン。北鐵譲渡に關する第一次私的交渉開始。北鐵、ウズリイ鐵道と協定廢棄を通告
- 九 ソ通商の前提に經濟視察團を交換
- 一〇 英ソ通商交渉専門家討議に入る。第二回北鐵理事會、内部改造成らず
- 一一 滿洲國、銅山號事件でソ聯に抗議
- 一二 北鐵譲渡交渉好轉す
- 一三 北鐵・ウズリイ鐵道間における貨物聯絡復活す
- 一九 北鐵交渉に新代表を派遣
- 二一 北鐵改造にロシア側譲歩
- 二二 滿洲國側遂に北鐵の會計検査を斷行
- 二三 北鐵の検査範圍を擴大
- 二四 軍用機をウラジオストツクに集結
- 九 月
- 二 伊ソ不侵略條約調印さる。北鐵譲渡交渉のため派遣された新代表バルイシュニコフ敦賀に入港
- 四 漁獲高が超過したとこと北洋漁業に紛擾
- 九 ソ聯政府新たな勢力を派遣して極東警備に全力集中
- 一二 駐日ソ大使、齋藤首相を訪問して重要會見を遂ぐ
- 一八 アメリカ對ソ承認を決議す。北鐵内部改革にソヴェート側の背任行為判明し問題尖鋭化す
- 二一 ソヴェート側北鐵譲渡交渉打ち切りを暗示。北鐵第五次交渉開催に決し駐日ソヴェート大使廣田外相を訪問
- 二二 北鐵第五次交渉物分れ
- 二四 滿洲國、北鐵のソ聯側四首腦を召喚
- 二五 ハバロフスク、ウラジオ中心の大防空演習を計畫。北鐵の四首腦部召喚に伴ふ代理任命につきソ聯側專斷。ウズリイ鐵道の抗議を滿鐵一蹴す
- 二六 北鐵事件で露滿の對立激化
- 二八 六社對松方石油問題でソヴェート側商工省に意向を表明す
- 一〇 月
- 五 北鐵紛擾に滿洲國強制力行使の決意を聲明
- 九 ソ聯、北鐵占領計畫なりと稱する文書を發表し日本を中傷。滿ソ水路會議開催に決す
- 一〇 ソ聯の極文書發表事件に對し日本外務省抗議的警告を發す
- 一一 北鐵ソ聯側幹部捕縛事件につき滿洲國に抗議
- 二〇 米ソ國交の復活交渉具體化す
- 二一 ボーランドでソ聯領事館員殺害さる
- 二三 赤軍首腦部答禮としてトルコを訪問
- 二六 米ソ復交渉のためリトヴィノフ外務人民委員、アメリカへ出發
- 三〇 ソ聯北鐵直通輸送の復活を要求、滿洲國車輛不法引込を拒絶す
- 一 月
- 六 國營のタス通信、日本軍用機の「ロシア侵入」ありと報ず。モロトフ首相、革命記念會議の席上對日準備を揚言
- 七 米ソ復交渉の折衝開幕
- 八 エクアドルもソ聯承認を交渉。「日機侵入」問題で日本へ警告
- 一九 米ソ國交復活成る
- 二〇 駐米ソヴェート大使にトロヤノフスキ
- 二一 一を任命。ソ兵滿洲里國境附近にて滿洲國兵へ發砲す
- 二二 世界第一を誇るソヴェート飛行機、試験飛行中墜落大破
- 二五 リトヴィノフ外相、アメリカよりの歸途イタリヤへ向ふ
- 二 月
- 九 リトヴィノフ外相、ソ都へ歸着
- 一一 駐ソ初代米大使ブリット、モスコに着
- 一五 伊ソ不侵略條約正式に成立
- 一七 ソ聯・ベルシア間の通商協定成る
- 二六 駐米ソヴェート大使モスコイ出發
- 二七 ルナチャルスキー逝く
- 二八 ソ聯邦中央執行委員會大會開催さる
- 二九 中央執行委員會大會においてリトヴィノフ外相「日露若し戦はゞ日本孤立せん云々」の長口舌を振ふ
- 一 九 三 四 年
- 一 月
- 八 駐日ソヴェート大使、廣田外相を訪問、北鐵譲渡交渉の再開斡旋方を依頼。新駐米大使トロヤノフスキー着任
- 一一 ソ佛新通商協定正式に調印
- 一二 ハルビンにて打倒北鐵の民衆デモ行はる。滿洲國、ソ聯側従業員釋放を決定
- 一七 赤軍大學一五週年記念日舉行
- 二一 駐ソ日本大使、外務次官を訪問し、日ソ關係の打開を策す
- 二二 日本外務省、ソヴェート政府の反省を希望する聲明をなす
- 二六 ソヴェート側北鐵運賃の値下を回避。第一七回共産黨大會開催さる。
- 三 月
- 三 ソヴェートの成層圏探險氣球墜落す
- 二 月
- 一 メーデー、世界最大の飛行機ゴルキイ號參加
- 三 トロツキー一派の共産黨員銃殺され、スターリンの獨裁制愈々強固
- 七 アメリカの不拂國認定に抗議す。運輸法令を公布
- 八 極東にユダヤ人自治州を創設
- 九 北鐵第二回中間會商開始
- 一四 日ソ間のベシコフ號問題圓滿解決
- 一六 ソ支間に内蒙古の交通通信密約が成立したとの報道あり。フェデコ將軍を臨時極東總司令官に任命
- 二二 日本領事館發砲事件につき遺憾の意を發表す
- 二五 ソ領漁區の再競賣行はる
- 二七 南部地方の労働者賃銀を引上げ
- 二 月
- 二 太田大使、漁獲期の紛争防止策を當局と折衝
- 四 滿洲國汽船砲撃事件につき逆襲的回答を發す
- 九 ルーマニア、ユーゴスラヴィア、チェコスロヴァキアの三小協商國、ソヴェートを正式に承認
- 一〇 ボグラニーチナヤに日本領事館開かる
- 一一 ソ聯側、ソ滿國境の河川水路會議を應諾。空中列車再度大成功
- 一四 北洋定期航空一六日より開航を發表
- 一七 ルーブル換算率改訂交渉の第一回會商開かる
- 二〇 革命軍事會議を廢止す
- 二二 駐獨大使更迭、後任はシュリツ
- 二四 豫ての決定通りウクライナの首都、キエフへ移轉さる
- 二九 カラハン、駐土大使に任命さる

- 一 ソヴェート側北鐵運賃値下提議
- 三 駐ソ支那大使顧惠慶歸國。共産黨大會においてウオロシノフ好戰的演説をなす
- 四 日本軍ソ領へ通入せる匪賊の武裝解除を通告
- 五 英外相、英ソ不侵略條約を不必要と言明。極東へ移民を集中
- 六 米ソの舊債交渉正式に開始さる。ソヴェート・ハンガリー間の外交關係復活協定に調印
- 一〇 七 日本側の漁區入札立會を禁止
- 一〇 七 極東司令官ブリュッヘル、日本の戦備を誇大に強調。第一七回共産黨大會閉會さる
- 一一 二 アメリカ對ソ關係の新會社設立
- 一一 三 ソヴェート北極探險船氷塊に壓潰さる
- 一一 五 モスコイ極東間に直通電話開設さる
- 一一 六 英ソ通商條約調印さる。國立銀行アコ債券賣出を正式に拒絶
- 一一 九 日本外務省對ソ漁區入札の方針を決定
- 一一 〇 七 ソ領漁區入札で日本側の入札無効を宣言さる
- 一一 一 九 プハリソン、政府機關新聞の主筆に任命さる。日本當局ソ領漁區入札の有効を要求
- 一一 二 日本外相・ソヴェート大使の懇談、諸問題を解決し、兩國關係果然好轉
- 一一 三 太田大使、リトヴィノフ外相と會見、ソヴェート側譲歩の用意を示す。ソヴェート飛行機朝鮮に現はる
- 一一 四 北鐵ソ側従業員釋放さる。ソヴェート側河航、國境兩會議の召集に應諾を言明。北鐵のソ側職員後任決定す
- 一一 五 ソ聯側、漁區入札の再競賣を言明。
- 二 月
- 二七 ソ領漁區追加競賣を三月五日に延期
- 二八 日本外務省、怪飛行につきソヴェート政府に嚴重抗議
- 一 月
- 一 日本、ソヴェート飛行機の不法射撃事件につき嚴重抗議
- 三 英ソ新通商條約正式に調印さる
- 五 北鐵譲渡交渉再開さる
- 七 五 アメリカ駐ソ大使モスコイに到着
- 一〇 七 小協商國側のソ聯承認近く實現
- 一一 〇 七 太田大使、日ソ漁區問題に關し二提案を出す。ソヴェートの輕爆撃機滿洲國內に不時着
- 一一 二 日本外相、ソヴェート大使と北鐵譲渡並に漁區競賣の兩問題で重要會談
- 一一 五 ソ聯政府、行政組織並に經濟的機構に關する新法令を發布。ソヴェート飛行機不時着事件で日本側態度強硬
- 一一 七 ソ機越境に對し滿洲國抗議。スウェーデン政府よりの借款成る。日ソ漁區問題遂に解決す
- 二 〇 最低賃銀制を廢止
- 四 月
- 四 ソヴェートとエストニア、ラトヴィア、リツアニア三國との侵略國定義並に紛争の平和的處理に關する條約延長議定書に調印
- 八 ソヴェート聯邦憲法聯盟に加入せん
- 一三 ソヴェート北洋探險隊全員救はる
- 一四 カリーニン、ウズリイ鐵道沿線の要塞を視察。北鐵譲渡交渉二六日に再開
- 二五 ソ聯政府の閣員異動行はる
- 二八 ウクライナ人民委員會議長にルパチエニコを任命
- 五 月
- 二九 一を任命。ソ兵滿洲里國境附近にて滿洲國兵へ發砲す
- 二二 世界第一を誇るソヴェート飛行機、試験飛行中墜落大破
- 二五 リトヴィノフ外相、アメリカよりの歸途イタリヤへ向ふ
- 二 月
- 九 リトヴィノフ外相、ソ都へ歸着
- 一一 駐ソ初代米大使ブリット、モスコに着
- 一五 伊ソ不侵略條約正式に成立
- 一七 ソ聯・ベルシア間の通商協定成る
- 二六 駐米ソヴェート大使モスコイ出發
- 二七 ルナチャルスキー逝く
- 二八 ソ聯邦中央執行委員會大會開催さる
- 二九 中央執行委員會大會においてリトヴィノフ外相「日露若し戦はゞ日本孤立せん云々」の長口舌を振ふ
- 一 九 三 四 年
- 一 月
- 八 駐日ソヴェート大使、廣田外相を訪問、北鐵譲渡交渉の再開斡旋方を依頼。新駐米大使トロヤノフスキー着任
- 一一 ソ佛新通商協定正式に調印
- 一二 ハルビンにて打倒北鐵の民衆デモ行はる。滿洲國、ソ聯側従業員釋放を決定
- 一七 赤軍大學一五週年記念日舉行
- 二一 駐ソ日本大使、外務次官を訪問し、日ソ關係の打開を策す
- 二二 日本外務省、ソヴェート政府の反省を希望する聲明をなす
- 二六 ソヴェート側北鐵運賃の値下を回避。第一七回共産黨大會開催さる。
- 三 月
- 三 ソヴェートの成層圏探險氣球墜落す
- 二 月
- 一 メーデー、世界最大の飛行機ゴルキイ號參加
- 三 トロツキー一派の共産黨員銃殺され、スターリンの獨裁制愈々強固
- 七 アメリカの不拂國認定に抗議す。運輸法令を公布
- 八 極東にユダヤ人自治州を創設
- 九 北鐵第二回中間會商開始
- 一四 日ソ間のベシコフ號問題圓滿解決
- 一六 ソ支間に内蒙古の交通通信密約が成立したとの報道あり。フェデコ將軍を臨時極東總司令官に任命
- 二二 日本領事館發砲事件につき遺憾の意を發表す
- 二五 ソ領漁區の再競賣行はる
- 二七 南部地方の労働者賃銀を引上げ
- 二 月
- 二 太田大使、漁獲期の紛争防止策を當局と折衝
- 四 滿洲國汽船砲撃事件につき逆襲的回答を發す
- 九 ルーマニア、ユーゴスラヴィア、チェコスロヴァキアの三小協商國、ソヴェートを正式に承認
- 一〇 ボグラニーチナヤに日本領事館開かる
- 一一 ソ聯側、ソ滿國境の河川水路會議を應諾。空中列車再度大成功
- 一四 北洋定期航空一六日より開航を發表
- 一七 ルーブル換算率改訂交渉の第一回會商開かる
- 二〇 革命軍事會議を廢止す
- 二二 駐獨大使更迭、後任はシュリツ
- 二四 豫ての決定通りウクライナの首都、キエフへ移轉さる
- 二九 カラハン、駐土大使に任命さる

- 七月
 - 六 對ソ不侵略條約をアメリカ拒絶
 - 一〇 獨ソの海軍均等にフランス反對す。ゲベ・ウ愈々廢止さる
 - 一三 英外相下院でソヴェートの聯盟加入支持を聲明
 - 一四 駐佛大使ドゥガレフスキー逝去。ソ滿水路協定の大綱決す
 - 二三 日本外相、ソ大使に最後仲介案を提示。ソヴェート聯邦・ブルガリア間の國交回復す
 - 二七 反革命團體活躍す
 - 二八 赤軍參謀副總長、空軍參謀長飛行機でポーランドへ答禮飛行
 - 八月
 - 七 佛伊へ答禮飛行

- 二六 首腦部刷新のため北鐵副理事長代理を本國に召喚
- 九月
 - 六 米ソの債務交渉完全に決裂
 - 九 職業組合の組織を擴大に決す
 - 一〇 科學者メンデルレーフ生誕百年記念大會開かる
 - 一二 北鐵副理事長代理後任クリツ任命
 - 一五 滯空新記録七五時間を作る
 - 一八 東歐平和保障につきジュネーヴでソ・波共同宣言
 - 一九 佛ソ間に東歐ロカルノ條約締結の諒解成る
 - 二〇 米ソの債務交渉續開に決す
 - 二六 日本で開催の赤十字國際會議へのソヴェート代表出發す

一六五六年、スウェーデンに包圍され、エルビング條約にも市の獨立が認められた。併し一七九三年に至り遂にプロシア領となる。

三、**一九世紀** ナポレオン時代にはフランス軍に攻められて、チルシット條約にてフランス、プロシヤ、ザクセンの保護自由市となつて、大陸封鎖令のために非常に困窮す。一四年にはプロシア領となる。更にダンツィツヒは一八一六—一八二三年の間及び一八七八—一九一九年の間、西プロシア州の首府となる。

四、**世界大戰後** バリ平和會議にてダンツィツヒのポーランド割譲が反對され、平和條約第一〇—一〇八條の和協條項により同市はドイツから獨立して、周圍の地と共に國際聯盟保護の下に自由市となる。一九二〇年、ポーランドとの協定にて、海口なきポーランドに唯一の海港としてこれを利用し得る權利を與へられ、尙一九二二年一月、ダンツィツヒ・ポーランドは同一稅區、經濟區として統一せらるゝに至る。

22

ダンツィツヒ自由市

國際聯盟管理

Freie Stadt Danzig, 英・獨 Danzig, 佛 Danzig.

I 歴史概観

一、**起源** その史上にあらはれたのは一〇世紀末に北方の重要な貿易港となつた時に始まる。當時はボメラニアの首府であつた。西暦九七七年にブラーグのアダルベルトがこの地にキリスト教を布教に來た。一一八五年、城壁をもつて嚴重に防禦したが、ブランデンブルクに侵略され、一二九五年に再び奪還す。なほ一二九五年にはポーランド領となる。一三〇九年、ドイツ騎士團はこの市を騎士團の財産にし、一

三四三年カリシユ條約で確定さる。以後、商業貿易上に非常なる發達を示し、一三五八年、ハンザ同盟に加はる。

二、**興隆時代** 軍事的にも大發達を遂げ、ストゥックホルムを占領、騎士團の壓迫を脱するたために一四五四年これと絶縁す。ポーランドに屬し、自由市として、獨立の行政司法權を承認され、宣戰、媾和、同盟の獨立權を獲得す。一五二三年に宗教革命が始まり、遂に新教國となる。この頃がこの市の全盛期であつた。一五七五年、ポーランド國王に反對して遂にその獨立を維持

す。一六五六年、スウェーデンに包圍され、エルビング條約にも市の獨立が認められた。併し一七九三年に至り遂にプロシア領となる。

三、**一九世紀** ナポレオン時代にはフランス軍に攻められて、チルシット條約にてフランス、プロシヤ、ザクセンの保護自由市となつて、大陸封鎖令のために非常に困窮す。一四年にはプロシア領となる。更にダンツィツヒは一八一六—一八二三年の間及び一八七八—一九一九年の間、西プロシア州の首府となる。

四、**世界大戰後** バリ平和會議にてダンツィツヒのポーランド割譲が反對され、平和條約第一〇—一〇八條の和協條項により同市はドイツから獨立して、周圍の地と共に國際聯盟保護の下に自由市となる。一九二〇年、ポーランドとの協定にて、海口なきポーランドに唯一の海港としてこれを利用し得る權利を與へられ、尙一九二二年一月、ダンツィツヒ・ポーランドは同一稅區、經濟區として統一せらるゝに至る。

II 政治

A **政治機構** ヴェルサイユ條約 (Treaty of Versailles) 一〇二條によりその近接地を含むダンツィツヒを自由市 (Die Freie Stadt Danzig) とし、國際聯盟保護の下に置くことに決定さる。國際聯盟は理事長 (High Commissioner) を任命する。而してダンツィツヒ憲法は一九二二年五月一日、國際聯盟により確認さる。同憲法によれば國民議會 (Volksrat) と元老院 (Senat) の設立を規定し、元老院は内閣にあたり、行政を執行する。

【理事長】 レスター (Sten Lestén)、「アイルランド自由國人、一九三三年一月二六日任命。

【首府】 ダンツィツヒ市 (Danzig)

B **元老院** 憲法の規定により設立されてゐ

る元老院は内閣に相當し、議長、副議長及び一〇名の議員よりなり、議長、副議長及び四名の議員は俸給をうく。元老院議員は議會により任命される。選舉は多數決制を採用す。二五歳以上のすべての市民は被選舉權を有す。有給元老院議員(四人)は他の如何なる公職にも就くことを得ないし、また元老院の許可なくして如何なる職業にも従事することを得ない。之れに反し無給議員(六人)は元老院の許可があれば公職に就くことが出来る。即ちこれ等の元老院議員は元老院の賛成なしには商業界の支配者、管理者たることを拘束される。議長は行政事務萬端を指揮、管理する。

元老院は國家における最大權力を有し、元老院會議は非公開である。人民投票は投票者の十分の一の要求があれば行はれる。憲法の變革は議會において三分の二以上の賛成を要し、且つ少くとも三分の二の議員出席するを要す。

【元老院議長】 ラウシニング博士 (Dr. Hermann Rausing)、「國民社會黨首領、一九三三年六月二〇日選出。

【副議長】 クライザー (Arthur Greiser)

教育・美術・宗教相 マック博士 (Dr. Raack)

社會相 ホーンフェルト (Hohnfeld)

勞働相 ホーフナー教授 (Prof. Hoepfner)

人口相 クルク博士 (Dr. Kluck)

商業・運輸・技術相 フォン・ウニツク (von Wunick)

宣傳相 マツェル (Matzer)

D **國民議會** 憲法の規定により國民議會 (Volksrat) は任期四年とする七二名の議員より成り、選舉は比例代表制に基づく一般、直接、平等、秘密制度により、二〇歳以上の全ダンツィツヒ自由市民は選舉權を與へられる。

【現議長】 一九三三年五月二八日行はれた總選舉によつて選出されたものにして、各政黨選出議員数は左の如し。即ち、國家社會黨 (National Socialist Party) 三三名、社會民主黨 (Social Democrat Party) 一三名、中央黨 (Centre Party) 一〇名、共產黨 (Communist Party) 五名、ドイツ國民黨 (German Nationalist Party) 四名、ポーランド黨 (Poles Party) 二名、合計七二名である。現議長及び副議長は次の如し。

議長—フォン・ウニツク (von Wunick)、「國家社會黨出身。

首席副議長—ポトリクス (Porjaks)、「中央黨出身。

次席副議長—ハツェル (Baker)、「國家社會黨出身。

III 經濟

A **財政** ダンツィツヒ自由市の豫算は一九三一年の歳出入ともに一四二、八九六、〇五〇マルデンを最高として、漸次縮小されつゝある。即ちその豫算は一九三二年度には一三二、九一〇、六四〇マルデン、一九三三年度には一二四、八二二、四六〇マルデンを以つて收支均衡が計られてゐる。

B **金融** ダンツィツヒがドイツ通貨より分離した後、貨幣制度改革實施の目的のために、唯一の發券銀行たるダンツィツヒ銀行 (Bank of Danzig) は一九二四年二月五日に、資本金七百五十萬マルデンを以つて創立せられた。ダンツィツヒ自由市政府は同銀行の監督權を握つてゐる。ダンツィツヒ銀行はその發行紙幣を何時にても英國銀行の小切手を以つて買戻す義務を負ふ。英國銀行が金支拂を停止するに至つて、ダンツィツヒ政府はポンド貨とダンツィツヒ通貨との關係を斷ち、一九三一年九月二一日、それを金本位に基礎付けた。その時以來、ダンツィツヒ通貨は金通貨であつて、ダンツィツヒ銀行はその紙幣を金で以つて兌換すべき義務を負ふに至つた。一九三三年六月三〇日現在、同銀行の紙幣發行高は三七、三四一、四五〇マルデンにして、その金貨及び金地金準備は三二、一〇五、〇六八マルデンに上る。

一九三二年末におけるダンツィツヒの各貯蓄

- 元老院副議長兼内相
ラウシニング博士 (Dr. Hermann Rausing)
- 元老院副議長兼内相
クライザー (Arthur Greiser)
- 蔵相
ホフマン博士 (Dr. Hoepfner)
- 法相
カイザー博士 (Dr. Wierinski Kalsar)

E **外交** ダンツィツヒ自由市は一九二〇年一月九日ヴェルサイユ條約第一〇二條により國際聯盟の管理下に置かれ、第一〇四條によりダンツィツヒ自由市及び隣接地帯の自由 (Freedom of the city and adjacent territory) の宣言並にダンツィツヒ・ポーランド條約 (Danzig-Poland Treaty) が有效となる。該條約によればダンツィツヒ・ポーランドは各々一關稅區域を形成す

銀行における預金者の總数は六〇、八二五人にして、預金總額は四七六、二〇、五七七グレンである。
C 貨幣 一九二三年一月一八日以來、ダンツィッヒ自由市の領内における貨幣單位はダンツィッヒ・グレン (Danig. Gulden) と定められ、一グレンは純金〇・二九二八九五グラムに等しい。また一九二三年一月二〇日の法律によつてダンツィッヒ銀行は銀行券の發行獨占權を持つてゐる。また政府は人口一人に付き三〇グレンまでの銀貨及びニッケル貨と三グレンまでのアルミニウム青銅貨及び銅貨を發行し得る權限を有する。ダンツィッヒの銀貨標準は英獨の銀貨のそれと等しい。

D 産業 ダンツィッヒ自由市は主として商業都市にして、また古から工業の盛んなるを以つて名高い。造船業、機械製造業、汽罐車貨車製造業、精糖業、製粉業、ガラス工業、マッテ工業、煙草製造業、ニス工業、ビール醸造業等が盛んに行はれてゐる。殊に船舶運輸が盛んなる關係上、造船業は最も重要にして、嘗てドイツの所有であつたダンツィッヒ造船工場は現在國際造船會社の管理の下に經營されてゐる。またダンツィッヒ市近隣の領地は土地肥沃にして農業が盛んに行はれてゐる。その他、琥珀の産を以つて有名である。

E 外國貿易 ダンツィッヒは既に數世紀間貿易及び船舶の中心地として有名である。東ヨーロッパ貿易の基點としてのその發達はヴィスツラ河 (Vistula) の河口に位し、且つバルチック海の良港としての優越な地理的位置に負ふところが大きい。従つてダンツィッヒの貿易の特徴は仲繼貿易にある。ダンツィッヒ港を通して輸出される主要貨物は、一九三二年度においては、穀物の二八六、五

〇噸、材木の五〇五、四〇〇噸、砂糖の一四一、七〇〇噸等である。また輸入される主要貨物は鹽餅の四九、九五〇噸、コーヒ、ココア、及び茶の八、五五四噸である。また同年度においてダンツィッヒ港を通して三、七〇五、二〇〇噸の石炭が輸出せられ、九三、〇二四噸の鑽石及び硫酸鹽が輸入せられた。その他、海産物の輸入は四二八、一〇二噸、その輸出は五、〇四七、九四九噸に上る。

然し最近ダンツィッヒ港の北方二〇軒の地點にあるポーランド領のグデニア港がポーランド政府の自國港主義によつて急激な發展を示すに至り、ダンツィッヒの仲繼貿易に對して少なからざる脅威を與へてゐる。

F 交通 「鐵道」ダンツィッヒとドイツとを連絡する鐵道は四線あり、ポーランドと連絡する鐵道は三線あり、交通網は極めて完備してゐる。またヴィスツラ河は水量極めて豊富にして、ダンツィッヒ市は河口より數軒上流の河港を爲してゐる。従つて河川及び運河による内陸水運も極めて發達してゐる。

【船舶】一九三三年七月一日現在、ダンツィッヒ自由市の登録船舶は二七一、三九三噸に上る。一九三二年度の入港船舶は四、六三七隻、二、七五〇、二〇四噸、出港船舶は四、六五四隻、二、七三三、一四六噸である。これ等の出入港船舶のうち、ドイツ船が最も多く、スウェーデン、デンマーク、ポーランド、ノルウェー、ラトヴィア、イギリスの船舶が之に次ぐ。

また一九二〇年一月九日のポーランド・ダンツィッヒ協約の第一九條により、ダンツィッヒ港灣水路局はスイスを局長として、その下に五名づゝのダンツィッヒ人及びポーランド人の委員によつて構成せられ、ダンツィッヒ港を管理改善することとなつてゐる。

一九三三年の夏學期において、教師八〇人、學生一、五七六人を數へる。

VI 自然

ポーランドの北面に位し、北はバルチック海に面し、ダンツィッヒ市を中心として、その附近の地を含み、ヴィスツラ河 (Vistula) が貫流し、東はその支流たるノガト河 (Nogat) 及びフリッシエ湖 (Przeczki Haff) によつてドイツ領東プロシアと境し、全國土はヴィスツラ河の三角洲より成立し、土地肥沃にして農耕に適する。【面積・人口】ダンツィッヒの面積は約七五四平方哩、一九二九年八月における人口は四〇七、五一七人にして、平均人口密度は一平方哩に付き五四〇人に上る。首府はダンツィッヒ市にして、一九三三年のその人口は、二六二、六〇〇人に上る。

チェコスロヴァキア

Československá Republika.
Czechoslovakia, 獨 Tschecoslowakei.
獨 Tschecoslovaquie.

立憲共和國

I 歴史概観

一、民族獨立運動 そもそもチェコスロヴァキアは世界大戰の結果、ソヴェート・ロシア、ハンガリー、オーストリア、及びドイツに對して成立した新興共和國である。一九一四年までに既にチェコの民族的獨立運動は始められてゐた。大戰中すでにオーストリアに反對し、聯合軍側に接近し、大戰後は積極的にオーストリアから分離が要求された。これと共に、ソヴェートに

對する防禦壁のためにも獨立國の設立を必要とし、特にフランスの強力な支持主張により一九一六年以來、マサリク及びベネシュはバリーにあつて、「チェコスロヴァキア國民評議會」を組織し、積極的獨立運動に邁入つた。

二、獨立建國 斯くて一九一八年九月二六日公然とこの評議會は「チェコスロヴァキア臨時政府」と稱し、同一一月一八日ワシントンにおいてマサリクはアメリカ政府と協約して「チェコスロヴァキア共和國」の獨立宣言をなす。な

【航空】ダンツィッヒとドイツ及びポーランドとの間の空路はベルリン・ケーニヒスベルヒ航空路及びポーランド航空郵便路によつて極めて頻繁に行はれてゐる。またダンツィッヒ・ワルソー間にも定期航空路が開けてゐる。

III 社會

ダンツィッヒ河に沿つた海港市は、それが古代の商業港として發達したるために、幾度か諸國の侵略を蒙り従つてその社會相は甚だ混亂した状態を示してゐる。この地理的に恵まれた點は東プロシア、ポーランド一帯の大平原から生産される一切の生産物の出口であり、また幾多の人工運河によるヴィスツラ川の水運もあり、鐵道は集合し、定期飛行場もあり、極めて著しい商業的發達を遂げしめてゐる。

近代的海港の機械的組織は完備し、造船所、繫船場、クレーン、河口水路等の近代的機械化が充分に實現されてゐる。近代資本主義が最も自由に發達し、商工業階級が全市の殆んど全部を占め、また労働者階級はその階級的意識も強く、階級運動は今後ますます深刻化せんとしてゐる。また人種的にはドイツ人が主でポーランド人、スラヴ人等の混住を見る。

V 文化

古代の商業都市であり、その中世文化の多くの廢墟を有す。ヘーヌ・トールは第一中世紀建築の凱旋門である。市街はなほ多くの中世紀建築様式を殘存してゐる。一七七六年のウヴァーゲン・ハウスはロココ式の裝飾、様式の典型的なるものである。ラング街に立つ市役所は一三七九年に竣工された古代建築である。レンガ市市場の海神の噴水は一六三三年に制作されたものである。穀物取引所となつてゐるアルツスホフ

ほ國內においても社會黨とブルジョアジーは協力して獨立政府を組織し、遂に同年一月二八日、完全にチェコスロヴァキア共和國の成立を見る。第一回大統領にマサリク就任す。

三、獨立以後の展開 「國民聯合」政府は國內經濟の不調のために瓦解、一九一九年、農業黨、社會民主黨の聯合内閣がこれに代はり首相はトウサールとなる。フランスの支持のもとに、ソヴェート、ハンガリーに敵對し、コムメンテルン支持黨を抑壓す。二三年には「共和擁護法」が施行せられ積極的に左翼の彈壓を敢行す。フランスの金融資本は盛んに投下され、軍備もまた大いにその支持を受く。かくて中欧小協商國の中心的勢力となる。なほ一九三〇年にはチェコスロヴァキアとハンガリーとの通商關係斷絶するに至る。最近は更に國內は一層ファシスト化が著しく、明白に獨裁的方向に進展してゐる。

II 政治

A 政治機構 一九一八年一月二八日チェコスロヴァキア共和國の獨立宣言後、共和國憲法は一九二〇年二月二九日の國民議會により採用される。米、佛憲法の影響をうけるところが多く、大統領は國民議會により選出せられ、任期七ヶ年にして、共和國元首として統帥權、及び國會の承認を必要とする宣戰布告權、高等官及び大臣任免權を有し、大統領自身國事犯の場合には法律に服従すべき義務を有す。この他言論、結社、出版の自由及び結婚、家族、母權は高等行政裁判所 (Supreme Administrative Court) によりて特別の保護をうくることを規定す。初代の大統領マサリク以外は何人もも次期再選を許されない規定である。

【大統領】 トーマス・ガリグ・マサリク博士 (Thomas Garrigue Masaryk) 一九一八年一月

一四日革命議會によつて選出され、一九二〇年五月二八日第一回共和國大統領として選出され、一九二七年五月二七日再選され現在に至る。なほ共和國憲法は大統領の任期を七ヶ年と定め、次期再選を許さないが、建國の功勞者たるマサリック博士のみは例外とす。

【首府】 プラハ (Prague, or Praha)

B 行政 行政権は總理大臣の下にある外務、國防、大蔵、内務、保健、鐵道、社會事業、教育、農務、司法、選信、立法統一、商務の一三省よりなる内閣により行はる。

【現内閣】 農民黨首領マリハートル (J. Malypetr) を首班として、チエコスロヴァク農民黨、チエコスロヴァク人民カトリック黨、チエコスロヴァク社會民主黨、チエコスロヴァク國民黨、チエコスロヴァク農民政黨、チエコスロヴァク國家社會黨よりなる聯立内閣にして、一九三二年一〇月三〇日任命され、一九三四年二月一四日の再編成を経て、現在に至る。各閣僚の顔觸は次の如し。

- 首相 マリハートル (J. Malypetr) チエコスロヴァク農民黨
- 外相 ベネシュ博士 (Dr. Eduard Beneš) チエコスロヴァク國民社會黨
- 國防相 ブラダス (Bohumil Bradáč) チエコスロヴァク農民政黨
- 藏相 トラブル (Karel Trapp) スピナ博士 (Dr. Franz Spina) ゲルマン農民政黨
- 保健相 ヴェチネ (Rudolf Bechyne) チエコスロヴァク社會民主黨
- 内相 セルニ博士 (Dr. Joseph Cerný) チエコスロヴァク社會主義黨
- 社會事業相 チェック (Ludwig Czech) ゲルマン社會主義黨
- 教育相 クルクマー博士 (Dr. John Krumar) チエコスロヴァク國民黨

- 農相 ホツザ (M. Hodza) チエコスロヴァク農民黨
- 法相 デレル博士 (Dr. Ivan Dérer) チエコスロヴァク社會民主黨
- 選相 フランケ博士 (Dr. Emil Franke) チエコスロヴァク國民社會黨
- 商相 チェン・ドスタルク (Jan Dostálek) チエコスロヴァク人民カトリック黨
- 立法統一相 スラメック博士 (Dr. Jan Sláma) チエコスロヴァク人民カトリック黨

C 立法 立法権は上院 (Senát) と下院 (Sněmovna) の兩院よりなる國民議會 (Národní shromáždění) に屬す。國民議會は大統領選出の権限を有し、比例代表、男女同權の普選によつて選ばれる。兩院共に發案権を有し政府案が兩院に提出されることは性質を同じうすとす。一、下院は不信投票による政府辭職決議権、豫算先議権を有し、下院通過の議案はたとへ上院否決するも再び下院が絶対多數を以つてその議案を固守すれば法律となる。

上院は二六歳以上のあらゆる市民が選舉權を有し、四五歳以上の市民被選舉權を有す。比例代表により、一五〇名の議員よりなる。下院は二二歳以上の市民男女の區別なく選舉權を有し、三〇歳以上の市民被選舉權を有し、三〇〇名の議員よりなる。上院議員八ヶ年、下院議員六ヶ年の任期を有す。【現議會】 兩院共に一九二九年一〇月二七日の總選舉により選出されたものにして、兩院議長及び各黨派別選出議員は次の如し。上院議長—Dr. František Soukup (チエコスロヴァク社會民主黨) 二四名

- チエコスロヴァク社會民主黨 二〇名
- チエコスロヴァク國民社會黨 一六名
- 共產黨 一五名
- チエコスロヴァク人民カトリック黨 一三名
- ゲルマン社會民主黨 一名
- ゲルマン農民同盟 九名
- スロヴァク人民カトリック黨 九名
- チエコスロヴァク國民民主黨 八名
- ゲルマン・キリスト教社會黨 八名
- ハンガリー・キリスト教社會黨 六名
- チエコスロヴァク中小工商業黨 六名
- 國民同盟 一名
- 空席 四名
- 計 一五〇名
- 下院議長—František Štánek (チエコスロヴァク農民共和派) 四六名
- チエコスロヴァク農民政黨 四六名
- チエコスロヴァク社會民主黨 四四名
- チエコスロヴァク國民社會黨 三三名
- 共產黨 二八名
- チエコスロヴァク人民カトリック黨 二五名
- ゲルマン社會民主黨 二一名
- スロヴァク人民カトリック黨 一九名
- ゲルマン農民同盟 一六名

- チエコスロヴァク國民黨 一三名
- チエコスロヴァク中小工商業黨 一二名
- ハンガリー・キリスト教社會黨 一二名
- ゲルマン・キリスト教社會黨 一一名
- 國民同盟 三名
- 獨立派 二名
- 空席 一五名
- 計 三〇〇名
- D 司法** ブルノに最高裁判所として大審院 (Supreme Court) と覆審院 (Court of Cassation) あり、その他四高等法院 (High Court of Justice) はプラハ、ブルノ、ブラチスラヴァ、ロシセに置かれ、更に三七州裁判所 (プラハの刑法、商業裁判所を加へ) 四二〇區裁判所がある。

特別行政高等裁判所 (Special Administrative High Court) あり、これは國家當局による非法律裁判及び取締に對する控訴、中央政府と地方政府機關との紛争、國家及び地方行政への要求にして行政當局によりて受附けられ、これ等、これ等の解決に當る行政裁判所として設置されたものである。

このほか商業、工業、所得等の事項に關する特別裁判所が設けられてゐる。
E 政黨 チエコスロヴァキアの政黨は小黨分立の状態である。現在チエコスロヴァキアの主要な政黨はチエコスロヴァク農民共和黨 (Čechoslovák Agrarian Republican Party)、チエコスロヴァク社會民主黨 (Čechoslovák Social Democratic Party)、チエコスロヴァク國民社會黨 (Čechoslovák National Socialist Party)、共產

黨 (Communist Party)、チエコスロヴァク人民カトリック黨 (Čechoslovák People's Catholic Party) 等にして、これ等諸黨は議會において比較的有力である。なほ上院に四、下院に八議席を占めてゐたナチス系のゲルマン社會民主黨 (German Social Democratic Party) 及び下院に七代議士を有してゐたゲルマン國民黨 (German National Party) は政府の彈壓を受けて、一九三三年一〇月以來解散せられるに至つた。その他、スロヴァク人民カトリック黨 (Slovak People's Catholic Party)、ゲルマン農民同盟 (German Agrarian League)、チエコスロヴァク國民黨 (Čechoslovák National Democratic Party)、チエコスロヴァク中小工商業黨 (Čechoslovák Trades Party)、ハンガリー・キリスト教社會黨 (Hungarian Christian Socialist Party)、ゲルマン・キリスト教社會黨 (German Christian Socialist Party)、國民同盟 (National League) 等がある。以下各政黨の綱領及び黨指導者を列挙すれば次の如し。【チエコスロヴァク農民黨】 農民の利益を代表し、土地改革、土地分配、農業生産品の保護税率を主唱する。黨領袖—Jan Malypetr (首相)、František Štánek (下院議長)、Dr. Milan Hodza (農相)、František Udráň (前首相)、Bohumír Bradáč (國防相)、Dr. Jarmil Slávik (前内相)、Dr. V. Štrougal (前文相)、Václav Donát; Josef Vraný; František Mašata; Rudolf Beran; Dr. Josef Cerný。

【チエコスロヴァク社會民主黨】 社會改良主義的政綱をかける労働黨にして、第二インターナショナルに屬す。政治上においては立憲民主制、社會改革、救濟事業制度を主張する。黨領袖—Antonín Hampl (黨會議々長、前土木相)、Rudolf Bechyne (鐵道相)、Dr. Alfred Meisner (法相)、A. Štá (前土木相)、Dr. Lev Winter (前社會事業相)、Dr. Ivan Dérer (文相)、Dr. F. Soukup (上院議長)、Dr. Tomásek (前下院議長)、J. Štávan。

社会事業相) Fanni Batory; Ernst Gruenzler; Theodor Hackenberg; Wenzel Jaksch; Hans Joki; Dr. K. Holzer.
【スロヴァク人民カトリック党】 チェコスロヴァク人民カトリック党とスロヴァク地方のための地方自治権(行政、財政、學校の獨立を含む)を主張する點において異り、スロヴァク農民の利益を代表する。

【ブルン農民同盟】 チェコスロヴァク農民黨に類似し、少数民族の利益を代表し、チェコスロヴァク農民黨と合流せんとする氣運が漲つてゐる。この農民同盟の選出議員は議會におきてはドイツ人労働者、農民の利益を代表する。
黨領袖—F. Petrář (黨會議々長) Prof. F. Spina (社會保健相) Leonhard Krajer; Dr. Franz Hodina; Fr. Windrich; W. Zierhut; J. Jaksch.

【チェコスロヴァク國民々々黨】 世界大戦當時あらゆる階級の人々を網羅して、チェコスロヴァク獨立運動のため戦つたところの青年チエツ黨 (Young Czech Party) から發展したもので、現在ではチエツ國民主義、保守主義を標榜し、社會主義に反對する。實業家、國營事業従業員、産業家の間に勢力あり、對外政策においてはソヴェート・ロシアの承認拒否、強固なる軍備を主張する。
黨領袖—Dr. Karel Kramár (黨會議々長、前首相) Dr. Josef Maloušek (商業相) Dr. R. Fischer; Dr. Milan Ivanka; Dr. Fr. Hodaj; Dr. Fr. Lukavský; Dr. A. Štía; Václav Votruba; Fr. Jaksch.

【對埃關係】 チェコスロヴァクとオーストリアとの關係は從來極めて良好にして、かつてオーストリアの財政援助には諸列強に先んじてこれに應じたことがある。然し最近イタリア勢力下にオーストリアのハブスブルグ家復辟問題起るや、小協商國の先鋒となつてそれに反對し、兩國關係は極めて不調である。

【對ハンガリー關係】 ハンガリーとの關係はチェコスロヴァク共和國建國以來、外交上の痛である。そもそもハンガリーは大戦による敗戦の結果、領土の三分の二をチェコスロヴァク、ユーゴスラヴィア、ルーマニアに奪取せられたといふ事由により、上記の三國へ痛く反感をいだき、常に領土回復を狙つてゐるので、チェコ、ユーゴスラヴィア、ルーマニアは攻守同盟を結んでハンガリーに備へてゐる事を見ても兩國關係の不良は了解されることである。
G 國防【陸軍】一九二〇年三月一九日の法令により一七歳より六〇歳までの男子はすべて兵役義務を有するが、しかし通常二〇歳から初まる。現役二ヶ年、第一豫備役四〇歳迄、第二豫備役五〇歳迄とす。一九二七年四月八日の法令により、次の如く常備兵力を規定し、同年一〇月一日より實施する。毎年一〇月一日より三月三十一日まで一四萬人、四月一日より八月三十一日まで一〇萬人、一ヶ年の平均數一二萬人

を超過することを得ざる規定となつてゐる。而して毎年の満期服役者は七萬人である。
一九三三年現在における兵力は士官一〇、〇五九名、下士官九九、五七八名、憲兵一二、六五七名である。陸軍編成は四司令區よりなり、歩兵一二師團(二四旅團)、二山岳歩兵大隊、三騎兵大隊、二重砲兵大隊、一二野砲大隊である。
【空軍】 チェコスロヴァク空軍の人員は六、四八二名、飛行機五四六機よりなる。
【海軍】 この國は海岸線を有しないから、水上勢力として河川に二百トン級の巡洋艦大統領マサリック號 (President Masaryk) を有するにすぎない。その他、一二隻の武装モーター船及び河川用曳船を有す。

最近の歳出入

Table with 3 columns: Year, Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1930-1934.

なほ一九二〇年三月二〇日の法令によつて、會計統制・検査院 (Board of Audit and Control) が設立され、該院は國家經濟、國家

III 經濟

A 財政 チェコスロヴァキアの財政は建國當初においては極めて困難であつたが、その後爲政者の努力により大いに改善され、今日においては各國の赤字財政時代にも拘らず、極めて健全な状態を續け、別表の最近五ヶ年の歳出入統計に見られる如く、毎年常に多少ながらも歳入超過を見せてゐる現状である。

一九三三年度歳出入豫算

Table with 4 columns: Category (歳入/歳出), Budgeted Amount (豫算額), and Actual Amount (合計). Data for 1933.

財産及び國債の監督をなし、各省と對等の地位にあるも、これらの省とは獨立した機關である。検査院の長は政府の必要に應じて大統領によつて任命される。

【國債】 一九三三年の豫算によれば國債は、國內公債二六、四五一萬クラウン、外債八、八三八萬クラウン、紙幣公債二、六八〇萬クラウン、計三七、九六九萬クラウンである。

B 金融 一九三一年にはボヘミア、モラヴィア、シレシア地方における株式組織の銀行は二三あり、拂込資本總計一、五三二、六〇〇、〇〇〇クラウン、準備金一、二三九、二〇〇、〇〇〇クラウンで、土地銀行六行は各々社債を發行し、その額は一九三一年の初頭に五、〇二五、三〇四、〇〇〇クラウンに達してゐる。一九三一年にスロヴァキア及びボドカール・パツカ・ルス (Podkarpatska Rus) には株式組織の小銀行が七四あり、拂込資本三〇九、九四一、〇〇〇クラウン、準備金二〇一、四三四、〇〇〇クラウンに上る。また一九三一年の貯蓄銀行數は三六六、預金二一、七四一、九一五、〇〇〇クラウンである。一九三一年にボヘミア、モラヴィア、シレシアに

【チェコスロヴァク中小工業黨】 穩健なる保守的政黨にして、中小工業者、小實業家、技術者階級の利益を代表し、大資本家、社會主義者へ反對を表明する。一九二〇年チェコスロヴァク國民々々黨から分離して創立されたものである。主として中小工業階級の間に勢力を得、減税を主張する。
黨領袖—Rudolf Miksch (黨會議々長、前鐵道相) Jos. V. Najman (前鐵道相) František Horák; Bohus Kramík.
【ハンガリー・キリスト教社會黨】 ハンガリー小數民族の利益を代表する保守的カトリック政黨にして、聯立内閣へ反對する。
黨領袖—Jan Ezerházy (黨會議々長) G. Szilágyi; Jan Dobranský; Dr. Tihor Neumann.
【ブルン・キリスト教社會黨】 その政綱においてカトリック黨に類似して、チェコスロヴァク人民カトリック黨に類似すれども、ゲルマン少數民族の利益を代表する。
黨領袖—K. Hilgenreiner (黨會議々長) Dr. K. Petersika; Prof. R. Mayr-Harding (前法相) Dr. Rudolf Ritter.
【國民同盟】 チェコスロヴァク國民社會黨から脱黨したストリプレンエの率ゐる一小國民主義的政黨である。
黨領袖—Jiri Štibrný (前鐵道相)
F 外交 チェコスロヴァキアは世界大戦の結果一九一八年獨立共和國となり、大戦後新興國として起りし他の歐洲諸國と同様に、國際聯盟の樹立後、國際平和外交を以つてその基調としてゐる。
【對佛關係】 フランスとは最も親善にして、一九二四年一月佛・チ兩國同盟條約の締結あり、その條約の中には兩國は第三國からの侵略へ對して共同防衛を約し、ドイツ、オーストリア、

ハンガリーの帝政復活を阻止することを規定してゐる。
【對伊關係】 イタリアとの一九二四年七月の協商は次のことを規定した。即ち、(一)兩國の共同利益が第三國より脅威せられたとの認定において一致する時はその利益確保手段に付き協議すること、(二)對獨、對ブルガリア平和條約に基く秩序の維持及び條約上の義務の尊重實行に協力すること、(三)存続期間は五ヶ年とし一年前に廢棄又は更新の通告をなすこと、(四)國際聯盟へ登録し、ローマにて批准交換後直ちに效力を發生すること。而してその前文において兩國はヨーロッパにおける國際秩序の確保を希求することを規定してゐる。しかるに伊・チ兩國關係はユーゴスラヴィア或はオーストリアとイタリアとの關係に左右されることが多い。伊・チ兩國關係が親善である時代には極めて伊・チ關係は良好なりしも、最近そのオーストリア問題、殊にハブスブルグ家復辟問題をめぐつて極めて困難となつて來た觀がある。
【對ソ關係】 チェコスロヴァキアとソ聯邦の兩國は列國に先んじて通商協定を締結せるにも係はらず、未だ兩國外交關係の開始を見ない。
【對米關係】 チェコスロヴァキア建國は當時のアメリカ大統領ウィルソンの援助與つて力あつたといふ理由からして、現在尙チエツ人にしてアメリカに好感を寄せるもの多く、シカゴには約八〇萬も移民をしてゐる程である。現時アメリカ資本のチェコスロヴァキアに投資せられるもの甚大な額にのぼつてゐる。
【對ポーランド關係】 兩國の關係は地域的に相接してゐる關係のみならず、また利害相反してゐる場合少なからず、従つて兩國は未だ親善の域へ達してゐない。それはまた兩國國民思想の相異からと、對ソ外交について兩國歩調を

【國別貿易】 チエコスロヴァキアの國別貿易において輸出入額の最も大なるは、ドイツにして總貿易額の約二割に占める。これに次いでオーストリア、アメリカ合衆國、ユーゴスラヴィア、イギリス、フランスの順序となる。

一九三三年度主要輸出入品 (單位千クラウン)

Table with 4 columns: 輸入品, 金額, 輸出品, 金額. Lists various goods like wool, cotton, oil, and minerals with their respective values.

【主要貿易品】 その輸入品の主要なるものは綿類、羊毛製品にして、一九三三年度にはいづれも五千數百萬クラウンに上り、輸入總額のいづれも一割に近い。これに次いで穀物、石炭、鐵油、脂肪及び油、鐵、銅、機械等が主なるものである。またその輸出品においては綿類、ガラス、鐵、銅にして、いづれも總輸出額の殆んど一割に近い。次いで羊毛製品、石炭等が主なるものである。

【船舶】 平和條約によつてハンブルク及びステッティン港の或る一定の波止場の使用を許され、又エルベ河の一小地帯を一九二九年一月にチエコスロヴァキア政府が九九年間租借することとなつた。國內水路のうちで最も重要な

主要國別貿易額 (1932年度)

Table with 3 columns: 國別, 輸入 (單位千クラウン), 輸出 (單位千クラウン). Lists trade figures for Germany, Austria, USA, etc.

【交通】 【道路】 一九三一年の道路全長は約四九〇〇〇哩で、そのうち五、三〇〇哩は國道、三一、三〇〇哩は縣道、その他は地方道路で、その維持は地方官廳が責任を持つことになつてゐる。

【鐵道】 一九三一年一月三十一日における鐵道全長一三、八七三キロメートル(八、六二一哩)で、そのうち七、〇七九哩は國有、一、一哩は外國所有、六、七哩は外人所有である。國有の一、〇四六哩及び私有の六、六哩は複軌道である。一九三一年における全鐵道の収入は四、七六〇、三〇五、三三二クラウンで、そのうち國有鐵道の収入は四、三六二、九七一、九二二クラウン。全支出は四、七一〇、九四一、五九〇クラウン。そのうち國有鐵道の支出は四、一八三、九三七、五三六クラウンである。

【階級運動】 オーストリア領時代には、ウィーンを中心とするオーストリア社會民主黨の運動と、ブタベストを中心とするスロヴァキアの運動があつた。一八七八年にオーストリア社會民主黨の指導の下にチエコ社會民主黨が成立す。一般にチエコは民族的色彩強く、一八九三年

【航空】 一九三二年の航空路は、國際航空路一三、國內航空路八あり、國際航空路はブライグとバリ、ワルソウ、イスタンブール、ウィーン、ベルリンを連絡してゐる。

【通信】 一九三二年の郵便局數は四、六〇〇、電信局數は四、〇三六、電信線延長八一、七六六哩である。自働電話數は一四三、四七六で、電話線延長五四一、五四七哩に上る。

國土は舊ドイツのシレシヤの一部(フルチン)舊ハンガリーのスロヴァキア、ルチニヤ地方等を合體せるもので、社會的には一定の根柢を有せず、主要産業は農業であり、一般に農業資本主義化が近來大いに發達し、土地は一般農民に分配されたが、その中七〇萬ヘクタールは舊地主に還り、八〇萬ヘクタールが分配されたのみである。かくて土地なき農業労働者は貧困が大となり、三〇年、三一年には貧農と農業労働者のデモや飢饉行進が行はれた。なほ失業者は七五萬人に達してゐる。なほこれと共にファシズムの壓迫が強化し、この國內の困窮を一層激化してゐる。また少数民族、スロヴァキア人、ウクライナ人等の民族的反抗も現在その一つの重要な社會問題となつてゐる。

Deutsche 銀行が四、三二七あり、その預金五、四〇六、九一〇、〇〇〇クラウンである。なほ一九三二年一月三十一日におけるチエコスロヴァキアの諸銀行の預金額は五五、六五八、一〇〇、〇〇〇クラウンに達する。

【貨幣】 貨幣單位は Koruna 即ちクラウン (Crown) 卽ち 100 haleny 即ち (1/100) (1/100) に分けられ、一九二九年一月、クラウンは純金四・五八ミリグラムの價值あるものと決定され、金本位の基礎の上に置かれたが、一九三四年二月十七日にクラウンの金含有量は三七・一五ミリグラムに切下げられ、即ち一六・六六%の平價切下げが行はれた。紙幣の保證準備も三〇%から二五%に下げられ、金のみによることとなつた。國立銀行(一九二六年創立)の株式資本も、以前の二二、〇〇〇、〇〇〇ドルを四〇五、〇〇〇、〇〇〇クラウンに改正された。一九三四年一月三十一日における紙幣流通高は五、四四八、五三三、〇〇〇クラウン、金屬準備一、七〇七、〇四八、〇〇〇クラウンである。

一九三三年七月三十一日における流通貨幣を見るに、一〇クラウン貨二四、九六一、五八七個、五クラウン貨二六、九六三、八三九個、クラウン貨九二、〇七四、六一四個、五〇ヘラー貨五〇、四四五、四〇九個、二五ヘラー貨三、三九五、〇一七個、一〇ヘラー貨一、一六、〇五七、五八七個、一〇ヘラー貨一、二二、七二五、八五七個、五ヘラー貨九、九二二、五八八個、總計價額五四二、六六一、三三〇クラウンである。

【畜産業】 一九三三年の家畜頭數は、牛四、三〇一、七〇頭、馬七〇七、五七九頭、豚二、六二一、二三五頭、羊四六五、〇九三頭、山羊八七六、七七七頭である。

【林業】 ヨロッパ中でもチエコスロヴァキアは最も樹木豊富な國の一つとされ、森林地帯は全面積の約三三%に及ぶ。

製糖業も多く行はれ、一九三一年一九三二年における工場數は一三九、砂糖生産額は八一、九三二五メートル噸となつてゐる。ホップは優良なものを産し、輸出及びビール製造に用ひられる。一九三二年のホップ生産額は七、五二二メートル噸である。農産物を基礎とする工業には、ビール、精酒、麥芽酒(Beer)、食料品等の製造が行はれる。一九三二年のビール醸造所は四三〇を數へ、生産額は九、五五五、六八七ヘクト・リットルに及ぶ。一九三一年における蒸餾所九二〇、精酒類生産額は六四一、六七四ヘクト・リットルである。

果實の産額も多く、一九三二年に林檎三一九、〇一七噸、梨一九三、五四四噸、核果三六三、四六〇噸である。

【工業】 一九三一年の工場數は一、九三三で、そのうち一、八九〇は織物工場、二、二六五はガラス及び石材工場、一、八五二は食料品工場、一、四一四は家具、樂器その他の木工工場、九六二は機械工場、九二九は金屬製品工場、三九〇は製紙工場、六四七は化學藥品工場である。

【外國貿易】 チエコスロヴァキアは農業、工業、工業盛んにして、經濟的に頗る恵まれ、従つてその外國貿易も建國以來殆んど毎年輸出超過を見、極めて良好である。然し最近世界的經濟恐慌の影響を受けてその貿易額は一九二九年を最高として、三〇年、三一年と別表に見られる如く著しい減少を見せられてゐる。

主要農産物 (1932年度)

Table with 3 columns: 産物, 耕作面積 (單位エーカー), 産額 (單位メートル噸). Lists crops like wheat, barley, etc. with their area and yield.

【鐵業】 石炭には軟炭、硬炭あり(主要炭田はモスト Most, チョムトフ Chomutov, テプリツ Teplice, モラフスカ Moravská, オストラヴァ Ostrava, ファルクノフ Valknov), その他に鐵、黒鉛、柘榴石、銀(産地ボヘミア)、銅、鉛(産地スロヴァキア)、岩鹽(東部スロヴァキア及びルチニア)等を産する。

一九三三年の石炭産額は、褐炭一五、一二四、八六一噸、硬炭一〇、六三九、八一五噸である。一九三三年における炭山數は二六〇、従業員數は七六、二〇一名である。一九三三年における鉄鐵の産額は四九八、九〇〇メートル噸、粗鋼七四七、三〇〇メートル噸である。

オーストリア本部から獨立す。以後更に二個のチエコ社會民主黨が國內に分裂してゐた。大戦中はハプスブルク王朝のために戦つたが、十月革命の影響により、一九二〇年マルクス主義的左派が結成される。二年にはコムミンテルン支部の共産黨が成立、二年には赤色労働組合が組織される。これに對しフランスを背景とする政府は極端なる抑壓を加へ始め、「共和國擁護法」を適用して猛烈にこれを排撃した。一方、社會民主黨は全く社會ファシスト化して、現在國內の情勢は益々右翼化の傾向にある。

V 文化

A 概観 チェコスロヴァキアの文化は、本来のチエコ族にドイツ、ロシア、ハンガリー等の諸文化の混流して成立せる文化であり、その首都プラハの大學は既にポーランドのクラコフ大學と共に中歐最古の大學で、一三四年に創立され、かくて一般の文化も早くから發達した。宗教改革にはプラハが重要な役割を演じ、その先驅者フスの焚死は史上不滅の事件である。後ドイツの勃興と共にその影響を受け、病院、交通、科學等の實際的文化設備が大いに發達す。最近、同國は新興の勢力をもつて獨自なる國民文化の建設に努力してゐる。特に社會事業設備は大なる展開を示してゐる。なほこゝでは科學の發達が卓越し、紡績、製紙の研究、織物、陶器、ガラス等の研究が非常に盛んである。特に現終身大統領トマス・マサリック博士は建國の父として尊敬され、彼の學問、文化の愛好研究は偉大なる哲學的政治家として新興國文化を益々高度に展開せしめんとしてゐる。

B 宗教 大多數の國民はカトリック派に屬する。一九三〇年において、總人口一四、七二六、一五八人のうち、ローマン・カトリック一〇、

八三三、四二三人、ギリシア・アルメニア・カトリック五八五、四三九人、プロテスタント一、〇九、二二九人、ギリシア正教一四五、五八三人、ユダヤ教三五六、七六八人、オールド・カトリック派二二、七四七人、他の宗教三二、六四六人、無宗教八五三、七二七人である。

C 教育 初等教育は六歳乃至一四歳の間、義務制である。チェコスロヴァキアの學校制度は次の四種に分けられてゐる。即ち(一)國民學校(主として小學校)、(二)中等ラテン語學校及び技術學校、(三)大學及び高等專門學校、(四)商業、工藝、鑛山、農業、その他の各特殊學校である。

D 藝術 【音樂】 チエコ人は本來的に音樂を非常に愛好し演奏す。一九世紀にチエコ近代國民音樂の祖であるフリードリッヒ・スメタナ(Friedrich Smetana 1834-81)が用いて、樂劇「リブシェ」(Libuše)は有名である。次にアントニン・ドヴォルザーク(Anton Dvorak, 1852-1904)はプラハを眞に音樂の首都たらしめた天才であり、「新世界交響樂」は最も普及してゐる。更にツヤチェンコ・フイェルマン(Zdenko Fibich, 1850-1900)は多くの歌劇、特に室内樂に傑作を出す。また現在にあつても天才非常に多くプラハは歐洲のウィーンと共に音樂の市た十分である。フェルスター(L. B. Forster, 1850-1904)、ストランスキー(J. Strinsky, 1892-)、ハイム(Alois Hába, 1893-)等は新興音樂に卓越す。プラハの音樂學校は世界的に重要である。なほヴァイオリンの大家オンドレイ・ツィエ(Ondrej Štěrba, 1859-)があり、その門下のクーベリック(Jan Kubelik, 1880-)、指揮者としてチエランスキー(L. V. Celansky)等がある。

【文學】 古く一五世紀頃にはジョン・フス(一三六〇—一四一八年)はプラハ大學總長とし

てチエコ語文學を創作す。彼は宗教改革の先驅者として「神の國」を建設せんとし、遂に反逆者として焚殺される。十六世紀には非常に文學は盛んとなつた。オーストリアによつて征服された後は全く沈滞す。この中にはハプスブルク家支配に反抗する文學が以後長く秘かに作られてゐた。チェコスロヴァキアの熱情的な論争的な民族性はよく文學の上に表現されてゐる。一九世紀の詩人ヤン・ネルダは「フランチェスカ・ダ・リミニ」を作る。特に大戦後、ヤロスラフ・ハシュクの「兵士シエヴェイク」は世界的名著。なほ新興プロレタリア文學にはア・ドヴォルザーク、エス・ノイアン等がある。ヤ・セイフェルトはプロレタリア詩人として著名である。特に世界的作家にはフランシヌラメク(一八七七—)があり、またカレル・チャペク(一八九〇—)、兄ヨゼフ・チャペクの兄弟共作の「蟲の生活」(一九一一年)は全世界の舞臺に上演せられた。彼等によつてチエコの戯曲は世界演劇の注意の焦點となつた。なほスロヴァク文學は傳統少なく、現代には詩人オト・ツパン・ツェッコを數へることが出来る。

E 風俗 チエコ族もスロヴァク族も共に混血的なスラヴ人種に屬す。前者はドイツ人との、後者はハンガリー人との混血である。この人種混血にはその風俗も支配されてゐる。なほカトリック教の全盛時代に宗教的に區分したボヘミア、モラヴィア、スロヴァキアの三地方の遺風が濃厚に残つてゐる。なほロシア風の風俗も非常に力強く反映してゐる。一般に音樂と舞踊を熱愛し、人形芝居も田舎では非常に盛んに行はれてゐる。またハンガリー人的な蒙古風の習俗も多く残されてゐる。

VI 自然

A 位置 チェコスロヴァキア(Czechoslov-

skia)は西々北より東々南に亘る細長き國である。西北にはドイツが在り、北東はポーランドと境を接し、南はルーマニア、ハンガリー、オーストリアの各國に連なる。その極東は東經二四度三分、極西は東經一二度五分、極北は北緯五一度二分、極南は北緯四度四分とする。

B 地勢 西部はボヘミア盆地をなす。この盆地は南西をボヘミア森(Böhmer Wald or Bohemian Forest)により限られ、西北及び北部國境には夫々ヘルツ山脈(Erz Gebirge)及びリゼン山脈(Rieser Gebirge)が連なり、東にはモラヴィア高地(Moravian Hills)がある。この地方における水は總て北流して、ドイツに注ぐエルベ河(Elbe)となる。

モラヴィア盆地はモラヴィア高地の東方に據り、北にはスデテト山脈(Sudetes G.)が延び、盆地の水はエルベ河(March)となり、南流してダニューブ河に合流する。

北部斜面はシレシア地方である。スロヴァキア地方は國の東半部を占め、その西端には小カルパティア山脈(Little Carpathian Mts.)及び白山脈(White Mountains)があり、西々スウェット山脈(West Beskids)に連なる。西々スウェット山脈の東は東々スウェット山脈にして、これ等が集つて所謂カルパティア山脈(Mts. of Carpathians)を構成する。カルパティア山脈は東北國境を西々北より東々南にかけて走り、その南斜面はハンガリー平野の一部をなす。この地方の水は總て南流してダニューブ河に合流する。

C 氣候 チェコスロヴァキアは内陸國で山地が多いため、その影響をうけて相當寒暑の差がある。冬は各河川が數週間結氷する。首府プラハの最低気温は一月で、同月の平均温度は氷點下一・六度に達する。最高気温は七月であり、同月の平均温度は一八度以上に上る。雨

量は比較的少なく、年降雨量は凡五〇〇—六〇〇に達する。

D 面積・人口 一九三〇年一月一日における豫備調査によると、總面積は五四、二二六、平方哩(一四〇、四四六平方英里)、人口数は一四、七二六、一五八人となつて居る。人口密度は一平方哩につき、約二七一人であり、西部が多く、東部は少ない。

E 住民 總人口の中、チェコスロヴァキア人は七、三四五、一三七人、ドイツ人は三、〇八八、五三〇人、ハンガリー人は一九、四六九人、ロシア人は四五八、〇九四人、ポーランド人は八〇、一八二人、ユダヤ人は二二〇、二七七人等の割合になつてゐる。チェコスロヴァキア人はスラヴ族の一種である。言語は民族と同じく複雑にして、チェコスロヴァキア語、スロヴァク語、ドイツ語が併用されてをり、宗教はローマ教、ギリシア教が多く、新教は甚だ少ない。

F 主要都市 一九三〇年一月一日における主要都市及びその人口は次の如し。プラハ(Praha)一八四八、〇八一。ブルノ(Brno or Brunn)一六三三、六四六。オストラヴァ(Ostrava)一一五、三四七。ブラチスラヴァ(Bratislava or Pressburg)一一三、八五二。プルゼン(Pilsen or Pilsen)一一四、一五〇。

24

チャネル群島 英領

英 Channel Islands
獨 Kanakishin
附 Isles Anglo-Normandes

I 歴史・政治 一世紀の初めにおけるノルマン・コンクエスト(Norman Conquest)以來、

チャネル群島はイギリス國王の領有するところである。

チャネル群島は自らの法律と慣習に従つて統治される。ジャージー島(Jersey)は法律上他の諸島と異なり、國王の任命する副知事(Lieutenant-Governor)と、同じく國王の任命する島司(Bailiff)によつて統治される。副知事は一定形式の立法に對しては否認権をもつて居る。副知事及び國王の官吏は立法議會(States)において演説し得るが、これを選舉する資格を有しない。選舉資格は最少八〇ポンドの不動産、又は一二〇ポンドの動産を所有することを要する。國王の裁判所は第一審裁判所及び控訴裁判所から成る。立法議會(States)は二名の終身島吏(Justices)と二名の教區長(Rector)と二名の警察官(Constable)と一七名の代議員及び二名の官吏を以つて構成する。ゲルンシー島(Guernsey)、オルダーニー島(Alderney)及びサーク島(Sark)は一名の副知事が支配して居り、ゲルンシー島とオルダーニー島とは各々それぞれ自身の政府がある。而してサーク島はゲルンシー島の屬島にして、司法もその管轄下にある。チャネル群島は、特に明記される限り、帝國議會條例(Acts of the Imperial Parliament)の拘束を受けない。

【ジャージー島の副知事】 マルタリイ(Major-General H. de C. Martelli)。一九三四年一月任命。

【ゲルンシー島の副知事】 フロッドベント(Major-General E. N. Broadbent)。一九三四年一月任命。

【ジャージー島首府】 キント・クリア(St. Helier)

【ゲルンシー島首府】 セント・ピーター・ポーター(St. Peter Port)

【オルダネー島首府】セント・アム (St. Ann-tenin Peninsula) の西方四哩から四〇哩の範囲内に散在する。正確に云へば北緯四九度一〇分乃至四三分、西經二度乃至二度四三分の範囲内に在る。

【面積・人口】その面積は全部で七五平方哩あり、人口は一九三一年四月二七日の國勢調査によると九三、二〇五人となつて居る。人口密度は一平方哩に就き約一、二四二人にして、甚だ稠密である。

【主要都市】その主要都市としてはジャージ島のセント・ヘリア、ゲルンシー島のセント・ピーター・ポルト、オルダネー島のセント・アム等が擧げられる。セント・ヘリアには國王任命の副知事が居る。

【歴史概観】
一、古代史 紀元前一〇三年一〇一年、キンプリ、テュートンの兩族がこの地から南下してローマに侵入、五世紀にはこの地のアングロサクソン人がイングランドを征服す。また同時にデン人人がこの地方に侵入し、遂に全土を征服す。

二、中世史 九世紀には國王ゴットフリートは半島全部、ユトランド地方、スウェーデンの南部等を領有す。これが今日のデンマークの起源となる。九世紀から一世紀にデンマークにキリスト教が布教される。クヌート(二世)大王の時にイングランド、ノルウェーを征服、國王の死後は王權衰へドイッ皇帝に隷屬す。ワルデアル一世は國內を統一し、子クヌート六世はドイッから獨立、弟ワルデアル一世は一二一四年、イッよりアイデル以南のドイッ領を奪つたが、一二二五年に至り奪回される。

三、極盛期 デンマークの極盛期は一二世紀制による。一四四八年、スウェーデン・エストリドセン公家(Prince of Sved Estriksen)の男系の子孫の斷絶後、デンマーク議會はオルデンブルク伯(Count Oldenburg)クリスティアン一世(Christian I)を國王に選舉す。その後、オルデンブルク家は代々デンマークの王位に就けるも一六六〇年迄世襲王朝たる權利を認められなかつた。その後一八六三年一月一日、第一六世の君主、フレデリック七世を最後とし、オルデンブルク家の男系子孫無く、一八五二年五月八日、ロンドンにおける列國の條約によりデンマークの王位は Schleswig-Holstein-Sonderburg-Glücksburg 家のクリスティアン公(Prince Christian)とデンマーク王クリスティアン八世の姪、ルイズ姫(Princess Louise Hesse Cassel)との結婚より生ずる直系男子孫たるべしと規定され、デンマーク議會の承認を経て、一八五三年七月三十一日王位に就く。即ちクリスティアン九世がこれにして、現國王はその孫にあたる。

四、國內紛亂 一六六〇年にそれまでの選舉制君主國から世襲制君主國となり、貴族の權を制限し、都市の新興ブルジョア階級が大いに勢力となる。一七〇二年に農奴保有權が撤廢され、一七三三年には再び一部の農民は拘束され、一七八六年になつて始めて完全に解放される。一八世紀の後半に絕對王制が確立される。

五、ナポレオン戦争時代 ナポレオンの大陸封鎖に参加し、一八〇七年イギリスから攻撃さ

デンマーク

Danmark, 英 Denmark, 獨 Dänemark, 佛 Danemark.

立憲君主國

度は一平方哩に就き約一、二四二人にして、甚だ稠密である。

から一四世紀にかけ、大いに海外貿易の利益を得、バルチック海の制海權をハンザ同盟、スウェーデンと争ふ。一三九七年にはデンマーク王權の下にノルウェー、スウェーデンの三國合併する。スウェーデンは一四三五年再び獨立し、一四三九年國王は貴族の反抗によつてボメラニヤに逃る。一四四八年オルデンブルク朝の祖クリスチャン一世デンマーク王となり、三國の聯合を恢復、シュレスウィヒ・ホルスタイン公を兼ね。一五二三年グスタフ一世の時スウェーデンは永久にデンマークから獨立す。

四、國內紛亂 一六六〇年にそれまでの選舉制君主國から世襲制君主國となり、貴族の權を制限し、都市の新興ブルジョア階級が大いに勢力となる。一七〇二年に農奴保有權が撤廢され、一七三三年には再び一部の農民は拘束され、一七八六年になつて始めて完全に解放される。一八世紀の後半に絕對王制が確立される。

五、ナポレオン戦争時代 ナポレオンの大陸封鎖に参加し、一八〇七年イギリスから攻撃さ

【オルダネー島首府】セント・アム (St. Ann-tenin Peninsula) の西方四哩から四〇哩の範囲内に散在する。正確に云へば北緯四九度一〇分乃至四三分、西經二度乃至二度四三分の範囲内に在る。

【面積・人口】その面積は全部で七五平方哩あり、人口は一九三一年四月二七日の國勢調査によると九三、二〇五人となつて居る。人口密度は一平方哩に就き約一、二四二人にして、甚だ稠密である。

【主要都市】その主要都市としてはジャージ島のセント・ヘリア、ゲルンシー島のセント・ピーター・ポルト、オルダネー島のセント・アム等が擧げられる。セント・ヘリアには國王任命の副知事が居る。

【歴史概観】
一、古代史 紀元前一〇三年一〇一年、キンプリ、テュートンの兩族がこの地から南下してローマに侵入、五世紀にはこの地のアングロサクソン人がイングランドを征服す。また同時にデン人人がこの地方に侵入し、遂に全土を征服す。

二、中世史 九世紀には國王ゴットフリートは半島全部、ユトランド地方、スウェーデンの南部等を領有す。これが今日のデンマークの起源となる。九世紀から一世紀にデンマークにキリスト教が布教される。クヌート(二世)大王の時にイングランド、ノルウェーを征服、國王の死後は王權衰へドイッ皇帝に隷屬す。ワルデアル一世は國內を統一し、子クヌート六世はドイッから獨立、弟ワルデアル一世は一二一四年、イッよりアイデル以南のドイッ領を奪つたが、一二二五年に至り奪回される。

三、極盛期 デンマークの極盛期は一二世紀制による。一四四八年、スウェーデン・エストリドセン公家(Prince of Sved Estriksen)の男系の子孫の斷絶後、デンマーク議會はオルデンブルク伯(Count Oldenburg)クリスティアン一世(Christian I)を國王に選舉す。その後、オルデンブルク家は代々デンマークの王位に就けるも一六六〇年迄世襲王朝たる權利を認められなかつた。その後一八六三年一月一日、第一六世の君主、フレデリック七世を最後とし、オルデンブルク家の男系子孫無く、一八五二年五月八日、ロンドンにおける列國の條約によりデンマークの王位は Schleswig-Holstein-Sonderburg-Glücksburg 家のクリスティアン公(Prince Christian)とデンマーク王クリスティアン八世の姪、ルイズ姫(Princess Louise Hesse Cassel)との結婚より生ずる直系男子孫たるべしと規定され、デンマーク議會の承認を経て、一八五三年七月三十一日王位に就く。即ちクリスティアン九世がこれにして、現國王はその孫にあたる。

四、國內紛亂 一六六〇年にそれまでの選舉制君主國から世襲制君主國となり、貴族の權を制限し、都市の新興ブルジョア階級が大いに勢力となる。一七〇二年に農奴保有權が撤廢され、一七三三年には再び一部の農民は拘束され、一七八六年になつて始めて完全に解放される。一八世紀の後半に絕對王制が確立される。

五、ナポレオン戦争時代 ナポレオンの大陸封鎖に参加し、一八〇七年イギリスから攻撃さ

首相兼国防相 スタウニントン (Th. Stauning)
 農林漁業相 ボルディング (K. M. Bording)
 外相 ムンヒ (P. Munch)
 内相 ダールガルド (H. Dahlgard)
 社会相 スタインケ (K. K. Steineke)
 法相 ザーレ (C. Th. Zahle)
 文相 ボールンボルク (F. Borgbjerg)
 宗教相 ダール (N. P. L. Dahl)
 蔵相 ハンセン (H. P. Hansen)
 商工海運相 ホーゲ (C. N. Houge)
 労働相 フリース・スコッタ (J. F. N. Fries-Skotte)

C 立法 議會 (Rigsdag) は上院 (Landsting) と下院 (Folketing) よりなり、下院は豫算先議権を有するの外兩院の権限同一である。その主たる権限は立法権、租税決定権、會計監督権、上奏権、請願受理権を有す。上下兩院共に法律案を提出し、各院別個に議案を提出する権限を有す。同一議案につき兩院の議決が異なる時は兩院議員同数よりなる混合委員會へ附託す。豫算提出権は政府へ屬し、下院が先議権を有す。上院は下院の議決に對し修正権を有す。議員は現行犯を除く以外會期中議會の許可なくして逮捕せらるることなし。

通常議會は毎年第一火曜日に開かれる。會期は通常六ヶ月である。
 【上院】議員七六名よりなり、任期は八ヶ年にして半数宛四ヶ年毎に改選せらる。議員一九名は上院自ら之れを選挙し、他の五七名は全國を六選挙區に分ち之れを選挙する。間接選挙制により、上院議員選挙権を有するもの先づ議員選挙人を選挙し、しかる後議員選挙人が上院議員を選挙する(間接比例代表制)。上院選挙権は下院選挙権を有する満三五歳以上の者にあり、上院選挙権を有するものは又その被選挙権をも

兼有す。
 【下院】議員は一四九名にして、任期は四ヶ年、そのうち一七名は全國を二三選挙區に分ち、ドント式直接比例代表制によつて選出され、三一名は附加議席 (Tilleggsmandater) として投票數に比例して内務大臣これを各黨派へ割當てる。そして一一名はフェロー諸島 (Faroe Islands) の代表者に之れを割當てる。選挙資格は満二五歳以上の男女にあり、破産者、精神耗弱者、破廉恥罪により處罰せられたる者を除く。被選挙権は選挙権を有するもの之を有す。
 【現議會】上院は一九三二年九月一三日の選挙により、下院は一九三二年一月一六日の選挙にかゝるものである。現上下兩院における議長、各政黨の勢力關係は次の如し。
 上院議長—Jensen-Kleis (自由黨)

自由黨	二八名
社会民主黨	二七名
保守黨	一三名
急進黨	七名
フェロー諸島自治黨	一名
計	七六名
下院議長—Hans Rasmussen (社会民主黨)	
社会民主黨	六二名
自由黨	三九名
保守黨	二七名
急進黨	一四名
正義同盟	四名
共産黨	二名
スレスヴィヒ黨	一名
計	一四九名

D 司法 現行司法制度は一九一六年の制定法に基き一九一九年以後實施せらる。舊制度と異なる所は司法を行政より分離したこと、地方裁判所、陪審制を採用せしことである。
 E 地方行政 全國を二一州に區分し、各州に知事 (Amtmand) を置く。首府コペンハーゲン市は州より獨立した特別行政區域をなし、州知事と同性質の總督 (Governor) を置く。更に全國を一三〇〇の地方自治體 (Rural Municipality) 及び八八の都市自治體 (Urban Municipality) に分ち、地方議會及び都市議會を置く。何れも普通選挙と比例代表によつて行はれる。州知事は州における最高の行政執行機關であ

り、且つ州議會議長を兼ね司法警察権を有す。コペンハーゲンの自治機關は執行機關たる市政部と決議機關たる市會よりなる。前者は國王の任命する總督が一般市政執行に當り且つ州知事と同一権限を有す。州會は任期六ヶ年を有する間接選挙による議員よりなり、州知事を議長とす。都市、地方自治體は各決議機關たる都市及地方議會と議會の選出する一名の議長を以つて市政の最高機關とする。議長は所轄自治體の市政執行の権限を有し、議長は任期四ヶ年を有する議員九名乃至二五名よりなる。コペンハーゲン市會は任期四ヶ年の議員五五名よりなる。フェロー (Faroe Is.) 島の行政は知事を有すれども、州會はなく Lagting とし州會に擬すべきものを有す。更に村自治體は村會 (Sagmannad) を有し、村會は議長を選出し議長は村政執行の衝に當る。

F 政黨 덴マークの政黨としては社会民主黨 (Social Democratic Party) が最も有力にして、現在政權を握つてゐる。これに次いで自由黨 (Liberal Party)、保守黨 (Conservative Party) の二黨の勢力強く、その他急進黨 (Radical Party)、正義同盟 (Justice League)、共產黨 (Communist Party)、ノロー諸島自治黨 (Faroe Islands Home Rule Party)、スノムンヤ (Snoemund) の小政黨がある。以下各政黨の綱領及び黨指導者を列挙すれば次の如し。
 【社会民主黨】最も有力なる政黨にして、主として産業労働者を代表し、都會農村を通じて有力なる職業組合を有し、對内政策においては八時間労働制、労働者保護、累進税、上院の廢止、産業議會設立、二一歳以上の男女普通選挙権、公益施設の國有、對外政策としては國際聯盟擁護、國際仲裁々判、軍備縮少を高調す。
 黨領袖—A. M. Stauning (首相)、H. P.

Hansen (蔵相)、A. Lewinsky (上院議員)、F. J. Borgbjerg (文相)、Frederik Andersen (黨會議議長)、K. K. Steineke (社会事業相)、Hans Rasmussen (下院議長)、Aising Andersen (下院議員)。
 【自由黨】所謂「左黨」(Left Party) と呼ばれ、イギリス自由黨のイデオロギーを受け、地主、商人、自由職業家の支持をうく。對内政策においては個人企業を奨励し、これに對する國家の干渉を排撃し、君主制確立、國教會維持、土地所有權確立、初等學校における宗教々育、私學への國庫補助、對外政策においては國際聯盟協調、國際紛争の仲裁々判判決をかくぐ。
 黨領袖—O. Krug (前内相)、Thomas Mydson Mygale (前首相)、Jensen-Kleis (上院議長)、H. Hauch (上院議員)、I. P. Stenshille (前土木相)、S. Borchsenius (前國防相)。
 【保守黨】地主及び都會地のブルジョア階級を代表し、對外政策においては國民主義的にして軍備の必要性を高調し、保護貿易主義をとり、對内政策においては私有財産保護、公立學校における國教會、キリスト教育奨励、土地課税反對、社會保險施設、財政々策の確立をかくぐ。
 黨領袖—Christus Möller; Axel B. Lange (上院議員)、P. Korsgaard; Puschel (下院議員)。
 【急進黨】所謂「急進左黨」(Radical Left Party) と稱せられ、地方小農及び都市における一部知識階級自由職業者の支持をうく。對外政策においては國際聯盟、仲裁々判擁護、軍備縮少、自由貿易を強調し、對内政策においては強制的徴兵廢止、信仰の自由、民主革命における社会民主黨との提携、生活必需品に對する間接稅輕減、小農土地買入れにおける政府補助を主張する。
 黨領袖—C. Th. Zahle (法相)、前首相)、

コペンハーゲンにおける第一審裁判所は市裁判所、判事二名よりなる。コペンハーゲンを除きたる地方裁判所は九九よりなり、これ以外に七一の警察裁判所がある。地方裁判所は判事一名を有するもの、また數名の判事を有するものあり、警察裁判所には警察の裁判官が一名ある。大事件は上級裁判所 (Landstretten) 即ち控訴院 (第二審裁判所) が取扱ふ。
 第二審裁判所は控訴院にして全國に三あり、即ちコペンハーゲンの Østre Landsret、は院長一名、判事一八名、ヴェイボルクの Vestre Landsret、は院長一名、判事一三名、ソンドルボルクの Landstret は院長一名、判事四名より成る。
 大審院はコペンハーゲンに一あり、控訴院からの上告事件を取扱ふ。院長一名、判事一三名よりなり、その判決には少くとも九名以上の判事の審理關係を必要とす。
 而して裁判官は六五歳まで身分を保證され、法律上の宣告以外には免職されぬ。
 檢事制度は檢事總長一、檢事八、警察裁判所における地方警視よりなり、このほかに陪審制度あり、これは控訴院の裁判に限られて施行せらる。
 特別裁判所としては最高行政裁判所、海商事裁判所、宗教裁判所、常設労働仲裁裁判所等がある。
 E 地方行政 全國を二一州に區分し、各州に知事 (Amtmand) を置く。首府コペンハーゲン市は州より獨立した特別行政區域をなし、州知事と同性質の總督 (Governor) を置く。更に全國を一三〇〇の地方自治體 (Rural Municipality) 及び八八の都市自治體 (Urban Municipality) に分ち、地方議會及び都市議會を置く。何れも普通選挙と比例代表によつて行はれる。州知事は州における最高の行政執行機關であ

り、且つ州議會議長を兼ね司法警察権を有す。コペンハーゲンの自治機關は執行機關たる市政部と決議機關たる市會よりなる。前者は國王の任命する總督が一般市政執行に當り且つ州知事と同一権限を有す。州會は任期六ヶ年を有する間接選挙による議員よりなり、州知事を議長とす。都市、地方自治體は各決議機關たる都市及地方議會と議會の選出する一名の議長を以つて市政の最高機關とする。議長は所轄自治體の市政執行の権限を有し、議長は任期四ヶ年を有する議員九名乃至二五名よりなる。コペンハーゲン市會は任期四ヶ年の議員五五名よりなる。フェロー (Faroe Is.) 島の行政は知事を有すれども、州會はなく Lagting とし州會に擬すべきものを有す。更に村自治體は村會 (Sagmannad) を有し、村會は議長を選出し議長は村政執行の衝に當る。

G 外交 ナポレオン戦争後、この北歐デンマークは、民族主義に自覺し、一八二九年ルンド大學の記念祭にて、スウェーデン僧テゲネルが主張して北歐三國スウェーデン、ノルウェー、デンマークの共同的團結により、スラウ、ゲルマン、アングロサクソン等に對立するための汎スカンディナヴィア運動の先驅を示した。これが一八四八年の、更に六四年のドイツ・デンマーク戦争において、スウェーデン、ノルウェーの輿論は汎スカンディナヴィア主義にてドイツに反對し、かくてこの思想は具體化して政治的實際行動となつたが、遂に敗れ、この汎スカンディナヴィア運動も頓挫を來す。後世界大戰の勃發に際して、再びこれ等の三國は中立國として共同利害のために再び汎スカンディナヴィア主義を復活、かくて政治的なる三國協調が結

Veistrup (上院議員)、Niels Frederiksen (下院議員)、P. Munch (外相)、Bertel Dahlgaard (内相)。
 【正義同盟】主としてペンリー・ジョージ (Henry George) の政治思想に共鳴し、反社会主義的、強制徴兵廢止、政權分離、自由貿易、信仰教育自由、定員議員數の減少、土地に對するペンリー・ジョージの單稅主義をかくぐ。
 黨領袖—Dr. A. Dam.
 【共産黨】第三インターナショナルの政綱を踏襲し、一九三二年の選挙において初めて下院に議員を送る。
 領袖—Axel Larsen; Munch-Petersen.
 【スノムンヤ黨】デンマークにおける最も特異な政黨にして、人民投票によりデンマークへ歸屬したスレスヴィヒ地方のドイツ人を代表し、丁獨國境變更、即ちスレスヴィヒのドイツ還付を主張する。
 黨領袖—Dr. Schmidt.

汎スカンディナヴィア運動の先驅を示した。これが一八四八年の、更に六四年のドイツ・デンマーク戦争において、スウェーデン、ノルウェーの輿論は汎スカンディナヴィア主義にてドイツに反對し、かくてこの思想は具體化して政治的實際行動となつたが、遂に敗れ、この汎スカンディナヴィア運動も頓挫を來す。後世界大戰の勃發に際して、再びこれ等の三國は中立國として共同利害のために再び汎スカンディナヴィア主義を復活、かくて政治的なる三國協調が結

り、且つ州議會議長を兼ね司法警察権を有す。コペンハーゲンの自治機關は執行機關たる市政部と決議機關たる市會よりなる。前者は國王の任命する總督が一般市政執行に當り且つ州知事と同一権限を有す。州會は任期六ヶ年を有する間接選挙による議員よりなり、州知事を議長とす。都市、地方自治體は各決議機關たる都市及地方議會と議會の選出する一名の議長を以つて市政の最高機關とする。議長は所轄自治體の市政執行の権限を有し、議長は任期四ヶ年を有する議員九名乃至二五名よりなる。コペンハーゲン市會は任期四ヶ年の議員五五名よりなる。フェロー (Faroe Is.) 島の行政は知事を有すれども、州會はなく Lagting とし州會に擬すべきものを有す。更に村自治體は村會 (Sagmannad) を有し、村會は議長を選出し議長は村政執行の衝に當る。

り、且つ州議會議長を兼ね司法警察権を有す。コペンハーゲンの自治機關は執行機關たる市政部と決議機關たる市會よりなる。前者は國王の任命する總督が一般市政執行に當り且つ州知事と同一権限を有す。州會は任期六ヶ年を有する間接選挙による議員よりなり、州知事を議長とす。都市、地方自治體は各決議機關たる都市及地方議會と議會の選出する一名の議長を以つて市政の最高機關とする。議長は所轄自治體の市政執行の権限を有し、議長は任期四ヶ年を有する議員九名乃至二五名よりなる。コペンハーゲン市會は任期四ヶ年の議員五五名よりなる。フェロー (Faroe Is.) 島の行政は知事を有すれども、州會はなく Lagting とし州會に擬すべきものを有す。更に村自治體は村會 (Sagmannad) を有し、村會は議長を選出し議長は村政執行の衝に當る。

F 政黨 덴マークの政黨としては社会民主黨 (Social Democratic Party) が最も有力にして、現在政權を握つてゐる。これに次いで自由黨 (Liberal Party)、保守黨 (Conservative Party) の二黨の勢力強く、その他急進黨 (Radical Party)、正義同盟 (Justice League)、共產黨 (Communist Party)、ノロー諸島自治黨 (Faroe Islands Home Rule Party)、スノムンヤ (Snoemund) の小政黨がある。以下各政黨の綱領及び黨指導者を列挙すれば次の如し。
 【社会民主黨】最も有力なる政黨にして、主として産業労働者を代表し、都會農村を通じて有力なる職業組合を有し、對内政策においては八時間労働制、労働者保護、累進税、上院の廢止、産業議會設立、二一歳以上の男女普通選挙権、公益施設の國有、對外政策としては國際聯盟擁護、國際仲裁々判、軍備縮少を高調す。
 黨領袖—A. M. Stauning (首相)、H. P.

コペンハーゲンにおける第一審裁判所は市裁判所、判事二名よりなる。コペンハーゲンを除きたる地方裁判所は九九よりなり、これ以外に七一の警察裁判所がある。地方裁判所は判事一名を有するもの、また數名の判事を有するものあり、警察裁判所には警察の裁判官が一名ある。大事件は上級裁判所 (Landstretten) 即ち控訴院 (第二審裁判所) が取扱ふ。
 第二審裁判所は控訴院にして全國に三あり、即ちコペンハーゲンの Østre Landsret、は院長一名、判事一八名、ヴェイボルクの Vestre Landsret、は院長一名、判事一三名、ソンドルボルクの Landstret は院長一名、判事四名より成る。
 大審院はコペンハーゲンに一あり、控訴院からの上告事件を取扱ふ。院長一名、判事一三名よりなり、その判決には少くとも九名以上の判事の審理關係を必要とす。
 而して裁判官は六五歳まで身分を保證され、法律上の宣告以外には免職されぬ。
 檢事制度は檢事總長一、檢事八、警察裁判所における地方警視よりなり、このほかに陪審制度あり、これは控訴院の裁判に限られて施行せらる。
 特別裁判所としては最高行政裁判所、海商事裁判所、宗教裁判所、常設労働仲裁裁判所等がある。
 E 地方行政 全國を二一州に區分し、各州に知事 (Amtmand) を置く。首府コペンハーゲン市は州より獨立した特別行政區域をなし、州知事と同性質の總督 (Governor) を置く。更に全國を一三〇〇の地方自治體 (Rural Municipality) 及び八八の都市自治體 (Urban Municipality) に分ち、地方議會及び都市議會を置く。何れも普通選挙と比例代表によつて行はれる。州知事は州における最高の行政執行機關であ

り、且つ州議會議長を兼ね司法警察権を有す。コペンハーゲンの自治機關は執行機關たる市政部と決議機關たる市會よりなる。前者は國王の任命する總督が一般市政執行に當り且つ州知事と同一権限を有す。州會は任期六ヶ年を有する間接選挙による議員よりなり、州知事を議長とす。都市、地方自治體は各決議機關たる都市及地方議會と議會の選出する一名の議長を以つて市政の最高機關とする。議長は所轄自治體の市政執行の権限を有し、議長は任期四ヶ年を有する議員九名乃至二五名よりなる。コペンハーゲン市會は任期四ヶ年の議員五五名よりなる。フェロー (Faroe Is.) 島の行政は知事を有すれども、州會はなく Lagting とし州會に擬すべきものを有す。更に村自治體は村會 (Sagmannad) を有し、村會は議長を選出し議長は村政執行の衝に當る。

成された。このスカンディナヴィア協同會議はスウェーデン皇帝グスタフ五世の創意であり、大戦中及び戦後、盛んに開催される。

第二回會議はコペンハーゲンにて開かれ、デンマークは他の二國に對し多くの食糧を供給す。然しコペンハーゲンは過去數世紀間バルチック海が貿易の中心であり、またそのために金融關係上最も重要な地點であつたが、次第にスウェーデンに勢力を奪はれ、専らデンマークは農業的なる國家となる。大戦後一九一九年のヴェルサイユ講和條約による人民投票が行はれ、シュレスヴィヒの北部一帯がデンマークに還附さる。大戦中はドイツに對する舊怨のため中立をとりつゝ、聯合軍に好意を示す。ドイツの軍隊はこれを脅威せるも、最後まで中立を守り、國土狭少のため、列國の間に介在し、ドイツとの衝突を極力避け、絶對的に平和外交主義を主張す。一九二四年をもつて軍備の全廢の動議を議會に提出す。この提案は一九二六年に下院を通過、一九二七年上院では否決された。然しデンマークは一九世紀に農業、工業の對立のために農業の危機に達し、農業革命を斷行して、農業の徹底的の合理化により、酪農業國に發展す。また國債は十三億四千四百クローネ餘であり、その半分は外債により、かくの如き情勢はデンマーク外交の平和政策を極度に積極化せしめてゐる。

【陸軍】デンマーク陸軍は一八四九年以來國民皆兵主義にしてスイス陸軍制に類似する所多い。フェロー島住民以外の者はこぞつて服役する傾向強く、服役は二〇歳から一六ヶ年繼續し、現役は最初の八ヶ年、豫備役は次の八ヶ年である。編成時動員兵數は約一〇萬、歩兵三師團、騎兵三聯隊である。一九三三—三四年の陸軍豫算費は三五、九三七、四八〇クローネである。

【海軍】デンマークの海軍は一九二二年八月八日の國家防禦法(Law of National Defence)により陸海軍同様に國防大臣指揮の下にあり、海岸防禦に當る。その現有勢力は二海防艦、一乙級巡洋艦、四漁業偵察艇、二〇水雷艇、八潜水艦を數ふ。

【空軍】デンマークの空軍は飛行機五〇臺を以つて編成されてゐる。

【財政】デンマーク憲法の條項によりFinanslovsrådetと稱せられる毎年の財政豫算案は議會開會の初頭、即ち一〇月の初旬に下院に付議されなければならぬ。またFinanslovsrådetと稱せられる財政決算書に關しては、憲法の規定はそれが四人の有給検査官によつて審査されるべきことを命ずる。うち二名は下院により、他の二名は上院によつて選出される。これ等の検査官の報告書は兩院に上提される。兩院は適當なる考慮の後、貸借對照表に關しては何等注意事項なしといふ意味の決議を一般に通過させる。

豫算案は以上の如く毎年一〇月の初旬に先づ下院に提出され、これを下院が約五ヶ月間に亘つて審議し、翌年の三月に至つて始めて上院に廻付され、兩院通過の後國王の裁下を経て年度の豫算と決定される。その會計年度は日本と同様に四月一日に始まつて翌年の三月三十一日に終る。

デンマークの財政は一九一四年以來非常に膨脹して、約三倍となつてゐる。然しその財政状態は概して良好で、經常歳計においてはよく收支の均衡が保たれ、健全な方向を取つてゐる。一九三三—三五年年度の豫算においては、直接間

【海軍】デンマークの海軍は一九二二年八月八日の國家防禦法(Law of National Defence)により陸海軍同様に國防大臣指揮の下にあり、海岸防禦に當る。その現有勢力は二海防艦、一乙級巡洋艦、四漁業偵察艇、二〇水雷艇、八潜水艦を數ふ。

【空軍】デンマークの空軍は飛行機五〇臺を以つて編成されてゐる。

【財政】デンマーク憲法の條項によりFinanslovsrådetと稱せられる毎年の財政豫算案は議會開會の初頭、即ち一〇月の初旬に下院に付議されなければならぬ。またFinanslovsrådetと稱せられる財政決算書に關しては、憲法の規定はそれが四人の有給検査官によつて審査されるべきことを命ずる。うち二名は下院により、他の二名は上院によつて選出される。これ等の検査官の報告書は兩院に上提される。兩院は適當なる考慮の後、貸借對照表に關しては何等注意事項なしといふ意味の決議を一般に通過させる。

豫算案は以上の如く毎年一〇月の初旬に先づ下院に提出され、これを下院が約五ヶ月間に亘つて審議し、翌年の三月に至つて始めて上院に廻付され、兩院通過の後國王の裁下を経て年度の豫算と決定される。その會計年度は日本と同様に四月一日に始まつて翌年の三月三十一日に終る。

デンマークの財政は一九一四年以來非常に膨脹して、約三倍となつてゐる。然しその財政状態は概して良好で、經常歳計においてはよく收支の均衡が保たれ、健全な方向を取つてゐる。一九三三—三五年年度の豫算においては、直接間

【陸軍】デンマーク陸軍は一八四九年以來國民皆兵主義にしてスイス陸軍制に類似する所多い。フェロー島住民以外の者はこぞつて服役する傾向強く、服役は二〇歳から一六ヶ年繼續し、現役は最初の八ヶ年、豫備役は次の八ヶ年である。編成時動員兵數は約一〇萬、歩兵三師團、騎兵三聯隊である。一九三三—三四年の陸軍豫算費は三五、九三七、四八〇クローネである。

【海軍】デンマークの海軍は一九二二年八月八日の國家防禦法(Law of National Defence)により陸海軍同様に國防大臣指揮の下にあり、海岸防禦に當る。その現有勢力は二海防艦、一乙級巡洋艦、四漁業偵察艇、二〇水雷艇、八潜水艦を數ふ。

【空軍】デンマークの空軍は飛行機五〇臺を以つて編成されてゐる。

最近の歳出入 (單位1,000クローネ)

Table with columns for Year (1930-31 to 1934-35), Income (經常收入, 國家資本收入), and Expenditure (經常支出, 國家資本支出). Values are in thousands of Kroner.

註 最初の三年間は決定數にして、最後の二年間は概算數である。

主要農産物 (1932年度)

Table with columns for Crop (種別), Production (生産), and Quantity (噸). Lists crops like wheat, barley, and potatoes.

拂ふ限りその土地を借主の完全なる管理の下に置いてゐる。一九三二年六月二〇日の調査に依れば、同國の耕地面積は七、八二一、〇〇〇エーカーに上り、全國土の約六割を占めてゐる。土地概して肥沃ならざるも、國民勤勉にして農業よく發達してゐる。農作物としては小麦、ライ麦、大麥、馬鈴薯の産が多い。

【畜産業】デンマーク國民經濟の根幹を成す産業にして、一九三二年度におけるデンマークの總輸出額の六二、五九九、〇〇〇ポンドのうち、イギリスに對するバター、卵、ペーコンの輸出が三七、三四三、八八六ポンドを占めてゐるところを見ても、デンマーク國民經濟における畜産業の重要な役割が明かである。

一九三三年七月一日現在におけるデンマークの家畜飼養數は馬五〇一、〇〇〇頭、牛三、一三四、〇〇〇頭、豚四、四〇七、〇〇〇頭、雌鶏約二六、〇〇〇、〇〇〇羽を數へる。これ等の家畜は多く瘠地の平原に飼養され、世界最大の酪業地となつてゐる。

【水産業】デンマークは三面すべて海に面し、而も海岸線複雑にして良港に富み、位置的にも北海の世界三大漁業場の一つに近いため、水産業は頗る發達し、同國の主要産業の一つを

成してゐる。國民また極めて冒險性に富み、近海漁業は勿論、スウェーデン沿岸及びアイスランド近海にまで出漁し、漁獲高は鯉、鮭等を主とし、一九三一年度においては一、八九〇、〇〇〇ポンドに上る。同年のデンマークの漁船は總計一五、六三五隻より成る。

【工業】 鐵・石炭の缺乏と水力を全く有せざるにより、近代工業は發展の餘地を持たない。然し食料品工業は極めて盛んに行はれ、殊に酪業の發達は著しい。一九二五年の統計によれば、デンマークにおける工場数は八九、一七五、従業員數三九二、〇〇〇人にして、うち二七〇、〇〇〇人は實際の労働者である。またこれ等の總工場のうち二六、三〇〇工場は機械力を使用してゐる。

一九三二年度には、酒造工場は四を數へ、そのブランドの産額は七、六〇〇、〇〇〇リットルに上る。また濃度の強いビールの産額は一、二九六、〇〇〇リットル、弱いビールの産額は七、〇九〇、〇〇〇リットルに及ぶ。同年度において、ビート糖の産額は九工場より一八一、二四四噸に及び、人造バター製造は一八二工場より七三、三〇三噸に及ぶ。

F 外國貿易 デンマークの外國貿易は一九二九年を最高として漸次減少の傾向を示せるも、一九三三年度には輸出入ともに三割程度の減少を見るのみにして、世界各國一般の貿易額の激減に比較する時、デンマーク貿易額の僅少な減

最近の輸出入 (單位千ポンド)

Table with 3 columns: Year, Import, Export. Data for 1929-1933.

のみにして、世界各國一般の貿易額の激減に比較する時、デンマーク貿易額の僅少な減

一九三二年度輸出入品 (單位千クロネ)

Table with 3 columns: Category, Import, Export. Data for 1932.

少振りは同國經濟の健全を物語るものでなければならぬ。而もその貿易額は一九三三年度には輸出入ともに七千萬ポンドに近く、その國土及び人口の割合を以つてすれば世界において最も貿易の盛んなる國の一つである。また年々輸入超過を續けてゐるも、その額は極めて小額である。

【主要貿易品】 デンマークの輸入品の主なるものは穀物、金屬及びその製品、車輛及び附屬品、木材、石炭等であり、またその輸出品はバター、ベーコン、鶏卵等を主とする畜産物によつて獨占され、總輸出額の殆んど八割近くを占めてゐる。

【國別貿易】 デンマークの貿易相手國としてはイギリス及びドイツを最大とし、その他、スウェーデン、ノルウェー、アメリカ合衆國、オランダ、フランス等が之に次ぐ。殊に對英貿易は極めて重要にして、一九三三年度のデンマークのイギリスよりの輸入は三五五、〇七一、〇〇〇クロネにして、その輸出は七五五、〇六一、〇〇〇クロネに上り、その總輸出額の六割を占めてゐる。従つてデンマークの經濟界はイギリ

V 社會

現代のデンマークは都市人口比率が四三%で農村人口は五七%に當り、農業が主要なる生産をなしてゐる。社會運動は農民國なるに拘らず早くから發達し、そのために社會政策の實行はかなりの程度に進展し、特に農業政策は大いに進歩した状態を示してゐる。

一八世紀に農奴制度を廢止し、小作農を自作農たらしめるために一六八二年及び一七二五年の法律によつてこれを實施し、更に一七八〇年の法律は非常に自作農を増加す。一八四九年のフレデリック七世の欽定憲法が自由の民主主義を確立、更に一九一五年六月の新憲法により、土地法が改革され、土地兼併、大農禁止、都市集中制限等がなされ、一九二四年、自作小農の獨立と農耕地の擴張を保證する法律の發布を見た。かくて現在は大地主、不在地主はなく、いづれも自作小農で、最も合理化された農業經營をなしてゐる。且つ酪農業のために大資本と大規模の農業大經營を必要とする場合には、協同組合組織を結成す。これはデンマーク社會の特性である。この協同組合は、生産方面のみならず、信用、購買、販賣等のあらゆる方面に普及された。この外に、自作農地計劃と國有地小作計劃が企劃されてゐる。

【階級運動】 一八七八年にデンマーク社會民主黨が組織され、今日もまだ労働者運動がそれに率ひられてゐる。一八八四年に始めて二人の代議士を下院に送つて以來、一九二四年には五の議席を得、議會の多數黨となり、スタウニング内閣を組織して一九二六年一月まで政權を握つてゐた。デンマーク共產黨の成立したのは一九一九年にして、完全に組織されたのは一九二一年であつた。また一八九八年には労働組

合の全國的聯合が成立、一九二〇年はその全盛期であつた。それにはギルド的組織があり、改良主義が中心となつてゐた。なほ農業協同組合が最も大規模に發達してゐた。

【協同組合運動】 デンマークの組合事業は、他國では資本家によつて行はれるものがすべて全く農民組合によつて經營されてゐる。この協同組合は中小商業的農業生産者が團結して資金を集めこれにより資本家の大規模商品生産の支配に對抗せんとするところにある。一八八二年の初にヘッディングによつて製酪組合が作らる。これはアメリカその他の農業に壓倒され、小經營の不利を自覺し、それを組合によつて市場價格を支配せんとする意圖によるものである。今日全國を通じ酪農組合の數は約一、四〇〇に上り、四分の三が輸出される。

ペーロン製造の組合は一八八七年ユートランドのホルセンに設立、全國に五〇〇の組合がある。鶏卵組合は一八九五年に組織され、今日では四萬五千の會員、五五〇の支會を有す。年一億五千萬クロネから二億クロネに近き輸出をなす。その他多くの労働組合を有し、農業者の九〇%はすべてこの協同組合に屬し、これによつてかなり富裕なる農業經濟を示してゐる。

VI 文化

A 概説 古くからバルチック海を中心に全スカンディナヴィア文化をこの地方が支配することが長く續いた。併しその濃霧多き地理的條件は自ら文化を北方的な理想的なるものにし、またそれは懷疑的な憂鬱なる文化形態を示した。かのハムレットはその代表的なる象徴であり、キェルケゴールの否定的内面性、ブランドスのロマン主義はすべてこの文化の典型的表現である。特にこの國が一八世紀以來、衰亡に傾い

ス經濟界の消長に、極めてデリケートな影響を受けてゐる。その他、ドイツ、スウェーデン、アメリカ合衆國、オランダはいづれもデンマークに對する輸出がデンマークよりの輸入を遙かに超過し、著しい片貿易を示してゐる。

G 交通 デンマークは、首都コペンハーゲンを除き、一九三三年三月末日現在、全國に幹線道路四、七三六哩、支線道路二六、九四五哩を有してゐる。鐵道は三、二八七哩開通されてゐる。そのうち國有鐵道は一、五五九哩である。これ等國有鐵道の總價格は四五八、六二〇、〇〇〇クロネに上る。

デンマークは半島と群島とより成り、極めて港灣に富み古來海運の極めて盛んなところであつた。近世に至つて英米獨佛白等に壓倒されるに至つたが、尙今日においても相當な海運力を有してゐる。一九三二年末において、その所有船舶(二〇噸以上の登記済のもの)は二、〇八九隻、一、二三八、二〇〇噸に上る。うち汽船は六一〇隻、七二一、五〇〇噸、モーター船は一七四隻、四三三、七〇〇噸、モーター付帆船は一、二二九隻、七二、七〇〇噸、帆船は七六隻、一〇、三〇〇噸に上る。

H 通信 一九三二—三三年度における郵便取扱數は封書、葉書二八六、三〇一、〇〇〇通、印刷物二四〇、二九一、〇〇〇通である。全國郵便局數は一、四三六局に上る。

國有電信線は一九三三年三月末日現在、約一〇、六〇〇哩にして、局數は五五〇に上る。一九三二—三三年度の電信取扱數は三、四五二、〇〇〇通である。その他、鐵道電信局は四五一局を數へる。一九三二年末國營及び民營の電話條線は一、一四二、四〇〇哩にして、一九三二年度における電話交換數は五四八、六九五、〇〇〇回に上る。

たことが特にそれを著しくした。併し最近農村の協同組合の發達は全く新しき新興文化の發展を表はすに至つた。一八六六年、ドイツに敗れたデンマークはダルクガスの主張により、「デンマーク・ヒース協會」を作り、農業振興によつて新文化建設の民族的意志を強化せんとした。かくて「イギリスは工場、ドイツは軍隊、デンマークは學校」と云ふ國民の合言葉の如く盛んに教育文化を發達せしめ、すべて農業教育を目的とする國民文化の涵養に努め、國民高等學校は六〇を算し、特に、エヌ・エヌ・グレントキは、歴史家、宗教家、詩人であり、その國民思想はクリスタ・コール教授に繼承せられ、大いに國民文化は畫期的展開を遂げた。ニエルス・ブックの國民體操は世界的であり、その社會民主主義文化は最も進歩的な文化形態を創造してゐる。

B 宗教 デンマークの國教はルーテル派で、既に一五三六年に採用されたものである。國教會は七名の僧正の監督下にあるが、僧正には政治的な権限は與へられてゐない。すべての信仰の自由は與へられ、非國教徒にも市民權は與へられてゐる。一九二二年の國勢調査によれば、プロテスタント三、二二一、八四三人、ローマン・カトリック二二、一三七人、ギリシア正教徒五三五人、ユダヤ教徒五、九四七人、その他の教徒及び無宗教者一七、三四九人である。

C 教育 デンマークの教育は一九世紀の初めから普及し、一八一四年には初等教育は義務教育となり、學齡は七歳より一四歳までである。下級學校の數は一九三二年に四、五〇五校あり、うち三五校は官立、三、八八六校は公立、五八五校は私立で、全生徒數四九九、七三四人あり、大部分は無月謝である。高等教育機關としては、コペンハーゲンに歌爾登・農業カレッジあり、工藝學校二八三、高等師

範學校一九、高等商業學校一、商業學校九五、農業乃至園藝學校二一、民衆高等學校(Folkets Højskole)一、藥劑專門學校一、齒科醫學校一、國立美術院一、工藝學院一があり、大學はコペンハーゲン及びアールフス(Aarhus)にある。民衆高等學校は成人教育學校で、總べて私立であるが、他の農業學校と共に政府の補助を受けてゐる。

D 哲學 デンマークの哲學はゼーレン・キエルケゴール(Søren Kierkegaard 1813-55)によつて世界的となり、また一九世紀における最大哲學者の一人であり、特に最近問題の辨證法神學の創始者である。彼の北方の憂鬱はその内的矛盾の根源となり、あれかこれかの苦惱は、否定、死に對する深刻なる洞察となり、精神的展開の飛躍性を認め、その否定的辨證法の典型的なるものである。彼の著書は Entweder-Ort 1843, Furcht und Zittern 1843, Begriff der Angst 1844, Der Augenblick 1910, Studien auf dem Lebenswege 1845 等がある。彼の無の辨證法はヘーゲルのそれを否定し、新しき存在學、人間學への展開を必然ならしめてゐる。また哲學家として名高いハラルド・ホフディンク(Harald Høffding)は先驗的ロマンティズムと進化的的ポジティヴィズムとを内的に統一せんとする哲學體系を作り、特に彼は哲學史、及び哲學者評傳 Spinoza (1877), Darwin (1889), Kierkegaard (1892), Kant (1893), Rousseau (1896), Bergson (1914) 等の著書がある。

エンボルク、ラーステッド等があり、特に新進音樂家は多くカール・ニールセンの影響の下にあつて、ラングガート(Langgaard 一八九三)へフディンク(Høffding)等が輩出してゐる。

三部作「海の烙印」「寄せ波」「眞珠貝」は著名である。またプロレタリア作家にはアルテン・ネキセイ(一八六九)がある。

自 然

A 位 置 デンマーク(Denmark)は、ドイツのシュレウヒヒ・ホルスタイン地方より北方へ突出せるユトランド半島(Jutland Penn.)の大部分を占め、その東方海上にあるバルチック群島を含む。又遠くフアロー群島(Faroe Islands)及びグリーンランド(Greenland)の地をも領有する。極東はボルンホルム島の東端にして東經一五度一分、極西はユトランド半島の西端にして東經八度六分、極南はファルスター島(Faerøerne)の南端にして北緯五四度三十分、極北はユトランド半島の北端スカウ岬(Skagens Horn or The Skaw)にして北緯五十七度四十分である。

丘陵の最高所も一七三メートルを超えず、多数の小丘陵には牧場開け、風光は極めて佳い。沿岸には島嶼多く、峽灣發達し、海岸線は面積小なる割合に非常に大にして六、四〇〇軒に達する。西海岸は砂丘及び浅い瀉が連続し、特に鐵海岸(Eisene Kuste)と呼ばれ船舶の寄港は不可能である。東岸は西岸と異なり、幾多の良港がある。東部海上にはバルチック群島があり、ジールランド(Zealand)、フエイン(Fyen)等大なる島を初めとし、數多の島がある。島々の間には多くの海峡をなす。峽灣は海岸の特色をなし、大小の峽灣が至るところに見られる。そのうち最も大なるはリム峽灣(Lim Fjord)であり、北海とカッテガット海峽(Kattegat)とを繋ぎ、その北部は大陸から離れて島となつてゐる。河川は分水嶺と見るべきものなく、あまり發達してゐない。最も大なるものはグデン河(Guden Taa)にして、數個の湖水を連ねてカッテガット海峽に注ぐ。

C 氣候 三方海をめぐらし、その影響をうけることが大きい。北海のメキシコ灣流は西北より暖氣と濕氣とを運んで、デンマークの氣候を非常に温和にする。併しなれど土地が北に偏する故、冬期は可成り寒冷にして、バルチック海の各島嶼間及び東方の河湖は總て氷結する。首府コペンハーゲンの年平均温度は七・三度にして、最低の一月は零下二・五度を示し、最高の七月は約一六・五度に上る。降雨量はパリと大差なく、ベルリン、ウィーン、ロンドンよりも多い。即ちコペンハーゲンの年降雨量は五六〇耗に及び、最高は七月で八五耗、最低は二月より四月迄で毎月三〇耗に達しない。半島の西部は東部より降雨量が多い。

D 面積・人口 一九三〇年九月五日の調査によると、デンマークの面積は一六、五七六平方哩(四二、九三二平方英里)、人口は三、五五〇、六五六人である。人口密度は一平方哩につき二一四人となり、全人口の内、七三六、三〇六人は男子、一、八一四、三五〇人は女子となつて居る。一九二五年の調査によると人口は三、四三四、五五五人であつたから、その後五ヶ年間に毎年〇・六七%の人口増加があつた譯である。都市人口は一九二五年の一、四八二、二九七人から、一九三〇年に

地方別面積・人口

區 分	面積(平方哩)	人口(1930年)	一平方哩平均人口
コペンハーゲン市	28	617,059	22,038
バルチック諸島	5,136	1,310,225	255
ユトランド半島	11,412	1,623,362	142
計	16,576	3,550,655	214

は一、五五八、九一〇人に増加して居り、地方人口は同期間に一、九五二、二五八人から一、九九一、七四六人に増加してゐる。一九三三年七月一日に於けるデンマークの人口は概算して三、六二二、〇〇〇人である。

26

ドイツ 立憲共和國

Deutsches Reich, 英 Germany, 獨 Deutschland, 佛 Allemagne.

一 歴史概観

一、起 原 ドイツの史的発展はその地理的關係により種々の異人種の混合により、諸邦國の對立抗争を通じ、非常に複雑な過程を経て今日の統一共和制を見るに至つた。ドイツ人が史上に現はれたのは、紀元前一世紀、ローマの

シーザーがライン・ダニューブを略しゲルマニアを半植民地化したことに始まる。ローマの史家タキツスによれば始めケルト、チュートン、スラヴの諸族が群居しローマの滅亡まで何等の文化的發達を見せなかつた。やがてローマの衰退は、歐洲諸國の反亂獨立を見、遂にフランク族は、ドイツ、フランスを統一シクロヴィス(五一一年歿)を首長とす。その後アルサス、ロ

レンを中心とするシャールマン大王(八一四年)がその極盛を見たが、その死と共に分裂す。ライン以東は東フランスとして孫、ルウィス(八七六年)に治められ、こゝにドイツの國家的起源を見る。その子、カロロ即位、諸民族の侵略に逢ひ、幾度か諸王は廢位交代を見る。

二、法皇領時代 斯かる混亂のうちに遂にオットー大帝は九六二年神聖ローマ皇帝に即位す。以来法皇権と國王權との對立が鋭くなり一五五五年のオウグスタブルクの宗教會議により新教が確立し、宗教改革は農民戦争を勃起し、更に三〇年戦争を見、全國大いに衰微す。一七〇一年に至りフリードリヒ二世(大王)繼ぐや、オーストリア繼承戦役及び七年戦争により大いに領土を擴張し學術文化共に勃興す。一八〇六年ナポレオン來襲しオーストリア大敗しライン聯邦組織され神聖ローマ帝國崩壊す。

四、ドイツ聯邦の結成 この歴史上對しプロイセンを中心とするドイツ國民運動は一八一三年ナポレオンをライプツヒヒに敗り解放戦争となり、ウイーン會議によりドイツは三九邦より形成せらる。以來、中世紀的形式の議會があつて人民の自由運動を壓迫、一八四八年、メッテルニヒが二月革命の影響によつて失脚するや、國家統一の輿論が起り、一八四八年フランクフルトに聯邦會議開かれ、漸次オーストリア以外の諸邦は全部同盟す。

五、プロイセンの覇權確立 斯くてプロイセン中心の運動益々盛んとなり一八六一年ウイッセル

ヘルム一世、プロイセン王となるやビスマルクを宰相とし、ドイツ統一の決意の下にオーストリアと協力してデンマークからシュレスウィヒを奪ひ、一八六六年更にオーストリアと開戦して大勝、プロイセンの覇權確立す。時にナポレオン三世これを抑へんとしイスパニヤ王位繼承問題により一八七〇年、普佛戦争勃發し七一年遂にパリ開城、アルサス・ローレンと償金を附與す。この時プロイセン王はドイツ皇帝になり、これを中心に四王國、六大公國、五公國、七侯國、三自由市の聯盟を作り、聯盟議會を形成し、更に國民の選出する帝國議會を開く。一八八八年、ウイッセル二世即位す。

六、世界大戦 一八八二年以來、ドイツ、オーストリア、イタリヤの三國同盟を結び二〇世紀に入り一九〇七年、イギリスを中心としてフランス、ロシアの三國協商成立して兩々相對し、遂に一九一四年六月、ドイツがバルカン半島トルコに進出せんとする事によるオーストリア太子の凶變は忽ち世界大戦を勃發し、以後四年半に互に西部戦線に聯合軍を破る。

七、共和國の成立 斯かるうちに一九一七年一月にはロシア革命によるソヴェト獨裁は單獨獨和となりしが、然し大戦はドイツに利あらざ、一九一八年、國內的社會矛盾は遂に爆發して、一月革命惹起し全國に波及、ウイッセル二世遂に退位、共和制となり休戰條約を結ぶ。一九一九年六月ウイッセル條約に調印す。國內的社會共産黨なるスバルタクス團は、人民政府より分裂し、一九一九年一月五日には、その指導者なるリッペンベルグ、(Karl Liebknecht) ロッザ、ルクセンブルグ、(Rosa Luxemburg) を捕縛、暗殺す。一九二三年中央黨マルクス内閣成立、極度のインフレーションに陥る。

八、第三帝國の出現 一九二五年エーベルト

もつてドイツ新憲法は議定せられ、八月一日にこれを發布す。

ワイマル憲法の冒頭に「ドイツ國民はその各民族相協同し且つ自由と正義とに依りて國家を改造し、之を鞏固にし、國內及び國外の平和を保持し、社會の進歩を促さむことを欲し、爰に此の憲法を制定す」と規定する。國權は國民より發す(Die Staatsgewalt geht vom Volke aus)となし、國權は國の事件に關しては國の憲法により國の機關が行ひ、各邦の問題に就いては、各邦の憲法によるものとす。國の法律(Reichsgesetz)は各邦の法律(Landesrecht)に勝る效力を有す。各邦は自由主義の憲法を有することを要す。更に大統領、政府、國參議院、立法、行政、司法、の各項を規定す。なほ、第二部としてドイツ人民の基本權及び基本義務を定め、個人・共同生活・宗教・教育・經濟生活等の諸項にも互る。而して一八七一年四月一六日の舊憲法、及び一九一九年二月一〇日の假政府に關する法律を廢止す。但し一九一九年六月のヴェルサイユ條約の規定は妨げられず。以上が大統領エーベルト、大臣、パウエル、ミュラー、ノスケ、等の名の下に、シュワルツブルグにおいて公布さる。

この憲法の起草は國民議會により一九一九年三月四日、二八名の憲法起草委員任命され、ユダヤ人の政治學教授フゴ・プロイスが第一回の草案を作り、シャイデマンの修正を経て國民議會に提出され、四二回に互る會合の結果、七月三〇日、第三讀會にて二六二の賛成、七五の反對、一の棄權により採決さる。

【大統領】ドイツ共和國大統領は Reichspräsident と呼ばれ、滿二〇歳以上の全ドイツ國民によつて選舉さる。その任期は七ヶ年、再選を妨げず、任期満了前にも國民議會の決議により國民投票を行ひ大統領を辭職せしむるを得。國

議會の決議は三分の二以上の同意あるを要す。

第一代大統領 フリードリッヒ・エーベルト(Friedrich Ebert) 一九一九年二月一日選出、一九二五年二月二八日その逝去の日まで在任す。

第二代大統領 パウル・フォン・ヒンデンブルグ(Paul von Hindenburg) 一九二五年四月二六日當選、五月二日就任す。更に一九三二年四月一〇日、再びヒンデンブルグ再度大統領に當選したるも、一九三四年八月二日逝去、享年八八歳。こゝにおいて開議の決定を以つて直ちにヒットラー首相が臨時的大統領の職權を兼攝することに定め、「總統」(Reichspräsident)と稱し、八月一九日の國民投票により歴史的多数を以て國民の承認を受け、今日に及ぶ。

【參議院】ドイツ各邦を代表して、國の行政・立法にたづさはるるために參議院(Reichsrat)を置く。各邦は少くも、一投票權を有し、大なる邦にては人口百萬毎に一投票權を有す。六六名をもつて組織さる。即ち、プロシヤ二六、バウアー一四、バーデン一三、テューリンゲン、ヘッセン、ハンブルク各二、その他諸邦各一とす。

3. ナチス專制 最近世界的國民主義擡頭と共に戦後極めて困難な歩行を辿つて來たドイツにおいて、その政治的、經濟的、社會的行詰りは最近の世界經濟恐慌を契機として一段と拍車をかけられ、アドルフ・ヒットラーを首領とする國粹黨に著しい勃興の機會を與へ、一九三三年一月三〇日にはヒットラーを首班とするナチス内閣の成立を見、ナチス專制の第一歩は踏み出された。その後、ヒットラーを首班とするナチス政權の獨裁はワイマル憲法を停止し、ナチス政綱による諸般の改革を企圖し、ナチス專制の一國一黨主義を強行し、聯邦改革法

(Friedrich Ebert) 大統領歿し、ヒンデンブルグ(Paul von Hindenburg) 當選す。その後ドイツは一時相對的安定を見、ドーズ案の出現に成功せるも、アメリカ恐慌が一九二九年に起るや、藏相ヒルファディング失脚し、ヒットラー(Adolf Hitler)の國粹黨が愛國綱領を掲げ、ナチスの積極的發展を見、遂にヒットラーを「フューラー」とする第三帝國出現するに至る。

II 政治

A 政治機構

1. 舊帝國憲法 ドイツの舊憲法は一八七一年四月一六日プロイセン王ウイッセル一世、ビスマルクによりドイツ帝國の名の下に制定さる。ドイツ聯邦は各邦を保護し、同盟聯合して聯邦をもつて帝國を組織し、プロイセン王に政治・軍事を委ねドイツ帝國と稱す。帝國の立法事務は聯邦議會(Bundesrat)及び帝國議會(Reichstag)により行はる。帝國法律は聯邦各國の法律に優先す。軍務に關し聯邦議會に於いて意見を異にする時は聯邦長(Präsident)プロイセン國王)の決する所による。聯邦長はプロイセン國王の名を有するプロイセン王に屬す。帝國議會の任期は五ヶ年間とし人民全體の代表とす。其他、關稅、商業、鐵道、郵便電信、海軍及び航海、領事館、軍事、財政、刑罰、等の諸項に關する規定をなす。

2. ワイマル憲法 以上の如き舊ドイツ帝國憲法は、一九一八年一月一日の世界大戦の休戦と共に事實上廢棄せらるるに至る。かくて共和國の設立となり、一九一九年二月六日、ワイマルに國民議會の召集を見、エーベルトが第一回大統領に當選す。次で、七月三十一日を以つて中央集權を確立し、ドイツは完全なるヒットラーの獨裁下に、國粹社會黨の日圖せる「第三帝國」の實現を見た。更に一九三四年八月二日には大統領ヒンデンブルグ元帥の逝去を機會として、宰相(Reichskanzler)ヒットラーは直ちに大統領の職權を兼攝し、「總統」(Reichspräsident)と呼稱し、名實共に完全なる獨裁者となる。これに對する人民投票は八月一九日に行はれ、全國有権者四五、四七三、六三五名のうち、贊成投票三八、三六二、〇七〇名、反對投票四、二九四、六五四名、無効八七二、二九六名の歴史的多数を以つて、こゝにヒットラーの獨裁制は國民の公認を得、一段と發展するに至つた。(ヒットラー獨裁制の展開に就いて詳しくは「政治の動勢」及びカレント・トピックス篇を参照)。

【總統】アドルフ・ヒットラー(Adolf Hitler) 一九三四年八月二日、ヒンデンブルグ大統領の逝去と共に、「大統領」(Reichspräsident)なる稱號はヒンデンブルグ元帥に捧げられ、爾後「總統」(Reichsführer)なる稱號の下に宰相の兼攝と定めらる。

【首府】ベルリン(Berlin) 一九三二年概算人口は四、二八八、三一四人。

B 行政

1. 行政權 ドイツ共和國(Deutsches Reich)の行政權は大統領(Reichspräsident)及び帝國政府(Reichsamt)にある。二〇歳以上の獨逸人は凡て大統領の選舉權を有する。大統領は任期七ヶ年で、再選される事が出来る代り、任期中も國會三分の二以上の票決及び人民投票で退職させられる。大統領は國際法上帝國を代表し、同盟條約、その他の條約を締結する事が出来るし、軍隊の總指揮權をも有して居る。帝國政府は帝國宰相(Reichskanzler)及び國

務大臣 (Reichsminister) より成り、専ら對外關係、植民、移住、兵役、通信、鐵道、貨幣及び租稅等を管掌する。その他の事項は各聯邦政府の管轄下にあるのが通例であるが、司法、公民權、衛生、勞働立法、保險等に關する紛争については、帝國政府が越權的行動に出づる事が出来る。なほ最近ナチス獨裁下に中央集權主義が強化され、更に一九三四年一月三日の國會において聯邦改革法案が通過し、次の如く中央集權の一層の強化が確立される。(一)聯邦各州の主權は聯邦政府の管轄に歸屬す。(二)州知事並に州政府は聯邦内相の統制下に置かる。(三)聯邦政府は新聯邦構成法を宣布する權限を附與される。

2. 共和制以後の内閣 ドイツ帝政の最後の内閣はマックスによつて組織され、その新綱領は一九一八年一月五日に、議會の多數黨を絶對の基礎とすることに變じたが、次いで休戦、退位と共に人民委員會が開かれ、共和制の宣言と共に社會民主黨を中心とする假政府成立す。パウエル首相となり内閣を組織す。一九一九年一月には共產黨スバルタクス團を襲滅せしめたが、一方共和制を目的とする國民聯盟により攻撃せられ、陸相ノスケもこれに加擔せるため、一時大統領、首相も共に、ベルリンを脱出、反抗軍はベルリンを占領し廢帝の第二皇子アイテル・フリードリッヒを大統領とし、マックス親王を首相候補となしたが、更にその主領のカップが自ら首相となり、陸相リトウィッツ以下を任命し、反動新内閣を組織す。が忽ちその勢力失墜し、五日の後二三日再びパウエル政府を迎ふ。後繼者は社會民主黨のヘルマン・ミュラーが首相となる。

最高會議による賠償金二千二百六十億マルク、期間四二年に對する反對案として、三百億マルク、三〇年支拂」を提議したが、フランスの反撃により、遂に總辭職となる。これに次いで一九二一年五月、前職相ワイルトを首相とする新内閣成立、舊賠償案を認定せるものであるが、一九二一年、上部シレシアの所屬問題がポーランドとの間に對立を來し、遂に二二年二月總辭職するに至る。次に第二次ワイルト内閣が成立、時に外務大臣ラテナウが暗殺される。この後に、ドイツ人民黨のクノール内閣が一九二二年一月に立ち國粹的傾向を明かにす。この時マルクの徹底的暴落とインフレーションの極端な結果、ストレーゼマン内閣が一九二三年八月に代る。諸派の聯合内閣であるが、マルク安定に努めし、左右兩派の挾撃によつて瓦解し、一九二三年一月、中央黨のマルクス組閣す。右黨益々優勢となり、第二次以下のマルクス内閣は全く無能力を示しつゝも前後四回の組閣をマルクスは繼續す。それ以後、内閣は轉々として廻り、ルーテルが、一九二五年一月首相となる。更に二月、エーベルト大統領病歿し、こゝに國民の直接投票による大統領選舉行はる。候補者は前首相ブラウン(社會民主黨)、バーデンの首相ヘルバット(ドイツ民主黨)、前首相マルクス(中央黨)、前内相ヤーレス(右黨聯合)、バイエルンの首相ヘルト(バイエルン人民黨)、テールマン(共產黨)、ルーデンドルフ元帥(國權黨)、第一回投票は三月二十九日行はれ、ヤーレス一千四百萬票、ブラウン七百八十萬票、マルクス三百九十萬票、更に第二回の決選投票が四月二十六日に行はる。これより先中央黨のマルクスを中心とするものと、右派はルーデンドルフの代りにヒンデンブルク元帥を擁立、テールマンは左派、この結果、ヒンデンブルク一千四百六十五萬票、

マルクス一千三百七十五萬票の接戦を見た。第二次ミュラー内閣が各派聯合の組織をもつてしたが、一九三〇年三月瓦解し、中央黨のプーリニク(Preußisch)によつて組閣、右派の大聯合を企てたが不成功に終る。中央黨からは、内相ワイルト、交通相グエラー、勞働相ステイゲルツ、ドイツ人民黨からは外相クルチウス、藏相セルデンハウエル、バイエルン人民黨からは選相シエツェル、無所屬のシエーレ、國防相グレートナー、によつて組閣さる。議會を解散して反對派を彈壓す。緊急勅令にて尅大なる新稅法案を強行實施す。一九三二年四月一〇日には再びヒンデンブルクは大統領に當選す。この年産業合理化の失敗と失業者のために内閣瓦解し、八月パペン(Franz von Papen)内閣成立す。一月七日の總選舉の結果、支持派六五に對し反對派は五〇六となり總辭職す。二月二日、シュライヘル將軍(Kurt von Schleicher)が後繼内閣を組織す。

3. 現ナチス内閣 その後、國會に於いて第一黨なる國粹社會黨の首領、ヒットラーの入閣に關する問題のために僅か五六日目にシュライヘル内閣は崩壊す。かくて國粹社會黨(National Socialist Party)と國權黨(National German People's Party)との聯盟の下に、ヒットラー・パペン内閣が一九三三年一月三〇日ヒットラーを聯邦首相に、パペンを副總理にせるナチス内閣が成立、その後數次の改造あり、現ナチス内閣の顔觸は次の如し。

- 首相 ヒットラー (Adolf Hitler)
副首相兼プロシア統監 パーベン (Franz v. Papen)
内相 フリック博士 (Dr. Wilhelm Frick)
外相 ノイラート (Konstantin Baron von

- 法相 ケルトナー博士 (Dr. Franz Gürtner)
國防相 ブロンベルグ將軍 (Werner von Blomberg)
藏相 クローナン (Lutz Salwerin von Krosgel)
勞働相 セルター (Franz Seldie)
選相 ヘルン＝リットマン (Paul von Hittner)
無任所相兼航空總監 ターリンク將軍 (Hermann von Göring)
失業總監 タンケ (Dr. Guenther Gerke)
國民啓蒙・宣傳相 マッセル博士 (Dr. Josef Goebbels)
一九三三年三月一四日任命。
經濟相 シヤント博士 (Dr. Hjalmar Schacht)
前經濟相シヤント博士 (Dr. Kurt Schmidt)の後繼者として國立銀行の總裁より六ヶ月の期間を以つて一九三四年八月二日任命。
農相 ダン博士 (Dr. Walter Darré)
無任所相 (Hess) (Rudolf Hess)
なほ無任所大臣ゲーリングをプロシア内閣内に相に任じ十五萬の警官の支配權を與ふ。

通平等、直接無記名、比例投票に依り、滿二〇歳以上の男女に依つて七萬五千人に一人の割合で選出され、その任期は四箇年である。議會は毎年一月第一水曜日に自動的に開會する。必要ある時は政府が之を召集し、大統領又は議員三分の一の要求ある時は議長も之を召集する事が出来る。大統領は議會を解散することはあるが、同一原因で一回以上解散する事は出来ない。

在ドイツ帝國議會はナチスの絶對多數下にあるが、全員六六一名のうち、非ナチス議員は僅か二名にして、その一名は副總理たるパーベン (Franz von Papen) と國權黨の前首領の任にありたるフーゲンベルク (Dr. Alfred Hugenberg) である。

1. 立法權 ドイツ共和國の立法權は一院制の帝國議會 (Reichstag) にある。議會は自ら法律案、その他を發議し、行政、立法に干渉する特色がある。大統領の任命する議員は總て議會の信任を必要とし、従つて議會は不信任案で國務大臣を辭職させ、又三分の二以上の決議で大統領を解職する事が出来る。議會はその閉會期中委員會を組織して諸政に當る。國會議員は普

最近の總選舉 (1933年11月12日施行)

國會議員選舉		政府信任人民投票	
總投票	42,975,009	總投票	43,439,041
ナチス	39,626,647	信任	40,588,804
非ナチス	—	不信任	2,100,181
無効	3,348,362	無効	750,061

【地方裁判所】一九三一年一月には、全國にて一五九ヶ所に設けられ、民事部、刑事部を含む。前者は三名の判事よりなり、區裁判所の裁判を再審、區裁判所より重き事件の原審をなす。商業上の事件を審理するには更に商事部が置か

れ、判事一名、陪席判事二名より成る。刑事部は刑事事件に關し區裁判所よりの上訴を審理す。重要事件のために地方裁判所は陪審裁判所(Schwurgerichte)を構成し、判事三名、陪審員六名をもつて組織さる。

【上級地方裁判所】第二審をなす。全國に二七ヶ所を有す。三名の判事より成る民事、刑事の兩部を持ち、共に地方裁判所よりの控訴の裁判をなす。

以上の各裁判所にある裁判官の總数は、一九三一年一月には一〇、〇九五名を數ふ。裁判所で有罪の判決をなされたものは、一九二七年に六一二、三二五名、一九二八年に五八八、四九二名、一九二九年に五九五、六五六名、一九三〇年に五九六、二七七名に上る。

3. 勞働裁判所 雇傭關係の問題に就いては勞働裁判所を有す。この判事はこれ等の裁判所から任命され、雇主、雇人の代表より陪席さる。一九三一年には四五二の下級勞働裁判所(Unterschiedsgerichte)、六〇の地方勞働裁判所(Landesarbeitsgerichte)、帝國勞働裁判所(Reichsarbeitsgerichte)を持つ。一九三一年には下級勞働裁判所は四四一、二四三の判決をなし、地方勞働裁判所は二〇、六三三件を、帝國勞働裁判所は九八二件の上告を受く。

4. 警察制度 國內のナチス獨裁のため地方の治安維持を保つため特に警察制度を改革す。プロイセンは一九三三年四月一日、五大警察區、二小警察區に分ち、大警察區には高級監督官、小警察區には州警察部長を置き、警察制度の統一を企つ。

更に四月二七日には、ベルリンに、國家警察廳を設け、プロイセン内相の直轄の下に共産主義及びその他の思想彈壓と出版法の嚴重なる取締をなす。

E 地方行政

ドイツ政府は委任法に基き一九三三年三月三日及び四月五日附の統一法により立法、行政の制度統一をなす。人口二百萬以上の大邦には、すべて長官を置き、小邦には數邦を總括する長官を設く。一九三三年五月五日バーデン、ザクセン以下の諸邦には七長官の任命を見、國粹社會黨の獨裁制は益々強固となる。

F 政黨

1. 概説 ドイツの政黨は、その地理的歴史的条件により各聯邦に分離せると共に、思想的階級的關係に分裂し、殊に宗教的諸對立はすべて政黨組織に反映して諸政黨の群立を見るに至る。舊ドイツの聯合體的色彩はすべて政黨の統一化を妨げて来た。然るに最近ドイツにおいて世界的國民主義運動の擡頭と共に勃興せるナチス、即ち國粹社會黨は一九三三年一月三〇日には政權を獲得し、一黨專制主義の旗の下に共和派各政黨及び共産黨を彈壓し、右翼諸政黨を自黨のうちに解消して、首領ヒットラーの下にその獨裁を確立し、現在ではドイツの政治は完全にナチスの專制下に置かれてゐる。

2. 國粹社會黨 即ちナチス(Nazis)と呼ばれ、詳しくは國粹社會主義ドイツ勞働者黨(Nationalsozialistische Deutsche Arbeiterpartei)にして、ヒットラーを最高指導者として社會主義的外貌を加味する國粹的綱領を持ち、反ユダヤ主義、外交政策に對しては反平和主義、植民地の再獲を期す。國內政策に對しては議會主義に反する獨裁主義を強調する。そもそも同黨は一九二〇年二月二四日、ミュンヘンにおいて、大戰中の一兵卒、當時三一歳のヒットラーによつ

文化のあらゆる方面に絶對權力を有してゐる。【ナチス綱領】一九二〇年二月二四日、國粹社會主義ドイツ勞働者黨、即ちナチスはその結黨と同時に採擇せる黨綱領の主要なるものを示せば次の如くである。

- 一、我等は民族自決權に基き總てのドイツ人の大獨逸への合同を要求す
二、我等は他の總ての國民に對するドイツ國民の平等權を主張し、ヴェルサイユ、サンゼルマン兩條約の廢棄を要求す
三、我等はドイツ國民を支へ、又その過剩人口を收容すべき植民地を要求す
四、ドイツ國民はドイツ人(ドイツの血統を有し宗教の如何を問はず)たるを要す。従つてユダヤ人はドイツ國民たるを得ず
五、ドイツ國民に非ざれば國家の指導立法(即ち官吏)に參與するを得ず
六、外國人のドイツ移住を禁止す、一九一四年八月二日以後移住し來れる非ドイツ人は速かに國外に退去すべし
七、國民の權利義務は平等なるべし
八、我等は不勞所得者と金貸業者とを排斥す
九、我等は戰時利得の沒收を要求す
一〇、我等は社會化された各企業の國有を要求す
一一、我等は大工場に對する利益の分配を要求す
一二、我等は養老年金制完成を要求す
一三、我等は中産階級の創設維持を要求す
一四、我等は傭兵制度の廢止と國民軍の創設を要求す
一五、我等は政治家の墮落と新聞の腐敗とに對し立法的闘争を要求す。ドイツ主義の新聞の建設を可能ならしむる爲め左の諸點を必要とす

て建黨されたに始まる。反ユダヤ主義をもつてする小黨は社會民主黨、民主主義議會に尖銳に對立抗争し、後ルーデンドルフとヒットラーを首領とし、一九二三年フランスの第二次ルーレ占領に反對し、ミュンヘンに暴動を起し、ヒットラーは自ら全ドイツ獨裁官たることを宣す。この反亂は帝政派カールの裏切により、ヒットラーは五年の懲役に處せらる。一九二四年の總選舉には、ドイツの民族的自由の運動を主張して三二の議席を得るまでに發展す。その後經濟恐慌とドイツに對する世界的壓迫は國粹主義を國民をして寧ろ切望するに至らしめ、ヒットラーの出獄後、俄然ナチスの勢力は加速度的發展を示し、三三年一月三〇日にはヒットラーを首班として政權を獲得し、同年三月五日の總選舉には更に勢力を増大し、その後一黨專制主義を強行し、一九三三年一月の總選舉により、總議員六六一名中、二名を除いてはすべてナチス黨員により獨占せらる。

現在ナチスは各都市にその支部を設け、百萬以上の黨員を有し、多くの青年失業勞働者による突撃隊五〇萬を有し、ドイツの政治、經濟、社會、

ナチス勢力の發展過程

選舉	選舉施行日	獲得投票數	得議席
國會	1928. 5. 20	809,541	12
國會	1930. 9. 14	6,406,397	107
大統領第一回	1932. 3. 10	11,341,119	
大統領第二回	1932. 4. 10	13,417,460	
國會	1932. 7. 31	13,732,777	230
國會	1932. 11. 6	11,737,185	196
國會	1933. 3. 5	17,269,629	283

【社會民主黨】(Sozialdemokratische Partei Deutschland) 溫和なる國家社會主義を主張し、勞働者、下級官吏等によつて組織さる。外交政策は平和主義と賠償額の低下を目的とす。國內的には共和制の支持、聯盟による國家集中を企て、勞働の八時間制、勞働社會保險を強調す。

黨領袖—Dr. Otto Braun(前プロシヤ首相)、Paul Löbe(前帝國議會議長)、Dr. Rudolf Br- eischeidt; Rudolf Hilferding(前議長); Dr. Carl Severing(前プロシヤ内相); Otto Wels(黨會議議長); Arthur Crispien; Wilhelm Dittmann; Dr. Rudolf Wissell(前勞働相)。

【共産黨】(Kommunistische Partei Deutsch- land) ドイツの第三インターナショナルの支黨にして、プロレタリア獨裁を主張する。一九一九年一月に、スバルタクス同盟なる名稱の下に生れ、一九二四年六月の選舉には經濟恐慌のため一躍その黨勢を擴大す。一九三〇年の國會には七七の議員、一九三三年には百の議席を獲得す。現状の壓迫は共産黨にも著しき變化を及ぼし、特にナチスの壓迫はその首領等を殆んど投獄するに至る。

黨領袖—Ernst Thälmann(黨首); Ernst T- orgler; Wilhelm Münzenberg; Hermann Ren- nele; Clara Zetkin

【中央黨】(Zentrumspartei) カトリックの政黨として、共和制を支持す。特に南部ドイツ、西部ドイツに有力である。黨領袖—Wilhelm Marx(聯邦首相たること四度); Dr. Joseph Wirth(前首相黨内左派の首領); Dr. Heinrich Brüning(前首相); Dr. Hein- rich Brauns(前勞働相); Dr. Adam Sieger- and(前勞働相); 前プロシヤ首相); Theodor von Guhard(前運輸相); Dr. Ludwig Kaas(黨會議議長)。

交方針を全く一變するに至る。

2. ヴェルサイユ條約 一九一九年一月三日パリでドイツを除く諸和會議開かれ、五月七日平和條約の正式交附がヴェルサイユのトリアノン宮殿に爲さる。五月二日正式に平和條約が國民議會に提出さる。五月二九日修正案が送られ更に二週間後「恐慌平和」なる回答がなされる。シャイデマン内閣辭職、議論紛糾、六月二日パウアー新内閣を組織し、ハーゼの妥協案が二三七票の賛成、一三八票の反対により通過す。併し聯合國これを容れず遂にドイツは無條件降服となる。一九一九年七月九日に國民議會は批准す。三二八票中賛成は二〇九、反対は一一九である。

條約内容は、前文に條約締結各國全權委員氏名、本文は十五編、條文を四百四十條附屬書十八種、等々とする。この中ドイツに關する主要なる條項は次の如し。

- 一、エルザス・ロートリンゲンをフランスの主權の下に置く事
- 二、ザール流域に於ける炭鐵の所有權及びその採掘權の獨占權をフランスに讓渡する事
- 三、オーストリア、ハンガリーの分立
- 四、チエコスロヴァキア及びポーランドの獨立承認
- 五、シレシア及びポーゼン並にプロシアの一部をポーランドに讓渡する事
- 六、ザール流域は一時國際聯盟の管理に託する事
- 七、ダンツィヒ市は永久に國際聯盟の下に置く事
- 八、シムレスウイッヒ及び東プロシアの一部の歸屬は一般投票により決定する事
- 九、ドイツ海外領土は悉くこれを抛棄する事

ドウス案過渡期間の支拂割當額

(單位マルク)

	第一年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度
鐵道	200,000,000	595,000,000	550,000,000	560,000,000	650,000,000
鐵道公債	—	250,000,000	—	—	—
運輸民	—	250,000,000	290,000,000	290,000,000	290,000,000
産業擔保	—	250,000,000	250,000,000	300,000,000	300,000,000
豫算	—	—	110,000,000	500,000,000	1,250,000,000
外債	800,000,000	—	—	—	—
計	1,000,000,000	1,220,000,000	1,200,000,000	1,750,000,000	2,500,000,000

一〇、ドイツの陸海軍兵力を極度に制限し徴兵制度を廢し潜水艦及び航空軍の存置を禁ずる事

一一、同盟及び聯合軍は前ドイツ皇帝を訴追し特別裁判所を設けて審理し、其他戰爭の法規慣例に違反する行為ありたるものを訴追し軍事裁判所にて之を審理する事

以上、ドイツをして戰爭に對する責任を認めしめ、戰費を除外し、交戰期間に聯合國の人民及び財産に對して加へたる一切の損害を賠償せしめ其他經濟上及び交通上ドイツの權利並びに自由に種々の制限を加ふる事

一三、同盟及び聯合國の軍隊はドイツの本條約履行に對する保證としてライン河左岸を占領する事

以上の如きヴェルサイユ條約はドイツの帝國主義的復興を否定することを目的とせるもので、その内部にその來るべき矛盾を既に充分に包含せるものがあるを知る。

3. ドウス案 賠償問題の解決のため當時アメリカの副大統領ドウスがドイツの豫算、通貨の安定を目的とする自國管理案を作成し一九二四年八月に調印す。

ドウス案によつて支拂はれる標準年賦拂額を二十五億マルクに決定。ドウス案實施についての法規、銀行法の改正、産業に各五〇萬金マルクを提供せしむ。

4. ヤング案 ドウス案實施の第五年度に至り支拂困難を見、ゼネラル・モーターズ會社社長ヤングの主宰する委員會は一九二九年八月に修正賠償額を新たに定めたヤング案を成立せしめた。賠償總額を三五八億に削減。期間を五八年七月と定む。第一期三六年七月の支拂年額は利子とも十九億八千八百八十萬マルク、第二期たる二二年は平均年額は利子とも十五億六千六百萬マルクとなつてゐる。年次支拂金の財源はドイツ鐵道と豫算である。併し世界恐慌の展開は賠償問題を愈々困難ならしめ、その改訂は必然的のものとなつた。既に一九三一年二月において聯邦議會は「政府は速にヤング案改訂をなすべき事」を三四票對五六票にて可決す。

各派の投票獲得數

政黨	1914	1920-22	1924, 5月	1924, 12月	1928, 5月	1930
社會民主黨	11,509,048	6,104,398	6,008,905	7,831,041	9,151,059	8,572,016
ドイツ國民黨	3,121,479	4,249,100	5,596,475	6,205,802	4,380,029	2,458,497
國家社會黨	—	—	1,918,329	907,242	809,771	6,401,210
ドイツ人民黨	1,345,638	3,919,446	2,674,381	3,049,064	2,678,207	1,657,149
中央黨	5,980,215	3,845,001	3,914,379	4,118,849	3,711,141	4,128,929
ドイツ民主黨	5,641,825	2,333,741	1,655,129	1,919,829	1,504,148	4,587,708
共產黨	—	589,454	3,693,280	2,709,086	3,263,354	1,104,000
キリスト教人民黨	—	65,300	—	—	—	1,058,556
ドイツ農民黨	—	1,173,300	946,648	1,134,035	199,517	—
ドイツ社會黨	—	—	333,427	159,115	—	—
農民同盟	—	—	574,939	498,900	199,517	193,000
ドイツ農民黨	—	—	—	—	480,880	339,000
ドイツ經濟黨	275,100	218,600	693,606	1,005,405	1,395,684	1,390,585
ドイツ、ハノーバー黨	77,200	319,100	319,792	263,174	195,400	144,000
獨立社會黨	2,317,290	5,046,800	235,145	98,842	—	—
人民保守黨	—	—	—	—	—	313,000
其他	132,500	332,100	597,353	339,708	1,442,900	—
棄權	6,366,156	7,753,434	9,095,702	8,697,232	10,084,666	—
總有權者	36,766,500	35,949,774	38,379,500	38,987,324	41,244,733	—

【ドイツ國家人民黨】(Deutsche National Volkspartei) 戦前は國民自由黨と云ふ。ドイツ政界の右翼にして、王黨を支持し、ヤング案に反對する。

黨領袖—Dr. Alfred Hugenberg (黨魁)

Dr. Ernst Oberfolren; Oskar Heigt (前法相); Dr. Walter Groff (前帝國議會副議長); Dr. Martin Spahn; Dr. Wilhelm Koch (前運輸相)。

【キヤリア人民黨】(Kaiserliche Volkspartei) 中央黨から分離せるもの。バヴァリアのみの特殊なるものである。而してカトリック黨にして、ヤング案に反對する。

黨領袖—Johann Lecht; Heinrich Held; Erich Emminger.

【人民黨】(Deutsche Volkspartei) もと舊國民黨の右翼をなすものにして、ヤング案を肯定せんとす。社會主義反對、共和制には支持を與へる。

黨領袖—Kahn and Dingeldey (黨會議議長); Dr. Paul Moldenhauer (前藏相); General Hans von Seeckt; Siegfried von Kendorff; Walther Darch; Dr. Emil Georg von Stauss.

【キリスト教社會黨】(Christlich-Sozialer Volksdienst) 新政黨一九三〇年に始めて議會に現はる。プロテスタントを支持し、中産階級層を支持者とする。

黨領袖—Wilhelm Simpfendorfer.

【國家黨】(Deutsche Staatspartei) 一九三〇年七月に始まる。共和黨が一九三〇年七月に解消せるもの、後繼黨にして、ロカルノ條約を支持する。

黨領袖—Hermann Dietrich-Baden (前藏相、黨會議議長); Dr. Peter Reinhold (前藏相); Dr. Karl Petersen; Dr. Wilhelm Kutz (前内相); Dr. Hermann Hopker-Aschoff (前プロミン藏相); Dr. Walther Schreiber; Dr. August Weller; Dr. Gertrud Baumer; Dr. Hermann Fischer; Dr. Gustav Stolper.

G 外 交

1. 概説 舊聯合國は帝國ドイツを徹底的に破壊せんとし賠償と軍備撤廢に全力を注いだ。ドウス案はこれに對するドイツ復興の救済案となつた。一九二五年一月調印のロカルノ條約はヴェルサイユ條約に對する決定となると共に國際聯盟にドイツは加入す。一時表面的には獨佛は接近す。なほソヴェートに對しては一九二二年四月ラッパロ條約によりロシアを承認。一九二六年には獨露の中立條約を締結。一九二五年のドウス案は賠償支拂期間を三十年から約五十年に延期せるも年額の支拂額が甚大なるため一九二九年八月ヤング案により四分の一、三百五十八億マルクに減す。オーストリアの統一、植民地の復活、ポーランドの廻廊問題等、ドイツの國家主義はその窮迫と共に愈々鮮明となり遂にドイツの平和主義に反對するファシスト運動としてのナチスの勃興は俄然、その外

H 國 防

1. 陸軍 ヴェルサイユ條約により徹底的に軍備縮小を要求せられたドイツは其後「國防の自由なくば榮譽なし」の理由の下に一九三二年一月、原則として軍備の平等を認めしめ、その即時實現を要求したが、英、米、伊、佛はこれに四ヶ年の試験期を設け、その間ヴェルサイユ條約のままとする監視を主張し、事實上その要求を否定せるため、ドイツは軍縮會議を脱し、次で國際聯盟をも國民の絕對支持の下に脱退す。現在の國防軍一〇萬及び警察隊一五萬は主として幹部に使用し、戦時數百萬の在郷兵と青少年訓練を終れるものを召集し、直ちに強大なる野戦軍を編成す。

平和條約の制限を見れば正規軍として、常備軍は一〇萬、將校は四千を越ゆべからず、兵器、工場は限定せられ、義務徴兵制度を廢し志願兵制度による。これが實現を國防軍條約に確定せられしが、兵卒會議の廢止、一九三〇年の改正、更に一九三三年ヒットラーの國民革命後、國防法を改訂。下意上達委員選舉等の規定を排去し、中央集權を固む。志願兵制度にて年限一二年、將校は二五年間現役に止まる。正規軍を補ふものとして一九二一年プロローニ會議に許可せられた警察隊一五萬を全く軍隊と同一にし一種の豫備軍を編成す。

「ナチス」黨には突撃隊及び親衛隊なるものあり百萬を越へ公然武裝をなす。更に従來、鐵兜團、キッホイザール團、ドイツ將校同盟、其他青少年團等にて一九三二年ベルリンの大會には二〇萬に上る。なほ三二年九月には平和條約に反してドイツ青年訓練所管理局を設置す。

最近の陸軍豫算

Table with 3 columns: 年度, 豫算總額, 陸軍豫算. Data for 1930-1, 1931-2, 1932-3.

船は國民の資金によつて作成せられ、ドルニエのD.O.X大型飛行機を製作す。

【化學戰準備】 毒ガスの研究、製造を禁止せられたが、平時の化學工業の發達と共に有事の毒ガス製造は至つて強大である。防護法にはアウエル、ドレーガー等世界的發明を見、人間は固より家畜に對する防毒用具完備す。

2. 海軍 殆んど沿海防禦用に過ぎず。平和條約によれば志願制度による海軍を許さる。艦隊は一九〇六年乃至一九〇八年に竣工し、排水量一三、〇〇〇噸、一吋砲四門、六、七吋又は五、九吋砲を一〇門、乃至一二門を備へる舊ド級艦四隻よりなる。ハノーヴァー、ヘッセン、シュレジエン、シユレスウィッヒ、ホルスタイン等である。一九三二年には一萬噸、二六節の戰艦ドイッチェランドが完成。一九三一年にはこの同型の改造艦が完成さる。

これと同一のもの二隻、一九三四年までに竣工の豫定。巡洋艦エムデンは一九二五年に建造、六吋砲八門を有す。ベルリンは一九〇四年建造、四、一吋砲一〇門を有す。ケーニヒスベルク、カールスルエ、ケルン、ライプツィヒは一

して飛行將校三六名が許され、一九二八年飛行機製作の制限規定解かれその活動俄かに著るし。軍事航空は禁止さるゝも優秀なる商業航空を有し直ちに強大なる空軍を形成し得。操縦者は目下「ルフト・ハンザ」會社に二百名他に八百名を有す。ツェッペリン飛行

九二九—三一年に建造、六吋砲九門を有す。平和條約により巡洋艦の建造噸數は六千噸に制限さる。潜水艦、海軍航空機は悉く禁止さる。全兵海軍は北海とバルチック海に區分さる。全兵員は一五、〇〇〇人、この中將校、下士官の最大人員千五百人を含む。將校及び下士官は二五年繼續、水兵は二年間服役。武器、軍需品、材料はすべて制限さる。

I 政治の動勢

一、パーベン内閣 一九三二年五月三〇日ブリュク内閣を解し、六月一日、パーベンを首相とする右翼超然内閣成立、中央黨、右派諸黨の支持にて議會に臨まんとするや中央黨その他が反對し、議會前に六月四日議會解散の緊急命令を發布、總選舉は七月三十一日に施行され、國粹社會黨は二三〇で、春の大統領選舉當時とほぼ同じく、中央黨は五七、バウアリア國民黨は二三で、各一割餘の増加を見、中間有産黨に大激減を示し、左派は前勢力を維持す。國粹社會黨が第一黨たるためにパーベン内閣の改造と入閣を一般輿論は要求し、八月一日、ヒットラーとパーベン首相は會見、また大統領ヒットラーとの會見にて遂にパーベン内閣と國粹社會黨との交渉は全く決裂す。九月一二日開會の議會にて當日、議長ゲリリンク(國粹社會黨)は、國粹社會黨及び中央黨の内閣不信任案を、宰相の發言を許さず、直ちに記名投票にて五二三の多數にて可決した。首相は、併し、議會解散の大統領命令を議長の卓上に殘し、退場し、議會は先例なき方法にて九月一二日解散された。

最近の總選舉

Table with 4 columns: 黨派, 1933年3月 (投票數, 議席), 1932年11月 (投票數, 議席). Rows include various political parties like 國家社會黨, 共産黨, etc.

日に施行せられ、國粹社會黨は一九五となりて前より三五減じ、國權黨は五一にて三七より増し、パーベン内閣の與黨は六五にて反對黨は五〇六にて惨敗す。パーベンは各派領袖と交渉し、十一月二日、ヒットラーと大統領は會見、超黨派内閣に對し、ヒットラーは二三日に回答、全然超黨派内閣に反對、自らの内閣組織を二四時間以内に成立せしむことを表示す。大統領はこの提言を拒絶して不調となる。かくて二月一日パーベンは辭表を提出す。

三、シユライヘル内閣 一月二日シユライヘルに内閣組織の大命下る。四日閣僚定まる。二、三の關係の變動ありしのみ。無任所相のブラハトが國粹社會黨のゲールに代つて内相となり、またパーベン内閣が大地主側を支持せんとし經濟相ワルムボルトの反對にて瓦解したが、これが留任し、またシルプ労働相は前内閣の不評を回復したかに見えた。シユライヘルは各派に接衝

して妥協成らず、一月二八日、大統領は解散に同意せざるために遂に總辭職を決議す。大統領これを許し、再びパーベンに廣汎なる内閣を組織せしめんとす。併しこれは不成立に終り、遂にヒットラーは讓歩して、聯立内閣にて妥協す。

協力関係は遂に深刻な矛盾、対立の情勢を展開した。三月二十七日夜にブルンスウィック國粹社...

【原因】表面的にはヒットラー政府のために解散された共和制擁護の前衛團士團たる「ライヒ...

六月二日、ナチスの秘密警察隊及び突撃隊は一齊に全國の國權黨の本部支部を襲ひ事實上これを潰滅す。...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

多くの領袖が處刑された。パーベンは逮捕、自邸に監禁、二日釋放さる。ヒットラーは總司令に部隊長ルツェを任命、幹部の大更迭を行ふ。...

最近の歳出入

Table with 3 columns: Year (年度), Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1928-29 to 1934-35.

註 年度は3月31日に終る。*印は豫算概算数とする。

III 經濟

A 財政

1. 概説 大戦後のドイツの財政状態は大戦の結果たる、ヴェルサイユ條約による莫大な賠償金と數百億マルクの國債の元利償還とを背負はされ、...

2. 主要歳入

戦前には國民所得の八分の一が財政需要に徴せられた。併し戦後には全く新税に次ぐに新税、國民の負擔はその極限に達した。...

ナチス以外に團員を所屬せしめざること、鐵兜團員はナチスに入黨し得、青年鐵兜團はナチスの突撃隊に合併す。...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

【最近の状況】ナチス政府の懸命なる景氣恢復策によりドイツ財界は最近多少の好轉を示し、...

歳出入豫算

(1933-34年度豫算, 単位百萬ライヒスマルク)

Table with columns for '歳入豫算' and '歳出豫算', listing various taxes and expenditures.

て財政均衡政策を實施す。3. 主要歳出 前述の如くドイツ財政は年々多額の歳出超過に苦しんでゐる。一九三三—三四年には三億三千萬マルクの歳入不足を示し、前年よりの繰越不足額を累計する時には一億マルクを突破してゐる。斯くの如き年々の莫大なる歳出超過を示してゐることは、一九三〇年以來、世界經濟恐慌によるドイツ國民經濟の激甚なる不況による歳入激減によるところが多い。その上、この不況の對策としての時局匡救費が極めて大なる額に上つてゐる。而も失業救済のための土木事業計畫が政府の財政上に及ぼすところは極めて大である。土木事業融資は多く將來政府の負擔となるべき手形を以つて、而も當該事業の直接擔當者たる州及び市町村に對する貸附の形式において行はれてゐるのである。従つて之等の費用は現在のところ左程の國債増加となるに至つてゐない。然しこれ等の土

最近の國際貸借

(單位百萬マルク)

Table showing international borrowing data for 1931, 1932, and 1933, categorized by '經常' and '非常'.

五〇億マルク、貿易入超約六億マルクといふ支拂超過勘定に對して、受取超過勘定は僅かに勞務純收入及び賠償手續費受入の四三億マルクに過ぎなかつた。以上の如き莫大なる支拂超過の決済方法は正貨並に在外資金の減少による一〇億マルク投資、その他財産の處分による一七億マルクの外、長短期外資輸入の百億マルクを見た。即ちドイツが從來巨額の賠償を支拂ひ得たのは殆んど全く外資の流入によるものであると云つても過言ではない。従つてこの外資の輸入が杜絶するや、直ちに支拂不能に陥り、斯くて一九三一年以來賠償金支拂は停止されるに至つてゐる。然るに最近ドイツの國際貸借は著しく好轉するに至つてゐる。その主たる原因は前述の如く、賠償支拂は一九三一年以降停止されてゐるによる。即ち、一九二九年度にはそれは二三億マルク、三〇年、一七億マルクに上つてゐたものが、三一年の九億マルク、三二年の千六百萬マルク、

本事業手形の擔保としてはライヒスマルクに供託中の租稅信用證券六億マルク、國庫證券八億四千萬マルクの他に、十一億以上に及ぶ流通中の租稅信用證券がある。この結果、これ等土木事業計畫の財政壓迫は現在よりも寧ろ今後の數年間に懸つてゐる。従つてドイツ財政における歳出は將來益々この時局匡救費の重壓により幾多の難題に遭ふものと見ても間違ひではない。一九三三—三四年度豫算においては、總歳出五九億マルク中、一般行政費は二八億マルクに上り、約半額に近い額を占めてゐる。これに次いで戦争・平時年金の一三億マルク、失業救済費及び證券支拂・國債費のいづれも五億マルク、各州、地方自治體への交付金の三億マルク等を主要なるものとする。

4. 國債 一九三三年三月三十一日現在のドイツ國債は、一二、三三七萬ライヒスマルク(ヴェルサイユ條約による國債は加へず)に上る。この内譯は四、四三三萬萬マルクは戰前の國債、四二七億萬マルクはレンテン銀行公債(Konten Bank Debt) 六九五億萬マルクはドゥズ案公債(Dawes Loan 1924) 一、三八七億萬マルクはヤング案公債(Young Loan, 1930)、五二五億萬マルクは一九三〇年の外債、五〇〇億萬マルクは一九二七年の内債、一八三億萬マルクは一九二九年の内債、一、〇四七億萬マルクは戦争損害賠償金、二二二億萬マルクはポーランド賠償、九五六億萬マルクは其の他の負債である。

國債の増加

(單位百萬マルク)

Table showing the increase in national debt from 1871 to 1933.

註 *印は12月31日現在による

三三年の千四百萬萬マルクに減少してゐる。この賠償金支拂の停止と同時に貿易收支は著しく好轉し、嘗つての輸入超過より輸出超過國に轉化し一九三〇年には一六億、三一年には二八億、三二年には一〇億の受取超過を見せてゐる。斯くてその國際貸借は別表に見られる如く、一九三一年以來、プラス勘定になつてゐる。

D 金融

ドイツの金融界は戦後極度のインフレーションに陥りたるも、政府の努力により其後一時的安定期に進入したが、以後依然として金融界は暗澹たる状態を持續して來た。一九二四年一月二日より有効となつた通貨法(Currency Law)が一九二四年八月三〇日に發布されてより通貨は再び金本位制を復活し、二〇ライヒスマルク(Reichsmark)及び一〇ライヒスマルクの二種の金貨を定む。更に一マルク、二マルク、三マルク、五マルク及び一ペニヒ、二ペニヒ、五ペニヒ、一〇ペニヒ、五〇ペニヒの各銀貨を定む。一〇マルク以上の國立銀行紙幣(Notes of the Reichsbank)をも同様法貨と定めらる。同紙幣はその額面の最低四〇パーセントの準備金を有するものと定めらる。現在この兌換は中止されてゐる。これ以外に次の所謂「私立紙幣銀行」(Private Note Banks)を有する。(一) ムウニヒにあるバイエルン紙幣銀行(Bayerische Notenbank)(二) ドレスデンにあるサクセン銀行(Sächsische Bank)(三) スワットガルトにあるウルテムスルク紙幣銀行(Württembergische Notenbank)(四) カールスルーヘにあるバーデン銀行(Badische Bank)

なほ一九三三年二月三十一日現在における不動公債は二、九三二、六〇〇、〇〇〇ライヒスマルクである。これを一九三二年二月三十一日現在の一、八三六、二〇〇、〇〇〇ライヒスマルクと比較すれば、約一〇億ライヒスマルクの増大を示してゐる。

B 資本

戦前にはドイツは資本輸出國であつたが戦後は著しい資本缺乏の状態に陥る。外資の輸入は最も切實なる要求を示し、一九二四、五年以後、外資の輸入は頗る豊富となる。この一九二五年の外資は、十三億一千七百萬マルク、一九二六年には、十六億九千六百萬マルク、一九二七年には十四億一千二百萬マルクを示す。この中大部分はアメリカであり、利廻は約九分、なほ外資輸入は公共團體、公企業、教會等であるが、その約半分は私企業會社である。

株式・證券現在高

(單位百萬マルク)

Table showing the current high of stocks and securities from 1924 to 1932.

註 I は實業株式の總發行高、通算三年の平均値、II は有價証券の總發行高、公債の發行高、以上流通中の内債の發行高

C 國際貸借

ドイツの戦後における國際貸借は一九三〇年迄は毎年巨額の支拂超過を示し、一九二五年より一九三三年の八年間に實に一二四億マルクの支拂超過を示した。その國際貸借上における内債を見るに、賠償支拂一〇億マルク、利拂超過

これ等は何れも國立銀行と同一の法規の下にあり、合計一億九千四百萬ライヒスマルクまでの紙幣を發行し得る權利を持つ。一九三三年一月一日、全ドイツの土地を抵當とすることによつて(一九二四年八月三〇日以後)レンテンマルク紙幣(Kontenmark)を發行すべきレンテン銀行(Konten Bank)の設立案が採用された。一九三三年九月三〇日現在、國立銀行紙幣發行高は三、六一七億萬マルク、私立銀行紙幣發行高は一七五億萬マルク、レンテン銀行紙幣(すべては一〇年間の中に國立銀行によつて回收されねばならない規定である)は三九一億萬マルク、貨幣發行高は一、五四六億萬マルク、總計、五、七三〇億萬マルクに上る。國立銀行(Reichsbank)の紙幣は一億五千萬ライヒスマルクである。一九三四年二月五日現在の國立銀行の資産状態は別表の如くである。而して一九二四年八月三〇日の銀行令(Bank Law)により、國立銀行の特權は新しく五〇年間繼續せしめられる事となつた。レンテン銀行(Konten Bank)は一九二三年一月一日に營業を開始したものである。その事業整理は一九三五年四月

國立銀行資産状態

(1934年2月15日現在, 單位千マルク)

Table showing the assets and liabilities of the Reichsbank as of February 15, 1934.

一九三三年一月一日に營業を開始したものである。その事業整理は一九三五年四月

一日までに遅くも完了するを要する。一九三三年九月三〇日に於ける同銀行の唯一のクレディットは中央政府に貸出せる四億八百九十萬マルクである。而して同銀行の発行紙幣高は四億八百九十萬レンテンマルクである。その中一千七百九十萬レンテンマルクは国立銀行が保有し、残餘は(三億九千九百九十萬レンテンマルク)は一に流通してゐる。

E 貨幣

ドイツ貨幣単位はライヒスマルク(Reichsmark)である。ライヒスマルクは一〇〇ライヒス(Reichspfennig)にして、英貨一・七五ペンスに等しい。即ち、二〇・四二ライヒスマルクは一スターリング・ポンド(Pound Sterling)である。ライヒスマルクは純金〇・三五八四二グラムを含む。

F 生産

1. 産業大觀 戦禍と莫大なる賠償に人口、領土、資本等のあらゆる窮乏は、一時全くドイツの全産業を杜絶せしめて来た。重要原料産地たる植民地は失ひ、経済恐慌は未曾有のインフ

主要農作物

Table with columns: Crop Type (種別), Cultivation Area (耕作エーカー), Production (生産額), 1932, 1933. Rows include Wheat (小麦), Rye (大麦), Oats (燕麥), Potatoes (馬鈴薯), Sugar Beets (甜菜), Hay (飼料).

メートル噸 (Metricton) = 2,204 ポンド = 0,984 英噸、なほ1933年度は概算数とする。

物は次の如し。一九三一年、葡萄漬付面積は、一八八、九四七エーカー、葡萄酒の産額は六二、四六九、七九二ガロン。煙草作付面積は、一九三二年、二七、一一五エーカー、一九三一年、二五、九五五エーカー、生産額は一九三〇年、二一、〇五〇・六一三キロ。砂糖の産額は一九三〇年、二、五四七、四五一トン。一九三一年、二、五四七、四五一トン。ホップの産額は一九三〇年、一、〇五二トン、一九三一年は七、七八〇トン。

レーシジョンに苦しんだが、この対策として全産業統制を目的とする産業合理化の運動が發生し、計劃經濟を全生産部門に行ひ、政府自ら直接その指導監督をなすに至つて、再びドイツの生産界は活況を呈するに至つた。

この合理化 (Rationalisierung) は、時間、機械、人間の最も科學的能率効果を考究せるものであり、その中樞をなすものは、R.K.W. (Reichskartium für Wirtschaftlichkeit)・ドイツ聯邦工業聯盟 (Reichsverband der deutsche Industrie)・ドイツ技術協會 (Verein deutsche Ingenieure) 等である。

連續作業の利益、運賃諸費の削減、中間商人の排除、作業の安定等を目的とし、標準化を徹底し、更に賃銀の増加を計る。而して産業合理化は生産過剩を避くるため、生産と販賣統制のために企業内部の技術的經營方法の革新を企つ。こゝに資本主義の高度の發達による獨占過程は、價格の規制、生産額の制限、販賣協定等を目的とするカルテル、トラストの著しき増大を示すに至つてゐる。戦後に現れた産業合同方法にI.G.組合 (Interessen Gemeinshaft) があり、各々獨立せる同種の企業が利益及び資金に關して結合を結ぶものである。この組織は一九二二年、二三年のマルク暴落時代には全國に發展したが、産業合理化運動によりこの組織的企業集中は更に横斷的組合に方向轉回をなす。一九二七年末には全國三百のコンツェルンが二千六百個の株式會社を統合し、全ドイツの株式資本總額の六割二分を獨占す。コンツェルン中最大なものはフランクフルト・アム・マインのI.G.染料會社とデュッセルドルフの合同製鋼會社である。前者は十一億一千万マルクの資本で世界最大であり、狭義の染料工業のみならず化學工業全般を含み、諸々の生産部門のトラス

馬鈴薯の産額は世界第二位である。フリードリッヒ二世の奨励により一八世紀後半以來盛んとなる。ロシアに次いで世界産額の六分の一餘を占む。主要産地はプロシヤのポメラニア、シレシヤ等である。またポールの原料ホップは主として南ドイツに産せらる。葡萄酒栽培は北緯五三度にも及び、主要産地はボイデン湖からコブレンツまでのライン流域。特にコブレンツ、マインツ、ウォルムスは重要である。

またドイツにおける農民構成は、大地主約一萬八千七百人に上り、農耕地の二五%を所有してゐる。全國の農民は約五百萬人であり、その六〇%は五エーカー以下の小地主である。大戦前には大地主は Bund der Landwirte なる農業者組合を組織したが今は Reichslandbund を有し大小地主を網羅す。聯邦政府は一九二七年から三二年に互に東プロシヤへ一億弗以上を補助す。農業者の財政難を救ふためには Reichslandbank (Reichslandbank) の制定がなされ、農民の支拂不可能なる債務を政府への出願により、事情の正當なる限り、債権者を政府が説得し一部を現金、殘額を證書として四分半の利子を附して延期せしむ。なほ農民の經濟はインフレーションにより極度の負債に苦しみ九%半より一〇%の利率を負担し、負擔總額三〇億ドル、年利子支拂額は二億五千萬ドルに上り戦前の一億九千萬ドルに比し驚くべき増加である。農民は長期借入金金の利子支拂のため短期の高利を借り、愈々生活は窮迫に陥る状態である。

近時、失業救済のため二萬人は農業當局の監督の下に各自六百萬ドルの資金を給せられて農業に従事し、好成績を上げてゐる。

3. 畜産業

トを内在せしむる。後者は資本八億マルクを有し個々のコンツェルンを總括する鋼鐵トラストは十三億五千萬マルクの總資本を有す。その他の産業にも後述の如くトラストの展開は歴倒的に甚大である。

ドイツは固と天産資源に乏しく、その頭腦と科學にその生産の基礎を置く。全人口の四割一分餘は工業に従事、特に肥料と機械の生産が重大であり、なほ化學工業、ガス、火薬及び電氣工業、レンズ、製紙等は著しい發達を示し、この加工品の輸出により食料、原料品を他より輸入す。土地は一般に豊饒でないが、農業技術の進歩はトラクターの利用等により農業國としても重要である。

かくて今や銀行による金融のトラスト、コンツェルンを益々盛んならしむると共に商工業にも愈々この傾向が著しく、かくて獨占資本主義の經濟組織を最も合理的に高度化せしめんと企てゐる。

2. 農業 ドイツの農業は自然的に地味豊沃でなく、地勢氣象また好適ではないが、農民の努力と、科學的集約農法は、技術の合理化により農産物の一ヘクター當りの收穫高はヨーロッパの高位を占めてゐる。

その耕地の大小別を見るに西部及び南ドイツには狭少の所有地、小農多く、東北部には大所有地が多い。また一九三二年の官廳調査によればザール地方を除き、一般耕地五一、二〇六、一六七エーカー、草地、牧場二〇、三九八、九五二エーカー、葡萄園二〇六、九五二エーカー、果樹園、市場向きの野菜園等一、六一一、八六七エーカー、耕作地總計、七三、四二二、九五二エーカーである。別表に示せる主要農作物たる小麦、裸麥、大麥、燕麥、馬鈴薯、甜菜、飼草の外、主要なる農作

主要家畜飼養数

Table with columns: Species (種別), 1932年12月1日, 1933年12月1日. Rows include Horses (馬), Cattle (牛), Sheep (羊), Pigs (豚), Goats (山羊).

註 (1) 軍馬を除く。

に位す。併し近年減少の傾向にある。牧場が耕地に變せられ、また海外の壓迫による等の原因がある。

【馬】 アメリカを除き世界第一。各地に飼育せられ、特にウエストファリアに多い。一八七三年には約七一〇萬頭が、一九一四年には、二、五三〇萬頭に達し、戦争中は減少したが、一九三二年には再び二、二八一萬頭に上る。

【牛】 農、小農にして牛を利用するもの多く、北海岸の低地メクレンブルヒ、アルゴイ、下バイエルン等が主要なる牛の飼育地である。

4. 林業

ドイツは世界第一の森林國と稱され、政府は科學的方法をもつてこれを指導殖林せしめ、一九三三年には全國森林面積は三、九五〇、二五五エーカーに上り、全國土の二七%にあたる。

主要國別貿易額 (單位百萬マルク)

Table with columns for Country (國別), Year (1931, 1932, 1933), and Trade Type (輸入, 輸出). Rows include Germany, France, Italy, etc.

註 (1)賠償の名の下に引き渡された物品をも含む。(2)リユクサンブルをも含む。(3)アルザス・ローレンをも含む。

に對して、南北アメリカ洲は九・七%、アジヤ洲及びオセアニア洲合して七・四%、を占めてゐるに過ぎない。また輸入にあつてはヨーロッパは約五五%、アメリカ洲が約二四%、アジヤ洲及びオセアニア洲が約一五%である。この結果、ドイツの外國貿易はヨーロッパ洲に對しては常に超額を、その他の諸大陸に對しては常に入超を見てゐるところにその特徴を見ることが出来る。

その輸入貿易における主要相手國はアメリカ合衆國を第一とし、輸入總額の約一割近くに達してゐる。その他、イギリス、オランダ、フランス、イタリア、チェコスロヴァキア、スウェーデン

3. 船舶 ドイツは大戦前五一三萬噸を有する世界第二の海運國としてイギリスの地位を脅かさんとしたが大戦により商船隊の大部分を失ひ、一九二〇年には僅かに四二萬噸、一、六〇〇噸以下の小船のみとなる。以來營々としてその復活に努め一九二三年、二五〇萬噸、一九二六年、三一〇萬噸、一九三〇年、四二二萬噸、イギリス、アメリカ、日本に次ぐ世界第四位の商船國となる。しかも船齡若く能率高き優秀船を有す。プレーメン、オイローバの姉妹船は何れも四六、〇〇〇噸を有し、大西洋を四日で横斷す。なほ一九三三年六月三日現在、ドイツの所有商船は二、〇八四隻、三、九〇一、二七四噸(一九一四年には五、四五九、二九六噸)に上る。

【内水航路】一九三一年の内水航路は一二、三七一噸、即ち七、六八九噸である。うち一〇、〇二〇噸、即ち六、二二八噸は河川或は開鑿された河川、二、三五一噸、即ち一、四六一噸が運河である。

一九三一年の内國水路運輸船は一八、九三一隻、六、六八八、一八九噸にして、水路輸送の商品は八六、八九三、〇〇〇噸に上る。最重要なる水路はライン川でドイツ全内國運送量の半以上を占め、エムス・ウェーゼル、ライ

最近の飛行統計

Table with columns for Year (年度), Flight Distance (飛行距離), Passenger Count (乗客數), Freight (貨物), and Mail (郵便). Rows for 1929, 1930, 1931, 1932.

ン・ヘルネ運河、エルベ河、オーデル川等。主要河港は、デュイスブルク、マンハイム、ハムブルク、ベルリン、ドルトムント、エムデン等である。戦後は水路工事も會社化され、ミュンヘンのライン・マイン、ドナウ株式會社、シュツットガルトのネッカー株式會社等が政府の補助金を得て事業を実施す。

4. 航空 ドイツはヴェルサイユ條約により軍用飛行機の所有を禁ぜられ、飛行機製造に制限を受けたが、制限の軽減と共に飛行機製造會社の活動は愈々旺盛となり、そのツェペリン、大型飛行機の製作、優秀なる飛行士、及航空路の開拓を鋭意努力し、その航空交通は世界第一となる。

一九二六年一月、政府はロイド會社、ユンカー會社等を合同して「ドイツ・ルフト」を組織し、純私經濟的に經營を行ひ、一九三一年には補助金一、八〇〇萬マルクを受く。所有飛行機は一九二九年には發動機一、三〇〇台、二以上のもの五〇臺に上る。一九三一年夏の一日の航空距離は四八、〇〇〇軒、南部、中部、諸都市

ン等を主とする。またその輸出においてはオランダを第一として、輸出總額の約一割近くに達し、その他、イギリス、フランス、ベルギー、アメリカ、イタリア等を主たるものとする。以上の主要貿易國のうち、ドイツに對して輸出超過に終つてゐる國はアメリカ合衆國のみで、他のヨーロッパ諸國はすべてドイツよりの輸入が、それ等諸國よりドイツへの輸出を遙かに超過してゐるところを特色とする。

H 運輸・交通

1. 道路 近來自動車の發達著しく、一九三一年自動車は六六萬臺を有し、補助交通機關として最も重要である。自動車路線交通は戦後急激な發展を遂げ、聯邦郵便の乗合自動車線、更に支那、州、郡、自治體の協同になる自動車交通會社があり、これ等は「自動車交通ドイツ有限責任會社」に統制される。更に「ドイツ自動車交通會社聯盟」があつて、主として市營企業がこれに屬す。

2. 鐵道 ドイツの鐵道網は世界に最も完備せるものである。ヴェルサイユ條約により約七、〇〇〇軒の鐵道線を失つたが、ドイツの鐵道延長は、一九三二年一月には、五八、三八八軒、即ち三六、二八一哩に上る。このうち州所有線は五三、八五六軒、即ち三三、四六五哩である。一九二〇年四月一日、聯邦諸邦の鐵道はすべて中央政府に移管、一九二四年一月一日にドーズ案(Dawson Scheme)の結果、全國の鐵道事業は一私立會社たるドイツ聯邦鐵道會社(D. Atische Reichsbahn-Gesellschaft)に譲渡されたが、鐵道は依然州の財産である。

ドイツ聯邦鐵道會社は世界最大の企業、最初資産價額二四五億マルクと評價され、一九三〇年ヤング案實施以來、理事會の外國の勢力は排

除され、賠償債券は廢棄され、三七年間、年額六億六千萬マルクの確定賠償税を支拂ふこととなる。更に一九三二年ローザンヌ協定にて七千萬マルクに減ぜらる。營業成績は一九三〇年以來甚しく悪化を續く。

この他プロイセン政府は七個の私鐵に参加してゐる。これ等のグロスバイン(Groszbahn)の外に、中央政府外のクラインバイン(Kleinbahn)は各々支那政府に監督され、多數の個別企業に分たれ、一九三〇年には三〇九のクラインバインを有し、その中、一二八は公營、六四は混合經濟企業、二八は私營、プロイセン政府は一五二のクラインバインに参加。これ等の總資本額は二億五千萬マルクの中七、一〇〇萬マルクを有す。聯盟鐵道以外の鐵道は全部「ドイツ交通管理聯盟」に加入す。

一九三一年には三二五、五五一、六六八トンの商品が輸送さる。乗客數は(軍事を含む)一、五七八百萬人。乗車距離は三六、九二二億萬軒、一人に付き二三・四軒の平均である。鐵道網の最も稠密なるはベルリン附近、ライオン、ウエストファリアの工業地域、サクソニー、パヴアリー等。ドイツ平野の北部、東プロシア等は稀薄。貨物輸送量の大なるはルレシヤを中心とするライン河下流の工業地域、上シレシヤ、サクソニーの工業地方。地理的位置はヨーロッパ中最も重要な中心をなす。國際急行列車の主なるものとして、(一)近東急行列車(パリ・ミュンヘン・ウィーン・イスタンブール)、(二)オスタンド急行列車(オスタンド・ケルン・フランクフルト・ニュールンベルグ・ウィーン・イスタンブール)、(三)北方急行列車(レニングラード・ベルリン・ケルン・パリ)或はブラッセル・オスタンド、(四)ティロル急行列車(ベルリン・ミュンヘン・インスブルック・ローマ)、(五)ベルリン

は「北バイエルン航空有限責任會社」を立て、一九三〇年「ドイツ航空株式會社」と改む。近距離空輸を目的とし、地理的關係から東西交通の接合點をなし、現在空港は九〇、各空港の平均距離は一三八軒、主要なる空港は、ベルリン、ハレ、ライプツヒ、ハノーヴァー、ハムブルク、ケルン、ドルトムント、エッセン、フランクフルト、ミュンヘン、シュツットガルト、等々を數へる。

G 通信

郵便電信事務は中央政府の所管に屬す。一九三一年度における郵便電信局員三五八、九七八人、郵便電信電話ラヂオ局數六〇、九五〇局、電信線路延長一七二、一〇〇軒、即ち一〇六、九六〇哩、電線延長五、五六八、六〇〇軒、即ち三、四六〇、九一〇哩、外國電報一、八三五、〇〇〇通、内國電報(公用電報を含む)一、四一六、〇〇〇通、電話線路延長二一九、八〇〇軒、即ち一三六、六〇〇哩、電話線延長一八、四二〇、七〇〇軒、即ち一、四四八、五〇〇哩に上る。電話器數は三、一一三、七〇〇箇、通話數二、三七七、五〇〇、〇〇〇回である。

また國際海底電線事業は、ドイツ・チェコ・アトランティク・オゾレス、エムデン・ウイゴを經由して行はる。 H 經濟政策 ドイツのナチス擡頭以後は國營企業の經濟統制を徹底的に實現せんと努力す。國家はこの企業を通じての資本家的企業者の處置を行ふべき國家生産の合理化を目的とす。かくて企業指揮は私的企業所有から離れて國家の統制的獨占企業たらんとす。特にヒットラー獨裁以後、

經濟界の情勢は俄かに變化す。ベルリン株式取引所に於ける株式價格の指數は、一九二七年一月九日を百とすれば、一九三二年末の四三・八は一九三三年五月には五〇・九となる。金融統制としては先づ國營企業相互間の貨幣資本の調整が試みられる。聯邦信用會社とプロイセン國立銀行が活動し、合同産業聯邦郵便、聯邦鐵道も聯邦財政省及びライヒスバンクを通じて統制される。次に農業金融はレンテンバンク、クレディットアンシュタルト及びドイツ中央組合金庫により全國的に統一される。

なほ中小信用業務に對しては未だその中央機關を有してゐない。これと共に一般信用銀行の統制は、一九三一年の金融恐慌以來ベルリン商業會社を除くすべての大銀行が國家の救済によることのため、三二年二月の銀行整理以來はドイツに民間銀行なきの状態となり、銀行統制、信用の社會化とはたゞ銀行救済の一事に終るが如き結果を見、國家資本の銀行参加は頗る巨額のものとなつた。

政府は更に交通統制を専ら實施し主要支那鐵道をすべて聯邦鐵道として統一し、なほ各種交通機關との相互連絡を合理化せんとして、その交通經濟政策として聯邦鐵道による長距離自動車交通網の建設計畫が具體化されつつある。第一実施行區域はハムブルグ、ブレーメン、ハンノーヴァ、フランクフルト、マンハイム、バーゼル線にして既に工事中である。

次に電力統制は著しく進展したが完成にはなほ未だ遠し。大企業間相互の供給區域の協定、發電の少數大企業の集中、プロイセン、ザクセン電氣株式會社、ベルリン電力電燈株式會社の設立。更にその國際的進出政策、ヨーロッパ電氣經濟の大幹線たるしめんとし、特に隣國の水力電氣との結合を企てゐる。

III 社會

A 社會構造

1. 職業關係 現在ドイツ領土内に住む約六千六百萬人の中約四千五百萬人が労働年齢、即ち十五歳から六十五歳までの人口である。この中三千四百萬人が、彼等自身の經濟活動によつて所得を得、または得てゐると推定されるものである(失業者はこの中に入る)。これの性別は、約二千二百萬人が男子、一千二百萬人が女子となる。また四百萬人は「無爲生活者」、即ち年金所得、定期収入、財産収入、慈善金によつて生活する人々である。七百萬人は労働年齢にある。「寄食者」(有閑の妻、學生、等)をなす。

一九二五年の職業別人口の調査によれば、別

職業別人口 (1925年現在)

Table with 5 columns: 職業別 (Occupation), 男 (Men), 女 (Women), 計 (Total), 百分比 (Percentage). Rows include 農業 (Agriculture), 漁業 (Fishing), 工業 (Industry), 商業 (Commerce), 運輸 (Transportation), 運輸業 (Transportation industry), 郵便 (Post), 官公吏 (Government employees), 自由業者 (Freelancers), 家庭その他 (Home and others), and 計 (Total).

註 1925年の全人口

表に見られるが如く、工業人口が最も多く、全職業人口の三八・一%を占める。これに次いで農業人口の三〇・五%を主要なものとする。その他、商業の一・七%、運輸業の四・七%、家庭従業者の四・四%、自由職業の四・一%、職業の三・二%、公官吏の二・〇%、軍務の〇・五%、その他〇・九%となつてゐる。

2. 民族關係 またドイツ人の民族構成を見るに大戰の結果、少數民族を多く含む地方は殆んど凡て他國に割譲され、或は獨立した結果、國民の殆んど大部分はチュートン族のドイツ人である。而して東プロシヤ地方には多少のストラブ族との混血、南ドイツ地方にはラティン族との混血を見る。而して一九二五年六月一日施行の國勢調査による外國人の數は九五七、〇九六人にして、一、〇〇〇人に就き一五・三人の割合である。内譯、ポーランド人二五九、八〇四人、オーストリア人二八、八五九人、チェコスロヴァキア人二二、五二一人、イギリス人六、九七七人、フランス人七、二九〇人である。

而してドイツにおけるユダヤ人の數は最近のナチスのユダヤ人排撃政策の結果、國外に亡命するもの多く大いに減少を示してゐるが、一九二五年の國勢調査によれば、五六四、三七九人にして、全人口の〇・九%を占めてゐた。

3. 階級關係 ドイツにおける階級關係は他の一般の資本主義諸列強におけると同様、ブルジョア階級とプロレタリア階級との對立關係にあることは變りはない。殊にその對立關係が全國的に昂揚した時代は別項「階級運動」に見られる如く、世界大戰以後のことに屬する。然し最近の世界經濟恐慌と共に深刻化する破局的ドイツの狀態に直面してヒットラーの指導下にナチス運動、即ちドイツ國粹社會主義運動が全面的に進出し、マルクス主義の打破、階級對立

の揚棄、ユダヤ人の排撃をモットーとして一九三三年一月政權を獲得し、爾來ドイツは政治的にも、經濟的にも、社會的にも、文化的にもナチスの專制下に置かれるに至つた。然し高度に集中化されたドイツ・ブルジョア勢力はナチス政權によつて弱めらるゝところではなく、かへつて一層補強工作を受けた觀が多く、ブルジョアにして、ナチス政權により傷められたものはユダヤ資本家、就中、中小ユダヤ資本家である。従つて未だドイツの現状はナチスの目論する階級對立の揚棄といふ點にまで至つてゐない。

B 民族運動

1. ゲルマン民族運動 【宗教革命】 ゲルマン民族が、ローマン・カトリックの宗教制に反對したところの農民戦争及びルーテルの宗教革命は、ゲルマン民族運動の起源であつた。これによつてゲルマン民族は先づ宗教的に新教による民族統一を獲得することに成功した。以來ゲルマン諸國はほぼ封建諸國に分立し、それ等は何等の民族的統一國家に發展するまでに至らなかつた。

【ナポレオン戦争】 オーストリアのドイツにおける勢力は強大であり、このためにドイツ民族の政治的統一は常に拒否され續けた。メッテルニヒの保守政治はウィーン會議によつて一層統制化された。これに對しフリードリヒ大王以來プロシヤの民族統一運動が盛んとなり、これがオーストリアのハプスブルク王權と對立するに至つた。

【一八四八年革命】 資本主義のドイツにおける發展は漸く國內市場の統制を必然に要求し、各諸國の分離が甚だ近代經濟組織に矛盾するを知り、一八一五年のイェーナ大學の民族運動とし

てのブルシエンシャフト(學生團)が成立し、三年のライプチヒ自由戦争にてゲルマン民族の自由を得、一七年宗教改革の三百年祭には自由主義者はアイゼナッハに集合、民族運動の基礎を定む。神聖同盟はこれを抑壓。ブルシエンシャフト、體育會は解散されたが、四八年フランスの二月革命は全歐に影響し、ウィーンに暴動勃發。メッテルニヒを追放、ベルリンに暴動起り、プロシヤ政府に立憲政治と民選議會とを許可せしむ。

【民族的國家統一運動】 一八〇六年オーストリアを盟主とするドイツ聯盟は單に國家聯合にすぎず、一八三八年までにはオーストリアを除き他のドイツ諸國はすべて關稅同盟を結ぶ。六一年プロシヤにウィルヘルム一世即位、ビスマルクを宰相として一八六六年北ドイツ聯盟を作る。七一年にドイツ帝國成立し、こゝに民族的統一運動が完成す。

【二〇世紀の汎ゲルマニズム】 ドイツの汎ゲルマン主義はオーストリアを合同し、更にバルカン半島に及び、ブルガリアを通じて、なほトルコにまでも伸長せんとした。この時、汎ストラヴ主義もバルカン半島に進展し、この兩者の民族運動はあらゆる事に矛盾、衝突するに至つた。これが一九一四年の世界大戰の重要な起因であり、このために戰敗國としてのドイツ民族は、平和後その民族統一を根本的に否定されんとする危機を越えて、更に新しきドイツ民族運動はヒットラーのナチス運動によつて強力に展開するに至つた。

【新國民運動】 一八年の革命政府成立するや、社會主義的勢力が大となり、民族的色彩が俄かに否定された。この意味で、平和條約は非ドイツ的なるものと批判されるに至つた。その後暗殺時代に入り、共和制反對の國民聯盟が成

立す。パスト大尉が中心で、ルーデンドルフ、リネトウイツ、カッパ等が加盟す。一九二〇年に至り、バルチック諸國に滞在したフォン・デル・ゴルト將軍指導下の五萬の鐵師團がドイツに歸還し、この運動は俄かに強力となる。共和政府の批准した條約を「國辱」嫌和條約となし、三月には反亂を勃發す。大統領エーベルトはシュツットガルトに遷る。ベルリンを反軍は占領、併しこのカッパ革命は忽ち失敗す。

一九二二年ユダヤ人ラーテナウは「ツェー組」(C. Organization)に暗殺される。「ツェー組」はエルハルト大尉に率ひらる。二二年には一八萬人を徒黨とす。併し政府は「共和國擁護法」を發布し「ツェー組」を解散す。

【ナチス運動】 ヒットラーの根源地はエルハルトの「ツェー」と同様にバイエルンに發す。フランスの第二次ルーヴル占領(二三年一月)に對するドイツ政府の態度に反抗した運動で、一には反プロシヤ的の傾向を有してゐた。ヒットラーの背後にはルーデンドルフが支持してゐた。二三年一〇月にミュンヘンに暴動を起し、ヒットラーは自ら獨裁官を宣し、帝政派のフォン・カールをバイエルンの執行官となしたが、カールの裏切により、ヒットラーとルーデンドルフに逮捕命令を發し、兩名は捕へられ反亂は消滅す。公判にはヒットラーは五年の懲役、ルーデンドルフは無罪となる。

ナチスの運動はこの間にも着々と進展し、ヒットラーの出獄以後はその勢力俄かに増大し、國內の經濟困難、國債問題、及び失業問題等にて、ナチスの勢力は共產黨に正面的に對立し、一方、イタリヤのファシズムの政策を加へ、これによつて、三〇年にはその勢力は社會民主黨、中央黨に對立する勢力にまで擴大するに至つた。またその共產黨排撃はドイツ民族精神を

大いに強調した。かくて三三年におけるナチス獨裁政権の獲得はその完全なる勝利を表明した。以後、あらゆる方面にナチス主義を積極化し、ローゼンベルグの「二〇世紀の神話」はその基礎理論となり、更にユダヤ人排斥が主要なる政策となつて一般ドイツ民族主義の徹底化となつて現はれるに至つた。

文學にはドイツ民族文學を強制し、人種の混合を避け、政治文化に民族主義を根本的に實現せんとしてゐる。かくてナチスはオーストリアに對してはゲルマン民族の統一を主張してイタリア・フランスと對立し、かくてオーストリア獨立保障問題はフランス、イギリス等をめぐる歐洲平和の重大なる問題となつてゐる。

1. ユダヤ人排斥運動(ヒットラー獨裁初期) 一九三三年二月ヒットラーが首相になつた頃は反ユダヤ運動は部分的なものであつた。併し總選挙前、内務執政官ゲーリングは「ユダヤ商人の保護はプロシヤ警察の任務ではない」と演説し、それ以後俄然、弾壓は強化された。

ナチスの統計によればドイツ小賣商人は大部分ユダヤ豪商の大百貨店に壓倒されて苦惱してゐる。併しドイツのユダヤ人壓迫は既に古くから存在してゐた。ユダヤ人の全人口による比率は、一九〇七年〇・九二%、一九一〇年〇・九五%、一九二五年〇・九一%であり、五六四、三七九人である。三三年一月三日、政府はヒットラーが首相で、大部分はフリーゲンベルグの指導下にあるドイツ國權人民黨によつて構成された。フリーゲンベルグ黨は、その支持を、重要工業及び大地主(ユンカー)により、ヒットラー黨も産業ブルジョア等により、金融的援助を與へられ、プテ・ブル中間層の上に立脚せるためにユダヤ人追放は大いに歓迎された。この反ユダヤ主義はシュテッカー(Schöcker)の政策を繼承せるもので

ある。併しフリーゲンベルグ黨は次第に資本家重工業の金融分子と結合し、中間層はナチスが主となり、かくて反ユダヤはナチスが最も積極的となつた。

【經濟恐慌とユダヤ人排斥】ドイツ國內の生活は益々困窮し、失業率は恒常化し、これを救ふためにはドイツ金融界を獨占するユダヤ人の排斥が絶對的に必要となつた。かくて一九三三年三月二八日、ヒットラー・パーベン政府は、海外におけるユダヤ人のドイツ商品ボイコット計畫に對する報復として、全土に互るユダヤ人のボイコットを宣言す。

一、職業實務の種類を問はずドイツ國內におけるユダヤ人に對し全般的にボイコットする。

二、ボイコットは四月一日午前十時から全土に互つて施行す。

三、特にボイコットには執行委員會を設置す。

同委員會は、ボイコット運動に参加せざる新聞は各戸に對して購讀を禁止し、ユダヤ人の高等學校入學、醫藥、法曹業務を比率的に制限す。更に四月一日から大部分のユダヤ人商店は閉鎖さる。この日においてベルリン株式取引所は一時にユダヤ人の所有マルクの賣物が殺倒して證券は大暴落す。四日、ナチスは大いに驚き、遂に本部はユダヤ人のボイコット運動を實行せざることを宣言す。かくて五日午前十時からボイコットを中止す。併し各國のユダヤ人間に非常なる衝動を與へ、ロンドン・ユダヤ協會は三月二六日、ドイツ國內におけるユダヤ人の權利を確保せしめ、自由と正義を確保するために一切の手段を採ることを決議す。

ベルリン國立劇場では一六人のユダヤ人俳優が罷免さる。なほ三三年三月二三日のヒットラー

正案が閣議で確定さる。編輯者は必ずアーリア人種にして、アーリア人ならざる妻を有せざることを要し、反ユダヤ主義を明かにす。

また八月三十一日のベルリナー・ベルゼン・クリーエル紙は、ドイツ政府がユダヤ人のパレスティナ移住を奨励することを發表す。

C 階級運動

1. 初期資本主義時代 ドイツは一八四八年ブルジョア革命の頃から資本主義が發達し、労働者階級の組織結成もこれに従つて強化し來つた。自然發生的に労働者組合が一八四七、八年に組織さる。一八四七年にマルクス・エンゲルスを中心に「共産黨同盟」がロンドンに組織されドイツに支部が置かれた。同盟は「コミューンスト・マニフェスト」の下に堅固な政治組織を内含したが、なほ思想的團體であり、かくて一八四八年の革命にも實行的には左程に活動し得なかつた。

2. 全ドイツ労働者協會 一八六三年ラッサールによりドイツの獨立的な全ドイツ労働者協會が結成され、プロシヤ、北ドイツの進歩的労働者が組織化された。最初の労働黨であり普通選挙を主張す。また南ドイツ労働者には自由派の影響の下に労働者教化を目的とした組合が創設された。一八六八年アイゼナハ大会を開いて社會民主労働黨(Die Sozialdemokratische Arbeiterpartei)を結成、同年マルクス・エンゲルスのインタナショナルに代表者を送る。無産黨はかくて左右兩黨に分かる。一八七〇年にドイツ統一は完成し、ビスマルクは普通選挙を實行す。一八七五年ゴータ大會にて兩派は全く合同しドイツ社會主義労働黨(Sozialistische Arbeiterpartei Deutschlands)を造る。ドイツ社會民主黨の基礎なる。マルクス主義とラッサール主義との

妥協する。

3. 社會民主黨の成立 勢力益々大となり、ビスマルクは一八七八年「社會民主主義の公益に害ある行動に對する法律」を發布す。併し黨勢愈々強大となり、一八九〇年には社會主義黨憲法實施以前の三倍となる。同年ウイヘルム二世即位し、ビスマルクを罷免しこの法律も廢止さる。社會黨はハルレに大會を開き、ドイツ社會労働黨をドイツ社會民主黨(Die Sozialdemokratische Partei Deutschlands)と改む。九一年にエムフルに大會を開き「エムフル綱領」を改めて純粋にマルクス主義となる。以後黨勢は益々擴大し帝國議會における社會民主黨の議員は益々増加す。一八九〇年、三五、九三三年、四四、九八年、五六、一九〇三年、八一、一九〇七年、四三、一九一二年、一一〇と増加す。

4. 大戦以後 一九一四年大戦勃發するや、五〇億マルクの戦費に社會黨賛成す。一六年に及び漸く反對者多くなり、三月には多数の幹部が除名さる。カウツキー、ベルンシュタイン、ハーゼ等であつた。一九一七年獨立して獨立社會民主黨(Die Unabhängige Sozialdemokratische Partei Deutschlands)となる。これにはリプクネヒト、ローザ・ルクセンブルグ、クララ・ツェトキン等のスバルタクス團加入す。

一九一八年國內の混亂大となり、政府は社會黨のシャイデマン、パウエル等を入閣せしむ。併し國民の反對大となり一月初旬に革命勃發す。革命派と獨立派が聯合内閣を組織せるも、内部に軋轢生じ一二月末獨立派離職す。スバルタクス團の極左派は一九年一月に「ドイツ共産黨」を組織す。その直後、一月一日にリプクネヒト、ローザ・ルクセンブルグは逮捕されて銃殺さる。以來極左派を除き、「合同共産黨」を組織、少

1. ユダヤ人排斥綱領は次の如し。國民たり得る者はドイツ人のみとす。ドイツ人たり得るものは宗教の如何を問はずドイツ民族のみとす。故にユダヤ人はすべてドイツ人たることを得ず。將來ドイツ人以外の移住を禁ず。一九一四年八月二日以後ドイツに移住したるドイツ人に非ざるもの、即時撤去を要求す。

五月二日、プロシヤ文相は、ベルリン大學教授二名、またケルン大學教授九名を裁首す。この中には東洋學の世界的權威オイゲン・ミットウオホ教授があつた。

【プロシヤアカデミーの改造】五月六日、ドイツ文藝美術の最高權威なるプロシヤアカデミー・デル・キユンステに大弾壓を加ふ。自由主義的、ユダヤ人的互匠をすべて非ドイツ的なりとして辭職を強要す。この主なるものはトマス・マン、ハインリヒ・マン、ヤコブ・ワッセルマン、デプリン、フランツ・ウエルフェル、ゲオルグ・カイゼル、等であり、これらも現代世界文學の最高峯に立つ人々である。これと共に世界的音楽家も非常に多数抑壓され、クローイツァー、フルトウエンゲラー、ブルノー・ワルテル、パウル・ヒンデミット、フリッツ・シュタイン、クライバー、等はすべてドイツ樂壇を退く。

なほアインシュタインは、ベルギーよりイギリスに赴き、更に今日はアメリカの大學研究所に移る。

【諸彈壓政策】七月二〇日、バウアリアのニュールンベルグには二百餘名のユダヤ人がナチスに逮捕せられた。主として實業家、商店主であり、また一九日夜同市のユダヤ教會は解散を命ぜられ出席者は全部逮捕さる。なほ七月四日にはユダヤ人なる駐アルゼンティン公使、フォン・カウフマン・アッセルは歸國を命ぜらる。

一〇月四日ゲッペルス宣傳相により新聞紙改

數派は「獨立社會黨」を組織す。二〇年には反動勢力大となり、ラテナウ暗殺事件により二二年ニュールンベルグ大會にて「合同民主黨」が成立し、共産黨と對立す。共産黨は一時大いに盛んとなつたが、三〇年以前ナチスの物與と共に俄然彈壓さる。現在、ナチス獨裁のためには社會民主黨は共産黨と共に見るかげもなく衰退す。三二年三月の大統領選挙にはテールマン立候補して三位、三、七〇六、三八八票を獲得す。三三年ナチス政權確立後、テールマン及び多数の指導幹部は逮捕、處刑され、今は非合法的進行運動を續けてゐる。

D 勞働

1. 勞働法制 一九三一年社會立法法の主なるものが大統領緊急令によつて發布さる。一九三一年失業對策に關する諸問委員會が設けらる。勞働市場、義務勞働、失業保險等を調査報告しこの實現に努む。先づ失業保險の改正。従來失業保險給付資格を失つたものは緊急手當の支給を受けたが、今後緊急手當を受けたものはそれを償却するに決す。また失業保險給付額は第一級賃銀の六・七%乃至第一級賃銀の一四・三%方低減されることとなる。即ち金額として一週につき四〇ペニヒ乃至三・一五マルクの減額である。又時期も延長され家族なきものは従來一四日間なりしが、二一日となり、家族あるものは七日が一四日となり、三日間が七日間となる。尚ほ失業保險局にて失業保險基金を融通して任勞勞働制度を設けすべく規定さる。

2. 賃銀及び物價値下令 一九三一年一月二日八日の緊急令によれば、カルテル、トラスト其他の團體又は販賣協定によつて決定され、且つ統制されてゐる物價は、凡そ一九三二年一月一日以前に於いて一九三一年七月一日現在より少く

も一割の引下を行ふことに定めらる。尤も國際協定によるものは除外さる。次に協定によらざる價格引下のため政府は物價統制官を任命し、物價の調査、公表、違反企業の開鎖等を行はしめ既にケルテラー博士がこの物價統制官に任せらる。

貨銀値下に關する規定は、原則として一九二七年一月七日當時現行の團體協約による額まで引き下ぐべしと云ふことになる。低下率は六割一割を超過することを得ず。官吏及び官業従業員の俸給については、智能労働者は一九三二年一月一日より九分の値下をなし、筋肉労働者は一割の値下が規定さる。

3. 労働時間短縮 政府は多數の労働者を均等にするために適當と認むる場合は、一週間四〇時間制を施行せしめんとす。一九三一年九月三日、政府は緊急令の規定實施に關する細則を發表しその手續を規定す。開令による労働時間短縮を行つた時は雇主はそれに相應する賃銀値下を行ふことが可能とされてゐる。

ドイツ鐵道株式會社中央局と労働組合との一九三二年四月二九日の協定は、従業員の一部につき短時間労働を行ひ、労働を週四八時間から四二時間又は四〇時間に減ずることを規定す。次にクルンバー法も行はる。企業が順番制にて被備者を休業させ、休業中の者が割引失業給付を支給さるゝ方法。聯邦職業紹介所及び失業保險の報告によれば、一九三二年五月一日までに一三三件が廢せられ、三二、三〇〇人の労働者がこの適用を受く。

パツアリア工場監督報告によれば經濟不況の深化のため労働時間の短縮と過超時間の制限は次の如くである。

化學工業(一九三一年六月調査)——労働者五九四六六人、平均労働時間一週四四・六五時

擔す。養老保險は一九一一年に修正され、年金を支給する年齢は六五歳と改めらる。而して政府は疾病保險には補助金を出し、また産婦救済金を支出してゐる。

一九三〇年の疾病保險加入者は二一、九一六、〇〇〇人、其の内、一九、五九七、〇〇〇人(男一〇、〇七五、〇〇〇人、女七、五二二、〇〇〇人)は普通の保險組合に加入し、七四七、〇〇〇人はリナツプシヤフト、即ち鑛山労働者保險組合に加入し、一、五七二、〇〇〇人は補助組合に加入してゐるものである。

一九三〇年には、六六の工業組合と四〇の農業組合の中で凡そ二四、〇〇〇、〇〇〇人が災害保險に加入してゐる。

一九三〇年の總収入は、普通の組合が一、七八九、九五〇、〇〇〇ライヒスマルク、鑛山組合が一、二三〇、〇〇〇ライヒスマルク、補助官有保險が一、九六、九二二、〇〇〇ライヒスマルクに上る。また同年の普通の組合の總支出は一、六九一、〇四八、〇〇〇ライヒスマルク、鑛山組合が一、〇八、五七六、〇〇〇ライヒスマルク、補助官有保險が一、八九、三七四、〇〇〇ライヒスマルクである。

普通組合に關する事件は八、二三六、〇〇〇件、疾病の数は二二三、八九五、〇〇〇人、鑛山組合に關しては夫々、一七、〇〇〇件と二二、四九六、〇〇〇人である。

また災害保險の收入(一九三一年)は三八〇、〇〇〇、〇〇〇ライヒスマルク、支出は四一八、三〇〇、〇〇〇ライヒスマルク、病弱及び養老保險の收入(一九三〇年)は一、五三〇、百萬ライヒスマルク、支出は一、四七五、百萬ライヒスマルク、また失業保險(一九三一年)は一、三七三、百萬ライヒスマルクの收入、一、五三一、百萬ライヒスマルクの支出を示してゐる。

間(過超時間〇・三六を含む、病氣又は休暇勤及び調査中の解雇又は雇入れられた労働者を除く)、男子平均一週、四四・四七時間(過超時間〇・三八を含む)、女子四五・四四時間(過超時間〇・二五を含む)。

4. 救貧法 從來一八七〇年六月六日の救貧法があつたが、今日ではその適用は不可能となる。一九二四年二月一三日に改めて「救恤に關する政府取締」が定めらる。廢兵、戦死者の遺族、公の救恤はすべてこれに統一的に規定されてゐる。

5. 幼少年保護 一九二二年六月九日「幼少年の福利に關する聯邦法」(Reichsjugendwohlfahrtsgesetz)によつて定めらる。又少年犯罪者の保護に關しては、一九二三年二月六日の少年裁判所の法律により修正さる。これによれば両親及び親権者が幼少年に教育を與へる責力なき場合には公共團體の教育機關たる幼少年部(Jugendamt)によつて保護さる。一九二九年一三〇年に、國家福利組合が救済せる数は、四、六五、五四六人、その經費は一、二七、四一八、一〇〇マルクである。

6. 労働爭議 一九三一年には労働爭議は依然として頻發し、殊にロツクアウトの件数は前年に比し遙かに増加を示してゐる。それ等は殆んどいづれも賃銀値下問題が原因となり罷業、ロツクアウトの後、政府の調停官の干渉となり、その結果、労働者側の敗北に終り、凡て何程かの値下となつてゐる。

V 文化

A 宗教

ドイツにおいては憲法により完全なる信教の自由を認められてゐる。ドイツは元來新教國なるも、國教なるものは認められてゐない。一九二五年六月一六日施行の國勢調査によればプロテスタントは四〇、〇一四、六七七人にして、全人口の六四・一%を占める。次いでカトリックは二〇、一九三、三三四人、三二・四%、その他のキリスト教徒は五六四、三七九人、〇・一%である。その他の宗派は二・五%、一、五五〇、六四九人になる。

B 教育

ドイツの學校制度は各州毎に異なるが、併し統一的組織を有してゐる。一七世紀にワイマールにおいて義務教育が設けられ、教育の先進國となる。一九一八年の革命により統一學校を作り、新しい學校制度を實現す。

【小學校】 Volksschule の規定は一八七二年に定められ、大戦後プロシアは一九二一年、「基礎學校規則」を作成す。基礎學校(Grundschule)は小學四年制にて、その後の四年の上級、または中間學校(Mittelschule)に連絡す。小學校の上級は職業教育を與へ、優秀兒に對してはアウフバウシュレに入る準備となる。

【中間學校】 基礎學校終了者に對して六ヶ年の教育をなす。この中間學校の卒業者は多く官廳、實業方面に従事する。

【中等學校】 中世のギムナジウムは六年制にて、一八世紀にはレアルシュレとなり、一九〇〇年及び翌年にはドイツチエオーパーシュレ、アウフバウシュレが出來、國民文化教育を與ふ。

勞働爭議統計

事件	業種	1930年			1931年		
		第一期	第二期	第三期	第一期	第二期	第三期
罷業	罷業	57	89	120	171	143	65
	工場閉鎖	7	10	7	12	13	3
經營數	罷業	1,370	1,397	396	1,398	2,766	167
	工場閉鎖	12	113	11	150	269	4
關係労働者數	罷業	16,258	33,782	34,654	71,953	31,803	5,217
	工場閉鎖	1,496	1,185	2,698	7,443	3,196	146
損失労働日數	罷業	105,485	542,490	588,358	795,830	371,221	63,418
	工場閉鎖	16,571	32,955	41,555	51,234	52,463	563

E 社會保險

社會保險は一八八三年以來實施さる。疾病、災害、妊娠、老朽、等の解雇に對する労働者及び雇主の強制保險を含む。

一八八三年の法律及び改正法に於いては年收三千六百マルクの労働者雇人は必ず疾病保險を附し、掛金の三分の一を雇主より支拂ふこととなる。之等の保險組合の活動は政府の監督を受ける。老衰病弱保險は、一八八九年の修正法により、雇主及び雇主は各々掛金の二分の一を負

C 思想

ドイツは一九世紀プロシアの統一國家成立以

に成功し、一九一八年、ノーベル賞を獲得す。
 【醫學】 第一五世紀にブフォールスボイントは外科醫として最古のドイツ語外科書を書く。一六世紀にヴェサリウスは近代解剖學の基礎を置き、第一七世紀にはシユナイデルの解剖學あり、ゼンネラーは化學的醫學を唱へた。第一八世紀は體系醫學が盛んとなり、ホフマン、スタールは殊に著名である。ハルレルは生理學に一大進歩を與ふ。第一九世紀に入つては、神秘的醫學が當時のロマンティシズムの影響の下に盛んとなり、世にロマンティック醫學時代と云ふ。一九世紀中葉以後は漸く自然科學的醫學が主となりブルキネ、シユワンの細胞學、ヘンレ、ケルケルの組織學體系、ミユラーの生理學、その弟子のデュボア・レイモン (Du Bois Reymond)、ハルムホフ (Helmholtz) は生理學理論を大成す。ウイルヒョー (Virchow) は細胞病理學を樹て、近代科學的醫學の根柢を明かにす。又、微毒血清反應を見せるワッセルマン (Wassermann)、精神病學のクレスリン (Kraepelin)、最近の精神分析學を創見したフロイド (Sigmund Freud, 1856—) 等を有す。細菌學はコッホ (Koch) によつて大成され、その學派からレフレル (Loeffler)、ペーリントク (Behring) を出し、傳染病原菌を多く発見す。化學療法をエーレルリヒ (Ehrlich) が開拓し、サルヴァールサンを製し、スッテンコーフェル (Pettenkofer) は衛生學を創唱する等、ドイツ醫學界は全世界に君臨す。細菌學のホルン (Kolle)、ウーレンフート (Uhlenhuth)、外科醫學のザウエルブルック (Sauerbruch)、小兒科のツェルニー (Zerny) 等はすべて現代ドイツ醫學の最大權威である。

E 藝 術

1. 音樂 ドイツ音樂はヨハン・セバス

ティアン・バッハによりその偉大なる藝術の基礎確立する。次にヘンデルにより更に色彩豊かな發達をもたらし、一八世紀の後半にはハイドンの交響樂、モーツァルトのソナタ、グルックの樂劇の展開を示す。かくてこの古典音樂は、フランス革命によるドイツ浪漫主義の發展と共にルードウィヒ・ファン・ベートフオーフェンの内面的にして綜合的なドイツ音樂にまで大成す。これと同時にウエーバーによつて民族主義的國民歌劇が生れ、シューベルトにより藝術的歌唱の最高の完成が創造される。一九世紀に入るやメンデルスゾーン、シユーマン等の浪漫主義音樂はその極致に達し、著しく文學的色調を濃厚にする。更にフランツ・リストの出ずるに及んで交響樂的標題樂を創作し、これと同時にリヒャルト・ワグナーは綜合藝術としての大樂劇の創造をなし、從來のあらゆる流派はこゝに偉大なる調和を見せるに至つた。これと流派を等しくする新古典主義的なヨハネス・ブラームスはその圓熟の極を示す。これに對立して近代音樂を制作するブルックナー、その歌曲作家にウォルフを出し、マーラー、パイッワナー、シユトラウス、レツニチエツ等の燦然たる近代音樂の展開を示す。なほプゾーニの線律法はヒンデミットに繼がれて、最近の新即物主義的傾向を現はす。この派にはエルンスト・トッホ、マック・ブッテイング、エルンスト・クシエネック、クルト・ヴァイル、ハインツ・テイゼン、フランツ・シユレーカー等の作家がある。これと別に表現主義音樂としてシエンベルクがあり、これに屬するものとしてアントン・ヴェーベルン、アルバン・ベルク、エゴン・ウエレン等がある。

2. 美術 一六世紀にイタリア文藝復興と宗教改革によつてドイツ畫壇は勃興す。デュラーの寫實主義はドイツ美術の基礎をなす。以

後イタリアの古典模倣多く、一八世紀に入りウィンケルマンの古典主義の鮮明がギリシア文化の本質をもたらし、これが更にドイツの國民思想の發達と共に浪漫主義美術を生む。一八八〇年以後フランス近代美術の影響により印象主義を作ると共に、一方北方的幻想を持つベックリン、クリンガー、ヤーン等が出て、現代のスタイルクット (M. Slevogt) に及ぶ。世界大戰後から表現主義の運動興り、パッケル (Häckel)、ホルチ (Nolde)、キルヒナー (Kirchner)、ロットルフ (Rothlof)、ヨシヒタイン (Bechstein) 等の「橋派」(Brücke) と共にカンクニムスキー (Kandinsky)、ブルク (Franz Marc) 等の南獨地方の「青騎士派」(Blauer Reiter) の一派が出た。更に現代の資本主義、軍國主義に對する辛辣な批判諷刺をなすディックス (Otto Dix)、トロス (Georg Trosch) 等がある。その他「超現實派」としての方向が示され、また「新即物派」のものも漸く現はれんとした時、俄かにナチスの物興は斯くの如きドイツ美術界の傾向を積極的に國粹的な理想主義へ轉回せしめんとしてゐる。

3. 建築 古代ドイツ建築はゲルマン建築と古代ローマ様式を有す。ドイツ・ロマネクス建築にはゲルマンの諸聖徒教會堂(聖アボステルン教會堂)、ヴォルムス寺院、ヒルデスハイムの聖ゴードハルト教會堂等を見る。次にドイツ・ゴシック建築はフランスよりの傳來で、ケルン大寺院、ストラスブルク大寺院、フライブルク大寺院等、幾多の著名なものがある。更にルネッサンス建築としては數少く、寧ろロココ建築としてハイデルベルク城、ケルン市廳、ベルリン舊王宮、エリンゲン宮殿等がある。第一九世紀に入り前半は古典主義で、ヘルリン劇場、ベルリン舊博物館、第二期は浪漫主義時代で、マキシミリ

アノイムの建築、第三の折衷主義時代にはベルリンの國家議事堂がある。二〇世紀に入り、近代様式の發達著しく、大戰前にはセセッション式の建築多く、ベルリン A. E. G のタービン館、次に大戰後には表現主義建築があり、ベルリン大劇場、アインシュタイン塔、等々あり、次に國際建築時代に入り、デッラーのパウハウス、ケムニッツのシヨッケン・デパート等があり、メンデルスゾーン、ワグネル、タウト、グロピウス、等々の近代建築の大家を有す。

4. 文學 【古代】 ドイツ文學の發生は民族叙事詩「ニーベルンゲンリド」に始まり、ミンネゼンカを経てルーテルの聖書の獨逸譯が新高ドイツ語としてドイツ文學の現實的基礎となる。一六世紀にハンス・ザツカスの詩は當時を支配し、更に一八世紀に入るやフランス古典主義と合理主義を代表するゴットシェー、これに對し自然、内省主義に立つクロープシュトックの詩が感情生活を豊かにす。

【ドイツ文學の成立】 古典と感情との啓蒙主義的綜合者と共に近代ドイツ文學の建設者としてのレッシング (Lessing 1729—1781) が現はれ、文學批評、神學批判の思想的方面と、戯曲、寓話の創作をなし、「ラオコーン」、「ナータン」はその最も重要な作品である。これに次いで、ヘルデル (Herder, 1744—1803) は民族詩、世界人類史の著作をなした。

【ゲーテ時代】 スツルム・ウント・ドランク時代の過渡期を経てゲーテ (Johann Wolfgang von Goethe, 1749—1832) は處女作「ゲッツ」及び世界を風靡した「若きヴェルテルの悩み」を出し、以後、文學、詩、批評はもとより自然科學、政治、歴史、哲學等、凡そ文化領域のあらゆるものに亘る。これと共にシルレル (Friedrich Schiller, 1759—1805) は、處女作「群盜」の出

發以來、續々戯曲創作を盛んにし、史學研究、カント哲學研究をなし、ゲーテとの親交は全くドイツ藝苑の最高峰を現出し、その古典的浪漫主義は世界文學史上の絶頂の一である。ゲーテの「ファウスト」、「ワイルヘルム・マイスター」、シルレルの「ワイルヘルム・テル」、「オルレアンの處女」等、傑作頗る多し。これに次ぐロマン主義時代には、ウイヘルム・シユレーゲル (Wilhelm Schlegel, 1797—1845) が「シエルクスピアの翻譯を出し、弟「フリードリヒ・シユレーゲル (Friedrich Schlegel, 1772—1823) はカトリック教主義による中世的精神の復活をなす。

【ロマンティシズム文學】

ロマンティシズムはドイツ文化の最高峰であり、ハインリヒ・クライスト (Heinrich Klasi, 1777—1811)、「アムデウス・フンツ」(A. Hoffmann, 1776—1822) 等に「青い花」の作者「ノヴァーリス (Novalis 1772—1801)」、カデルリン (Heldering, 1770—1843) の「ピエリオン」等はその代表的なものである。これに對する批判者としてのハイムリヒ・ハインネ (Heinrich Heine) の詩及び評論は一世を風靡す。やがて近代的リアリズムの運動勃興し、「フリードリヒ・ヘibel (Heibel, 1813—1833) はドイツ戯曲家の最大の一人、「ユードヤット」は劃期的作品である。

【自然主義文學】

次に自然主義の展開はホルツ (Holz, 1833—1930)、「シホラー (Schlaf, 1862—) 等を生むと共に、現代ドイツ文學の長老たるゲルハルト・ノッブトマン (Gerhart Hauptmann, 1862—) がその處女作「日の出前」を「一八八九年一月、自由劇場で上演するや、忽ちこの運動は革命的轉回を全文壇に與へ、以後「織匠」、「鼠」等を書き、更に象徴主義への移向としての「沈鐘」等、數多き傑作を出す。これと並んで「ノルマン」(Sturmann, 1857—1930) は小説に

郷土主義の運動を起して大衆の心を集む。

【新ロマン主義文學】

次いで新ロマン主義はリルケ (R. Rilke, 1875—1927)、「ホーンマンスタール (Hugo Hofmannsthal, 1874—1926) 等の傾向がスタフマン・ゲオルゲ (Stefan George, 1833—1933) の唯美的高踏路に及び、またトーマン (Thomas Mann, 1875—) は幾多の長篇傑作を出した現代ドイツ文學の巨匠である。

【表現主義文學】

大戰前後から、表現主義運動の展開は、特に大戰後の社會的變革に刺戟されて「エトニクマン (Edschmidt, 1890—)」、「ハンセンクローノフェル (Haseckever, 1890—)」、「ウーナー (Uhrh, 1885—)」、「トルラー (E. Toller, 1893—) 等の作家を出す。この傾向はその熱情と社會的正義感により内的苦悶の絶叫的告白を示す。

【ハイネ・ザッハリヒカイト】

この主觀的方向に對立する客觀的方向としての「新即物主義」(Neue Sachlichkeit) が生じ、特にルマルク (Erich Remarque, 1898—) の「西部戦線異狀なし」は大戰の經驗の描出をなし、「またレン (Renn) の「戦争」及び「戦後」、「グラーゼ」の「平和」、「一九〇二年級」、「エドリン (A. Döblin) の「アンキサンダー廣場」は劃期的なる新即物的プロレタリア文學である。なほハンス・カロッサはリルケを繼ぐ心理主義文學を展開し、「フランツ・ヴェルフェル (Fr. Werfel) は表現主義より新即物主義へ發展し、最も天才的な作品「ヴェルマ」等の大作を發表しつゝ、なほ最近、Die Vierzig Tagen des Musa Dagh を出せるカール・メホフ (Karl Mechow) は Vorsommer を書き、ルドルフ・ベルチ (Rudolf Bartsch) の作「Ein Deutscher」は著名である。またハンス・グロース (Hans Jols) の作 Schlegeler (ライオン・グロースの犠牲) はナチス戯曲として主要であり、リヒャルト・

の勢力下であり、映畫にウィファ社を有し、全ドイツに四四四の新聞紙を擁し、通信網は最も完備す。ナチスは其の劃一化を要求し、フリーゲンベルクは一時反對したが、結局彼の「闘争團」は解散となり、遂にこれも完全にナチス化された。かくて共和時代以来盛んに活動した「フオシツシエ・ツァイトゥング」は二三〇年の歴史を有し、ペンハルトを主筆としたが、ペンハルトの追放後、三月三十一日に廢刊さる。かくてナチスによる新聞弾壓統制は三三年八月までに殆んど完成せられるに至つた。

2. 雜誌 ドイツの雑誌はフランスの學術雑誌を模倣せる「アクタ・エルデイトリウム」(Acta Eruditorum)が一六八二年に創刊されたに始まる。一八世紀の前半にはイギリスの週刊雑誌に模した道徳雑誌が多く刊行さる。一八世紀末には政治評論雑誌が知識階級のため發刊され、自由思想を建設す。一九世紀中葉より學術専門紙が他の諸國に較べて極めて多く發刊され、雑誌界は非常な活況を呈し、現在に至つてゐる。現在主要なる雑誌を挙げれば次の如し。政治評論雑誌として「Deutsche Volkswirt」(週刊)、「Morgen der Wirtschaft」(週刊)、「Deutsche Rundschau」(一般評論誌)、「六〇年の歴史を有す」。文學雑誌として「Literarische Zentralblatt」(八五年前より刊行)。「一般通俗雑誌には挿繪多々」(Vellagen u. Knaigings Monatsheft; Westermanns Monatshefte; Berliner Illustrierte (一八〇萬の讀者)「最古の歴史を有す」)の三誌が有名である。

G 風 俗
ゲルマン民族の特質として生活様式は一般に規則的合理性に支配さる。特にフランス民族とは著しい對立を示す。道徳心は強固であり、依然封建的感情を深く有す。日常生活は質實にし

地は第四紀層に覆はる。

C 氣 候

西北ヨーロッパの海洋性氣候と東部ヨーロッパの大陸性氣候との中間をなす。氣温の變化と雨量とは著しく所により異なる。年平均氣温はライン、ドナウの溪谷地方は攝氏一度乃至二度、中央では九度乃至一〇度、北方の平野地方は八度乃至九度となる。ボムメルンと西プロシアは七度乃至七・五度、東プロシアは五・五度乃至六・五度である。全ドイツを通じて夏季の氣温は、一五・五度乃至一六度で、最も暑いとされる所も三四度を示したことが最高である。冬季は西プロシア、シレシアでは攝氏零下三度乃至零下二度、東プロシア、上部シレシアは零下五度ともなる。ドナウ上流は、零下四度、ケルン地方は一度程度である。ドイツの最寒の地方はケルニヒスベルクとされる。ライン地帯はドイツの最暖地で年平均氣温は一〇度をやゝ超える。【降雨】最も多いのは夏季である。雨量はバイエルンの高地と西部ドイツの山地が最も多く、アイフェル、ハルツ、テューリンゲン、シュヴァルツ・ヴァルト(黒森)等は年平均八八五ミリ、西部ドイツ、東北隅地方は六一〇ミリ、ストラスブルクの葡萄産地は約四〇〇乃至五〇〇ミリ、サクソニア、西プロシア、下部シレシア等は最も乾燥の地域で、四〇〇乃至五〇〇ミリを示す。雨量は大陸性と海洋性との中間性を示し、大西洋の暖流の影響は特に大きい。

D 面積・人口

ドイツは、大戰の結果後述するが如く、二萬七千平方哩の地と、六百數十萬の人口とを隣接諸國に讓渡した。その結果、その面積は一八一、〇〇〇平方哩(一九三五年三月一日よりザール

て愛國心に富むを特質とする。

VI 自然

A 自然的條件

東はポーランド、南はチェコスロヴァキア、オーストリア、スイス、西はフランス、ベルギー、オランダ、東北はバルト海に臨み、西北は北海に接し、兩海の間のユトランド半島においてはデンマークと境し、更に、所謂ポーランドの廊下で分離されてゐる東プロシアは西北にバルト海を臨みその餘はリツアニア、ポーランド、ダンツィヒ自由市と境す。

大戰前は約二六〇萬軒に及ぶ海外領土を有したが、戦後にはその全部を失ふ。併し現在でも本國のみはヨーロッパにおいてソヴェト、フランス、スペインに次いで第四位の面積を有し、人口はソヴェトに次ぐ第二位にある。地形は變化に富む複雑多様な地貌を有し、大略三つの大なる單位に分たる。第一は全面積の過半を占むる北ドイツの平野または低地地域、第二は中部ドイツの山嶽地域、第三はアルプス地方を代表する南端地域である。

B 地 理

1. 地 勢 ドイツは地勢的に見て北ドイツ平原、中帶山地、アルプス高山地の三地帯に分される。【北ドイツ平原地帯】東はソヴェト聯邦からポーランド、西ベルギーに及ぶヨーロッパ大平原の一部を成す。平原は單調でなく、水堆丘陵、水河湖等が多い。平原の表面は第四紀層、その下には第三紀、白堊紀、ジュラ紀、二疊紀等がある。島嶼はリューゲン、アルゼン等僅少。

【中帶山地】北ドイツ平原地帯とアルプス高山地帯との間を占め、東はドナウ河、西はライン流域に及び、バヴァリアの高原、ラインの沃野、ボヘミアの森林等を有す。地體構造線は大體三系統に分つ。その一は東南西—北の方向を示すズデーテ山脈、ボヘミア山脈、テューリンゲン山脈、チューリンゲン山脈等。第二は、東北—西南の方向をとるライオン片岩山地、エルツ山脈等。その三はライオン地溝帯で、南—北に走るものを云ふ。

【アルプス高山地帯】ドイツには大なる關係を有せず、ドイツ・アルプス中央部から東へのアルゴイル・アルプス、バイエルン・アルプスの北斜面が屬すに過ぎず、最高峰ツィーグスビッツは二、九六四米、壯年期の地貌を示す。山麓はアルプス山麓、第三紀層、洪積層等よりなる。

州 別 面 積 ・ 人 口 (1933年6月16日國勢調査)

州 別	面積(平方哩)	人口(單位人)
プロシヤ (Prussia)	113,042	39,861,360
バヴァリア (Bavaria)	29,343	7,684,645
ウイルテムベルク (Württemberg)	7,532	2,695,942
バーデン (Baden)	5,819	2,413,324
サクソニー (Saxony)	5,787	5,196,531
メックレンブルク (Mecklenburg)	6,199	805,189
テューリンギア (Thuringia)	4,541	1,659,510
ヘッセル (Hesse)	2,970	1,426,847
オルデンブルク (Oldenburg)	2,481	574,471
ブルンスウィック (Brunswick)	1,419	512,863
アンハルト (Anhalt)	893	364,371
リップペ (Lippe)	469	175,520
シャムベルク・リップペ (Schaumburg-Lippe)	131	50,023
ハムブルク (Hamburg)	160	1,214,097
ラーベック (Labeck)	115	126,403
ブレーメン (Bremen)	99	371,951
以上計	181,000	65,143,052
ザール地方 (Saar District)	738	770,040
ドイツ共和國計總	181,738	65,913,082

註 ザール地方の人口は1927年7月19日施行の國勢調査による。

地方のドイツ歸還の正式決定により一八一、七三三平方哩である。その人口は一九三三年六月一六日の國勢調査によれば六五、九一三、〇五二人(ザール地方を加へて六五、九一三、〇八二人)にして、一平方哩の人口密度は三六〇人(ザール地方を加へれば三六三)に上る。【領土の割讓】ドイツは大戰の結果、一九一九年六月二八日のヴェルサイユ條約 (Treaty of Versailles) により、面積二七、二五二平方哩、人口六、四七五、五八二人(一九一〇年の國勢調査)に上る國土を隣接の諸國に割讓した。即ち(一)アルプス・ローレン (Alaoc-Lorraine) 面積五、六〇七平方哩、人口一、八七四、〇一四人をフランスに、(二)西プロシア (West Prussia) とポゼン (Posen) の大部分、上シレシア (Upper Silesia) と東プロシア (East Prussia) の一部、面積一七、八一六平方哩、人口三、八五四、九六一人をポーランドに、(三)上シレシアの一部、面

積一二二平方哩、人口四八、四四六人をチェコスロヴァキアに、(四)メメル地方 (Memel) 面積一、二〇六平方哩、人口一四一、二三八人をリトアニアに、(五)ダンツィヒ (Danzig) 面積七三九平方哩、人口三三〇、六三〇人を自由市として國際聯盟の管理下に、(六)オイベン (Eupen) 及びマルメディ (Malmedy) 面積四〇〇平方哩、人口五九、九四五人をベルギーに、(七)シュレスウィヒ (Schleswig) の一部、面積一、五四二平方哩、人口一六六、三四八人をデンマークに割讓した。【人民投票による歸屬の決定地】なほヴェルサイユ條約の規定により人民投票 (Plébiscite) の結果、その歸屬を決定すべき地方は、(一)ザール盆地(一五ヶ年後)、(二)シュレスウィヒ(二地方に區分)、(三)南東プロシア、西プロシア、上部シレシアの三地方である。これ等の歸屬を決定する人民投票は一九三五年一月、ザール地

方の人民投票を最後としてすべて正式にその歸屬が決定された。即ち、シュレスヴィヒ地方は一九二〇年三月の人民投票により北部はデンマークに、南部はドイツに、東西プロシアは一九二〇年七月の人民投票によりすべてドイツに、上部シレシアは一九二一年三月の人民投票によりドイツに、ザール地方は一九三五年一月の人民投票によりドイツに歸属した。

E 住民

大戦の結果、少数民族を多く含む地方を隣接諸國に奪はれ、従つて民族的には單純となり、殆んど全部チュートン族のドイツ人である。東プロシアの地方にはスラブ人との混血が多い。また南ドイツ人はラテン族との混血を見る。また在留外人は約二%である。大都市に住むユダヤ人は最近ナチス政權により排斥されたが、依然その勢力は侮り難いものを持つてゐる。一九二五年六月一日の國勢調査によるドイツ在留外國人の數は九五七、〇九六人、即ち一〇〇〇人に就き一五・三人の割合である。その内譯は、ポーランド人二五九、八〇四人、オーストリア人一二八、八五九人、チェコスロヴァキア人二二二、五二二人、イギリス人六、九七七人、フランス人七、二九〇人である。

F 主要都市

一九三三年の國勢調査によれば、人口百萬以上の都市は二市、二十五萬以上百萬以下の都市は二二市、十萬以上二十五萬以下の都市は二八市、五萬以上十萬以下の都市は四八市、二萬以上五萬以下の都市は一六四市に上る。一九三三年六月一日の國勢調査による五十萬以上の人口を擁する十大都市の人口を擧げれば次の如し。ベルリン(Berlin)一四、一九〇、八四七人。

ハムブルク(Hamburg)一、一二五、〇二五人。コロニー(Cologne)一七五、〇一九〇人。ミュンッハ(Munich)一七三、四七五人。ライプツィヒ(Leipzig)一七二、四七五人。エッセン(Essen)一六五、四三八人。ドレスデン(Dresden)一六四、二四八人。フランクフルト(Frankfurt-am-Main)一五五、〇七一人。ドルトムント(Dortmund)一五〇、四八〇人。

VII 年誌 (自一九三三年一月)

一九三三年

- 一月 一〇 ベルリンで共産黨員二千人と國粹社會黨員四百人の市街戦が演ぜられ、更に鎮壓の警官隊はより大混戦
二六 國民の支持漸く自黨より去らんとする形勢を觀取してヒットラー、大統領内閣を支持して決し政局一轉向す
二八 シュライヘル内閣、議會突破の確信なく突如總辭職す
三月 三〇 ヒットラー後繼内閣を組織
二月 二 ヒットラーバーベン内閣、共産黨に對し大彈壓を下す。一般國際軍縮會議一般委員會で獨伊代表、佛の軍縮提案に反對す
二八 ヒットラー内閣、「共産黨の危險に對しドイツ人民を保護する大統領令」を作成し、大統領の署名を求めること正式に決定
三月 六 國會總選舉の結果ナチス歴史的に過半

- 一二 帝政復活運動全土に互り俄然勃興し、ヒットラー内閣、舊帝政時代の國旗復活を發令
二〇 ドイツ政府、日本の南洋委任統治に關し重大聲明をなす
二二 四國條約案をヒットラー首相、「歐洲平和の確定策」なりとして禮讚。ナチス獨裁の霸業完成、共和制は成立後滿一四ヶ年にして實質的に壓殺さる
二七 國粹社會黨、僚黨たる國權黨の前衛鐵兜團の本部を襲撃す
四月 一 本日午前一時、一旦開始のユダヤ人ボイコットは夜より五日迄中止の旨發表、ユダヤ人資本家團の實力を示せるものとして注目さる
七 閣議「比例相當權法」と稱する絶大な新權力を首相ヒットラーに賦與す
五月 二 ヒットラー、社會民主黨の牙城たるドイツ労働組合總同盟に對し大彈壓を斷行す
五 ソ獨間のベルリン條約及び仲裁裁判協定の效力延長に關する議定書の批准交換によりて兩國間の險惡なる空氣著しく改善さる
六 ナチス、文藝翰林院(プロイシッシェアカデミー・デア・キユンステ)に大彈壓を加ふ
一〇 ナチス、政府社會民主黨に彈壓を加ふ。ベルリン國立オペラ劇場前の大廣場に於いて非ドイツ的著書文獻を燒却す
一二 獨裁相五月一日期限到來のヤング陪

九月

- 三 三日間に互るナチス大會最後の日、ミュンベルク郊外で盛大に舉行
七 政治工作を完了したナチスは經濟工作に着手し、全國銀行組織國營化のためシハト博士を委員長とする銀行調査委員會を開く
八 ナチス宣傳部、オーストリア・ナチスの關争援助の機を發す
一五 軍縮會議に於いて獨首席全權ノイラー外相、軍備均等を要求
二八 軍縮問題に關する獨佛外相の會談でフランス側の軍備監督を含む案に反對
一〇月 二 純ドイツ農を保護する農地世襲法實施さる
四 ヒットラー首相の新聞統制愈々その緒につく。これによつて記者を人種的に制限して言論の動向を自然的に一定せしめんと企圖す
一四 ドイツ國際聯盟並に軍縮會議を脱退
二〇 日本人侮辱事件につき抗議、外相有色人種中に日本人を含まずと聲明
二一 滿洲市場へ進出を策し、輸入滿洲大豆とドイツ商品との物々交換を滿洲國政府へ交渉
二九 製鋼石炭四大コンツェルンの間に産業合理化案成立
一一月 一三 總選舉にナチス大勝す。總投票數の九割を得、全議席を獨占。總選舉及び人民投票に大勝したナチス、政治因の大敵を行ふに決す
二五 ドイツ・ポーランド不戰協定成る
二二 銀行調査委員會、國內銀行の完全な國

二月

- 一 一 ザール地域の返還並にドイツ再軍備につきフランスへ重要提案
二 ナチス専用の宣傳機關と化した國會、ヒットラー萬歳を叫び、國歌と黨歌を合唱し、開會後僅に九分間で閉會す
一五 鴨卵と乳製品專賣に關する新法令を發布す
二七 國防軍總司令エクオード將軍辭職
一九三四年 一月 一 國立銀行對外支拂制限不可避を聲明各地の教會牧師、ナチスの宗教自由無視に憤激し、反對中合せ結成
一六 新勞働法を發布、勞働者に不利なるものである
二月 二 政府、帝政派の結社に即時解散を命令オーストリア、對獨紛争を聯盟に提訴
五 ナチス結成一四ヶ年祝賀會開催さる
二四 ドイツ・ポーランド間に文化的協力成立す
三月 二 ドイツ・デンマーク間に物々交換制度を基礎とする新通商條約調印さる
八 獨支合辦飛行機製作所設立契約は調印を了した事判明す
一一 佛獨通商條約の期限延長さる
一二 ドイツの再軍備要求をベルギー承認
一三 ナチス政府、産業統制法を公布
二四 棉花、羊毛、鞣皮、纖維の購入を一時禁止する指令を出す
二六 ナチス政府、爲替管理及び輸入商品に

- 價公債年賦金をペーパー・ドルで支拂ふ旨通告し、國際決済銀行之を拒絶す
一八 プロシア議會、プロシア首相ゲーリングに對し一九三七年四月一日迄絶對的獨裁權を賦與す
三〇 報復手段としてオーストリア、國境を遮斷
六月 二 國立銀行總裁シャハト博士、六月四日以後一切の外債に對しモラトリアムを宣言すと聲明
八 一九三一年七月以前のクレヂットに對し一般的モラトリアムを宣言
一六 經濟會議に於いて突如舊領土の返還を要求す、翌一七日に至り忽ち撤回
二〇 國際労働會議を脱退
二一 ゲーリング國權黨に對し解散令を發す
二三 ヒットラー全國の労働組合を掌握す
七月 一 ナチス、カトリック中央黨を彈壓す
一五 四國協力條約の調印終了す
八月 四 ナチスに屬せざる外交使節を罷免す
五 イタリアに倣ひナチス大評議會を設置し、内治の完備を期す
七 反塊宣傳に關する英佛兩國の抗議に對し四國條約違反の事實なき旨聲明
九 共産黨員捜査の理由でナチス突撃隊、スイスのバーゼル市へ亂入
一九 駐日大使はデイルクセンに決定
二三 ドイツ經濟省、國際シンジケートの組合員に對し自由脱退の權利を與へ、シンジケートは事實上解消
二四 外貨統制局令公布され、本月九日公布の外國船隻使用禁止令は事實上撤廢さる

- 二七 制限を設く
- 二八 總豫算五億マルクの激増、總額六十四億マルク、特に國防豫算の激増を見る
- 二九 アメリカ、ドイツの對米債務の一部支拂を承諾
- 四月
 - 九 ドイツ博物館の創設者碩學ミューラー博士逝く
 - 一九 政府國內資本の海外逃避を一層嚴格に阻止するため新法令發布
 - 三〇 ゲーリング空相辭任
 - 五月
 - 八 ナチス、新聞取締規定を緩和し、ある制限内で自由に報道し批判するを認む
 - 一六 ドイツ快速航空隊ギリシア訪問飛行の途に上る
 - 二二 駐獨ソヴェート大使更迭、後任は現トルコ駐獨大使スリツと決定
 - 六月
 - 一四 ムツリニー・ヒットラーの伊獨兩首相イタリヤのストラテ初會談
 - 一八 駐ソ獨逸大使ナドラー辭職
 - 一九 國際決済銀行、ドイツのモラトリアムに嚴重抗議
 - 二一 駐ソ獨逸大使後任にシュレンベルグを任命
 - 二二 國立銀行、對外爲替の國別割當制を實施する旨發表。國立銀行、ドイツのモラ宣言に對するイギリスの爲替清算制度設置に對抗し、通商關係停止を以つて警告す
 - 三〇 豆戰艦の進水式舉行さる。ナチス黨内の對立關係爆發して、急進派の幹部十數名を逮捕、即日銃殺す。その中に突撃隊長兼無任所相レーム、元首相シュ

二、十字軍と農民問題 ヨーロッパの東方貿易の展開は十字軍の遠征に結果し、また、ノルウェーもこれに參戰す。これにより僧權益々大となり、農民に對する搾取が甚大となる。かくて農民の反亂が起き、一二世紀末にはスウェーデン、ノルウェーが首領となり、獨立の王朝を創立、貴族、僧侶を廢し、農民の中からその政權者を選ぶ。この農民革命は今日にまでその影響が残つてゐる。またこれと同時に國內の商業が發達し、スカンディナヴィア諸國はドイツのハンザ同盟と對抗す。これが原因となつてスウェーデンとの問題を惹起するに至る。

三、その後の國際關係 ハンザ同盟に對する關係のために、デンマーク、スウェーデン、ノルウェーは分合相つき、遂にデンマーク女王マルガリーテは一三七六年に三國の合同をなし、一三九七年にはカルマン合同條約を定む。これによりノルウェーは益々窮乏す。一四五〇年にはスウェーデンがデンマークより獨立す。併し新教信仰のノルウェーは容易にデンマークから自由になり得なかつた。この長き苦惱の後、イギリス航海條約の結果、ノルウェーの海運業を著しく發達せしめ、かくて都市資本主義、マーカーティズムへの發展を示すに至つた。

四、ナポレオン時代 ナポレオンの大陸封鎖令にはデンマークの共同者として加擔して、イギリスに對抗す。戰後スウェーデンは反ナポレオン同盟に加つた功によりノルウェーを合同せんとす。ノルウェーはこれに反對し、デンマークのクリスチヤン國王にせんとしたが、スウェーデンの侵入により、一八一四年、キール和約によつてスウェーデンの屬國とする。兩國の妥協の結果、一八一八年、スウェーデン王チャールス三世がノルウェー王に推戴され、こゝに兩國の合併を見る。

- 七月
 - 三 下院陸軍委員會、國境に三萬人の特科兵を配備する案を可決。六月四日の宣言に基き外債モラを愈々實施。突撃隊を内閣から分離す
 - 五 海外諸國よりの報復的壓迫に備へ對外經濟報復令を採擇し、向ふ三ヶ月間通商獨裁權と見らるべき一種の絕對權を經濟相に賦與す
 - 二六 駐獨ドイツ公使を更迭し、後任として副總理バーベンを一定期間を限りウィーン駐劄特別全權公使に任命
 - 八月
 - 二 大統領ヒンデンブルグ元帥薨去。首相ヒットラー。大統領を兼攝し、ヒットラー自らはライヒス・フェューラー(聯邦

一、ノルウェー前史 古くはノルマン民族が居住す。八世紀から一〇世紀にわたリノルウェー海峽は海を渡つてヨーロッパの沿岸地方を奪掠す。この時代には國內繁榮し、諸侯は勢を大にした。これ等の諸侯間に鬭争が生じ、八七二年、ハラルド・ハールファグル王が小農民の上立つて一時ノルウェーを統一し、その子孫が一四世紀まで世襲して統治す。この頃からノル

27 ノルウェー 立憲君主國
Norge, 英 Norway, 獨 Norwegian, 佛 Norvège.

- 九月
 - 一〇 總統)と稱す。國立銀行總裁シャハト博士、經濟相を兼任
 - 三一 對獨國境附近のナチス突撃隊に解散を命ず
 - 三二 ナチス再びユダヤ人排斥を開始
 - 九月
 - 六 ヒットラー、強制労働制採用の意圖を表明。經濟相、新銀行、その他信用機關創設を一九三七年迄禁止
 - 一〇 ドイツ政府、東歐ロカルノ條約に反對の覺書を發送す
 - 一二 ナチス、政府近く外國貿易統制強化の爲め五法令發布を決定
 - 一七 對米通商交渉提案拒絶さる
 - 二四 外國品價格統制令を公布
 - 二七 ナチス機關紙アンゲリッフ、日本製武器の歐洲進出を報道

出、一九〇六年六月二日即位。

皇 后——マウド (Princess Maud)、一八六九年二月二日誕生、イギリス國王エドワード第七世 (Edward VII) の第三皇女、一八九六年七月二日ハルコン七世と結婚。

皇太子——オラフ (Prince Olaf)、一九〇三年七月二日誕生、一九二九年三月二日スウェーデンのチャールス (Prince Charles) の女、メルトタ姫 (Princess Martha) と結婚。

【王位繼承法】ノルウェー憲法の規定によりノルウェーは立憲世襲君主國にして、ノルウェー國王はハルコン七世の男系子孫王位繼承たるべき旨を定められてゐる。男子後繼者なきときは國王はその繼承者選定を國會にはかり、決定せられることとなつてゐる。

五、ノルウェーの獨立 ノルウェーとスウェーデンとの經濟關係は相矛盾し、特に外國市場の關係において兩者は對立した。その中心問題はノルウェー海運業者の問題であつた。なほ一八八〇年にはシユタングの保守黨内閣に代り急進黨のスウェーデン内閣成立を見るや、その民族獨立運動は文化的全面的運動にまで展開し、イブセンの近代劇運動はその自然主義的現實暴露によるこの政治的運動の著しき反映である。一九〇五年、獨立領事館設置案が三回目にストルテイング(議會)を通過したのに、なほスウェーデン王オスカル二世はこれを認めず、遂にストルテイングはスウェーデン王を廢し、この兩國の聯合は廢絶さる。カールシュタット協約によりスウェーデン政府はこれを認め兩國の妥協成る。

六、ノルウェー王國建設 その結果、人民投票(レフレンダム)により二十萬票對七萬票で、王制が票決、イギリスの支持によりデンマーク王子、ハルコン七世が國王に迎へられ、翌一九〇六年即位を見る。この建國後、ノルウェーの經濟的發展は著しく、世界大戦にはノルウェーはイギリスに近く、この間に工業、海運業は著しく發達す。ブルジョアは急速の増大を示したが、戰後世界恐慌の影響下にノルウェーは多くの市場を失ひ、一九二一年にソヴェートを列國に先立つて最初に事實上承認せざるを得なくなり、更に一九二四年にはこれを正式に承認し、北部の市場を恢復するに成功した。

II 皇 帝

國王——ハルコン七世 (Hakon VII)、一八七二年八月三日誕生、デンマーク王フレデリック八世 (Frederik VIII) の第二王子、一九〇五年十一月一日國會によりノルウェー國王に選

III 政 治

A 政治機構 ノルウェー憲法は「グランドロフ」(Grundlov)、即ち基礎法と稱せられ、一八四四年五月制定、その後數次の改正を経て現憲法に至る。憲法は國體及び國教(ルーテル新教)、皇室、行政權、立法權、司法權に關する規定の一一二條よりなり、立憲君主制ノルウェー國の基礎を規定し、皇帝が陸海軍大元帥として統帥權を有し、司法權は國王の名において裁判所之れを行ひ、立法權は皇帝、議會共に之れを行ふことを規定す。ノルウェーの皇位はハルコン七世の男系之れを繼承す。而して内閣は總理大臣一名、國務大臣七名以上より組織せらるること、及び國務大臣は滿三〇歳以上の國教信徒にしてノルウェー國民たること、父子又は兄弟同一内閣に入閣することを得ずと規定す。

【政府】オスロー (Oslo)、一九二五年一月一日迄はクリスチヤニア (Christiania) と呼ばる。

B 行政 行政權は皇帝之れを有し、責任

内閣がその衝に當る。閣議は閣員半数以上の出席あることを必要とする。各省は九省に分たれ、尙これ以外に會計検査院、財産評價委員会が設置されてゐる。

- 農相 フライヴ (H. Five)
- 土木相 ミッセル (O. M. Mjeld)
- 蔵相 ルンド (P. Lund)
- 法相 スンデ (A. Sund)
- 社會相 ウタイム (O. N. Utneim)
- 國防相 コプロ (I. Kohro)
- 教育宗教相 リーストホル (K. Lieholm)
- 商工相 メーリング (L. Meining)

C 立法 立法権は議會と皇帝共に之れを有するが、皇帝は單に議會の停止、否認權を有するに止まり、實質的には議會のみ之れを有するといつても過言でない。

【議會の組織】ノルウェーの議會組織は特色あるものがある。議會 (Storting) は「ラゲティンク」(Lagting) と「オデルスティング」(Odelsting) の二院よりなり、通例ラゲティンクを上院 (Upper Section)、オデルスティングを下院 (Lower Section) と呼んでゐるが、二院制に非ずして、國民は等しくストルティングに代表者を送つてゐるから一院制である。議會は通常議會と臨時議會に分たれ、前者は毎年一月一日開會、皇帝は解散權を有しない。後者は皇帝之れを召集し、解散權を有す。その會期は七、八ヶ月で春秋二回に分たる。

議會は比例代表制により選出される任期三年を有する議員一五〇名よりなり、議員總數の

三分の一は都市、三分の二は地方農村の代表者である。即ち都市五〇名、地方一〇〇名の議員よりなる。開會に當り議會は議員總數四分の一、即ち三十八名を互選して上院(ラゲティンク)を組織し、殘りの四分の二、即ち七十二名を以つて下院(オデルスティング)を組織す。この兩者は合して議會 (Storting) を構成するのである。法律案は最初、下院(オデルスティング)に提出され、可決の上、更に之れは上院(ラゲティンク)へ廻附される。ここで可決されるか、然らざる場合は否決された法律案は意見を附してオデルスティングへ返却される。この場合、オデルスティングは右法案を葬るか、原案修正の上再提出をなすかの一をとらねばならぬ。オデルスティングを通過せる法案、二度ラゲティンクによつて否決された場合、オデルスティング三分の二の多數決によつて決定される。

ストルティングは議長、副議長各一名のほか、ラゲティンク、オデルスティングも各々の議長、副議長各一名づつを有す。即ち議長三名、副議長三名は議長委員會を有す。ストルティング議長を首領とし、議會内の秩序維持にあたる。尙議會内に書記官長、書記官はあつるが、之等はすべて議會の選任にかゝる。

【議會の権限】 皇位繼承者、皇帝及び攝政を選定し得、政治上の決議案、豫算案は定足數の三分の二にて議決し得る。原則としては議會は議員總數の五分の三以上出席するに非ざれば何等の決議をなすことは出来ない。しかし決議は過半数、多數決により、議長は決議權を有す。憲法改正は三分の二の賛成を必要とす。且つ議會は外國人歸化許可權を有す。尙大臣、議員、控訴院判事の公務過失についてオデルスティングが問責權を有し、ラゲティンク議員が行政裁判所を構成する如く、憲法は議會の權限を廣範

とする。

D 司法

全國を一〇七の裁判區に分つ。各區に區裁判所、その他、三控訴院(オスロー、ベルゲン、トロンドハイム)、一大審院(オスロー)あり、控訴院には院長一名と判事二名、大審院には院長一名と判事二名を有す。

【民事裁判所】 仲裁委員會、地方裁判所(市裁判所)、控訴院、大審院とす。仲裁委員會は各自治體より選出されたる委員三名よりなり、その權限は普通裁判所提起前の民事紛争の仲裁をなすことであつて、民事訴訟はすべてこの委員會に先づ以つて第一に提起されることを必要とする。地方裁判所或は市裁判所は仲裁委員會にて解決出来ざりし事件を取扱ふものとす。

控訴院は五百クラウン以上五千クラウン以下の民事訴訟を取扱ひ、大審院は控訴院の判決に對する上告事件を取扱ひ、五千クラウン以上の民事訴訟は大審院にて判決を下す。

【刑事裁判所】 豫審裁判所、地方(市)裁判所、控訴院、大審院である。豫審裁判所は地方(又は市)裁判所判事を以つて組織され、判事は検事の事務補助、被疑者起訴の決定を職務とする。地方(市)裁判所は禁錮三ヶ年以下の犯罪事件を裁判し、三ヶ年以上のもの控訴院へ廻す。

刑事控訴院は禁錮三ヶ年以上の刑事事件を取扱ひ、且つ地方(市)裁判所の判決に對する控訴を受理し、裁判長一名、陪席判事二名よりなる。大審院は刑事控訴院の上告を取扱ふ。

【檢察制度】 この外、檢察制度あり、全國を五二警察區に分ち、各警察區長は檢察の權限を有す。更に全國を十二の檢事區に分ち、檢事總長がこれ等檢事を指揮する。

【行政裁判所】 また行政裁判所としては、大

なる點にまで規定してゐる。

【選舉制度】 選舉においては直接比例代表制を採用し、全國を多數選舉區に分ち、各縣は一選舉區、オスロー、ベルゲンは各一選舉區、市は數市を以つて選舉區を構成し、各都市選舉區(一)は三名乃至七名、縣選舉區(一八)は三名乃至八名の議員を選出する。選舉權は滿二三歳以上の男女にして五年間ノルウェーに居住したるもの、被選舉權は滿三〇歳以上の男女にしてノルウェーに一〇ヶ年間居住し、且つ選舉權を有するものは當該選舉區において被選舉權を有する。但し國務大臣、國務大臣たりし者にして被選舉權を有する者は右選舉權の有効なる選舉區以外の選舉區において被選舉權を有す。しかし宮内官、内閣任命の官吏には被選舉權が與へられてゐない。

【現議會】 一九三三年一〇月の總選舉にかゝるものにして、議會(ストルティング)、上院(ラゲティンク)、下院(オデルスティング)の正副議長、及びストルティングにおける各派の勢力關係は次の如し。

- 全院議長—C. J. Hambro (保守黨)
 - 副議長—Christopher Hornsrud (労働黨)
 - 上院議長—J. Nygaardvold (労働黨)
 - 副議長—E. R. Aas (保守黨)
 - 下院議長—O. F. Ellefjord (急進黨)
 - 副議長—H. O. Skarvald (農民黨)
- | | |
|----------|-----|
| 労働黨 | 六九名 |
| 保守黨 | 三〇名 |
| 自由黨 | 二四名 |
| 農民黨 | 二三名 |
| 獨立自由黨 | 一名 |
| 急進黨 | 一名 |
| 社會黨 | 一名 |
| キリスト教人民黨 | 一名 |

F 政黨

委員會、衛生委員會、建築委員會、港灣委員會、貧民救濟委員會、財産稅委員會、消防委員會、資本所得稅委員會ありて地方自治運用の完備を期してゐる。

【労働黨】 ノルウェー政黨として有力なるものは労働黨 (Labour Party) 保守黨 (Conservative Party) 自由黨 (Liberal Party) 農民黨 (Agrarian Party) の四黨にして、現在議會においては労働黨が第一黨を占めてゐる。政權は自由黨の掌握することとなつてゐる。その他、小政黨に獨立自由黨 (Independent Liberal Party) 急進黨 (Radical People's Party) 社會黨 (Social Party) キリスト教人民黨 (Christian People's Party) 等がある。

【急進黨】 西歐諸國における労働黨よりもより急進的にして、一九二七年社會民主黨と合同、純正マルキスト黨にして議會主義に依らず、労働者團結による社會改造をそのイデオロギーとする。

黨領袖—Christopher Hornsrud (現ストルティング副議長、前首相、前蔵相) Martin Thrammel (Arbeiderpartiet 紙主筆) Oskar Torp (黨會議議長) Alfred M. Marsden (前社會相) Magnus Nissen (前土木相、黨内福利派の首領) Halvard Olsen (ノルウェー労働總同盟の首領) Elias Volan (労働組合會議議長) J. Nygaardvold (現ラゲティンク議長)。

【保守黨】 獨立自由黨と提契し、自由保守國民政黨 (Liberal Conservative National Party) として、共產主義に對して絶対反對、國家財政及び國民經濟の回復、私有財産制の維持、産業の自由、個人企業獎勵を政綱にかゝけてゐる。黨領袖—C. J. Hambro (現ストルティング議長、黨會議議長) 黨會議議長(首領) Ivar Lykke (前首相) Joh. H. Andresen (前國會議員)。

最近の歳出入

Table with columns for Year (1930-31 to 1934-35), Total Income, Regular Income, Total Expenditure, and Regular Expenditure.

註 1933-34年度及び1934-35年度は豫算とする

項目別歳入

Table showing detailed income items such as taxes, interest, and other revenue for 1934-35.

III 経 済

A 財政 ノルウェーは大戦に参加せず、中立国として莫大な経済的利益を収め得たにも拘らず、歴代の爲政者が戦時中及び戦後を通じ

て財政上放漫政策を続けた結果、戦後数年を経過して異常なる財政困難に直面し、公債は膨脹し、通貨は暴落した。この間に於いて政府は財政の節約、或は公債の整理を断行して、懸命に財政の改善に努力した。その結果、一九二六―二七年度に至つて、始めて歳入歳出のバランスが成り、財政の安定を得ることに成功した。その後、ノルウェーの財政は經常會計において僅少ながらも年々歳入超過を見てゐる状態である。

項目別歳出

Table showing detailed expenditure items such as defense, education, and interest for 1934-35.

【主要歳入】 ノルウェー財政において最も重大な歳入財源を爲すものは關稅收入にして、一九三四―三五年豫算においても經常歳入の約三分の一を占めてゐる。また特別歳入において五千百萬元の歳出特別豫算において、鐵道建設費の二千萬元、電信及び電話建設費の八百萬元、その他、一千萬元ノルウェーに近しい建設費が計上され、現在、公債はすべて生産的目的に消費されてゐる。

【公債】 ノルウェーの公債は主として鐵道、電信電話線、水力發電所の建設、等々の生産的目的に使はれたものである。然し戦後の通貨膨脹時代においては國庫歳入不足の少なからざる部分が國債によつて補充せられた時代もあつた。然し政府は鋭意公債の償還に努力して來た結果、一九二五年の一、七三一、六二五、九七二クローネを最高として漸次減少し、一九三三年六月末日現在には公債總額は一、四九六、〇二五、〇〇〇クローネである。うち外國債七二六、〇〇七、〇〇〇クローネ、内國債七六九、八一八、〇〇〇クローネである。

B 金融 ノルウェー銀行 (Norwegian Bank) は一八一六年に創設され、一八一八年に開業せるノルウェー唯一の發券銀行である。同銀行は株式會社組織なるも、その株式の可成りの部分まで政府により所有せられ、法律によつて政府の支配を受け、國王により任命せられる總裁及び副總裁を除き、各理事はすべて國會によつて

Henrick Ameln (前國會議會、前オズボルンステイニング議長) H. Gram (國會議會、黨書記長) 【自由黨】 經濟、社會、文化生活の漸進的改革により、現在の社會制度に基礎付けられる國民生活の改善及び國語運動を主張する。現在政黨は同黨によつて握られてゐる。

黨領袖—John Ludvig Mowinckel (首相兼外相、議會における左派首領) H. J. Anstad (前農相) G. F. Erieland (現オズボルンステイニング議長) H. Frie (農相) Ketzy Kjelsberg. 【農民黨】 農民階級の獨立と經濟的向上を目標とし、民主的な政府・立法・社會秩序の出現に努力する。

黨領袖—J. Hundseld (黨會議議長、前首相、前農相) J. Sundby (前農相) G. Mosaid (國會議員) H. O. Skurdal (現オズボルンステイニング議長) Johan F. Melbye (前農相) 【獨立自由黨】 同黨は自由主義左派に屬し、保守黨と提携し、個人の經濟的、社會的、文化的自由の權利を主張する。

黨領袖—Dr. Rolf Thommesen (黨會議議長、Tidens Tegn 主筆) J. Hort (オズボルンステイニング教授) K. W. Weiring (前國防相) Ch. Robertson (前商相) 【急進人民黨】 同黨の政綱は國民的、急進民主主義的にして、國際平和、國際仲裁判促進を希求し、舊ノルウェー植民地、即ちアイルランド、グリーンランド及びフェロー諸島との協調を説き、而して外交政策を議會の完全なる統制下に置くこと、自由貿易、労働者の經濟自治運動、國語運動の徹底、アルコール類の禁止、等々を主張する。

黨領袖—Aif. Mjoe (國會議員) 【社會黨】 急進改革黨なるも、共產主義、社會主義へは反對を標榜し、特にベルゲン地方に

勢力を持つてゐる。 黨領袖—Dybrand Brockmann (國會議員) 【キリスト教人民黨】 一九三三年の總選舉に始めて生れ出た新政黨にして、政治におけるキリスト教主義の促進を強調する。 黨領袖—E. Iavik (國會議員)。

G 外 交

ノルウェーは一千有餘年前ハラルド・ハールファグル王によりて建設された。この間ハールファグル王朝善政を布き、所謂「サガ」時代としてノルウェーの隆興時代を現出した。然しその後衰微の兆を示し、一三一九年同王朝絶ゆるや、スウェーデン、デンマークと聯合するに至つた。その後一八一四年一月四日、キール平和條約によりノルウェーは、デンマーク王によりスウェーデンに割譲された。然るにノルウェー人は最初からこの合同を喜ばず、自ら獨立を宣言し、同年五月十七日、時のノルウェー總督、クリスチアーン・フレデリック (Christian Fredrik) を國王に推戴した。しかるに諸列強は之れを壓迫し、フレデリック王擁立へ反對した。これはスウェーデンが、ノルウェーの分離を喜ばなかつた結果にして、遂に同年八月四日、瑞諾兩國合同するを條件としてノルウェーの獨立を承認し、こゝに漸く永年の懸案の協定を見、同年一月四日、カール八世 (Carl III) は選舉によりノルウェー國王の位に即いた。即ちノルウェー、スウェーデンとは單にベルナドット王室を戴くのみで、憲法、政府、議會、法律、裁判所、陸海軍は兩國別々に獨立的機關によつて行はれることとなつた。

H 國 防

【陸軍】 ノルウェー陸軍は國民皆兵制を採用し、戦時においては十八歳から五五歳迄、平時においては二〇歳から四〇歳まで兵役義務がある。在營服務期間は一四四日である。一九三三年の兵力は士官九〇〇〇人、下士卒四、五〇〇人である。その編成は六ヶ師團、三ヶ騎兵聯隊、二七ヶ野砲中隊、及び工兵、輜重兵、

五年六月七日、瑞諾分離を聲明し、その間數ヶ月間の折衝の結果、同年一〇月一六日、分離條約調印を終へた。この分離は愈々兩國關係を惡化せしめ、同年六月七日の分離宣言直後、スウェーデンは議會を召集し、強硬論盛んに出づるに至つたが、八月一三日、ノルウェー人民投票が贊成三六八、二一一票、不贊成一八四票で分離賛成絕對多數なる結果を示せしんで、戦争忌避の立場から遂に之れを承認した。しかるにこゝに帝位問題起り、スウェーデン第一王子はその候補者たりしが、人民投票の結果、デンマークの皇子カール (Carl) はノルウェー國王に即位し、ハールコン七世 (Haakon VII) となる。一九〇七年一月ノルウェー安全保障條約はクリスチアニアにおいて締結され、ドイツ、イギリス、フランス、ロシア代表之れに調印し、翌年一月八日、ノルウェー議會は滿場一致を以つて之れを可決した。

ノルウェー銀行経営内容 (1934年2月22日現在)

Table with 2 columns: Item (金, 外金, 流通紙幣, etc.) and Amount (クロノ).

註 紙幣発行額は368,369,000クロノまで許可されてゐる。

選出せられる。ノルウェー銀行 (Kontobank) は一八五...

二年、擔保付貸出に應ずるために政府により設立せられたものである。同銀行の資本は一九三二年には六七、〇〇〇、〇〇〇クロノにして、その大部分は政府によつて所有せられてゐる。一九三一年末における同銀行の發行債券額は四八五、九六九、〇〇〇クロノ、擔保付貸出は四七一、八五一、〇〇〇クロノに上る。

四、四二二、〇〇〇クロノ、擔保付貸出は一九四、八七五、〇〇〇クロノに上る。以上の外、數個の民間金融機關が擔保付貸出の要求に應ずるために特に政府の許可を受けて設けられてゐる。一九三二年には、この種の金融機關にして營業せるものは六個を數へる。一九三二年末におけるこれ等の金融機關の發行せる債券は一〇五、七九一、〇〇〇クロノにして、その擔保付貸出は一〇三、八八〇、〇〇〇クロノに上る。

〇〇クロノに上り、うち一〇一、一〇五、〇〇〇クロノが當座預金にして、一、一四四、四二〇、〇〇〇クロノが定期預金である。貯蓄銀行の數は一九三二年末において六一七行を數へる。うち七行は破産状態である。これ等の貯蓄銀行の基本金總額は二、三三、八一八、〇〇〇クロノにして、總預金は二、一一四、三四三、〇〇〇クロノに上る。うち一五、三四八、〇〇〇クロノが當座預金にして、二、〇九八、九九五、〇〇〇クロノが定期預金である。預金者の數は二、一六三、七五六人に上る。

九月二七日、勅命を以つて金本位制を停止し、金輸出再禁止を行つた。ノルウェー銀行紙幣は五、一〇〇、〇〇〇、〇〇〇、五〇〇、〇〇〇クロノの六種にして、同國の法貨である。政府は紙幣を發行しない。【度量衡】ノルウェーにおいてはメートル法が義務的に採用されてゐる。

【水産業】ノルウェーは近海に世界三大漁場の一たる大漁場を有し、漁業は頗る發達してゐる。數は馬一八〇、一八三頭、牛一、三三九、八三三頭、羊一、七六四、〇〇〇頭、山羊三、四三三、〇四二頭、豚三、一七二、〇七頭に上る。【林業】ノルウェーにおける主要産業の一つで、森林面積は全國土の二四・二%を占め、即ち二九、四五五平方哩に上る。これ等の森林の七〇%は松類によつて占められ、造船、製材及び製紙原料を極めて豊富に供給する。一九三二年度における木材輸出は一四、九八七、〇〇〇クロノにして、製紙材料は一四六、七七一、〇〇〇クロノに上る。

【工業】ノルウェーの工業は嘗つて石炭を主要燃料としてゐた時代には、石炭の埋藏に乏しいため徴々として振はなかつたが、最近その天然に豊富な水力の利益が極めて盛となるに連れて、近代工業はノルウェーにも急速に發達するに至つた。然しノルウェーの工業は主として原料を自國に産出するものであつて、各種の鐵産に富むため冶金工業、製紙原料に富むためパルプ、紙器工業等が盛に行はれてゐる。その他、化學工業、電氣工業、各種食品工業も大いに

鯨油の産額 (單位: パレル) Table with 2 columns: Year (1928-1932) and Output (845,800-29,000).

漁獲高 (1931年度) Table with 2 columns: Species (鯨, 鮭, etc.) and Amount (22,783,694-63,929,516).

主要礦産物 (1932年度) Table with 2 columns: Mineral (銅, 鉄, etc.) and Amount (18,376-1,191,569).

發達してゐる。一九三二年度における同國の工業統計によれば、五人以上の労働者を使用せる工場は三、一七二、その職員一三、一六六人、労働者九八、五六一人に上る。これ等の全工場生産物總価格は一、二一七、七三一、〇〇〇クローネである。然しこのうち製造過程において附加された價值は六一九、四四〇、〇〇〇クローネである。

また各種發電所の總生産電力價格は一三二、二萬クローネにして、そのうち發電過程において附加せられた價值は一〇五、五萬クローネである。一九三〇年度において製造工業において使用せられた全動力は二、三二〇、六四五馬力にして、うち水力電力は二、一六四、一七二馬力に上り、この國の工業において如何に水力が利用されてゐるか明かである。またノルウェーの可能水力總量は千二百萬馬力を突破するものと見られ、従つて現在水力の利用は可能水力の六分の一にしか達してゐない。

E 外國貿易 ノルウェーの外國貿易は年々莫大な額の輸入超過を示してゐる。その盛大な海運業収入によつても、これを年々填補するの

最近の輸出入

(單位クローネ)

Table with 3 columns: Year (1929-1933), Imports (輸入), Exports (輸出). Values in thousands of crowns.

は困難である。その輸入品は工業製品及び食料品を主とし、石炭、艦船及び機械、穀物、織物類、油類等を多く輸入する。その輸出品は原料品を

主とし、バルブ及び紙、動物性食料品、油類、金屬、礦物等を多く輸出する。【國別貿易】ノルウェーの外國貿易はイギリス及びアイルランドとの貿易を第一として、ドイツ、アメリカ、スウェーデン、デンマーク、ソヴェート、オランダ、フランス、ベルギー等を主とする。以上の諸國との貿易においてもノルウェーの輸出超過となる取引國はソヴェートとフランスの二國のみで、他はすべて輸入超過となつてゐる。

主要國別貿易額

(1932年度)

Table with 3 columns: Country (相手國), Imports (輸入), Exports (輸出). Values in thousands of crowns.

【交通】ノルウェーは地勢上山地が多く、土地が東西に走る陸塊に切斷せられるにより、道路及び鐵道の發達は極めて遅れる。殊にその北部は北極圏内に屬せる不耗の地で交通路の發達を極めて阻害してゐる。一九三二年六月末日現在における道路の全長は二、三、九〇七哩である。

F 交通 【道路】ノルウェーは地勢上山地が多く、土地が東西に走る陸塊に切斷せられるにより、道路及び鐵道の發達は極めて遅れる。殊にその北部は北極圏内に屬せる不耗の地で交通路の發達を極めて阻害してゐる。一九三二年六月末日現在における道路の全長は二、三、九〇七哩である。

【鐵道】道路と同様、鐵道の發達も極めて遅れてゐる。一九三二年六月末日現在の鐵道の全長は二、四〇七哩にして、うち國有鐵道二、一七八哩、私營鐵道二、九二哩である。このうち、國有鐵道の二、一七八哩、私營鐵道の二、九二哩は電化されてゐる。

【海運】ノルウェーは英・米・日・獨・佛・伊に次ぐ世界の海運國である。一九三三年一月一日

最近のノルウェーの労働運動は寧ろ次第に下向の段階に立つてゐる如く見える。

VI 文化

A 文化概観 北方のノルウェーは北歐スカンディナヴィヤ文化の最も典型的なるものである。北方人の憂鬱と空想性、フィヨルド、氷山、冬、海の彼方への憧憬、そして母國民族愛の固執、すべてがイブセンの「ペール・ギント」の中に鮮明に象徴化されてゐる。彼等は空想を直ちに現實化せんとし、またそのためには一見全く盲目的なところがあるのは古來からの北方海賊の傳統文化である。海と氷山と山林の中に創造される人間の夢想は特異なる魅力的なスカンディナヴィヤ文化を創造してゐる。

B 宗教 エヴァンジェリカル・ルーテル派が國教で、國家より基金を得、その僧侶は國王によつて任命される。しかしながらゼスウィット以外の宗教の自由は許されてゐる。國內は宗教的には七僧正區 (Bispdommer)、九一僧會長區 (Prostier)、五二〇僧區 (Prestegald) に分けられてゐる。一九三〇年に非國教徒は九一、四五九人あり、そのうちローマン・カトリック二、八二七人、メソヂイスト二、二〇七人、バプティスト七、七八八人、モルモン教徒六六七人、クエーカー教徒八一人である。

C 教育 初等教育は義務教育で、學齡は都市にあつては六歳半より一四歳まで、地方にあつては七歳より一四歳までである。一九三〇—三一年に地方小學校數五、八二八校あり、師範學校は一〇校、中等學校は二三五校ある。中等學校の大部分は男女共學。大學は首府オスロにあり、一八一一年創立、一九三一年の學生數五二六人。尚その他に高等工藝學校一、高等農業學校一、高等師範學校一、陸軍士官學校一、

現在の所有船舶は帆船一五八隻、九、〇〇〇噸、汽船一、九四四隻、一、三九二、〇〇〇噸、モーター船一、九二二隻、一、〇六〇、〇〇〇噸にして、合計四、〇二二隻、二、四六一、〇〇〇噸である。これ等の船舶のうち、外國航路に従事せる船舶の海運収入は、一九三二年度において三七七、五〇〇、〇〇〇クローネに上る。この莫大な海運収入はノルウェーの國際收支決算において極めて重要な役割を演じてゐる。

一九三二年度におけるノルウェー各港に外國より入港せる船舶は九、二四五隻、五、九二七、九五一噸(うちノルウェー船四、五二七隻、三、四五〇、九一八噸)にして、同じく外國へ出港せる船舶は九、三〇八隻、六、〇一五、三五八噸(うち、ノルウェー船四、五七八隻、三、五三九、一二七噸)である。

G 通信 電信線及び都市間電話線は、一九三二年六月三日現在、三六、〇三二哩(うち國有二二、五八三哩)にして、その條線總延長は六〇一、七八〇哩(うち國有四三三、三一〇哩)である。國有線における有線電報は三、八〇八、〇〇〇通に及ぶ。主要線における電話の交換回數は一三、七三三、〇〇〇回である。國營電信局は全國に二、七〇七局を數へ、その収入は三一、三八五、〇〇〇クローネ、支出は二二、四五四、〇〇〇クローネである。

ノルウェーには國營無線電信電話局は四一を數へることが出来る。それ等のうち代表的無線電局はスヴァルバルド (Svalbard) にある。

V 社會

ノルウェーの社會構成はかなり單純にして、殆んどノルウェー民族によつて形成されてゐる。職業別の人口比率は、農業三一%、鑛山及齒科醫專一、國立美術學校一があり、又一五歳より一八歳までの男女女子に補習學校として、工業、工手、工藝、美術等を修めしめる特殊學校が數校ある。

盲啞その他の不具兒童のための學校二五校、感化院一〇校あり、その他に義務教育を受けなない兒童のために自治體が設けてゐる強制小學校が六校ある。

D 藝術 【美術】一般にノルウェーの美術は北方の憂鬱を表現し來つた。エツケルスベルグは自然主義美術を最も發展せしめた。更にこの傾向の最も典型的なるものは死や悲哀の象徴的ニヒリズムの畫家ムンクを擧げ、きてある。なほこれと反對にヒンテは國民傳説の裝飾畫を描いた。なほその他、農民的地方美術にかなり卓れた美術品を有してゐる。

【建築】ノルウェーの建築は木造の教會建築に古代の發展を示してゐる。しかし現代建築は最近著しき新様式を展開してゐる。アルンシュタイン・アルネヘリの「オスローの住宅」、マグヌス・ポールの新建築は世界的に獨自なるノルウェー建築の創造である。

【文學】ノルウェーの母國語文學はナポレオン戦争後、デンマークとの分離以後にその生涯を見る。この先驅者としてヘンリック・ウエルゲランド、ヨハン・セバステイアン・ウエルハアウエンの二大國民詩人がある。前者は愛國的であり、後者は世界主義的であり、以後長くこの二大傳統持續す。更にアスピエルセン、インゲブリクトセン、モー等は何れもノルウェーの傳説の大集成をなす、かくてデンマークよりの文化的獨立を完成す。黄金時代を「イブセン時代」と稱す。ヘンリック・イブセン (Henrik Ibsen, 1828-1906) は初期の大史劇より、世界的戯曲「皇帝とガリレアン」に進み、更に民族を象徴せ

び工業二八・九%、商業及び海運業九・七%であり、また民族別はノルウェー人が二千七百萬(九八%)、スウェーデン人一萬九千人、ラップ人が約七千人である。しかも全面積の七三%は農耕に不適なる山林であり、四%のみが農業地であるにも拘らず、農業がノルウェーの主要産業である。國富の中心は海運貿易業であり、人口一人當りの噸數ではノルウェーは世界第一の船舶を有してゐる。一般に國民文化は高く、失業者は他に比して僅少である。且つ特質あるフィヨルド (Fjord) がこの國の重要な港灣をなしてゐると共に、水力の發達に極めて豊富な水源を成し、従つて國中の電化は極めて發達してゐる。

【職業人口】一九三〇年の國勢調査によれば、ノルウェーの職業別人口は次の如くである。農業、林業及び果樹園従事者一三八、八四八人(二九・八%)、工業一七、七四、〇三一人(二七・六%)、商業一、二八五、五五五人(一〇・一%)、運輸業者一、二七二、八〇五人(九・七%)、漁業及び捕鯨業者一、一九六、七七二人(七・%)。

【階級運動】ノルウェーの海運業の發達は、かなり早くから労働運動を展開したが、その民族性の有する空想性は先づサン・シモン、ブルドゥン等の空想的社會運動として一八四八年頃勃發した。これは政府により抑壓されたが、一八八一年の工業恐慌によつて更に現實的に展開し始めた。八八年にはノルウェー労働黨が組織され、イブセンの社會劇には明かにこれが描寫されてゐる。これは民族獨立運動と對立したるために、却つてその積極的な進展は望み得なかつた。アメリカのアナルコ・サンディカリズムのトランメルがこの急進運動の中心となり、世界大戰後は革命的氣運を更に大にした。併しその後、一九二三年には労働黨をトランメルはコミンテルンから分離せしめた。かくてその結果

る「ペール・ギント」を書き、なほ劇的なる自然主義的ドラマ「人形の家」をもつて全世界の問題となり、特に近代のフェミニズムの積極的主張を示す。なほ彼は社会的ドラマ、人生的運命的ドラマに進み、ノルウェーの民族文化的獨立運動の強力なる反映を示してゐることは單に彼を自然主義的戯曲の形式創造者のみと考へること以上にあることを示してゐる。彼がいかに當時の社會的虚偽に反抗し、またその政治的關心を有しながら、常に文化の中にのみ立てたもつたかはそれを彼自らの民族愛に歸することから来る。これに對しビエルンステルネ・ビエラソン (Riismstene Björnson, 1832-1910) は小説、戯曲にも傑作を書き、また一般社會問題の理論的、實踐的の活動をなし、古代傳説に對する研究をなす。またこれと同時にヨナス・リリー (Jonas Lili, 1833-1908) はリアリスティックな小説を作り、アレキサンダー・キエラン (Alexander Kielland, 1819-1906) は流麗なるロマンティックな物語を描く。また彼と同じくハンス・エ・キント (Hans E. Kink, 1865-1926) はロマン主義であると共に一面現實批判の痛烈なる描寫を試みた。

【現代ノルウェー文學】なほ現代作家にはクヌート・ハムスン (Knut Hamsun, 1858-) はノーベル賞を得、ジグフリド・ウンダセツト夫人 (Sigrid Undset, 1882-) も同賞を得、なほノルウェーのモウ・パッサンと呼ばれるヨハン・ボーエル (Johan Bojer, 1872-) は人間の微妙な苦惱を鮮やかに描出す。また現代にはベーター・ヒック (Peter Hegg, 1869-)、オラーフ・ツェン (Olav Dumm, 1876-)、ローレ・アンケル (Rolf Anker, 1873) 等の新人を有してゐる。しかも現代文學はその民族的獨立を完成して以來、一般に世界的傑作を生み出してゐない。

E 新聞 ノルウェーにおける最も有力なる新聞は次の四紙とする。即ち、Aftenposten 紙(首府オスロー發行にして、ノルウェーにおける古い歴史を持つ新聞の一つである保守系新聞)、 Morgenbladet 紙(オスロー發行、古い歴史を持つ保守系新聞)、 Bergens Tidende 紙(ベルゲン發行、自由系新聞)、 Stavanger Aftenblad 紙(スタヴァンゲル發行、自由系新聞)の四紙とする。その他、政黨機關紙としては労働黨の機關紙たる Arbeiderbladet 紙(オスロー發行)、農民黨の機關紙たる Nationen 紙(オスロー發行)、獨立自由黨の機關紙たる Tidens Tegn 紙(オスロー發行)等が主なるものがある。

VI 自然

A 位置 スカンディナヴィア半島の西斜面を占め、北より西にかけては北氷洋及び大西洋に面し、南西は北海及びその肢節たるスカゲラク海峡に面し、その延長は約一、七〇〇海里、幅は北部の最狭部約三五海里から南部の最廣部四二〇海里に及び、海岸近くに點在するロフトエン諸島、その他の島嶼を含んでゐる。

B 地勢 【沿海】ノルウェーの沿海は著しく屈曲し、その延長三千四百海里に及び、陸面百平方海里に對して一海里に當る。南岸にはクリスケニア峽灣が北に入り込み、附近には出入著しく、西側の沿岸一帯は極北部に至るまで出入が特に甚だしく、無数の缺刻に富み、海水が深く入り込み、前方には大小無数の島嶼が列ぶ。この缺刻を即ち峽灣 (Fjord) と稱し、陸上の交通に惠まれないこの地方に對して靜かな水路を提供し、そのうちツグネ峽灣、ハルダンゲル峽灣などは有名である。

【陸地】主として古いカレドニア褶曲山脈の地域を占め、全土は高原より成立するが、一の連絡せる處なく、深い溪谷や同一性の峽灣によつて無数の小高原に切斷され、そのうちフィンマルク、ノルドランド、トロンデネム、ドゥレフェルド及びランゲフェルドは比較的廣い廣りを有して北から南に並び、特にランゲフェルド高原最も秀拔で、半島の最高峰カルドヘビツク山(二、四六八メートル)あり、これに次ぐドヴレフェルド高原中にはスネーヘッテン山が聳え、ともに幾多の氷河を射出する。國の南東部はバルト橋狀地として湖沼に富んだ高地をなして海岸に向つて漸次低下する。河川は一般に短小で瀑布及び急流に富み、いづれも河口を除いては航行に適しない。その最大なものにはグロムメン河 (Glommen) があり、これに次ぐものはタナ河 (Tana) である。

C 氣候 メキシコ灣流及び南西の卓越風に影響されて、國が北部に偏するにも拘らず氣候著しく調和され、海岸地方は冬季一五度乃至二〇度で、港の結氷をまぬがれてゐる。只北方のラブラドの内地は海洋の影響が極めて少なく、夏は僅かに二ヶ月で、他の十ヶ月は冬である。夏季は日照時間が連續する。北方ハムメルフェニストは年平均氣温が一・九度で、南方オスロ市は年平均五・五度である。降水量は甚だ多く、又降雪も甚だ多い。南部は七三〇毫米乃至一、二二〇毫米に達し、處によつては三千六、七、八百毫米にも上るが、北方ラブラド地方は甚だ少なく、五百七、八十毫米で、一般には七、八、九の三ヶ月が最も多く、二月及び三月が少くない。

ハンガリー

Magyarország, 英 Hungary, 獨 Ungarn, 佛 Hongrie.

I 歴史概観

一、古代史 古代ハンガリーの原住民はケルト人であり、ローマの一州に征服される。その後パンノニア及びダキヤに分割される。民族大移動の時、匈奴及びアヴァール人、ランゴバルト人等の諸族に占領される。更にフランク王チャールス大帝により併合される。八九六年、マジャール人がこれを支配し、近邦を合併侵略す。

モンゴールの侵入にあつて大いに奪掠せらる。一四世紀初頭に選挙王制が行はる。ルイ王(一三四二-一三八二年)は西方文化を盛んに移植し、ハンガリー隆盛時代を現出す。ハンガリーはポランドを合し、モルダヴィア、セルビア、ブルガリアの一部をも征服す。

の自由を認む。一六八七年、ハンガリーの選挙王制廢せられ、ハプスブルグ王家の世襲となる。

日、プロレタリア獨裁が宣言され、社会民主党と共産黨との協力によつてソヴェト政府が成立す。赤軍は、工場、銀行、土地を占有す。これが更に共産軍の官僚的社會民主主義者の横暴のために遂にソヴェト組織の缺陷を暴露し、遂に農民はこれに反するに至る。四月臨時大統領カローリは「ハンガリーのプロレタリアートの權力を移す」と宣して引退、アレキサンダー・ゴルバイを首領とする革命政府が成立す。七月にはベラ・クン失脚、一層極左的傾向強くなる。こゝにおいて列國の干渉はハンガリー政府に加はり、ルーマニア、チエコスロヴァキアの第一回の軍隊干渉が五月始めに行はれ、赤軍は逆襲し、スロヴァキアの大部分を占領す。各地の反革命的反亂も直ちに抑壓さる。然しその後、ルーマニア軍に對する革命軍の敗北は、大衆を甚しく革命政府から疎隔した。

七、君主制の復活 八月四日ルーマニア軍はブタペストを占領す。同時に反革命の白衛軍は八月六日、クーデターを行ひ、革命政府を破壊し、こゝに反革命政府が樹立さる。斯くて新政府はソヴェットの諸機關を打破し、ルーマニア軍の援助の下に徹底的にソヴェト勢力を掃蕩し、大白色テロが實行され七萬人が投獄された。それと同時に新政府は反ユダヤ的政策を遂行し、一九二〇年三月三日、ハンガリー王國「たるべきことが正式に宣言された。更に一九二〇年にトリアンノン條約により政治的安定を計畫、更に徹底的に赤衛軍の力を倒し、イギリスの指導による反ソヴェト的なる金融資本主義的政治形態を形成し、攝政の下に國王空位のまま、立憲君主制を採用しつゝ今日に至る。

II 政治

A 政治機構 一九一九年三月、ベラ・クン

急進國民黨 一名
無所屬 一六名
計 二四五名

D 司法 最高法院はブタペストにあり、第一審裁判所として地方裁判所(Törvényszék)が、二審として裁判官の共同審理により、區裁判所(Járszékség)は單獨審理による。また出版違反には陪審裁判所(Sajóbszékség)があり、その他に陸軍特別裁判所がある。

E 地方行政 地方自治體(Commune)と市・町・村自治體とがあるが、後者の方が高級と見られてゐる。自治體の議員及び行政委員は一八八六年以來自治體内の住民の無記名普通選挙によつて選ばれてゐたが、一九二九年には婦人にも投票權が與へられた。コムニオン及び町村における議員は、その半数は選挙によつて任期六ヶ年、他の半数は多額納税者によつて成り、市會議員においては多額納税者の率は全體の五分の二になつてゐる。各自治體は法律によつて定められた限度内にあつて諸規則を制定し、それ自身の官廳乃至從屬の自治體を設けて行政を行つてゐる。

F 政黨 現在ハンガリーの政黨として最も有力なるは國民統一黨(National Union Party)にして、ゲムススを首班として政權を握つてゐる。これに次いでキリスト教社會經濟黨(Christian Social Economic Party)、獨立小農民黨(Independent Small Farmers' Party)、社會民主黨(Social Democratic Party)等あり、その他自由反對派(Liberal Opposition)、王黨派(Legionist)、キリスト教反對派(Christian Opposition)、急進國民黨(Radical Nationalist Party)等を數ふる。

【國民統一黨】統一黨(United Party)の繼承者にして、小地主、官吏等を含み、また農民

を首領とするソヴェト政府が樹立されてより六ヶ月目に、即ち八月七日再びルーマニア軍援助の下に國民政府(National Government)がブタペストに復活せられた。斯くて新政權下に新議會の總選挙が普通選挙を以つて一九二〇年一月より二月にかけて施行された。その選挙の結果、右翼派の大勝利に終り、新議會は舊君主制憲法の復活を決議し、且つ(一)一〇月革命の法律にベラ・クン過激派政府の發布した凡て一八六七年の憲法第一二條の廢棄、(二)國民會議において君主の權限が決定されるまで、攝政(Hegem)を置き、君主としての任務を遂行せしむること、但し攝政は國民會議の選出に依ること、等々を規定した。斯くてハンガリーは現在に至るまで憲法上「立憲君主國」であるが、國王の地位を空席のまま、君主たる權力は議會の選出せる攝政の代行するところとなつてゐる。

【攝政】ニコラス・ホルチー提督(Nicholas Horthy de Nagybánya)一八六七年誕生、一九一九年のボルシェヴィキ革命政權を打破する戰國において大功あり、一九二〇年三月一日、國民議會により攝政の位に選出さる。人口一、〇〇六、一四〇人(一九三〇年の國勢調査)。

B 行政 行政權は責任内閣制によつて行はれ、下院の信任を必要とする。現内閣は一九三二年一月一日、ゲムススにより組織せられた國民統一黨内閣にして、各閣僚の顔觸は次の如くである。

- 首相兼國防相 ゲムスス(Gyula Gömbös)
- 外相 カニア(Koloman de Kánya)
- 内相 ケレスチス・フイニャキ(Dr. Francis Keresztes-Fischer)
- 藏相 イムレディ(Dr. Béla de Imredy)
- 農相 カレイ(Dr. Nicholas de Kállay)
- 商相 フアゴニイ(Dr. Tihauer Fabinyi)
- 文相 ホン(Dr. Valentine Honan)
- 法相 ラサル(Dr. Andrew László)
- C 立法 議會は上下兩院より成り、上院(Rajóház)は一九二六年一月一日に通過した法案によつて次の六種の議員(現議員二十四名)によつて構成されてゐる。即ち(一)以前の世襲議員中より選出せられたもの約三八名、(二)郡會及び市會によつて選出せられたもの約五〇名、(三)各種宗教團體の長約三十一名、(四)判事、總司令官、國立銀行總裁等の高官、(五)諸學院及び商業會議所の代表者約四〇名、(六)國家の主權者によつて任命された終身議員。
- 下院(Kepviselőház)は普通選挙により選出される二四五名の議員により構成せられる。選挙資格は二四歳以上で、読み書きの能力ある男子、三〇歳以上の女子にして三人の子供を有し、或は獨立の生計を爲し、高等教育を受けたもの、或は中等以上の教育を受けたもの、の妻たりしものに與へられる。
- 【現議會】下院は一九三一年七月の總選挙によつて選出されたものにして、兩院議長及び下院における各派の勢力關係(上院は普通議の意味における政黨的色彩なし)は次の如し。
- 上院議長—Baron Julius Wastates
- 下院議長—Dr. László Almásy (國民統一黨)
- 國民統一黨 一五一名
- キリスト教社會經濟黨 二八名
- 獨立小農民黨 二六名
- 社會民主黨 一四名
- 自由反對派 四名
- 民主黨 三名
- キリスト教反對派 二名

民主黨(Agrarian Democratic Party)及び市民黨(Chizans Party)等を構成分子とする。同黨は一般的に云つて地主、農民、カトリック及びプロテスタント僧侶等の利益を代表し、ハプスブルグ家の復讐に好意を持つ。現在の政治形態の存続を支持する。而して國內問題においては聯盟の支持の下に改革案を斷行し、上院の再建、農業、社會改革斷行、農民の協同組合運動の促進、社會教育の普及、等々を政綱とする。現ゲムスス首相は國民統一黨内閣を組織するにあつて、新政府はあらゆる平和的手段を盡して、トリアンノン條約(Treaty of Trianon)の修正を意圖するものである旨を正式に聲明した。

黨領袖—Julius Gömbös (首相兼國防相)、Count Bethlen (前首相)、Koloman Kánya (外相)、Franz Keresztes-Fischer (内相)、Bela Imredy (藏相)、Prof. Valentine Honan (文相)、Adreas Lazar (法相)、Tihauer Fabinyi (商相)、Nicholas Kallay (農相)、John Mayer (前農相)、Paul Pashy (前法相)、Dr. Tihor Zsitvay (前法相)、Dr. László Almásy (下院議長)。

【キリスト教社會經濟黨】一時「シャナウ黨」(Zichy Party)と呼ばれた政黨にして、國民統一黨と殆んど同一の政綱を有する。極めて顯著なハプスブルグ家支持派であり、反ユダヤ的傾向の強きことに特色を持つてゐる。即ち、カトリック的の王黨主義にして、都市における中産階級の革命的分子と、貴族及び農村人口によつて支持される。キリスト教徒の社會的改革と經濟的組織を主張する。同黨は嘗て「ウォルフ黨」(Wolf Party)と知られてゐた統一キリスト教國民黨(United Christian National Party)とキリスト教社會黨(Christian Social Party)との合同により構成されたものである。

黨領袖—Charles Wolff, Count John Zichy; Dr. Alexander Emszt(前文相)、Charles Huszar(前首相)。

【獨立小農民黨】中産階級及び小地主の利益を代表し、大部分は嘗ての統一黨の構成分子にして、カローリ政府(Károlyi Government)の農業政策に不満であつた分子によつて組織されたものである。従つて同黨は國民的農民民主制と行政の簡潔化を主張し、關稅政策における工業保護主義に反對する。

黨領袖—Tihor Eckhardt

【社會民主黨】工業労働者の利益を代表し、中産階級の自由主義者及び民主主義者と協同する。同黨は穩和なる社會民主主義的立憲綱領を有し、第二インターナショナルに屬し、平和外交主義、及び隣接諸國との協調を主張する。

黨領袖—Charles Peyer; Stephen Farkas; James Welner

【自由反對派】同黨はユダヤ人中産階級、都市中産階級、人口の利益を代表する。

黨領袖—Dr. Charles Rassay; Dr. Ernest Brody

【王黨派】オットー大公(Archduke Otto)を推戴してハプスブルグ家の復活を最大の目標とする。従つて同派は正しい意味の政黨とは云へなす。

黨領袖—Count Anthony Sigray; Margrave George Pallavicini

G 外交 【一九世紀】歐洲における唯一の東洋人種であり、一四〇〇年、中央アジアよりフンヌ族侵入せる國土のため特殊なる外交關係を有してゐた。そのためトルコ、スラヴの侵入に對する一つの歐洲の防壁となつた。次いでオーストリアに統一され、ハプスブルグ王家の支配下に常に民族獨立の氣運を有してゐた。

【世界大戰以後】大戰勃發するやドイツのた

【度量衡】ハンガリーにおいてはメートル法が採用されてゐる。

【工業】ハンガリーの工業は農業にその基礎を置くもの多く、製粉、醸造、製糖(一九三二年には粗糖生産額一、〇三三、三三〇キントル)、製麻、製鐵(一九三二年には鉄生産額六六、二八一メートル噸、鋼生産額一七九、八四一メートル噸)の諸工場がある。一九三二年における工

部類別貿易品 (1932年度、単位千ペング)

Table with 3 columns: 種別 (Category), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Rows include 食料品, 家畜, 原料品, 加工品.

の主要取引國はオーストリア、チェコスロヴァキア、ルーマニア、ユーゴスラヴィア、ドイツ、スイス

最近の歳出入 (単位千ペング)

Table with 3 columns: 年度 (Year), 歳入 (Revenue), 歳出 (Expenditure). Rows for 1930-31, 1931-32, 1932-33, 1933-34.

註 以上はすべて豫算値算数とする。

臨時歳出二五、二七七、九〇〇ペング及び投資二九、一〇〇、一五〇、〇〇〇ペングを合

主要農作物 (1931-32年統計)

Table with 3 columns: 種別 (Crop Type), 面積 (Area), 産額 (Production). Rows include 小麦, ライ麦, 大麦, 燕麥, 玉蜀黍, 馬鈴薯, 甜菜, 葡萄.

(註) *印の単位はガロンとする。

最近の輸出入 (単位千ペング)

Table with 3 columns: 年度 (Year), 輸入 (Import), 輸出 (Export). Rows for 1929, 1930, 1931, 1932, 1933.

先づ農業恐慌に端を発してゐるが、ハンガリーの如き、農業を主要産業とする國の貿易が如何に甚だしい打撃を蒙つたかは上述する所によつた明白に知ることが出来る。

めに兵をロシアに進め大いに戦ふ。戦敗による聯合國のトリアノン講和條件は苛酷であり、内亂が勃發す。一九一九年ベラ・クンの共和ソヴェート制成立。ルーマニアのために新革命政府敗れ、ホルチー國民新政府確立、チェコスロヴァキアはハンガリーを壓迫すること著しく、ハンガリーの反抗はルーマニア、ユーゴスラヴィア、チエコスロヴァキアをして一つの經濟單位を形成せしめた。ハンガリーはダニエーブ聯邦の組織に加入し得ざるに至つた。なほ一九三四年二月六日、ローマにおいてハンガリーはソヴェート政府と正式外交關係再開に關する協定の調印を終る。

ベスはムツソリーニとローマに會見、三月七日の三國議定書に關する政治、經濟關係を審議す。兩國政府は完全なる共通性及びオーストリアとの協力の繼續、發展の決意を確認す。また兩國間の文化關係の緊密化を要望し、このための措置を講ずることに決す。更に兩國文相が近くこの條約締結のために會合せしむることを約した。併しこの會見はマルセーユ凶變の原因につき討議した如く見られてゐる。

連續一二ヶ年服務し、そのうち少くも六ヶ年は隊勤務をしなければならぬ。條約締結當時士官たりしものは少くも四〇歳まで服務の義務あり、新たに任命される士官は少くも連續二〇ヶ年間は現役勤務をなさなければならぬ規定になつてゐる。また豫備役及び動員計畫は禁止されてゐる。

III 經濟

A 財政

ハンガリーの財政も近年緊縮をつけてゐる。一九三〇—三一年度には歳入一、四〇一、一〇〇千ペング、歳出一、三九八、一三〇千ペングであつたが、一九三三—三四年には歳入一、〇九七、〇八五千ペング、歳出一、一七三、二八五千ペングに減じてゐる。

イタリヤ等である。E 交通 【道路】 一九三二年におけるハンガリーの道路は國有道路二、六四二哩、自治體所有道路一〇、二九七哩、それ以下の道路五、〇七六哩、總計一八、〇一五哩に上る。【鐵道】 一九三二—三三年度における鐵道全長八、六六五キロメートル(五、三八一哩)、そのうち七、一〇六キロメートル(四、四二二哩)は國有線である。

【航空】 航空路六線あり、一九三二年度における飛行回数二、二八八回、旅客數六、四三九人、荷物三〇三メートル噸、飛行距離三七二、六三八哩である。

F 通信 一九三二年における郵便局數(集配局及び鐵道の局をも含む)二、三八七である。一九三二年一月三十一日における電信線五、三四九哩、電話線一五、〇一四哩に上る。また郵便及び電信事業は政府の手によつて行はれてゐる。

III 社會

國內にはマジャール人が八九・八%、ドイツ人が六・八%、その他スロヴァキヤ人、ルーミアニア人、クロアチア人等の諸民族が混住し、民族的には主として東方民族が大部分を占めてゐる。このために近代オーストリアの支配は政治的壓迫により東洋的ハンガリー民族に對する搾取極めて著しく、農民階級は常にその反抗を試みて來た。然し貧農層が大多數のため労働階級は合同することが少く、一八九〇年に至り労働組合運動は大衆化的性質を濃厚にした。労働組合は法律によつて禁止され、また經濟闘争さへも抑壓され、かくて非合法的な潜水運動が盛んに行はれた。一九一九年のソヴェート政府設立の時には組合人數は百四十萬にも達したが、改革

命軍の現出後、再びこの労働者の諸機關は壓迫され、八時間制は廢せられ、農民、鐵道従業員等の労働組合加入は禁ぜらる。最近の組合員數は僅かに十萬人餘に過ぎない。併し一方には東洋民族としてのハンガリー民族運動が政府の右翼化に伴つて勃興し來り、漸くその民族的獨立運動が大衆化せんとする傾向にある。【社會保險】 一九二七年及び二八年には隨意社會保險及び強制社會保險の二つの法律が通過し、國民社會保險協會(National Social Insurance Institute)なるものが設立され、會員は疾病の際無料で醫藥の給付及び入院が許され、疾病期間補助金を與へられ、又養老年金及び廢疾年金が下附される。一九三一年末の會員數は五五八、九〇五人で、このうちにはその他の社會保險加入者三二二、三八三人も含まれてゐる。農民保險はハンガリーにては任意保險で、「農業労働者組合」が國民公債(National Fund)によつて經營し、加入者は一九三一年末に六五二、三五二人である。

【救貧事業】 主として自治體に委任せられ、小自治體にては孤兒及び貧窮者は、公の保護者及び監督者の被護を受ける。大自治體にては救貧院があり、資金は主として罰金及び租税から支出され、また孤兒院は約三百を數へる。

V 文化

A 文化概観 ハンガリー文化は西歐と東洋文化との最も著しき混化をなし、しかも東洋的文化の多分に遺存せるものを示してゐる。特にその藝術様式には最も東洋的要素の優位するを見る。

B 宗教 信仰の自由は許されてゐるが、法律的に認められてゐる宗教は、ローマン・カトリック、ギリシヤ・カトリック、エヴァンジェリ

カル、ユニテリアン、ギリック・オリエンタル、グレゴリアン・アルメニア、バプティスト、ユダヤ教、回教で、一九三〇年の國勢調査による宗教別人口を見るに次の如し。ローマン・カトリック五、六三四、一〇三人(六四・九%)。ギリシヤ・カトリック二〇一、〇九三人(二・三%)。ヘルツェティアン・エヴァンジェリカル、八一三、一六二人(二・九%)。アウグスブルグ・エヴァンジェリカル五三、四、〇六五人(六・一%)。ギリック・オリエンタル三九、八三九人(〇・五%)。ユニテリアン六、二六六人(〇・一%)。ユダヤ教四四、五六七人(五・一%)。その他一五、二二四人、小學校、工商徒弟學校、都市小學校、師範學校、中學校、特殊學校、大學及びカレッジに分けられてゐる。

一九三〇年に六歳以上にして無教育なるもの全人口の九・六%ある。小學教育は六歳から一二歳まで義務教育で、その後三年間の補習學校がある。一九三一—三二年度における幼稚園數一、一七校あり、幼稚園女教師養成所五校ある。小學校六、八六二、普通補習學校六、五五五、農業補習學校九七九、農業公學校五五、徒弟學校四八一(工業四四四、商業三七)、男子師範學校二〇、女子師範學校三五、都市小學校三二(男子一三一、女子一九一)である。

中等學校は修業年限八年以上で、一九三一—三二年度には、シュムナジウム二九、實科ジムナジウム七一、モダリン・スクール一六、高等女學校四七を數へる。特殊學校には農業學校四七、工業及び鑛業の專門學校五二、商業學校五〇、その他、三一校あり、尙農業高等學校四校がある。大學は四校とブダペストに獨立した經濟學科大學がある。四校とも國立で、ブダペスト、セ

グ(Debrecen)にある。神學のカレッジは一八校あり、他に國語學校一、高等工藝學校一、鑛林高等學校一、農業カレッジ三があり、その他の高等學校六校がある。

D 藝術 【音樂】 ハンガリー民族はすべて東洋的な原始的メロディと哀調に富む。一七世紀以後は西歐音樂が盛んに移植される。民族性によつて音調は熱情的であると同時に憂鬱である。一九世紀には新民族、ドイツの歌謡、室内樂、舞踊曲等が盛んであつた。ハンガリー國民音樂の大成者はフランツ・リストであり、またフランツ・エルケル、ミハエル・モソニー等を擧げることが出来る。「ハンガリー化」音樂の典型的なるものが制作される。なほシクロスはこれに反し西歐主義を採り、この兩者の綜合としてのエルンスト・ドーナニーがある。

なほ現代の國民音樂運動はベラ・バルトック、ツオルタン・コダーリに指導され、この流派には、ラディスラウス・ライタ、アントン・モルナール、エンドレ・サボ等の秀抜なる作曲家を有してゐる。特にリストの「ハンガリアン・ラプソディ」はこのハンガリー音樂性の卓越した藝術的表現に外ならぬ。

【文學】 マジャール語を一般に使用し、知識階級は主としてラティン語を用ひたことがあつた。一七世紀にはニコラ・シュチニイ(Nicholas Zrinyi)がシゲト陥落の敘事詩「ズリニアント」(Zrínyi)の傑作を書く。一八世紀にはドイツ語が盛んとなる。フェルディ(Fejérvári)の散文は以後、散文形式の基礎となる。古典主義時代にはパロティ・サボ(Palóti Sándor)が傑出する。一九世紀前半にはフランシシユ・カジツツイ(Francis Kazinczy)が「國語復興」運動をなす。【カトリック・カテナ(Joseph Katona)は「シンク・バ

ン」(Frank Pata)の名劇典を書き、その最も傑出せる戯曲家である。大詩人にミハリ・ヴェレスマルティ(Mihály Vörösmarty)が出た。一九世紀末には自然主義、ニヒル主義等が著しい影響を及ぼす。國內にはネオ・ロマンティックの一派と、國粹派と、「民衆劇」(Folksjáték)派とが對立す。世界大戦後、詩人で軍人であつたゲザ・ジョー(Géza Gyöngy)が大戦の恐怖を暴露し、デシレ・サボ(Desire Szabo)は壯大なる現代の歴史の變遷を書き、ハンガリー人の熱情を縱横に表現す。

E 新聞 ハンガリーにおける主要新聞は殆んどすべて完全に首府ブダペストに集中されてゐる。その主なるものをあげれば一九三二紙を數へる。うち最も有力なる新聞には「Képes」紙あり、社會民主黨系に屬し、ブダペストにおける労働階級及び小市民階級に極めて強い影響力を持つてゐる。また「Közértesítő」紙は黨派的色彩なく、一般新聞紙としては極めて廣く購讀されてゐる。また「Népszabadság」紙は半官的な Magyar Távirati Iroda 社がある。

F 風俗 東洋人種ウラル・アルタイ系のマジャール語を使用す。四、五世紀のアチラの侵入の時に始まる。モンゴル文化を有し、これをキリスト教化したものがハンガリー人の本質である。性格は東方的愛國心強く、蒙古人的風習をなほ多分に存す。衣服にはシベリア式の刺繍をなし、美術も多く東方的である。婦人は毛布を被り、物を背負ふ。民族的團結心強く、蒙古節をなし、マジャール唄を歌ふ。放浪的性格と熱情的行動をなし、主として農民風俗である。また一方にはアラビア風の影響も少くない。

VI 自然

A 位置 ヨーロッパの中部に位し、東は

ルーマニア、北はチエコスロヴァキヤ、西はオーストリア、南はユーゴスラヴィアに接する。その四極を見れば、極東—東經二二度五分、極西—東經一六度二分、極北—北緯四八度三分、極南—北緯四五度一七分である。

B 地勢 全土はハンガリー盆地の北半分を占め、茫漠無邊の大平原であるが、その北部には一條の丘陵地があつて、巴拉トン湖の北西國境より北東に走り、遠く東方スロヴァキヤ國境のタイス河の西に及び、その間數多の河川により數片に切斷されてゐる。これらの山地を除く部分は一望際なき大平原を形成するが、國西部を南西から北東に走る巴拉トン湖北のボニー・ワルド(Bonyi Vár)とこれに連る山地、所謂ハンガリー中帶山脈によつて、上ハンガリー盆地に屬する小なる部分と、下ハンガリー盆地に屬する大なる部分とに二分される。主要河川はダニューブ河と、その支流タイス河及びドナウ河などで、湖沼のうち最も大なるは巴拉トン湖で、中央ヨーロッパ第一の大湖として知られてゐる。

C 氣候 海洋に遠ざかるため大陸的氣候を示し、夏季と冬季及び晝夜の氣温の差が多く、夏と冬が長く、春と秋が甚だ短い。ブダペストの平均氣温は最高の七月が二一度四、最低の一月が氷點下二度一、年平均一〇度である。降水量は年平均六〇〇乃至七〇〇程度で、盆地が西方に開く門戸を通して、西風の影響を可成りに受け、相當の濕氣が齎らされ、特に初夏六月に降雨多く、一月と二月に最も少ないが、ドナウ河以西の地は西斜面を多く有するのために雨量最も多く、ドナウ河及びタイス河に挟まれる部分が最も少ない。

D 面積・人口 一九二〇年のトリアン條約(Trianon)によつてオーストリア、チエコス

ロヴァキア、ユーゴスラヴィア、ルーマニアとの一般國境は決定され、ユーゴスラヴィア及びルーマニアとの正確な境界は共同委員の協議によつて決定されることとなり、オーストリアとの境界は協商の結果、國民投票によつて決することとなり、その結果としてハンガリーは西部ハンガリーのツプロン(Szopron)を獲た。現在總面積は三五、八七五平方哩、人口は一九三〇年末の國勢調査において八、六八八、三一九人で、うち男子四、二五〇、一〇〇人、女子四、四三八、二〇九人であるが、一九三二年末の推計人口は八、七八三、九一九人である。

口を言語別によりて分ければ、次の如くである。即ち、ハンガリア人八、〇〇一、一二人(九二・一%)、ドイツ人四七八、六三〇人(五・五%)、スロヴァック人一〇八、八一九人(一・二%)、ルーマニア人一六、二二一人(〇・二%)、ロシア人九九六人、クロアチア人二七、六八三人(〇・三%)、その他五八、七五八人である。なほハンガリー人は東洋種のマジャール族(Magyar)である。F 主要都市 一九三二年末人口の一〇萬人以上の都市は次の如し。ブダペスト(Budapest)一、〇一九、九〇七人。セゲット(Szeged)一、三六、五四四人。デブレツセン(Debrecen)一、一九、九一八人。

29

フィンランド

Suomi, 英・獨 Finland, 佛 Finlande.

立憲共和国

I 歴史概観

一、中世紀 フィンランドの史的現出は、スウェーデンに支配せられた一二世紀頃に始まる。一四世紀にはスウェーデンの大貴族がこれを自由にす。一六世紀にはスウェーデンに宗教改革起り、フィンランドにも宗教改革が波及す。フィンランドの農民は常に反抗を続け、特に一五九六年の反亂は全フィンランドに亘る大規模なるものであつた。

二、帝制ロシアとの關係 フィンランドの農民はスウェーデンの貴族制に對抗するためにロシアのツァーに援助を求め、斯くて一六世紀にはフィンランドはロシアとスウェーデンの勢力

の對立點であり、これの領有のために兩國は大いに争ふ。フィンランドはロシアに對し好意を寄せ、北方戦争(一七〇〇—一七一)によつてフィンランドは一部ロシア領となる。一八〇九年にはフィンランドはすべて「大侯國」となつてロシアの屬領となる。なほフィンランドの自治制は持續せられてゐた。

三、民族獨立運動 フィンランドの東方民族であつたことは漸くその民族意識を覺醒せしめ、遂に民族獨立運動勃興す。ロシア政府及びフィンランドの上層階級はこれに反對を示した。一時これを壓迫するために自治制を否定したが工業的進展により、フィンランド民族力を輕視することを得ず、再び一八六二年にツィ

ンランドの自治制を許す。アレキサンダー三世の時代には更にロシア勢力の重壓大となり、フィンランドの軍隊は解散、一方、民族獨立運動は益々積極的となり、潜行的となると同時にテロリズム的傾向となり、暗殺行動横行し、ロシア總督ポブリコフが一九〇四年に暗殺さる。一九〇五年の革命にはフィンランドは二派に分裂す。この革命後、ロシアの彈壓は和らぎ、自治制が復活する。一院制の議會(セイム)が従来の四部のそれに代置せらる。が更にロシアの抑壓が再び始まる頃に世界大戦勃發す。

II 政治

A 政治機構 フィンランドは大戦の結果ロシアより獨立し、一九一九年七月一日發布の共和國憲法により正式にフィンランドが民主的六ヶ年にして、一般市民によつて選出さる。その權限は國家の元首として議會の協賛を得て宣

判決を下し、陪審員異議あるときは陪審員判決效力を生ずる。地方裁判所はターク(Turku)、ヴァーサ(Vaasa)、ヴィープリ(Viipuri)に設けられてゐる高級裁判所(Hovokaus)に控訴し得る。また大審院(Korkein oikeus)は首府ヘルシンキに置かる。判事は唯法律により身分を保障せられ、法律によつてのみ免職され得る。

司法權執行の監督機關としては大法官(Oikeuskansleri)及び検事長(Oikeusasiamies)がある。大法官は政府に對して訴訟代理人及び検事としての職能を行使する。検事長は議會によつて任命され、すべての裁判所に對して一般監督權を行使する。

E 地方行政 全國を九縣(Department)に分つ。縣行政は大統領によつて任命される各縣知事(Prefect)に委任される。地方行政の單位は地方自治體(Commune)である。各邑區(Pural Parish)及び都市は自治體を組織し、二一歳以上の男女にして直前二ヶ年間地方税を納めたる者は投票權を有する。すべての自治體には行政及び地方經濟問題を決定するための議會が開かれる。その行政權は邑區にあつては邑會(Pural Council)によつて選ばれた自治體の首長及び四人、若くはより以上の參事員(Aikeman)に附與せらる。また都市にあつては行政當局は市長及び市會の選出せる理事會によつて執行せられてゐる。

一九三二年においては三八市(Town)、二五町(Borough)、五三八邑(Rural Communes)を數へる。各縣知事の下に執行官としては五四人の代官及び三〇二名の副代官があり、縣知事を輔佐する。なほアーランド島(Åland)は國會と同一選舉法を以つて選ばれる一院制の縣會(Landsing)

職、媾和締結、陸海軍の統帥權を有し、議會の召集、解散、各大臣の任免權を有する。【大統領】ペーア・ヘウインド・スツインフヴ博士(Dr. Pehr Evind Svinhufvud) 保守黨出身、一九三一年二月一日選出。スツインフヴ博士は大統領は一八六一年生れにして、世界大戦勃發するや獨立運動を起し、ロシア政府の捕虜となり、フィンランド建國の當初からスウェーティズムへ反抗し、その後最初の總理大臣となつた熱烈な愛國主義者にして、一九三〇年の夏、ラプアを中心とする地主ファシスト 暴起を導火線としてファシスト運動全國的に擴大せるとき常にフィンランド右翼を代表し、アンチ・ソヴェーティズムの爲めに戦つて來たフィンランド政界右翼を代表せる功勞者である。【首府】ヘルシンキ(Helsinki) 人口二六五、三九一人(一九三二年)。

B 行政 内閣は大統領によつて任命され、議會に對して責任を負ふ。【現内閣】一九三二年一月四日組閣された聯立内閣(農民黨、國民聯合黨、國民急進黨、スウェーデン人民黨)にして、各關係の顔觸れは次の如し。首相 キウイメキ教授(Prof. T. M. Kyösti Kivimäki) 進歩黨 外相 ハックセル(A. V. Hackzell) 國民聯合黨 内相 レランダー博士(Dr. H. M. J. Relander) 國民聯合黨 国防相 オクサラ(A. A. Oksala) 國民聯合黨 法相 セルラチウス(E. Serlachius) スウェーデン人民黨 文相 マンテラ博士(Dr. O. Mantere) 進

歩黨 農相 シュテイヤラ教授(Prof. K. T. Jutila) 農民黨 農工相 キリネン(F. Kivilinen) 國民聯合黨 交通相 リンナ(K. E. Linn) 進歩黨 社會相 ヒンニネン博士(Dr. E. Hynninen) 農民黨 C 立法 立法機關は一院制の議會(Eduskunta)あり、議會は二〇〇名の議員よりなり、議員の任期は三ヶ年である。すべて二四歳以上の男女選舉權を有し、選舉權を有するすべての市民は同時に被選舉權を有する。人口に比例して議員を選出する一六選舉區があり、一〇年毎に改正が行はる。選舉方法は比例代表制、普通選舉、直接選舉制が採用されてゐる。【現議會】一九三三年七月の總選舉により選出されたものにして、議長及び各派の勢力關係は次の如し。議長—K. Yösti Kalio (農民黨) 社會民主黨 七八名 農民政黨 五三名 スウェーデン人民黨 二一名 國民聯合黨 一八名 愛國國民運動黨 一四名 國民急進黨 一一名 自作農黨 三名 人民黨 二名 計 二〇〇名 D 司法 司法權の發動は政府から獨立してゐる。フィンランドにおける最下級裁判所は地方裁判所(District Court)であつて、都市においてはこの地方裁判所の權限は市長及び助役によつて行使される。地方においては一人の判事と二人の陪審員(地主)によつて行はれ、陪審員全員一致で異議を申立てざる限り判事一人で

を有する。同縣會は縣内政に當り、島内行政權は縣知事(Landfoged)を議長とする行政會議によつて行はる。

F 政黨 フィンランドにおいて現在議會の第一黨たるものは社會民主黨(Social Democratic Party)である。然し現在、政權は農民黨(Agrarian Party)國民聯合黨(National Coalition Party)國民進歩黨(National Progressive Party)スウェーデン人民黨(Swedish Peoples Party)の四黨聯立の下に、國民進歩黨首領のキウメーキ教授を首班とせる聯立内閣の手に歸しつゝある。その他、愛國國民運動黨(Patriotic National Movement Party)自作農黨(Small Farmers' Party)人民黨(Peoples Party)等、小數黨がある。以下各政黨の綱領及び黨領袖を列擧すれば次の如し。

【社會民主黨】第二インタルナショナルに屬し、労働階級の利益を代表し、軍備縮小を唱へ、社會民主黨タネル政府以來、勞資協調主義に轉化した。議席は左翼(左黨)にあり。
黨領袖—K. Harvala(黨會議議長) K. H. Wiik(黨書記長) Väinö Tanner(前首相) Prof. Väinö Voionmaa(前首相) Dr. Hannes Ryöyän(前首相) Väinö Huppi(前首相) Väinö Ilkka(國會副議長、前法相) Väinö Vuolijoki(キヌロー駐在公使) Matti Paasio(前首相) Miss Sillanpää.

【農民黨】農業問題を引揚げ農民の利益を代表し、保守黨及び社會黨の政策に反對する。組合運動を支持し、國防の重大性を主張する。
黨領袖—P. V. Heikinen(黨會議議長) Dr. J. E. Sunila(前首相) Kyösti Kallio(國會議長、前首相) E. M. Tarkkanen; K. A. Lohi(前社會事業相) Prof. K. T. Jutila(農相) Lauri Kr. Reinder(前大統領)。

【スウェーデン人民黨】フィンランド國內に於けるスウェーデン少數民族を代表し、政治問題及び社會問題に就いて意見を異にせる分派を有するも、大部分は保守的色彩が濃厚である。
黨領袖—Eric V. Petting(黨會議議長) T. Collander(黨書記長) Prof. Ragnar E. Fri-nghelm(前大蔵次官) E. J. Serlachius(法相) Erik von Frenckell; Baron Ernst von Born(前首相)。

【國民聯合黨】保守的立場に立ち、強力なる軍備、國家的安全保障の強化、私有財産制の確保を主張する。
黨領袖—Prof. K. Haatja(黨會議議長) U. V. Halminen(黨書記長) T. Junnila; E. Krokkanen(前首相) P. Pennanen(前農林次官) J. K. Paasikivi(前首相) Prof. K. J. Järvinen(前首相)。

【愛國國民運動黨】議席を社會民主黨と正反對の右翼(右黨)に占め、ファシスト黨にして、白色革命主義の傾向強く、穩健なる國民聯合黨に不満をいだく保守的國家主義的思想を有する若きフィンランド人を代表し、その起原をラプランド運動(Lapla Movement)に發する。黨の制服は黒キヤン、青キタツタイである。
黨領袖—Vilhoi Kosola(黨會議議長) Rev. R. Ala-Kulju(黨書記長) Dr. V. Annala; Prof. B. Sunstöm; Rev. K. R. Kares; P. O. Saariala.

【國民進歩黨】中央黨にして、自由民主主義的政綱をかかげ、漸進的社會改革を唱へ、知識階級を代表する。
黨領袖—Dr. O. Mantere(黨會議議長、文相、前首相) Prof. K. J. Ståhlberg(前大統領) T. M. Kivimäki(首相) Prof. A. K. Cajander(前首相) B. Sarjng; E. Erko(前無任)

中旬、國內に殘留せるロシア軍隊及び左翼労働者を煽動して首府ヘルシングフォルスを占領するに至らした。フィンランド政府は地方に難を避け、マンネルハイム(Karl Gustaf Mannerheim)が獨裁執政官となり、ソウエート軍と戦ひ悪戦苦闘の結果遂に勝利を得、一九一八年マンネルハイムを首班とする聯立内閣成立し、その後、同新政權は列國の承認を得、斯くてフィンランドには共和政權の確立を見るに至つた。

かくの如くフィンランドは絶えずロシアから脅かされる關係上、かつてはドイツ皇族を國王に迎へてロシアに當らんとする遠交近攻外交をとらんとしたが、世界大戦によりその計畫は水泡に歸し、その後フランスと交はり、ポーランドと同盟を結び、ロシアへ對するバルチック沿岸統一戦線を以つてせんとしたが、その後再轉して國內投資額の第一位を占むるイギリスと提携し、特にタンネル政權(Tanner)の存続の長かりしことはその背後にイギリス資本の援助があつたと云つても過言ではない。

然るに一九二九年以降の世界恐慌を契機として拍車をかけられた國內の政治經濟的危機はフィンランドのファシスト政權を誘致し、再びフィンランドを驅つて親佛政策へ赴かしめるに至つた。その第一はソウエート赤化運動への挑戦であり、第二はアンチ・ソウエート主義を基調とするフランスとの提携にして、フランスの後援の下にポーランドと同盟を形成せんとする以前よりの企圖は、必然的にかゝる外交に歸結したものと見られる。然るに最近、ナチスの擡頭とその結果佛ソ同盟へと進展せる歐洲國際情勢の變化はフィンランドをして従來の外交政策を放棄して、一段と新しい局面を開きざるを得ざらしめてゐる。

H 國防【陸軍】 フィンランドは國民皆

兵、強制徴兵制度を採用してゐる。國防は、(一)國民皆兵による陸軍・空軍・沿海防備軍、(二)兵籍登録志願の市民防禦團により爲される。大統領はフィンランド陸軍の總司令官である。市民はすべて一七歳より六〇歳に至るまで服役義務がある。現役軍は前衛軍と後備軍に分れる。二一歳の壯丁はすべて現役に召集され、服役期間は三五〇日である。
市民防禦團(Citiz Guards)の組織は國防略の主要部分を構成し、防禦團司令官は大統領の任命にかゝる。總員一〇萬人とする。一九三四年における陸軍兵力は士官一、七三八名、下士卒二八、六〇〇人名にして、一九三三年度の陸軍豫算額は四八六、〇五四、二〇〇フィンランドマルクに上る。

【空軍】 フィンランド空軍勢力は二飛行中隊、一飛行學校、人員一、九一〇人に上る。
【海軍】 フィンランド海軍勢力は巡洋艦二隻(八、〇〇〇噸)、潜水艦四隻(一、五六九噸)、砲艦六隻、モーター水雷艇七隻を有する。

III 經濟

A 財政 フィンランドの財政は概して良好である。その歳出入額において一九二八年の歳入五、〇七二百万マルク、歳出五、〇四一百万マルクを最高とし漸次減少して、一九三三年には歳出入共に二、八七七百万マルクに減少してゐる。然し一九三四年度の豫算に多少回復して三〇億マルク臺になつてゐる。また財政の均衡もよく取られ、一九二九年、三〇年、三二年を除いていづれも歳入の超過を示してゐる。
一九三四年度の經常豫算を見るに、歳入においては、關稅收入の一、二五〇百万マルクが最高にして、總額の三分の一以上を占めてゐる。その他、直接稅、消費稅、各種國營企業收入が主

H 國防【陸軍】 フィンランドは國民皆

所相)。

【自作農黨】自作農の利益を代表し、その政綱は農民黨と社會民主黨の中間にある。
黨領袖—Y. H. Keski(黨會議議長) E. Rytinki。
【人民黨】北部フィンランドの農民の利益を代表する。同黨は現在議會に二名の議員を送つてゐるに過ぎない。
黨領袖—Y. Hautala(黨會議議長) H. Niskanen.

G 外交

フィンランドは二世紀頃スウェーデンの勢力下に入り、ロシアの西漸政策と共に瑞露確執の接觸地となつた。一八〇九年に北方戰役の結果、フィンランドはロシア領となり、フィンランド大侯國の名稱の下に自治權を與へられて來た。しかるに一九世紀末に至りアレキサンダー三世(Alexander III)即位するや、汎斯拉ブ主義(Pan Slavism)によりフィンランドのロシア化政策に着手し、ついでニコライ二世(Nicolai II)は更にロシア政策を強化し、汎斯拉ブ主義たるゴブニコフ將軍をフィンランド總督に任命し、フィンランドの自治權、議會權限を奪取し、フィンランド軍をロシア軍に編入、一九〇三年にはフィンランド憲法破壊等、極端なる恐怖政治を斷行せる結果、いたくフィンランド民衆の反感を買ひ、一九〇四年ゴブニコフ總督の暗殺せられるに至つた。然るに翌一九一七年五月、ケレンスキー革命新政權(Alexander Fedorovich Kerenski)樹立するや、ロシア内の民族解放を宣言し、こゝに一九一七年一月六日、フィンランドは獨立宣言、翌一九一九年共和國憲法制定、翌二〇年に至り遂に勞農ソウエート政府はフィンランド獨立を承認するに至つた。しかるにその後ソウエート勞農政府の尙フィンランド(野心をいだき、一九一八年一月

最近の歳出入 (單位千マルク)

Table with 3 columns: Year, Income (歳入), and Expenditure (歳出). Data for years 1930-1934.

註 1934年度は概算數に依る

要なものである。歳出においては國防費の四六九百万マルク、教育宗教費の四七百萬マルクを筆頭とし、内務省費の三二八百万マルク、生産的産業投資の三一百万マルク、公債費の三〇〇百万マルクが之に次ぐ。その他、農林省費、交通省費、各種投資等が主要なる歳出項目を成す。

【公債】 一九三三年一月末日現在におけるフィンランドの國債總額は三、五〇七、七〇〇、〇〇〇マルクに上る。うち外債は二、七四二、九〇〇、〇〇〇マルクにして、内國債には七六四、八〇〇、〇〇〇マルクである。またこれ等の外債のうち二、三三四、〇〇〇、〇〇〇マルクは整理公債である。

B 金融 國立銀行たるフィンランド銀行が唯一の發券銀行である。同銀行は一八一一年の創立にかゝり、代議院の監督を受ける。その資本は定款によつて確定され、紙幣發行高はその金銀準備並に外貨準備以外には、保證發行として一二億マルクまでは許される。一九三四年一月二三日現在の紙幣流通高は一、〇三百万マルクである。それに對して同銀行の金準備は三三三百万マルク、外貨準備は一、三三九百万マルクに上る。

フィンランドには國立銀行の外に、一九三一年において、五一一の營業所を持つてゐる一二

最近の輸出入

(単位千フィンランド・マルク)

Table with 3 columns: Year (1929-1933), Import, Export. Shows trade data for Finland from 1929 to 1933.

Text describing the trade situation, mentioning the impact of the world economic depression and the resulting decrease in exports.

Text discussing the utilization of hydroelectric power in Finland, the development of the iron and steel industry, and the state of agriculture.

主要國別貿易額

(1933年度、単位千マルク)

Table showing trade volumes with major countries (UK, USA, Sweden, etc.) for 1933.

Text discussing international trade relations, particularly with the UK and the US, and the role of the railway network.

Text discussing the railway network and its importance for transport and trade.

Text discussing the financial situation of the Bank of Finland and the state of the economy.

Text discussing the exchange rate of the Finnish markka and its stability.

Text discussing the state of the iron and steel industry in Finland.

Text discussing the state of the agricultural sector and the impact of the world economic depression.

Text discussing the state of the forestry industry and the role of the railway network.

Text discussing the state of the manufacturing industry and the impact of the world economic depression.

主要農作物

(1932年度)

Table showing the production of major crops (wheat, rye, etc.) in 1932.

Text discussing the state of the agricultural sector and the impact of the world economic depression.

主要工業統計

(1932年度)

Table showing industrial statistics (production of iron, steel, etc.) for 1932.

Text discussing the state of the manufacturing industry and the impact of the world economic depression.

家畜飼養数

(1932年度)

Table showing the number of livestock (cattle, sheep, etc.) in 1932.

Text discussing the state of the livestock industry and the impact of the world economic depression.

Text discussing the state of the forestry industry and the role of the railway network.

Text discussing the state of the manufacturing industry and the impact of the world economic depression.

III 社會

A 社會構造 フィンランドは北方の文化の發達の程度低い社會層を有してゐる。スウェーデン人は全人口の一〇%を占め、他にロシア人、ドイツ人、ラップ人を混住せしめてゐる。主として農業に従事し、全人口の約三分の二は農民である。その農民は殆んど多くは小農、貧農で、三ヘクタール以下の土地を所有するに過ぎない。併し交通機關は非常に發達し、將來國內の發達は大いに有望視されてゐる。

職業別人口 (1930年12月31日) (の國勢調査に依る)

Table with 3 columns: 職業別 (Occupation), 有職者人口 (Number of employed persons), % (Percentage). Rows include 農業 (Agriculture), 工業 (Industry), 交通 (Transportation), 商業 (Commerce), 官更 (Government), 自由職業 (Liberal professions), その他 (Others).

B 民族運動

東方のフィンランド民族としてのフィンランド人は、その歴史上常に民族獨立の運動に終始してゐた。重層するスウェーデン貴族制より解放せられんとしてロシアと結び、更にロシアのツァーリズムの抑壓に際してフィンランド民族の反抗運動は益々強力となつた。幾度か自治制と議會は許され、廢止さる。遂にロシア大革命によつてフィンランドは獨立國家となり、その後、更にそれは最近西歐民族及びスラヴ民族の壓迫から逃れて東洋民族としての自由を獲得せんとするファシズム運動に轉向してゐる。かくてフィンランドは今は西歐諸國に對する一の重大な問題の民族國家たらんとしてゐる。

C 階級運動

工業の發展の微弱なるフィンランドには労働運動はその民族運動に比して史カトリック一、三九一人、バプテリスト九、七四九人、ユダヤ教徒一、七五〇人、回教徒三一〇人、無宗教者五九、〇九九人である。

D 新聞

一九三二年にフィンランド語の新聞・雜誌五三九種あり、スウェーデン語のもの一〇八種、兩語で書かれたもの七四種、その他の言語で書かれたもの一一種を數へる。フィンランドの主要日刊新聞は別表に見られる如く一九紙を數へるが、その他週刊としては、Mercator (スウェーデン語・經濟誌)、Pallero (協同組合運動の農業誌)、Yhteistyö (協同組合運動誌)がある。また月刊にはBank of Finland Monthly Bulletin (經濟・財政方面の英語誌)、Nya Argus (政治・文學方面のスウェーデン語誌)、季刊には Finnish Trade Review (經濟方面の英語誌)、Utläs (經濟方面の英語誌)を主なものとする。以上の各誌はすべて首府ヘルシンキにて發行されてゐる。

主要新聞紙

Table with 3 columns: 新聞名 (Newspaper Name), 發行地 (Place of Publication), 政黨 (Political Party). Lists various newspapers like Helsingin Sanomat, Ajan Suunta, Hufvudstadsbladet, etc., and their affiliations.

【ニュース報導機關】またフィンランドにおけるニュース報導機關としては半官的の Suomen Tietolinisto (STL)・獨立の Pressenrikas 社會民主黨系 Työväen Sanomalehtien Tietolinisto (TST) の三社を數へる。

E スポーツ 世界的にスポーツが最も隆盛なる國である。一八七〇年時代に運動體育團體が成立し始め、八〇年には一〇八、會員數三、二九六人、一九〇七年には三一九の團體と一、六一六人の會員が増加した。最近には四一七の團體と三六、七〇〇人に達し、全くスポーツの王國である。なほ、一九四〇年の國際オリンピック大會の開催地としてフィンランドはイタリヤ、日本と非常な競争をなしてゐる。

V 文化

A 文化概観

住民の殆んどがアジア系のフィンランド人であるために特殊の民俗を有してゐた。然し長いスウェーデンの統治と文化的接觸のためその文化の影響強く、容貌、風俗も殆んどこれに同化する。宗教は主として新教を信じてゐる。なほ西南沿岸地方にはスウェーデン人が多く、ためにスウェーデンとの文化的區分の困難なるものがある。特にフィンランドは體育文化が極めて盛んであり、世界オリンピックの競技には常にその選手權獲得に極めて優秀なる成績を示してゐる。長距離マラソンのアルネ・ボルグなどはその代表的のものである。

また建築様式においても頗る卓抜なるものを有してゐる。ヘルシンキ停車場は近代の交通の新様式を備へ、その國會議事堂はシーレンの設計により、直線形の美しい形式を示す。なほパイモの病院建築はアルバート・アノルトの構築するところ衛生採光の最も完備せるものである。なほ古代の建築ではアントレアの木造教會、アポールの古城等は建築史上著名なるものである。首都ヘルシンキは建國以來俄かに活氣を呈

B 宗教

國教はエヴァンジェリカル・ルーテル (Evangelical Lutheran) 派であるが、信仰の自由は許されてゐる。宗教的には國內は五倍正管區に分たれ、そのうち五六のプロヴォスト區 (Provost), 五九八のバリシユ區 (Parish) に分たれ、ツルク (Turku) が大僧正の管區となつてゐる。

し、古代文化を復興し、その大學圖書館は有名な珍籍を多く蔵し、ボルガ市は國民詩人ルエーネベルグの生れし市であり、その詩篇によつて著名である。【カレワラ百年祭】一九三五年二月二八日、「カレワラ」百年祭が盛大に行はれた。フィンランド人は古來バラッドを好み歌ひ、詩は非常に多數に上る。一八三五年に、エリアス・レーン博士 (醫學者) は二五篇のバラッドを蒐集し、更に一八四五年に二五篇を増補し、フィンランド創造の一大叙情詩を出版す。一八五二年に至りシフネルによりドイツ譯成り、次いで歐洲各國に翻譯さる。「カレワラ」は世界的な一大叙情詩であり、シャーマニズムの自然崇拜的汎神教による天地創造の讃歌である。至高の神ウッコは呪法である「創造の言葉」を稱へ、大詩人であり大英雄であつた。ロンゲフェロの「ヒアワサ」は「カレワラ」の模倣と云はれ、「イリアス」、「ニーベルンゲン・リード」にも比すべき世界文學である。「カレワラ」がフィンランドの諸藝術に及ぼした影響は極めて大であり、數多の劇、繪畫、音樂等はこれに主題するものが大部分である。世界的大作作曲家シベリウスはこれを素材として絢爛流麗なる交響詩の傑作を創作す。「トウオネラの白鳥」は著名なる作品である。

また一九一九年には労働者スポーツ協會が成立し、團體數四〇五、會員三一、五〇〇人に達してゐる。女子の體育聯盟は六八、人員は三、三〇五人を數へる。これらはすべてフィンランド體育協會に屬し、然るに統一の組織によつて統制されてゐる。なほウインター・スポーツは單にスポーツではなく、實用機關となつてゐる。なほ特色あるヘサ・パロ (Pesa Palo) は全國に到る所で行はれ、ヘイスボールと同様なる運動で、ラルリ・ピッカラーが一九一七年に世界に公表せるものである。

フィンランド人は一般にラップ族及びフィン族が多く、偉大なる肉體を有し、また外敵に征服されたために耐久力が非常に大となり、またサウナ (Sauna) なる蒸風呂が寒熱に對する抵抗力を強くしたことはそのスポーツ發達の大なる原因である。フィンランドは一九一二年ストックホルムの第五回國際オリンピック大會に始めて出場し、戦績抜群なりしため世界の驚異となる。【世界的大選手】またフィンランドは世界的スポーツマンとして、ハヤッホ・メル (Pau Nurmi)、コーレイネン兄弟 (Kolmenen)、長距離のウイリー・リッパ (White Rilla)、トラッソンのスタンロース (A. O. Stenroos)、槍投のヨニー・ミューラ (Joni Mygala)、走幅跳のトリス (V. Tuulos)、十種競技のイルヨラ (P. Yrjölä) 及び兄ヤルヴェネン (Järvinen) などの他

フィンランドの世界陸上競技公認記録

種目	記録	保持者	年 度
トラック			
2 哩 競 争	8.59.6	ス ル ミ	1931
3 哩 "	13.50.6	レヘチネン	1932
5 哩 "	24.05.2	ス ル ミ	1924
6 哩 "	29.36.4	ス ル ミ	1930
10 哩 "	50.15.0	ス ル ミ	1928
3000 米 "	8.20.4	ス ル ミ	1926
5000 米 "	14.17.0	レヘチネン	1932
10000 米 "	30.05.2	ス ル ミ	1924
25000 米 "	122.28.8	マルテリン	1930
障 罫 110 米 "	14.4	シヨステツド	1931
フィールド			
圓 盤 投	90.13	ニツクランダー	1913
槍 投	74.02	ヤルヴィネン	1932

多数の世界的な選手を有してゐる。

VI 自然

A 位置 東はツヴェット・ロシアのカレリア自治共和国に隣り、西はボスニア湾及びスウェーデンに接し、南はフィンランド湾に臨み、北はノルウェーに接し、國の一小部のみ北氷洋に開口する。その四極は、極東—東經三二度四〇分、極西—東經一九度一〇分、極南—北緯五九度四〇分、極北—北緯六九度五九分である。

B 地勢 【沿海】 海岸線のうち、北氷洋に面する部分は、冬季悉く氷結して、利用不充分である。南岸のフィンランド湾沿岸及び之に連続する南西沿海は小出入極めて多く、ハンゲ岬 (Hangö) が南西に突出してフィンランド及びボスニアの兩灣を分け、これより北西方ニスタツト (Åstads) に至る間は、無数の島嶼が分布して多島海を形成する。そのうち最大なるものはアーランド群島 (Åland Is.) であるが、こ

これらの諸群島は、波状平原が沈降して其の凸起部のみが海上に残つたものである。以北の沿岸も小出入多く、ニコライスタツト半島附近には又島嶼多く、ワルゲルン島 (Walgren Is.) を最大とする。これらの沿海は北に進むに従つて次第に遠淺となり、沖積地が著しく發達し、近世地盤の隆起せるを證明してゐる。

【陸地】 所謂フェーカンシア楯状地の一部で、片麻岩、片岩、花崗岩などよりなる臺地狀の古地塊であるが、ボスニア灣頭とラドフ湖北端とをつなぐ一線で地形的には二分されてゐる。この線以北は平均高度二〇〇メートルの丘陵で、西北端には一、〇〇〇メートルに及ぶ丘陵もあり、最北部はラップランドの凍土帯となつてゐる。この線以南は西南に向つて緩かに傾く低い臺地で、嘗つてこの地方一帯を被覆してゐた大陸水河の作用による堆石丘が到るところに波狀の小起伏をつくり、その間には無数の氷蝕湖が点在し、そのうち最大なるものはサイマ湖 (Saima) であるが、この地方の南半分の面積中約二五%は、數十萬の湖沼で充たされてゐる。これらの湖沼は天然或は人工の水路により連ねられ、湖沼の排水路は何れも急流瀑布を成す。

C 氣候 フィンランドは極めて寒冷の國で、南端の首府ヘルシンキにおいてさえ、年平均気温は二・八度で、少くも一月より翌年の四月までは河川、湖沼及び沿岸は氷結し、ボスニア灣頭は七ヶ月間氷結してゐる。夏季短く冬季甚だ長く、夏季は日照時間が長い比較的暖い。雨量は北に進むに従つて減少し、北氷洋岸は二五〇毫米以下で、一般に夏と秋に多い。

D 面積・人口 フィンランドの面積は一三二、五八九平方哩で、その他に水面積一七、三二四平方哩がある。人口は一九三〇年一月三十一日に行はれた國勢調査によれば三、六六七、〇六

州別面積・人口 (1930年12月31日國勢調査)

州	面積 (平方哩)	人口	一平方哩平均人口
ウーシマ	4,383	507,708	115.7
ツルク・ボリ	8,397	522,222	62.2
アーヴェナマ	551	27,375	49.7
ハーム	6,737	389,056	57.7
ヴィープリ	12,072	622,553	51.5
ミケリ	6,414	208,901	32.5
クオピオ	13,985	381,100	27.2
ヴァーサ	14,800	582,874	39.4
オウル	65,244	425,278	6.5
計	132,589	3,667,067	27.7

七人で、平均人口密度は一平方哩に付き二七・七人に過ぎない。一九三二年間における人口自然増加は二二、六五二人である。

E 住民 フィンランドの住民の大部分はフィン族 (Finn) で、マジャール、ラップ兩族と共に蒙古系に属するが、多くヨーロッパ人と混血してゐる。住民を使用言語別に分れば一九三〇年に、フィンランド語を用ふるもの三、〇二二、二五七人、スウェーデン語を用ふるもの三、二四、九一六人、ロシア語を用ふるもの八、二一六人、ドイツ語を用ふるもの三、七一九人、ラップランド語を用ふるもの二、一三三人に上る。

F 主要都市 フィンランドにおける主要都市及びその一九三二年末の人口を挙げれば次の如し。Helsinki—二六五、三九一人。Espoo—一六八、四六〇人。Tampere—一五七、八三八人。Vihti—三、一五九、九五五人。Vaasa—二六、九八〇人。Oulu—二五、〇七〇人。Kuopio—二三、八二三人。Pori—一八、九二一人。Kokkola—一八、八五二人。

30

フランス

立憲共和国

英・佛 France, 獨 Frankreich.

I 歴史概観

一、古代史 古代フランスには主としてゲル民族とケルト民族とが住み、國名をガリアと稱せられてゐた。フランス南部地方は紀元前一二〇年頃ローマ人に征服され、前六〇年頃にはガリアもすべて、ユリウス・ケイザルに平定される。以後五世紀間ローマ・ゲルマン文化時代に入る。五世紀の末に西ゴット、ブルグンド、アラマンニ諸侯が領内に對立割據す。

二、フランク王國 フランク族サリ部のクロヴィス王(在位四八一—五一五)出て、フランク族を統一、今日のフランス全土を平定しフランク王國を建設す。メロヴィス王朝と稱し、後八世紀に至りカロルス王朝これに代る。フランクの國力は漸次東方に伸びて、ドイツ地方を併せチャールス・アルテルはサラセン人を破る。ピピンの子チャールス大帝は現在の佛・獨・伊の地方を領有す。帝の死後、八四三年ウエスタン條約にて王國は東西中の三國に分る。末子チャールスは西王國を得て、西フランク王となる。これが今日のフランスの起源である。なほ八七〇年にはメルセン條約にてローレン地方を得、併し中央集権は徹底せず。八八七年、東西フランク王國は永久に分離す。かくて百年を経て九八七年、カロルス王朝滅亡す。

三、カペー王朝 その後、バリ伯フランク公

ユグ・カペーはフランス王位に推される。その血統はフランス大革命にまで持續す。ローマ法典を國內に適用し、大いに主權を擴大す。その極盛期はフィリップ二世(一一八〇—一二二二)であり、東方貿易のために十字軍に大いに功績があつた。

四、ヴァロカ王朝 一三二八年ヴァロカ家が立つ。イギリスとの百年戦争(一三三七—一四五三)が始まり、戦争のために土地は荒廢、農民の搾取甚しく、しかし商業資本の發達は中央集権化を大にす。一五一六年フランシス一世は法王との間に協定し、國王は教會の重要地位及び收入の大部分を自由にすることを得、なほフランシス一世は宗教改革の支持者でありながら、國內にはカトリック教會を授けて新教徒ユグノーを壓迫す。

五、ブルボン王朝時代 ヘンリー三世は一五八九年舊教徒に殺されてヴァロカ王朝亡び、新教徒の首領ナヴァール王(ヘンリー)が王位に就き、ヘンリー四世となり、ブルボン王朝の祖となる。國王は一五八三年舊教徒に改宗。一五九八年ナントの勅令にて新教徒に自由を許す。ルイ一三世幼少にて、一六二四年リシュリー宰相となり、大諸侯を抑壓、ユグノーを全く平定す。絶対王制が確立す。三〇年戦役にてフランスの國威益々大となる。リシュリーの死後、アザレン宰相となり、獨裁政策を踏襲し、一六四八年ウエス

トフアリヤ條約にてエルザスを取り、五九年ピレネ條約にてネーデルランドの一部を奪ふ。

六、ルイ一四世時代 一六四三—一七一五年は絶対王政の極盛期である。統治權は王室參議會と共に宰相に握られ、王權天授説出て、國民文化は燦然として興隆し、ラテン文化の黄金時代となり、宰相コルベールはマーカンテリズムによつて商工業を保護し、農民の壓迫は著しく、植民政策は愈々積極化し、ミシシッピ沿岸を奪ひ、またスペインと結び、三〇年戦争にはハブスブルク家に敵對するプロテスタントを支持し、西ヨーロッパの最盛國となる。フランク語は各國上流社會の一般語となり、ルイ王宮は各國宮廷の典型となる。一六八五年、ナントの勅令の廢止は、二〇萬の新教徒をして國外に逃亡せしめ、産業大いに衰へ、國家の財政全く窮乏し、大革命の遠因となる。

七、アンシャン・レジーム ルイ王朝の末期には王政は第三階級と衝突するに至り、重農學派は生産と流通の自由を要求し、啓蒙時代の唯物的自由思想はルソー、ヴォルテール、ホルバック、ラメトリー等のアンシクロペディアの積極的主張となり、王權と貴族社會との腐敗は暴露され、國內の經濟的矛盾は益々深刻化し、初期ブルジョア階級は政勢的となり、農民、プロレタリアートは暴動化するに至つた。かくてルイ一六世(一七七四—九二)のテュルゴ、ネッケル等の財政經濟變革も既に遅く、一七八九年ルイ一六世によつて召集された三部會は憲政議會に轉じ、フランス大革命に進展す。

八、大革命の勃發 王は議會に對抗して兵を出し、ネッケルを罷免す。七月一日、パリ市民は激昂してデミリアンの煽動によりバスチーユを破壊、農民の反亂各地に勃發、八月四日、國民議會は天賦人權の宣言をなす。暴民市中に

充滿、一〇月五日ウエルサイユ王宮を襲ひ、王族をパリに送り、チュイルリー宮に閉閉す。貴族、僧侶は國外に亡命。ミラボーは緩和派と争つて立憲王政を布かんとしたが、一七九一年ミラボー病死。議會は過激派に占められ、國王國外に逃れんとしてヴァレンヌに捕へらる。

九、立法議會の成立 この立法議會が成立し、シロンド黨は共和政治を立てんとし、一七九二年オーストリアに宣戦す。オーストリア・プロシア軍は攻撃し來り、人心益々悪化、ジャコバン黨はダントンによつて反共和黨國事犯數千人を殺す。國民公會成立し、王政廢止を決議、一二月、ジャコバン黨はシロンド黨を敗り、國王を議會にて審問、翌九三年一月一日國王は一票の差にて死刑を宣告され、二日ギロチンに崩す。かくて歐洲列國は聯合軍を組織、六月二日ジャコバン黨は議會を包圍して三十一名のシロンド幹部を捕ふ。七月一日マラーはジャコバン・コルデイに殺さる。

一〇、恐嚇政治時代 かくて恐嚇政治の時期に入り、公安委員會は絶對權を有し、ロベスピエール、カルノーが主宰し、各聯合軍を撃破し、また國內の死刑は無數にて、九三年一〇月二日王妃マリー・アントワネット、三日カラン夫人等が死刑にさる。なほジャコバン黨はエベール一派の極左派、ロベスピエールの公安委員派、ダントンの穏和派に分裂、遂にロベスピエールは他派を破つて獨裁したが、九四年七月二七日(テルミドール九日)にロベスピエール等は捕へられて斷罪さる。かくてジャコバン黨潰滅し、國民公會は九五年六月二三日新憲法を制定せんとしたが、王黨、保守黨の反對強く、一〇月一日(ワンデミエール三日)の革命となり、議會を暴徒は攻撃したが、ナポレオン・ボナパルトは擁護されて議會軍を指揮し

て鎮壓に成功す。

一、ナポレオン時代 一七九八―九九年、ナポレオンはエジプト遠征から歸り、一月ブリュメールのクーデターにより總裁政府を敗つて執政政府を立て、武斷獨裁期に入る。一八〇〇年ナポレオンはアルプスを越へてイタリアに侵入、一八〇四年ナポレオン皇帝即位、一八〇五年イギリスによる第三回對佛大聯合成。同一年一月、フランスに對する大陸封鎖令を發す。全歐中、イギリス、トルコを除きすべて同盟國となる。一八一二年ロシア遠征にて失敗し、一〇月ライプツヒの戦に敗れ、一四年聯合軍はパリを陥れ、ナポレオンはエルバに流さる。ルイ一八世即位、一五年三月突如ナポレオンはエルバを脱出、パリにて即位、六月ワテローに大敗、再びセント・ヘレナに流さる。

二、王政復活以後 ルイ一八世即位、二九年ボリニヤクの彈壓政治に人心全く離反。三〇年七月二五日、パリに暴動起り、三〇日王軍敗れ、チャールス一世イギリスに亡命、ブルボン王家亡ぶ。ルイ・フィリップ即位、妥協政治を行ふ。外交上の失敗多し、イギリス等の王政反對運動強化す。一八四八年二月一日共和黨の選挙法改正案が否定され、二月二日暴動パリの勃發、王はイギリスに亡命、共和制を宣言、二月革命成る。一月四日新憲法成立、二月ルイ・ナポレオンが大統領となる。一五年クーデターにて議會の反對派を抑へ、更に五年二月皇位に就き、クリミア戦争にロシアを破り、五六年のパリ條約にて最強國となり、一八六六年普墺戦争にてプロシアの勢力大となれるを憎み、一八七〇年イスパニア王位繼承問題を

にてプロシアと衝突、遂に普佛戦争が七月に生じ、九月セダンに降服す。

三、第三共和國 バリはカンベッタ等の國防政府にてこれに對抗し、重圍四ヶ月、糧食盡きて七一年一月二八日陥落、チュイルはビルマルクとウエルサイユに會見、エルザス・ローレンの割譲と五〇億フランの償金を定む。七一年三月パリ・コンミュニオンの反亂、一時パリを獨裁す。チュイル、マクアオンはこれを鎮定、七二年までに五〇億フランをプロシアに完済す。マクアオン大統領となり、七五年二月共和制憲法を制定。東方の植民政策を進展せしめ、また一八七二年のオーストリア、ロシア、ドイツの三帝同盟はロシアとフランス接近のため、またチユニス問題にて佛伊の對立激化のため、遂に一八八二年獨逸・伊の三國同盟成立。フランスはロシアと九一年に同盟す。イギリスはロシアに對して一九〇二年に日英同盟、同四年に英佛協商が成立、一九〇五年、モロッコ問題は一時、佛獨大いに悪化す。一九〇七年には英露協商を締結、一九一四年遂に世界大戦となる。

四、世界大戦以後 大戦中舉國一致にてボアンカレ、クレマンソー、ミラン、ジョフル、フォッシュ等の人材内閣の統制の下に遂にこの大戦の快勝を得た。一九年に總選挙があり、右翼諸黨の勝利に歸す。ロシア革命に對してデニキン、ポランド軍を支持し、またドイツに對しては二三年ルール占領、國際聯盟を主宰し、また中歐の小協商を成立、併し二四年以後、農村不況、經濟恐慌は社會黨勝利、同年ツヴェイト承認行はる。更に二七年にボアンカレの「國民團結」政府が成立し、ロカルの外交政策を實行す。この後ボアンカレ、タルデュ内閣が成立し、三〇年以來フランスはドイツに對する封鎖的壓迫を益々強化し、そのためにツヴェ

イトとの接近を大にし、また中歐諸國との聯絡を強固にし、またイタリアとナチスに對する共同封鎖のために協定し、更に三五年のドイツのウエルサイユ軍事條項の單獨廢棄宣言に對して、舊聯合國と結んでその對獨包圍工作は益々積極的に進展してゐる。

II 政治

A 政治機構

1. 憲法 フランスはヨーロッパ大陸における最初の成文憲法國である。一七八九年の大革命以來、一八七〇年の帝政顛覆、翌年の現存の第三共和國の成立まで、政體を變更し、憲法を改正すること實に一〇回の多き三日の憲法を改定した。第一回は一七九一年九月三日の憲法にして、有名なる人權及び公民權宣言に基き三權分立説に則り、主權在民の主義を以つて制限君主制を創設したものであるが、翌年の王政倒壊と共に消滅した。第二回の憲法は一七九三年六月二四日の最初の共和憲法にして、議會の議決を経たる後人民投票によつて確定發布したものである。第三回は一七九五年八月二二日の執政官憲法、第四回は一七九九年一月三日のナポレオンの執政憲法、第五回は一八〇四年のナポレオンの帝政憲法、第六回はブルボン王家の復活の所謂欽定憲法(Charte Constitutive)にして、一八一四年六月四日發布せらる。第七回は一八三〇年八月一日の所謂七月革命の憲法、第八回は一八四八年一月四日の所謂二月革命の憲法にして、第二共和國の成立を規定してゐる。第九回は一八五二年一月四日の憲法にして、大統領としてのルイ・ナポレオン・ボナパルトの權力を擴張、同年十一月二

二日の新帝政憲法である。
【現行憲法】 フランス現行憲法は、一八七〇年九月四日のナポレオン三世の帝政顛覆後、共和制執行の後、一八七五年二月二五日及び六月一六日に發布された所謂第三共和國の憲法である。同憲法は統一的憲法を成すものにあらずして、三個の單行法より成る。即ち、(一)公權の組織に關する憲法、(二)上院の組織に關する憲法、(三)公權相互に關する憲法の三つより成る。然しこれらの憲法は、一八七九年六月一九日に「一八七五年二月二五日の憲法第九條を修正する憲法」と、一八八四年八月一三日の「憲法の一部を修正する憲法」とにおいて二度修正を受けてゐる。従つてこの二修正憲法と前記の三憲法とを以つて、フランスの現行憲法は構成されてゐるのであるが、その規定甚だ不備不完全にして、他國の憲法中に一般に存する規定の漏れてゐるものも少くない。然し現在、右五憲法に規定せられざるものにして、右各憲法の規定に矛盾せざる從來のフランス憲法規定は尙有效だとする解釋が一般に認められてゐる。例へば國民の權利、司法權の獨立、豫算の制定等に關する規定の如きはこれである。

2. 國家體制 一八七〇年のナポレオン三世の失脚後、召集された國民議會によつて共和制が宣言され、現在の所謂第三共和國において徹底せる民主主義的政治機構が基礎づけられるに至つた。即ち、一八七五年の「公權の組織に關する憲法」、「元老院の組織に關する憲法」及び「公權相互に關する憲法」によつてその政治組織の大綱は決定されてゐる。選出、司法、行政の三權は明確に分立し、人民選出の議會は立法府としてその持つ權力の強大なる點においてフランス政治の中樞を爲してゐる。
國家の元首たる大統領は兩院合同の國民議會

第三共和制以来の歴代大統領

Table with 2 columns: 大統領氏名 (President Name) and 就任年月日 (Term Start Date). Lists presidents from Adolphe Thiers to Albert Lebrun.

八五五人に上る。

B 行政

1. 行政権 大統領と「大臣會議」(Conseil Des Ministres)とが行政権を有す。

閣下(Conseil Du Conseil)即ち首相は大統領により任命され、内閣を組織する。實際の行政権はすべて内閣により執行され、大統領の権限は殆んど形式的なものに過ぎない。

大臣はその数一定せず、通常上下兩院議員のうちより選任せられるが、上下兩院議員たることは必要條件ではない。首相は大統領の賛成を得た大臣を選び、大臣は大統領によつて任命せられる。各大臣は夫々各省の一を管理し、自己の行動に對し兩院において責任を負ふ。尚内閣は全體として政府の一般政策に對して兩院において常に責任を取らねばならない。

而もフランス議會は小黨分立し、政黨間の離合集散が極めて激しく、政界が常に不安定なるため、内閣は聯立内閣の形式において組織され、且つその更迭も甚しく頻繁に行はれる。例へば一九三三年より一九三四年二月九日ドゥーメルグ内閣成立まで六度も内閣を更迭してゐるが如き、そのよき一例である。

2. 參事院 ナボレオン一世によつて創設された特殊の機關であつて、Conseil d'Etatと呼ばる。同院は司法大臣によつて主宰せられ、參事員、參事院請願委員(Maître des Requêtes)、會計検査官より成り、いづれも大統領によつて

任命せらる。その任務は主として行政關係の事項に對してその意見を開陳するものであつて、政府はその忠告に従ふべきものとする。また行政訴訟の最終審としての任務を有し、且つ一般行政に對する準據を示す。

3. 現内閣 一九三四年二月九日、バイヨンヌ事件による政界の混亂を救済せんがために成立せる前大統領ドゥーメルグ(G. Doumergue)を首班とする非常時舉國一致内閣は、各派に一年間政治的休戦の諒解の下に綱紀肅正非常時切掛け工作を着々實現しつゝあつたが、同年秋ドゥーメルグ首相が從來下院の不當に廣汎な檢限を縮小せんとする憲法改正をめぐつて党内に對立を生じ、更に假豫算案をめぐつて急進社會黨出身の六閣僚は一九三四年一月八日遂に辭表を呈出し、遂にドゥーメルグ内閣は崩壊を見るに至つた。こゝにおいてアルブラン大統領は下院議員ヴイツソン、外相ラウヴァールに夫々組閣を希望せらるもいづれも辭退、遂に土木相フランダンを首班とする前内閣より右傾せる「政争休止内閣」は同日深更に至り成立し、現在に至る。各閣僚の顔觸は次の如し。内閣の更迭に就いて詳しくは「政治の動勢」を参照。

- 首相 フランダン (Pierre Etienne Flandin)、共和左派(前工務相)
無任所相 エリオ (Edouard Herriot)、急進社會黨(留)
無任所相 マラン (Louis Marin)、共和中央派(前保健相)
外相 ラウヴァール (Pierre Laval)、上院無所屬(留)
法相 ベルノー (G. Perrot)、共和社會派(新)
蔵相 ヴルタン (Louis Fernain-Martin)、共和左派(留)

【現大統領】アルベル・ルブラン (Albert Lebrun) 一八七一年八月二十九日誕生。一九三二年五月一日選出。任期は一九三二—一九三九年とする。ルブラン大統領は、前大統領ドゥーメルグ (Paul Doumer, 1857—1932) が一九三一年五月一三日大統領選挙においてブリアンを破つて當選せるその翌年五月五日パリにおいて、一ロシヤ人 (Paul Koryoloff) によつて暗殺された結果、その後継者として上院議長的位置より議會により大統領に選出さる。

【首府】パリ (Paris) 一九三一年三月七日の國勢調査による人口は、城内二、八九一、〇二〇人、城外二、〇四二、八三五人、計四、九三三、

- 内相 レニエ (Al. Requier)、上院民主急進左派(新)
陸相 モーラン將軍 (General Maurin)、無所屬(新)
航空相 ドゥナン將軍 (General Denain)、無所屬(留)
海相 ビエトリ (François Péri)、共和左派(留)
文相 マラン (André Mallarmé)、急進左派(前選相)
農相 カッセ (E. Cassez)、上院民主左派(新)
商相 マルシヤンヌー (P. Marchandeu)、急進黨(新)
土木相 ロー (Henri Roy)、上院民主急進左派(新)
保健相 クイノー (Henri Queuille)、急進社會黨(前農相)
勞働相 ジャキエ (P. Jaquier)、急進社會黨(新)
選相 マンデル (J. Mandel)、無所屬(新)
恩給相 リヴォン (Georges Rivollat)、急進社會黨(留)
海運相 ベルトラン (William Bertrand)、急進社會黨(留)
植民相 ロラン (Louis Rollin)、共和中央派(留)

C 立法

1. 議會 立法権は立法府たる議會に屬し、上下兩院より成る。即ち、上院は元老院 (Sénat)、下院は代議院 (Chambre Des Députés) と稱せらる。

上下兩院は年々一月の第二火曜日に召集せられる。但し大統領より豫め召集ある場合にはこ

の限りではない。會期は最小限度五ヶ月間とする。兩院議員の過半数に依り召集を要求された場合には大統領はこれを召集する義務を負ふ。大統領は休會の権限を有するが、その期間は一ヶ月を越えることを得ず、且つ同一開會中二回以上に及ぶことは出来ない。また大統領は上院の賛成を得て議會を解散する權を憲法上明確に認められてゐるが、下院解散は立憲政治を破壊するものとして、一八七七年以來、全然その解散を見たことがない。従つて議會は絕對な權力を握り、事實においてフランス政治の中心を成してゐる。

母體より選出せられる縣選出上院議員は二二五名である。その他、一八七五年の法律により兩院合同によつて七五名の終身上院議員が選出せられる。然し一八八四年以來、同法律は廢止せられ、各縣選出の一般上院議員を以つて填補せられることとなり、該空席を生ずる毎に各縣に對して抽籤によつて分配せられることとなつた。また嘗つてフランスに君臨せる王朝の子弟は兩院いづれの議員たることを得ない。

議會の權能は立法に就いて發案權及び議決權を有する外、憲法を改正し、大統領を選挙し、また行政機關を監視する權能を有する。下院が財政法案の先議權を有し、上院が叛逆罪に關して高等法院の職務を行ふ以外、兩院の權能は大體において平等である。然し實際上の政治の中心は下院に移るの傾向が強い。

2. 下院

下院議員の任期は四ヶ年、普通選挙によつて選出さる。選挙權は現役軍人及び植民地有名人にあらざる二〇歳以上の市民にして、國內の一市町村に六ヶ月以上定住すること

【上院】議長—Julius Faunemy (左翼民主黨)
左翼民主派 一六八名
共和派聯合 六五名
民主・急進派聯合 二九名
社會黨 一六名
左翼共和派 一三名
右派(王黨派) 五名
無所屬 一七名
計 三一三名

3. 上院

上院議員の選出は間接選挙により、その定員は三一四名である。その任期は九ヶ年にして、四〇歳以上の市民より選出せられる。うち三分の一は三年毎に交代改選せらる。その選挙母體は、(一)人口に比例して各自治團體より選出された代表者、(二)各縣の下院議員、縣會議長、縣會議員等より構成さる。この選挙

【下院】議長—Fernand Bouis (社會黨)
急進・急進社會黨 一六〇名
社會黨 一二九名
左翼急進派 四九名
共和・民主派聯合 三八名
左翼獨立派 三七名
共和中央派 三五名
左翼共和派 二九名
共和社會黨・フランス社會黨 二九名
共和社會派 一八名
人民民主派 一六名

共産黨	一〇名
社會行動派	七名
無所屬	一五名
獨立派	一四名
その他	二四名
計	六一〇名

D 司法

フランスにおける下級裁判所は各カントンに設けられてゐる治安裁判所 (Juge de Paix) 等細なる民事事件を處理し、且つ警察裁判所にてすべての違警罪 (Contraventions) を取扱ふ。懲戒裁判所 (Correctional Court) は懲役五年までの中犯罪 (delits) を處理する。同裁判所には陪審官無く、第一審民事裁判所に屬する判事三名より成る。すべての犯罪は豫審判事 (Juge d'instruction) によつて秘密裡に調査され、その事件を却下するか、或は公判に送附するかが決定される。巡回裁判所 (Court of Assize) は犯罪たり得る罪に關する事實の有無を多數決にて決する。二名の陪審官によつて輔佐せらる。上級裁判所は、(一) 全國に二六の控訴院 (Court of Appeal) が設けられ、それ／＼控訴院長の下に各種の司法官が置かれ、陪審に附されない刑事事件を處理する。(二) 大審院 (Court of Cassation) はバリーに置かれ、陪審によつて行はれたすべての刑事事件を處理する。

また民事裁判所は嘗て各區に第一審裁判所が設けられ、二百フラン以上千五百フラン以下の民事訴訟を處理してゐたが、一九二六年九月三日の法令により、縣首府以外のこれ等の裁判所はすべて閉鎖せられるに至つた。然し主なる縣においてはこれ等の裁判所は數部に分け、首府以外の主要都市にも置かれてゐる。これ等の裁判所の外に、民事事件を取扱ふ上級裁判所に

は控訴院と大審院とが置かれてゐる。また商業上の訴訟を處理するために、全國二六都市に商業裁判所 (Tribunals of Commerce) 及び勞資協同裁判所 (Conseil des Prud'hommes) が設けられてゐる。またすべての都市には民事を取扱ふ警察裁判所がある。

すべての裁判官は共和國大統領によつて任命せらる。而してすべての裁判官の身分は保證せられ、從つて裁判官の解任は最高司法會議 (Conseil Supérieur de La Magistrature) として構成されてゐる大審院の宣告によつてのみ爲され得る。

E 地方行政

1. 縣行政 フランスは行政上八九縣 (Departments) と一地方 (Région de Belfort) とに分けらる。各縣には中央諸官省の代理機關が置かれ、政府任命の知事 (Préfet) により統轄されてゐる。知事は縣參事會 (Conseil de Préfecture) によつて輔佐せらる。然し縣參事會は、縣會 (Conseil Général) が立法機關なるに反して、行政團體なるも、知事はその忠告に從ふの義務を持たない。知事は行政執行官にして、法律の運用執行、警察の統制、各省關係事項に對する報告、下級官吏の任命、縣におけるすべての官吏に對する統制、等々の職能を持つてゐる。縣首府のある區及びセータ州を除く他のすべての選舉區 (Arrondissement) には副知事 (Sub-Prefet) が置かれたる。

2. コミュニティン行政 地方行政の單位は市町村 (Commune) であつて、その大さは各種各様であつて一定の制限はない。一九三一年度における「コムミュニティン」の數は全國九〇縣に三八、〇〇〇四市町村を數へることが出来る。それ等の大多數は人口一、五〇〇人以下で、三三、九六〇

を數へ、うち人口五〇〇以下のコムミュニティンは二二、四九一である。然るに人口二〇、〇〇〇以上のものは一七三を數へるに過ぎない。

【市參事會】コムミュニティンは自治を許され、一〇名乃至三六名より成る市參事會 (Conseil Municipal) によつてコムミュニティン關係行政を執行せらる。參事會は普通選舉と連記投票 (Scrutin de Liste) によつて選出され、任期は六ケ年、成年に達せるフランス人にして、六ケ月以上定住せるものには凡て選舉權が與へらる。但し參事會のすべての決定は知事の賛成を必要とし、尙その多くは法律として效力を發生するために縣會或は大統領の認下を必要とする。

【市長】參事會は市長 (Mayor) を選ぶ。市長はコムミュニティンの代表者であり、同時にコムミュニティンにおける中央政府の代表者でもある。市長は地方警察の長にして、その部下の警察官と共に知事の命令の下に職務を執行する。

3. カントン行政 コムミュニティンの外に、裁判上の區劃としてカントン (Canton) があり、一九三一年にはその數三、〇二四にして、平均一、二〇〇コムミュニティンより成る。然し大なるコムミュニティンはこの反對に數個のカントンに分けられてゐる。これは治安裁判所 (Juge de Paix) の所在地にして、行政上の區劃ではない。

4. 區行政 以上の區劃の外に、全國は二七九區 (一九三一年) に分けられてゐる。區は即ち選舉區 (Arrondissement) として、區參事會 (Conseil d'Arrondissement) が選舉せられる。その定員は區内におけるカントンの數と同じで、主なる職能は縣會により各區に割り當てられたる直接税をそれぞれコムミュニティンに割り當てることにある。區には縣首府のある區を除き副知事が置かれ、その統治下に置かれる。縣を構成する區の數は不定で、各縣には縣會 (Conseil

(Cetena) が普通選舉を以つて一カントンに一議員の割合にて選出され、三年毎にその半數は改選される。縣會は縣における立法機關であつて、その任務は縣内におけるすべての經濟上の事項を審議し、區に對する直接税の割當で、道路工事、學校、並びに貧民救濟等を議決する。これ等の議決は知事によつて統制され、或は大統領によつて却下され得る。

F 政黨

1. 概観 フランスは古くより小黨分立の國として有名である。これは近々二世紀の間に政黨を變革し、憲法を改變すること十數度の多きに及ぶ政治事情と、フランスの國民性が極めて個人主義的にして、且つ階級的に見ても、ブルジョアが多く、鞏固な政治統制が行はれ難い爲である。各種の政黨以外に、幾多の議會内政黨が存在し、政黨別必ずしも政派別と一致せず、且つ又その名稱も兩院同一ではなく、混雜を極めてゐる。即ちフランス下院においては、交渉團體たり得るには少なくとも一四名の議員を擁することが必要であつて、この條件を持つた團體が初めて重要委員會に参加し得る權利を有し、比例代表制により交互に委員を割當てられる。從つて院內政黨は、政黨が院內において独自の交渉團體を組織し、且つすべての委員會に参加し得るだけ充分強力である場合のみ、政黨の名と一致する。即ち、この種の有力な政黨は急進・急進社會黨 (Radical and Radical Socialist Party)、社會黨 (Socialist Party)、共和派全國同盟 (Republican National Alliance) の三つである。然し共産黨のみは現在においてもいづれの委員會に参加し得なくとも、それ自身院內において独自のグループを爲してゐる。他のすべてのグループは或る政黨、又は或る個人の指導者の中

心として結合してゐる。その他、無所屬の議員が一團を爲して交渉團體を爲してゐる。

これ等の政黨及び議會内政黨は大體左派 (Left) と右翼中央派 (Right Centre) との二大分派に分けることが出来る。即ち左派は嘗ての「左派聯盟」(Cartel des Gauches) によつて、上院における左翼民主派 (Democratic Left) と、下院における急進・急進社會黨、社會黨、共和社會黨 (Republican Socialist Party)、フランス社會黨 (Republican Socialist Party) より成り、現在兩院における勢力はいづれも絶對多數を占めてゐる。右翼中央派は嘗ての國民ブロック (Bloc National) であつて、上院における共和派聯合 (Republican Union)、左翼共和派 (Radical Left)、民主・急進派聯合 (Democratic and Radical Union) と、下院における共和・民主派聯合 (Republican and Social Action)、人民民主派 (Popular Democratic and Social Action)、人民民主派 (Popular Democrats)、左翼共和派 (Left Republicans)、獨立派 (Independents) の一部の急進派等とより成る。これ等の議會における二つの聯合團體が他國における二大政黨の如く對立し、内閣はその支持の基礎の上に立つてゐる。

以下、フランスの政黨を前述の如く左派と右翼中央派に二大別して、その各々に所屬する各政黨を見、次にその最右翼を爲す王黨派各政黨と、最左翼を爲す共産黨とを見、最後に前記各政黨以外の上院下院の政派グループを、その政綱及び指導者に就いて個別的に略説する。但しこの最後の院內各政派は決して政黨と別個の存在ではなく、と云つて必ずしも各政黨に附屬してゐる譯でもない故、或る場合には重複する場合も少なくない。(また各政黨及び院內各政派の現在議院内における勢力關係は、「立法」の項を参照)。

2. 左派 【急進・急進社會黨】フランスにおける最大の政黨の一つであつて、屢々政權を掌握し、或は政府を統制する。その組織は全國的であつて、政策は概して進歩的であるが、完全なるブルジョア政黨で、現社會秩序の維持を目標とする保守的各政黨と、新しき經濟、社會秩序の建設を希望する社會主義的政黨との中間を行くものである。主として小農、小賣商人、官吏等の利益を代表する。同黨は最近著しく政界に對する影響力を弱めて來た。といふのは黨指導者が議會における各友黨との妥協に失敗したに原因してゐる。その結果、最近一方においては穩和共和派が、他方においては社會黨が著しく勢力を増大して來た。同黨は他の政黨及びグループとの提携において極めて日和見主義的である。同黨の政綱は次の如し。

同黨の對外政策は國際聯盟、各種賠償協定、ロカルノ諸條約、ロシアとの協調、積極的軍縮、ヴァティカンとの外交關係の中止等を主義とする。國內政策は、常備軍及び軍費の減少節約、下院の上院に對する優越、上院議員選舉の民主化、自治團體の權限の擴張、官業従業員の民主的組織化の許與、各種の社會改良、所得、財産事業税及び國家專賣の擴張、消費物に對する間接課税の反對、勞働者保護の法制化等をその綱領とする。この急進・急進社會黨の下院グループに相當するものは、左翼民主黨の上院グループである。以下、同黨の黨首、上院及び下院における黨首領を列記する。

黨首——Raymond Herriot (下院議員、前首相、現無任所相)
 上院領袖——Joseph Caillaux (前首相)、Th. Steeg (前首相)、Albert Sarraut (前首相)、Maurice Sarraut (前首相)、René Renoult (前首相)、Bianvenut-Martin (院內總務)、Justin Godart (前

保衛相) René Besnard (前労働相)。
 下院領袖——C. Chantemps (前首相) A. Berthod, Yvon Delbos (前社會教育相) André Hesse (前植民相) Louis J. Maloy (前内相) A. Durafour (前労働相) Léon Archimbaud, L. Lamoureux (前植民相) Julien Durand (前首相) Pierre Cot (前航空相) J. Mistrler (前郵便電信相) M. Albert Dalimier (前植民相) G. Bonnet (前蔵相) Edouard Daladier (前首相) M. J. Pagnon (前工務相) M. Marchandean (前豫算相) André Marie, Paul Eliey, Léon Meyer (前海運相)。

【社會黨】第二インターナショナルに属し、一九〇五年の創立にかゝり、ジャン・ジョーレス (Jean Jaures) の改良主義的綱領を忠実に遵奉し、且つマルクス社會主義の穏和なる立憲的綱領を奉ずるも、共產主義には反對し、民主的、サンチカリスト的手段を固執してゐる。そして同黨は聯立内閣に關係を送つて責任を分擔することを欲しない。

同黨の對外政策は軍縮の國際的協調、但し國防原則の確立、國際聯盟、國際労働組織、ロカール諸條約、ロシアとの協調の支持、ヴァチカン排撃、強制兵役義務の短縮、軍備縮小等を主義とする。國內政策においては、上院権限の縮小、無料非宗教的義務教育の擴張、外債の反對、關稅障壁及び間接消費稅の引上げに對する反對、行政の節約、直接稅(特に大財産に對する)の擴張、大産業の國有化(例へば鐵道の如き)、國家專賣の擴張、農業労働者、小地主、小作人の保護、官業従業員の組織權の確立、労働者保護の法制化、等々を主張する。

一九三三年一〇月の社會黨大會以來、黨内に分裂が起つた。新黨がフランス社會主義者黨 (Parti Socialiste de France) の名の下に組織さ

れた。この派の指導者は Pierre Renaudel, Coimpey Morel, Adrien Marquet, Alexandre Varême, Montagnon, Marcel Déat 等である。然し大部分の勢力は社會黨に止つてゐる。黨の指導者は次の如し。

下院領袖——Léon Blum (院内總務) Vice-président Auriant (前院内總務) Fernand Bouisson (現下院議長) Frossard。
 院外領袖——Rabouy, Morizet, Betoulie, Faure。
 【フランス社會黨】全國的組織を持つて、議會における勢力は僅かである。その政策は極めて日和見主義的にして、急進派と社會黨との中間的存在にして、理論においては後者に近く、實際政治においては前者に近し。ブリアン (Blum) 及びヴィヴァンヌ (Viviani) によつて、一九〇五年の阿姆斯特ダム大會後、フランスの二社會黨の合同に賛成せずして、創立されたものである。その對外政策は國際聯盟を支持し、ドイツと密接なる了解を遂げんとし、その國內政策は穏和なる社會主義を實踐化せんとする目的において國家の獨占事業を擴張せんと欲する。

黨領袖——Anatole de Monzie (前首相) Louis Soulie (上院議員) M. Violette (上院議員) Emilie Faure (下院議員) Pierre Viotot (下院議員) André Breton (下院議員) Bihic (下院議員)。

3. 右翼中央派 【共和派國民同盟】 (Republican National Alliance) 政黨と云ふよりむしろ一種の聯合團體である。その對外政策は既存條約の嚴格なる實行と國境の確保を主義とする。且つヴァチカンとの外交的關係の持續を希望する。國內政策においては宗教問題に對す

してゐる場合が少くない。これはフランス政界の著しい特徴である。

【共和・民主派聯合】 (Republican-Democratic Union) 富裕なる非王黨派貴族、産業界及び金融界の指導者を背景とする下院の保守的グループにして、議會において共和派國民同盟と提携して、右翼中央派の主要勢力を爲してゐる。その對外政策は、平和條約の嚴重なる履行、賠償協定の絕對反對、軍備縮小の不可能、防備的軍備の完成、政治的同盟を主張する。國內政策においては、陸海軍の擴張、教會の保護、宗教教育の自由、大統領權限の擴大、労働の組織化反對、八時間労働制及びその他この種の法制化反對、經濟における個人主義の徹底、需要供給の完全なる自由等をその主張とする。該同盟は上院における共和派聯合のグループと殆んど同一行動を取つてゐる。

領袖——Louis Marin (前恩給相) François de Wendel, Georges Bennefous (前首相) Billaud (前保衛相) Taillinger, Ybarngarny, Edouard Soulier。

【國民共和社會黨】 (National Republican and Social Party) 下院における共和派聯盟 (Republican Federation) の内訌派によつて一九三〇年一〇月組織されたもので、對外政策は著しく國家主義的であり、國內政策は政府の權力の強化を主義とする。

領袖——George Pernot, Cautru。

【左翼共和派】 (Left Republican) 下院における右翼中央派の左翼を成すもので、日和見主義的穩健な保守主義的グループで、傾向は積極的であり、社會主義的、平和主義的、反教會主義でない政府ならばすべてこれを支持し、一致協力する。同派は上院における共和派聯合と提携してゐる。

急進主義に反對であり、所得、事業稅及び富裕階級の負擔になる各種課稅の増加新設、且つ商業界及び産業界における國家の優越並びに國家の獨占事業、また階級闘争主義に飽くまで反對する。

黨領袖——Alexandre Millerand (前大統領、上院議員) M. Hervey (上院議員) Louis Marin (前恩給大臣、下院議員) Ed. de Warren (下院議員)。

【共和民主社會黨】 (Republican-Democratic and Social Party) 一九二〇年に組織され、一九〇一年カルノー (Carnot) によつて組織された共和・民主同盟 (Republican-Democratic Alliance) に基礎を置くものである。同黨は工商業中産層の利益を代表するものである。國家組織及び教育制度においては非宗教主義と自由經濟を標榜する。對外政策はドイツに對しては斷乎たる態度を主張し、ロシアとの協定に反對し、ヴァチカンに對しては親善なる外交關係の持續を希望する。國內政策においては宗教の自由を以つて世俗主義を主張し、反社會主義、ストライキ反對、行政の穩和なる地方分權化を主義とし、經濟自由主義の徹底に賛成し、所得稅及び事業稅に反對しない。

下院における左翼共和派、民主社會行動派、左翼急進派 (Radical Left) と、上院における共和派聯合、民主急進派聯合とが同黨に屬するものである。

黨領袖——Raymond Poincaré (前首相、前大統領) P. E. Flaudin (黨首、現首相) その他 M. Ratier, Léon Dérand (前首相) Henri Chéron (前蔵相) Charles Chamet 等、以上四名が上院指導者。L. Bardy (副黨首) Paul Reynaud (前蔵相) Robert Thoumyre 等、以上の三名が下院指導者。

領袖——P. E. Flaudin (現首相) François Péri (前豫算相) Sibille, Bonnevay (前法相)。

【左翼急進派】 (Radical Left) 下院における急進・急進社會黨を支持し、社會黨に反對する傾向を持つ日和見主義的グループにして、反教會的色彩に乏しく、ヴァチカンとの外交的關係の持續を希望するも、教會權力の復活には反對する。また同派はロカール條約を支持し、上院の左翼民主派、及び民主・急進派聯合と提携してゐる。

領袖——Laurent Fynac (前首相) Germain Martin (前蔵相) Charles Daniellon (前保衛相) Mallarmé (前郵便電信相) Henry Paté, Morinand。

【左翼獨立派】 (Independent Left) 嘗ての急進社會黨無所屬であつたものの一派により作られ、下院の日和見主義的グループである。

領袖——J. Montigny, Raymond Patenotre, Fernand Laurent, Henry Torles, Guy la Chambre (前陸軍大臣)。

【人民民主派】 (Popular Democratic) 下院における右翼中央派に屬し、嘗てのカトリック自由派の殘黨の集つたもので、積極的經濟、社會改良における僧侶の最も進歩的思想を代表してゐるが、社會主義には絕對反對の立場に立つてゐる。教會權力の回復、鞏固な世襲的政權を標榜するも、王黨派或はファシストを内包しな。上院における勢力と何等提携してゐないが、共和派聯合と親しき關係を有する。

領袖——Paul Simon (院内總務) Champetier de Ribes (前恩給相)。

【中央共和派】 (Republican Centre Group) 左翼共和派の多派が黨の統制を著し、一九三二年六月エリオ内閣に對して不信任投票を爲した爲め、タラディエがこの新しい政派を下院に作

4. 王黨派 【アクション・フランセーズ】 (Action Française) 最も過激なる國家主義者及び反共和主義者より成る。同黨は上院に何等の代表者を持つてゐないが、然し全國的に鞏固なる組織を持つてゐる。世襲君主制を主義として、反社會主義を奉じ、地方分權主義を主張する。秩序と權力の維持者としてのカトリック教會を復活せしめ、反セミテイムと反外國主義を標榜する。

指導者——Charles Maurras, Léon Daudet にしつ、つれも議院に議席を有せず。

【立憲王黨派】 (Constitutional Monarchist) 議會に議席を有してゐる數名の王黨派、及び人民投票に基ける王朝を目標とする一派 (Plebiscitaires) より成る。議會に獨立の數名の下院議員及び上院の右派 (Right) を結成してゐる數名の上院議員によつて代表せらる。

5. 共產黨 第三インターナショナルのフランス支部である。一九二〇年社會黨より獨立したものであつて、地方的組織がよく完備されてゐて全國的に鞏固な組織を持つてゐる。同黨はすべてモスコウの本部より革命的綱領の指令を受けてゐる。また赤色労働組合及び官業従業員のうちにも盛んに活動してゐる。

下院指導者——Doriot (院内總務) Renaud Jean, Peri。
 院外指導者——Marcel Cachin, M. Marnane, André Marty。

6. 院內各政派 前記の左派、右翼中央派、最右翼の王黨派、最左翼の共產黨以外の上下兩院における諸政派グループを、その政綱及び黨指導者に就いて個別的に見れば次の如くである。但しこれ等の院內各政派は決して各政黨と別個の存在ではなく、と云つても各政黨に附屬してゐる譯けてもないため、或る場合には重複

フランス

【民主・急進派聯合】(Democratic and Radical Union) 上院における反社会主義のグループにして、左翼共和派の右翼に議席を占めてゐる。然し事實その見解においてはより左翼的である。下院における左翼急進派と提携する。

領袖—Raoul Kéré(前蔵相) Paul Strauss; James Hennessy; Le Troquer.

【左翼共和派】(Republican Left) 上院における穏和なる保守的グループにして、教権主義に好意を持つてゐる。

領袖—M. Hervey (院内総務)。

【右派】(Right) 上院における五名の王黨派及びボナパリスト(Bonapartists)より成り、極端なる保守主義と貴族主義を奉ずる。

領袖—de Dion d'Asson.

G 外 交

1. 一九世紀後半の佛外交 一八七一年の普佛戦争はフランス外交に一大變化を來した。それ以前のフランス外交は一七世紀以來、全ヨーロッパ外交の中心に立つてゐたが、その敗北は俄かにその地位を失ふに至つた。外交語にフランス語を用ひたる程に、パリは全歐の外交社會の中心であつた。併し一八七八年のベルリン會議の参加、不参加が問題になつた程にフランスは全く外交方針を決定し得なかつた。以來フランスは積極的に對獨外交を強力化し、ロシアに對する接近を著しくした。一八八二年には獨・埃・伊の三國同盟が成立した。この原因には八年のチュニスのフランス占領がイタリアの反感を大にしたことに原因してゐた。併しこのために一八九一年にはフランスはロシアと同盟し、これより九八年に至る時期は外相アノトの植民政策により積極的に海外發展が遂行せられた。

2. 二〇世紀初頭の歐洲外交 一八九六年一月カイゼルは南阿の反將クリューゲルに援助を與へ、こゝにイギリスはドイツに明確に敵對するに至つた。更に一八九八年デルカッセが親獨外交のアノト外相に代るに及び、外交方針は全く一新す。ドイツは世界政策を實行し、なほエドワード七世の親佛政策は外相ランズダウンの外交により拍車をかけられ、英佛協調は益々明白となつた。一八九八年フアジダ事件は一時英佛外交に暗影を投じたが無事に過ぎた。

3. モロッコ事件 一九〇四年に英佛協定成り、ドイツは全く除外された結果、一九〇五年にモロッコ問題は勃發。ロシアは戰敗國のため力なく、かくてデルカッセはルーヴィエ内閣のために引退するに至つた。アンゼジュラス會議はドイツの宰相ビュローの期待に反し、列強はドイツの暴力を恐み、かくて一九〇七年八月英露協定成立す。更に一九一一年のアカザール事件は益々佛獨の外交關係を悪化せしめた。なほ大戦直前には大統領ポアンカレの外交が行はれ、一四年七月首相兼外相ヴィヴィアニを隨へて露都を訪問、かくて七月三十一日、ポアンカレはイギリス皇帝に親書してイギリスの積極的手段を人類平和のために要求した。

4. 大戦後の佛外交 フランスは平和會議において安全保障と賠償を熱望した。フォッシュ元帥は一九一八年クレマンソーにラインをドイツの國境たらしむべきを提案す。クレマンソーはこれを平和會議に主張、四頭會議は全く一時不調となつた。英米援護協定にてフランスがラインに對する要求を譲歩せるため、クレマンソーは一部より少なからざる批難を受く。次に賠償問題は非常なる難關に遭遇したるも、遂に一九二一年四月二十八日に至り賠償委員會は總額千三百二十億金マークを査定、五月五日ロンドン會

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

【共和派聯合】(Republican Union) 上院における最大の右翼中央派のグループにして、社会派及び急進派に反對する。下院における左翼共和派、左翼共和・民主派、左派民主派、共和・民主聯合等の各グループと提携する。反教権主義にあつても、世俗的法律を支持する。

領袖—Alexandre Millerand (前大統領) Léon Bérard de Wendel; Gen. Bourgeois; Ex-arti; Japy.

この四ヶ年の現役が終つて直ちに一六ヶ年間の第一豫備軍に編入され、その後第二豫備軍たる地方軍に編入され、八ヶ年の兵役義務を負ふものとする。

豫備軍は現役軍が属すると同一の軍團區において動員の際現役に相當して編成される。地方軍は第二線を形成し、動員の際には同様に編成される。

植民地軍は本國軍と異なり、一部白人軍、一部土人軍より編成される。一九三二—三三年度における植民地軍は二五六、一〇三名である。従つてこれ等の植民地軍と本國軍とを合したフランスの全平時兵力は五八六、二五〇名に上る。

【近代科學戰備】 またフランス陸軍は一年在營制の採用と同時に、將來の科學戰に對する準備として、軍の機械化、防空機關の充實、各級幹部に豫備役幹部の近代科學戰術教育普及、要塞守備專任の歩砲兵部隊の整備等に着手し、一九三二年三月の法律を以つて、愈々これが組織並に方法を決した。尙化學研究局及び瓦斯防護材料監査部を設け、オーベルビリエー試験所において、化學戰の實習研究及びその教導に努めてゐる。

3. 海軍 現在フランス海軍の目標はイタリア海軍にある。一九二一年におけるワシントン會議においてフランスはイタリアと同率にて主力艦十七萬五千噸、航空母艦六萬噸に制限せられた。この佛伊の同率は戦後極度に疲弊せるフランスにとつては強ひて反對する力なく不満を忍んで承諾したが、補助艦制限に對してはイタリアとの同率に斷乎として反對した。この主張は一九三〇年のロンドン會議においても佛伊の妥協ならず、補助艦制限協定の成立を見なかつた程である。

即ちフランス海軍の戦略は大西洋方面において驅逐艦又は潜水艦などの奇襲部隊を以つて

佛伊海軍現有勢力比較表

條約別	艦種別	フランス		イタリア	
		條約兵力量	現有勢力量	條約兵力量	現有勢力量
ワシントン條約	主力艦	175,000噸	10隻 212,425噸	175,000噸	4隻 83,532噸
	航空母艦	60,000噸	1隻 22,146噸	60,000噸	—
非條約	甲級巡洋艦		7隻 70,000噸		7隻 70,000噸
	乙級巡洋艦		15隻 97,411噸		16隻 81,768噸
	驅逐艦		59隻 111,947噸		66隻 74,544噸
	潛水艦		81隻 76,789噸		54隻 44,637噸
	補助艦		162隻 356,147噸		143隻 270,949噸

註 本表は1934年9月1日における日本海軍省調査発表によるものにして、艦齡は主力艦26年、航空母艦20年、甲級巡洋艦20年、乙級巡洋艦20年、驅逐艦16年、潜水艦13年とする。

イギリス海軍に對抗し、主力を地中海方面に集結してイタリア海軍に備へんとするにある。殊にアフリカに廣大なる植民地を擁するフランスにとつては地中海はその生命線である。従つて地理的に相隣接してゐる佛伊兩國は地中海の制海權をめぐつて兩々相對峙してゐるのが現状である。

フランスは全國を五海軍區に分つ。即ち、シエール(Cherbourg)・ブレスト(Brest)・ロリアン(Lorient)・ロシフォル(Rochefort)・トゥロン(Toulon)の五軍港は海軍中將を司令長官として各軍區を統轄してゐる。然しロリアン及びロシフォルの二軍區の軍略的價値は最近著しく減少し、重要視せられざるに至つた。また現在、フランス海軍の主力たる第一艦隊はトゥロンに置かれ、輕快部隊をブレストに配置してゐる。

フランス海軍は徵兵制度と志願兵制度とを並用してゐる。一九三二年度におけるフランス海軍の現役人員は將校三、七七七名、下士卒五三、七五〇名を數へる。

4. 空軍 フランス空軍は一九二八年以來空軍大臣の管下に屬し、同大臣の主宰する最高航空會議(Supreme Air Council)によつて一切の航空關係事項は統轄される。一九三二—三三年度における空軍勢力は次の如し。

本國—陸軍航空兵員二六、九一三名、海軍航空兵員四、二九九名。海外—陸軍航空兵員七、四一三名、海軍航空兵員一、五九名。總計三九、九八四名。

本國—陸軍機一、八四七機、同豫備機四七四機、海軍機一〇九機、同豫備機二六機。海外—陸軍機四三九機、同豫備機一三一機。總計三、〇二六機。

その他、飛行船が三隻ある。

本國における陸軍空軍は三師團に分れて編成され、その本部をそれぞれメツ(Metz)、パリ(Paris)、及びトゥール(Tours)に置く。その他、五空軍旅團と二爆撃旅團とが置かれてゐる。斯くの如く世界最強の空中勢力を持つて、フランスは隣接國たるドイツ及びイタリアに對して

12. ラヴァール外交の基調 三四年一二月八日、ラヴァール外相は上院にて次の如き外交演説を試む。「ザールの秩序維持に協力する英伊等の諸國、及びユーゴスラヴィア・ハンガリー問題解決に努力せるイギリスに感謝するものであり、伊ユ關係には、フランスは何等仲介の役目を演ずるものではない。中欧、東歐における政局は佛伊二國の意見の一致によるものである。また東歐バクトに付き、ポーランドとの完全な協調を確保せんと欲す。ドイツとも近く協議してその参加を得んと欲する。」

かくて佛・ソの關係は三二年ドゥーメ大統領のロシア人による暗殺が一時その接近を妨げたが、對ドイツの關係よりして、バルツィ外相は盛んに兩國の親密を計畫し、遂に小協商諸國及びスイス等の反對をも無視して、三三年、ソヴェットを國際聯盟に加入せしめ、リトヴィノフを常任理事に任じ、東歐ロカール條約を承認せしめんとしてゐる。また米ソの國債問題に關し、ラヴァール外相は佛露の國債問題を先きに解決すべきをソヴェットに要求し、このために米ソの國債問題は一つの障礙を蒙つてゐる。(新しい佛ソ關係の進展に就いて詳しくはソヴェット・ロシアの「外交」を参照)。

13. 佛英外相の協約 サイモン外相は一月二二日にフランダン首相、ラヴァール外相と會談、一月二日ロンドンを發表。東歐ロカール協定、佛伊兩國の接近、オーストリアの獨立保障、ワシントン條約等が論議されたと云はる。なほエゴド・パリ主筆アンドレ・ジローは一月一五日同紙上に、「ラヴァール外相は英外相と會見の際、故バルツィ外相の四月一七日付軍縮覺書(一九三四年、第二次對英回答)の立場を輕々しく放棄した。而も同外相が十分軍縮問題を研究すればバルツィ外相と同一の結論に到達する

であらう」と論じてゐる。なほ東歐相互援助協定の成立につき、ポーランド、ドイツの加入は非常に困難に思はれる。新佛英協定の問題に就いて詳しくはイギリスの「外交」を参照)。

H 國防

1. 概説 フランスの國防の基調を成すものは國土の安全を確保し、且つ全世界に互るその海外領土の保全を完うするにある。而してフランスがこの國防上最大の關心を拂つてゐるのは對獨國防にして、その復讐戦は最も恐れてゐるところである。また同時にイタリアに對してもその最近の反佛的傾向に對して着々戦備を怠らず、空軍及び海軍の充實強化を計つて對伊戰に對して周到なる準備を爲しつゝある。イギリスに對しては専ら空軍勢力を充實し、一擧にイギリス海峡を横斷して對英空中制覇を確保せんとする政策を取つてゐるものゝ如くである。

フランス本國は海岸線全長一、七六〇哩、うち大西洋岸一、三〇四哩、地中海岸四五六哩である。またその國境全長は一、六六五哩に上り、殆んど海岸線全長に匹敵する。うちスベイン國境四一九哩にして、その他の一、二四八哩がベルギー、ドイツ、スイス、及びイタリアに接してゐる。この廣大な國境線の守備に對して、フランスは要塞網の完備に努めて來た。これ等の要塞の施設は歐洲大戰の貴重なる經驗と近代最新科學を應用せる難攻不落のものである。一九二八年の一年現役制施行以來、その缺陷を補ふために特に莫大な國費を投じてこれ等要塞の完備充實に努力が拂はれて來た。これ等の要塞に當つてのドイツのストラズブルク(Strasbourg)、メツ(Metz)、及びティオンヴィル(Tionville)の要塞があり、またフランスの第一級要塞にはヴェルダン(Verdun)・ツィーン(Toul)・エゴナ

(Epinal)及びムルフォール(Belfort)の要塞を擧げることが出来る。また沿岸にはツィロン(Toulon)・ロシフォル(Rochefort)・ロリアン(Lorient)・ブレスト(Brest)・シエール(Cherbourg)の軍港があり、堅固なる要塞を以つて圍まれ、海の防禦に備へてゐる。

2. 陸軍 フランス陸軍は本國軍(Metropolitan Army)と植民地軍(Colonial Army)とに分けられ、共に陸軍大臣の管下に置かる。本國軍は現役軍(Active Army)・豫備軍(Reserve Troops)・地方軍(Territorial Army)に分たる。全陸軍はパリ陸軍本部に依り全國を二〇軍團區に分ちて夫々配置される。フランスの軍團(Army Corps)の平時編成は二步兵師團、一騎兵聯隊、三砲兵聯隊、一工兵大隊、觀測氣球一中隊及び一分隊、及び軍團參謀部より成る。

步兵師團は三歩兵聯隊(一聯隊は三大隊)より成り、砲兵聯隊は三部隊より成り、各部隊は三砲兵中隊より成る。騎兵師團は三騎兵旅團(一旅團は二聯隊)一騎砲兵部隊、及び一自動車部隊より編成される。

フランスの平時編成は騎兵五ヶ師團と本國軍現役二五ヶ師團より成り、一九三二—三三年度の兵力は三三〇、一四七名である。うち二五八、一四七名は本國國防に任じ、七二、〇〇〇名は海外守備に任ずる。

一九二八年三月二八日の法令によつて、義務兵役法は一年在營制に改革された。それと同時に長期志願兵制度を設けて下級幹部及び訓練兵の養成に努力し、短期兵役の缺陷を補ふことゝなつた。その數は總計十萬六千名と規定され、うち本國軍は七萬六千名、植民地軍は三萬名である。

一般兵の現役は四ヶ年である。二一歳にして一ヶ年間に在營の後、三ヶ年歸休を許される。斯

空中防禦の完壁を期し、また對イギリス政策における空中制を目標としてゐる。

I 政治の動勢

一、頻々たる内閣の更迭 【タルデュ内閣】一九三二年一月内閣を改造して任命せるラヴァール内閣(Laval)は二月一六日遂に上院において一五七票對一三四票の差を以つて敗れ、遂に挂冠した。こゝにおいてドゥーメ大統領(Ducloux)は、左派内閣を組織するに失敗し、こゝにおいて陸相タルデュ(André Tardieu)は左翼中央派の諸政黨を聯合して内閣組織に成功す。斯くて五月一日、第一日曜日に施行せられた下院總選挙第一投票日における結果はタルデュ内閣の明かな敗北の兆を示した。

【ドゥーメ大統領の暗殺】 然るに第二投票日たる五月八日の三日前の五日、突然大統領ドゥーメは一ロシア人、ゴルグロン(Paul Gorguloff)の兇刃に斃された。こゝにおいて下院總選挙が中途なるため、舊議會は五月一〇日にヴェルサイユに召集され、新大統領(任期七年)として上院議長ルブラン(Albert Lebrun)を六三三票の絶對多數(一一四票は社會黨の Paul Faure)を以つて選出した。

【エリオ内閣】 これより先、下院總選挙の結果は豫想通りタルデュ内閣支持派の敗北に終り、タルデュ首相は正式に新大統領ルブランに内閣の辭表を提出せしめ、大統領の懇請により六月二日新議會の召集の日まで政務を執ることとなつた。斯くて新議會召集され、六月四日には急進社會黨の首領エリオ(Edmond Hériot)は急進社會黨を中心として左派聯合の穩和派内閣を組織するに成功し、三九〇票對一五二票を以つて下院の信任投票を得た。然るにエリオ内閣も一月一四日に至り、戦債支拂問題に關して下院に敗れ、遂に總辭職を見るに至つた。

【ボントール内閣】 こゝにおいてエリオ内閣の命を受けて組閣に着手せしめ中止するの止むなきに至り、結局陸相ボントール(Joseph Paul-Boncour)は一月一八日組閣に成功せるも、翌三年一月、百億フランに上る赤字難により財政は全く行詰まり、一月二八日、官吏俸給五分引下げ法案に對して三九〇票對一九三票の下院の反對を受け、僅々一ヶ月餘にして遂に總辭職をするに至つた。

【ダラディエ内閣】 こゝにおいて一月三〇日、急進社會黨の首領ダラディエ(Edouard Daladier)を首相とする新内閣が成立を見た。斯くてダラディエ内閣は官吏減俸を緩和して無事議會の難關を突破するに成功し、こゝにフランス政局も一應の安定を見るに至つた。その後、フランスの財政的困難は甚しく、ダラディエ内閣も遂に同年一〇月二四日に至り再び豫算案をめぐつて三二九票對二四四票を以つて下院に敗れ、即日挂冠を見るに至つた。

【サロー内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員サロー(Albert Sarraut)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、サロー内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

【シュートン内閣】 次の内相シュートン(Camille Sautoung)は一月二六日、再び急進社會黨を中心として急進左派を除外して新内閣を組織した。然るにこの財政的困難に加へて、

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

空中防禦の完壁を期し、また對イギリス政策における空中制を目標としてゐる。政治の動勢 頻々たる内閣の更迭 【タルデュ内閣】一九三二年一月内閣を改造して任命せるラヴァール内閣(Laval)は二月一六日遂に上院において一五七票對一三四票の差を以つて敗れ、遂に挂冠した。こゝにおいてドゥーメ大統領(Ducloux)は、左派内閣を組織するに失敗し、こゝにおいて陸相タルデュ(André Tardieu)は左翼中央派の諸政黨を聯合して内閣組織に成功す。斯くて五月一日、第一日曜日に施行せられた下院總選挙第一投票日における結果はタルデュ内閣の明かな敗北の兆を示した。ドゥーメ大統領の暗殺 然るに第二投票日たる五月八日の三日前の五日、突然大統領ドゥーメは一ロシア人、ゴルグロン(Paul Gorguloff)の兇刃に斃された。こゝにおいて下院總選挙が中途なるため、舊議會は五月一〇日にヴェルサイユに召集され、新大統領(任期七年)として上院議長ルブラン(Albert Lebrun)を六三三票の絶對多數(一一四票は社會黨の Paul Faure)を以つて選出した。エリオ内閣 これより先、下院總選挙の結果は豫想通りタルデュ内閣支持派の敗北に終り、タルデュ首相は正式に新大統領ルブランに内閣の辭表を提出せしめ、大統領の懇請により六月二日新議會の召集の日まで政務を執ることとなつた。斯くて新議會召集され、六月四日には急進社會黨の首領エリオ(Edmond Hériot)は急進社會黨を中心として左派聯合の穩和派内閣を組織するに成功し、三九〇票對一五二票を以つて下院の信任投票を得た。然るにエリオ内閣も一月一四日に至り、戦債支拂問題に關して下院に敗れ、遂に總辭職を見るに至つた。ボントール内閣 こゝにおいてエリオ内閣の命を受けて組閣に着手せしめ中止するの止むなきに至り、結局陸相ボントール(Joseph Paul-Boncour)は一月一八日組閣に成功せるも、翌三年一月、百億フランに上る赤字難により財政は全く行詰まり、一月二八日、官吏俸給五分引下げ法案に對して三九〇票對一九三票の下院の反對を受け、僅々一ヶ月餘にして遂に總辭職をするに至つた。ダラディエ内閣 こゝにおいて一月三〇日、急進社會黨の首領ダラディエ(Edouard Daladier)を首相とする新内閣が成立を見た。斯くてダラディエ内閣は官吏減俸を緩和して無事議會の難關を突破するに成功し、こゝにフランス政局も一應の安定を見るに至つた。その後、フランスの財政的困難は甚しく、ダラディエ内閣も遂に同年一〇月二四日に至り再び豫算案をめぐつて三二九票對二四四票を以つて下院に敗れ、即日挂冠を見るに至つた。サロー内閣 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員サロー(Albert Sarraut)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、サロー内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。シュートン内閣 次の内相シュートン(Camille Sautoung)は一月二六日、再び急進社會黨を中心として急進左派を除外して新内閣を組織した。然るにこの財政的困難に加へて、

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

【エリオ内閣】 こゝにおいて急進社會黨首領、上院議員エリオ(Edmond Hériot)は三年一〇月二七日、ダラディエ内閣と同一の政黨的基礎の上に後繼内閣を組織することに成功せるも、最近のフランスの經濟的不況と、歐洲國際情勢の逼迫による軍事費の増大とはフランス財政を極めて困難ならしめ、エリオ内閣も財政補填難に直面して一月二三日に總辭職するの止む無きに至つた。

文相 アンドレ・マラルメ(急進左派、前選相)
 農相 エミール・カッセズ(上院民主左派、新)
 商相 ボール・マルシャンドー(急進社会党、新)
 土木相 アンリ・ロワ(上院民主急進左派、新)
 労働相 ボール・ジャキエ(急進社会党、新)
 保健相 アンリ・クイヌ(急進社会党、前農相)
 選相 ジョルジュ・マンデル(無所属、故クレマンソーの股肱、新)
 恩給相 ジョルジュ・リヴオール(急進社会党、留)
 海運相 ウイリアム・ベルトラン(急進社会党、留)
 植民相 ルイ・ロラン(共和中央派、留)
 國務長官 ペロー・プロドイニ(急進左派、新)
 【新内閣の施政大綱】 斯くてフランダン新首相は組閣と同時に、「政争休止は繼續する。余は不景氣及び失業を救済し、經濟を建直し、財政を強化し、而して國家組織を刷新改革するため、政争を忘れて努力せんとする人物を内閣に集め得た」と聲明し、急進社会党首領エリオも全力を盡して新内閣を支持すべきを聲明した。斯くてフランダン首相は一月四日、議會においてその施政大綱を發表し、下院においては社会党、共産黨等の反對があつたが、結局四二票對一八票を以つてフランダン新政府の信任案は可決された。フランダン内閣の政見要領を掲げれば次の如し。

「現内閣は依然『政争休止内閣』の延長で、外に對しては同盟關係を擴張し、聯盟規約を尊重すると共に、内に對しては革命政治或は獨裁政治、兩つながら之を忌避せんとするものである。

「又政權安定の必要あることは痛感するが、民意を代表する議會に信頼して國家の改造を遂げんと欲する。而して先づ速やかに新豫算の協賛を得た上、示威運動、武器携帯取締、官吏服務規律の改訂、首相の地位確立、首相官房の設置に關する案を提出し、明年に入り行政、司法、並に選舉制度改正等を新たに提案せんと企圖せんとするものである。

「經濟方面においては自由主義を採用する建前なるも、暫定的措置として生産費の削減、生産、消費兩地における價額の接近、生産品處理の圓滑等につき適當に措置し、信用の恢復、農業の改善、労働市場の統制等を行はんとするものである。右目的に添はんがため首相を會長とする『内閣經濟委員會』を設けて諸種の重要問題の研究を行ふ意圖を有する。

二、バイヨン又事件【パリの暴動】 一九三三年、現代の大詐欺漢であるセルゲ・スタウイスキー(Serge Stavisky)がその不正事件を暴露され、パリにこれを放逐すべき大示威運動が起り、遂に三四年一月九日、スタウイスキーは自殺す。その夜、アクシオン・フランセーズは議事堂の周圍にデモを敢行、三千の黨員は警察隊と衝突、二百五十名の検束者を出す。一月二〇日にもサンジェルマン大通で王黨派と警察隊は争ひ、各三十餘名の負傷者を出す。二三日、官公吏夜がパリ市役所前に示威、八百餘名の検束、夜には「アクシオン・フランセーズ」と「納稅者聯盟」は大デモを行ひ、二十九日夜には騎馬隊と衝突、市中の交通は杜絶す。二月六日、下院の第二次ドラディエ内閣の信任投票に際し、群衆は續々コンコルド廣場に集合、無慮六萬、午後八時一五分、「内閣を倒せ」の暴動化は非常な混亂に陥り、三千の出征軍人も参加、議會では三〇〇票對二一七票でドラディエ内閣が信

の労働相たりし時、三二年六月、市營買戻證券の發行を促進せしめ、またテイシエ支配人とも關係あり、遂に一月八日夜辭職す。またバイヨン市長ジョセフ・ガラも公金費消でバイヨン又市刑務所に入れらる。

b、ハンガリー農業證券事件——スタウイスキーはハンガリー農業證券の發行を計畫して不成功、幾度かの劃策もすべて無駄であつたが、ボンネ蔵相がスタウイスキー關係會社に對する起訴を猶豫せしめんとせることが、下院で攻撃され、遂に不成功に終つた。

c、司法當局の不正事件——一九二六年七月のスタウイスキー三度目の詐欺事件の審理は三四年一月まで前後一九回延期された。バイヨン又市も彼の逮捕を行はず、彼を逃亡せしめた。ジョーダン首相の義弟が検事なりしと云はれ、弟ビエール・ジョーダンが彼の辯護士であり、秘書もまた彼の會社の重役とかいふ關係があつた。

d、議員記者の收賄事件——スタウイスキーは多くの賄賂を出し、彼の辯護士で下院のガストン・ボヌール、急進黨のルイ・ブルウスト、リベール紙の主筆カミーユ・エリマー、ヴォロンテ紙のアルベル・ヂュバリ等はすべてその嫌疑がかけられてゐる。

e、政府の混亂——一月四日、かく政府、官吏等の腐敗が暴露されるや、カミーユ・ジョーダン首相は辯明の演説をなす。五日の議會はモンネ(フランス社会民主黨)がダリミニ首相との關係を追究す。なほスタウイスキーのバリで經營した「アンピール・ミュージク・ホール」は閉鎖された。以來示威暴動運動は頻々として勃發した。ジョーダン内閣は二七日總辭職、ドラディエ内閣立ち、警視總監のシアップ(Chappe)もバイヨン又事件に關係あるとされ辭職、併しこの内閣も忽ちに瓦解、かくて二月八日、元大統領ゾー

III 經濟

A 財政

1. 概説 フランスは大戦前まではヨーロッパにおいて最も遅れた租稅制度を持ち、小黨分立の結果豫算案は毎年議會における政争の中心議題となり、會計年度の開始期までに審議を終了し得ることは稀な状態であつたが、國民經濟の目覺ましい發展のために國庫收入激増して、財政状態は概して良好であつた。然るに歐洲大戰はフランス財政に致命の大打撃を與へた。蓋しフランスは大戦によつて國富も勞働力も莫大な損失を見た。即ち戦費は約千四百六十億フランの巨額に上り、戦時公債は千七百七十五億フランに達した。而も戦後の荒地の復舊のために要する歳出も多く、年々多大の歳入不足をつげ、またフラン貨の暴落甚しく、こゝにフランスは異常な財政難に當面することとなつた。而も歴代の内閣はこの難局を打開せんとする積極的な勇氣と決斷とを欠き、たゞその瀕瀕に日を過した爲め、事態は漸次悪化し、遂に一九二六年の財政、金融の大混亂時代を現出するに至つた。この時、國民の輿望を擔つて起つたボアンカレ一舉國一致内閣は斷乎たる増稅による財政整理改革を斷行し、且つ二八年の平價切下の金輸出解禁に見事に奏功して、國內産業の復活著しく、財政状態も一段と改善されるに至つた。その後、フランスの經濟界は繁榮に恵まれて、財政の整理は比較的順調に進行して來た。然し最近の世界經濟恐慌はフランスに對しては他國に遅れて一九三〇年後半に至り勃發せるも、その影響せるところ甚大にして今日に至るも經濟

任されたが、議員は一步も外に出られず、一時には正規軍出動、亂闘七時間餘、街上鮮血にそまひ、死者一市民六、警備隊三、負傷一市民一七四、警官一八〇、警備隊一三〇、移動警官隊一〇〇名を出す。

【ツィメルグの出馬】 ツィメルグは二月八日トルヌヴェの閉居を出て、ルブラン大統領と會見、後繼内閣を受諾、舉國一致の新内閣を組織、その閣員に元首相六人を含む。かくてスタウイスキー事件は全く外部に暴露せられるに至つた。

【事件の内容】 中心人物スタウイスキーは一八八六年ロシア領ウクライナのキエフ附近の齒科醫の子、一九〇〇年にフランスに移住、歸化す。一九一二年詐欺事件にて禁錮の刑に處せられ、その後出征、大戰後も數度の詐欺事件を起す。彼は多くの偽名を持ち、國際的詐欺行爲をなす。一九二六年以來の事件で、三四年一月二六日、豫審に附せられたが、バイヨン市營買戻不正事件が暴露し、行衛をくらまし、檢事局の嚴重な搜索にあひ、遂にシヤモニーの空別荘で自殺す。

a、バイヨン市營買戻不正證券事件——市營買戻制度(Credit Municipal)は高利貸の弊を除くためにルイ一六世時代に創始、フランス獨特の一大金融機關、質屋の利益は全部慈善事業に當てられ、「おばさん」(Maman)と愛稱される。三三年二月初、バイヨン市營買戻の支那人グスターフ・ティシエ(Tissie)が質屋の賣石類を愛人に與へたことがバイヨン市民の激昂を買ふ。同時に一月五日大藏省は市營買戻證券を檢査し、巨額の不正證券を發見この背後にスタウイスキーがあつて五億フラン以上の不正を働く。この事件は首相アルベル・ダリニエ(Albert Dalimier)に及び、彼がエリオ内閣

最近の歳入歳出豫算 (單位フラン)

年 度	歳 入	歳 出
1929	45,430,717,348	45,366,130,503
1930-31 (1)	50,465,079,818	50,398,167,195
1931-32 (2)	50,643,485,395	50,640,509,352
1932 (3)	41,100,883,494	41,097,501,752
1933	45,645,851,509	50,486,710,242
1934	48,281,366,848	50,162,570,005

(1) 1930年4月1日—1931年3月31日
 (2) 1931年4月1日—1932年3月31日
 (3) 1932年4月1日—1932年12月31日

界は相變らずの不振の状態を續け、僅かに一九二八年の平價五分の一切り下げによつて今日金本位制を固守せるも、最近に至つて金の海外流出著しく、これと同時に最近の財政も赤字難で行詰りの状態を示してゐる。一九三三年一月より一九三四年一月に至る僅か一年間の間に頻々として内閣交迭すること前後六回に及ぶなど、最近のフランス財政の困難を最もよく證明するものでなければならぬ。

2. 主要歳入 現在フランスの財政における歳入の最も大なる項目は租稅である。即ち租稅收入は全歳入の八割以上を占めてゐる。そもそもフランスの租稅制度は大戦前においては著しく保守的にして、大革命以來の傳統たる私有財産尊重と個人の自由との觀念のために租稅も個人經濟の内部に立入ることは極力回避され、主として間接稅によつてゐた。然し戦後の財政の極端なる困難は政府をして四回に互る増稅を餘儀なくせしめ、直接稅が重課せられるに至つた。即ち、大戰直後の租稅收入が僅かに總歳入の二

四八年以来銀行券發行の獨專權を得て来たものである。同行はフランスの中央銀行として銀行券發行の他、再割引、預金等を管み、政府の統制下にフランス金融界の指導的地位に立つ。且つ現在の特權は一九一八年二月二〇日、向ふ二五ヶ年間に亘つて更新されたものである。フランス銀行の資本金は一八二、五〇〇、〇〇〇フランに定められてゐる。

【主要銀行】その他、主要な銀行を列挙すれば、一八五二年創立のフランス土地信用銀行(Credit Foncier de France)、一八六三年創立のリヨン銀行(Credit Lyonnais)、一八六四年創立のソシエテ・ネポル銀行(Societe Generale)、パリ国立割引銀行(Comptoir National d'Escompte de Paris)、パリ及びオランダ銀行(Banque de Paris et des Pays Bas)、国立信託銀行(Banque Nationale de Credit)等々がある。

【貯蓄銀行】また普通貯蓄銀行は一九三一年末において五六〇行(その支店数は約一、八〇〇)を數へる。その預金者總數は九、八二九、〇二二人、その預金總額は三〇、二八二、二五二、六七〇フランにして一人當り平均三、〇八〇フランに上る。

【郵便貯金】また郵便貯金局は預金者九、三八一、五八六、預金及び利子總額二〇、六八五、七四二、〇〇〇フラン、一人當り平均二、二〇五フランである。

E 貨幣

中央銀行たるフランス銀行は大戦前には最高額發行法の下に銀行券を發行し、大戦勃發當時にはその最高は六八億フランであつた。然るに戦争開始と同時に兌換を停止し、發行限度は屢々引上げられ、早くも一九一四年八月五日は一、二〇億フランに上つた。斯くてフランスは不換

紙幣濫發のインフレーション時代に道入り、戦後この傾向に益々拍車をかけ、一九二五年には發行額は戦前の五倍以上を突破するに至つた。これに對して政府當局の斷乎たる財政改革とフラン貨安定政策とにより、一九二八年六月二十四日に一三ヶ條より成る貨幣法(Monetary Law)が制定され、フラン貨は五分の一に切下げられ、且つ金本位制及び比例準備發行制が採用されるに至つた。斯くて紙幣の強制通用は廢止され、兌換が開始され、且つフランス銀行は金兌換を確保するために金貨または金地金を以つて、銀行券發行額と當座預金との合計の三五%にあたる金準備を保有すべきことが定められた。これがため一九三一年以後において、英、日、米が率先して世界各國は陸續と金本位制を脱せるにも拘らず、今日に至るまで金本位制を維持してゐる。一九三四年二月九日現在におけるフランス銀行の紙幣流通高は八一、三九二、二〇〇フラン、その金準備高は七四、八八二、二〇〇フランに上る。

【貨幣單位】フランスの貨幣單位はフラン(Franc)にして、一フランは百サンチム(Centime)である。一九二八年の新貨幣法によりフラン貨は純分千分の九百の金六五・五ミリグラムと定めらる。また一〇フラン銀貨は一〇グラム、二〇フラン銀貨は二〇グラムと定めらる。【度量衡】フランスにおける度量衡としてはメートル法が一般に使用されてゐる。

F 生産

1. 産業大觀 フランスは古くから農業國であつた。その自然的條件は農業の發達に極めて適してゐる。國の廣大な部分は廣い平野と低い丘陵地とで占められてゐる。而も氣温は非常に温暖で雨量に富み、地味豊饒だから農業の發達

主要穀産物

Table with 5 columns: Crop (種別), Unit (單位), 1931, 1933, 1931, 1933. Rows include Wheat (小麥), Barley (ライ麥), Oats (大麥), Potatoes (馬鈴薯), and Vegetables (蔬菜).

註 1メートル噸=2205ポンド。

に投じた莫大な貯蓄はフラン貨切り下げにより五分の一に減少した。これと共にフランスの小農經營は低廉なアメリカ、その他海外からの穀物の競争に耐えることが出来な。斯くてフランスの農村は貧困化の一途を辿り、土地は大地主の手に集中されて行く傾向を示してゐる。要するに今日、フランスは、西歐文化地帯の中心に位し、現代に於ける資本主義的産業の最高段階にまで到達した國家の一つといふことが出来る。而して紡織工業、化學工業、金屬及び金屬加工工業等の發達はフランス産業の最も大なる特徴である。その他、穀物、葡萄酒、柑橘類の栽培、養蠶、牧畜、葡萄酒、林檎酒醸造の隆盛などがこの國の産業の特色である。而してこれ等の諸特色を一貫してこの國の經濟の特徴は概して自給自足的要素の多いことである。これはこの國の工業の著しい發達にもかかわらず、なほ農業人口の比較的多いことに基因すると見ることが出来る。

2. 農業 前述の如くフランスの自然的條件は極めて農業に適してゐる。従つて農業がその主要産業を爲してゐる。全國土の約四一%にあたる五三、八二二、八六八ヘクタールが耕作されてゐる。ロシアを除くヨーロッパ各國中最大の耕作面積を有し、國民の四一%は農業に従事してゐる。小麥を最大の農産物とし、その耕地は全耕地の五分の一に近い。その他、燕麥、大麥、ライ麥、馬鈴薯、甜菜の産が極めて多い。燕麥と馬鈴薯とは主として寒冷な北部に産し、玉蜀黍は主として南西部に多い。また甜菜は北東部ベルギー國境附近に産し、大戦前にはその製糖額は自給以上に達せしめ、戦争による土地荒廢の結果、外國種の輸入を仰いでゐる。その他、葡萄酒の産額は世界第一であつて、品質亦良好にして廣く世界に販路を有する。その

原料たる葡萄酒は氣候上夏季高温なる地方に適し、特に地中海方面に多い。また葡萄酒の産地は西部と南部とに分れ、東部産の葡萄酒は強烈なるを以つてその特徴とする。一九三二年度における葡萄酒の總面積は三、四八九、六〇九ヘクタールに達し、葡萄酒の産額は一、〇四七、九四八千カロンに達し、世界第一である。右の外、果實として林檎、オリヅ、無花果、櫻桃、梅、桃、柑橘の産が多い。また養蠶業は一九世紀に黄金時代を劃し、フランス農村に大なる恩恵を與へたが、イタリヤ、日本、支那などの養蠶業の發展のため、漸次壓迫され、現在において僅かに政府の保護奨励の下に衰勢を支えてゐるのである。

家畜飼養數

(1932年12月末日現在)

Table with 3 columns: Species (種別), Quantity (飼養數), and Unit (單位). Rows include Horses (馬), Cattle (牛), Sheep (羊), and Pigs (豚).

ゴウヴァン、ルネ・ビノン、アンリ・ピドゥウの如き
激刺たる思想家を輩出してゐる。特にレオン・
ドローデはその機關紙において論説を發表し、若
きフランスの理想を提示してゐる。

3. 立憲王黨派 以上のアクシオン・フラン
セーズの運動はフランスにおける國粹民族運動
の急先鋒を成すもので、その方向も完全に議會
主義を認めず、議席を求めず独自の方向を歩い
てゐる。このアクシオン・フランセーズのアン
テイ立憲主義に屬しない王黨派の小グループが
現在上下兩院にあつて最右翼を形成してゐる。
然しこの派の勢力はアクシオン・フランセーズ
運動におけるが如く理論的根柢を有せず、その
勢力も餘り振はない。

C フリーメイソン運動

フリーメイソン (Freemasonry) は一般には國
際的の秘密結社として知られる。一種の道徳的
指標のもとに結合されたヨーロッパ上流社會の
政治的社交團體となつて居り、その本質は種々
説があり不明である。その起源に關しては明か
でなく、ロンドンの熟練石工のギルドが一七二
三年に設立せりと云はれる。理想社會の建設を
目的とする社交的結社、古來著名な人を會員と
すると云はれる。特にフランスでは政治運動に著
しく反映す。フランスマソンの出現は教會反對の
政治運動であり、自由主義政治の主張をなし普
佛戰爭後の共和制實現は特にこの運動を激化し
社會問題、教育問題等すべての政争に干渉す。

かくてフランスを中心に現代の自由平和主義
の團體として、多數の政治家、實業家等を包含
す。グレイ、アスキス、ブリアン、ポアンカレ
、クレマンソー、エリオ等が加入せりと云は
る。最近のファシズムの獨裁はこの自由主義
的世界思想をイタリヤ、ドイツでは弾壓し、最
近フランスの議會にてもこれを問題とし、漸く
重要な社會問題化し來つた。

【世界フリーメイソン運動の現勢】 一九三三
年三月三〇日、ロンドンにおいてフリーメイソ
ン支部の創立一五〇年記念祭が催された。四月
二六日サンタ・リタ支部 (Santa Rita Lodge) は
本會の創設者の一人なるアルベルト・シュタイ
ンフィールド (Albert Steinfield) の第三回の五〇
年祝賀をなした。なほボストンでは六月二五
八日にマッシュチュセツの大支部の二〇〇年設
立記念が行はれた。チエコスロヴァキアの大支
部の一〇〇週年記念が一〇月二七日に舉行さる。
アメリカのメソウ・フリーメイソンは、第二回
のブラーグ巡禮を一四一五年七月六日の殉教者
追悼のために行ふ。

フリーメイソンの新寺院建築は、ワシントン
の Chelms Lodge, Danville Lodge 等がある。
カリフォルニアのウェストゲートでは三月に
Eastern Star Home のために二五萬ドルが寄附
された。七月一二日、ロンドンではイギリス國
王王妃により王立メイソン病院を開く。アメリ
カでは二月二日、アレキサンドリアの新記念
館でジョージ・ワシントンの國民記念祭が行は
る。ロバート・ウッド (Robert Wood) が三年間
大司祭に選出さる。五月四一六日にはアルッセ
ル Grand Orient の一〇〇年祭を舉行。イギ
リスでは、聯合支部の下に Lodge が四、六九六
にまで増加す。カナダにおけるメイソンの會員
は二一、四五四と云はれる。ニューサウス・ウェ

り九〇年に結成され、その他、フランキストの
革命派があつた。九一年のドレフユース事件は
この反動時代の象徴である。

E 労働

1. 労働組合 最近の世界的國民主義運動の
據頭はフランス労働運動戦線にも一大變化を來
たしてゐる。斯くて從來産業プロレタリアートの
自主獨立を主張し、排他的方針を固守して來
た労働總同盟 (Confédération Générale du Tra-
vail) はその方針を轉換し、一般の中間階級の
諸團體、在郷軍人團體とも提携するに至つた。ま
た一九〇五年各派の合同により成立せる社會黨
(Parti Français, S. F. I. O.) も最近國民主義派
と國際主義派との内訌を生じ、ルノーデルを指
導者とする國民主義派の脱退を見、同派は新し
く「フランス社會黨」(Parti Socialiste de France,
Union Jean Jaures) と名付けられた。

最近のフランスの労働組合戦線は前述の労働
總同盟 (C. G. T.) の據頭著しく、これに對し
て共產派の統一労働總同盟 (Confédération
Générale du Travail Unitaire) の衰退が顯著であ
る。即ち、労働總同盟は一九二二年の分裂以來
著しい組合員数の減少を示したが、一九三二年
には新加入組合員数は一萬六千餘人と報告せら
れ、全國合計約九十數萬の組合員を擁するに至
つた。その所屬組合数は地方的組合二、三、五、
業別聯合會三〇、縣又は市別同盟會九一、地方
別同盟會二八に上る。

F 失業

最近世界の經濟不況のためフランスの經濟界
もその影響を受けること著しく、經濟界の悪化
と共に失業者も急遽に増大し、失業問題は政治
的にも、經濟的にも、社會的にも、フランスの
重大問題となるに至つた。斯くて社會保險制度
の改訂や、失業者救済の擴充を緊急に必要とす
るに至つた。

最近の失業者數

年度	失業總數		失業率 (%)	
	公基	共計	公基	共計
1927	33,549	47,289	1.1	1.5
1928	4,834	15,275	0.15	0.5
1929	928	10,052	0.03	0.33
1930	2,514	13,859	0.08	0.46
1931	56,112	75,215	1.8	2.4
1932	273,412	308,096	8.8	10.0
1933	275,395	307,179	8.8	10.0

註 (1) 1932年以前は失業率を公基に算出する。1933年は共計を以て算出する。

その失業者の實數に就いては確實なる統計存
在せず、失業救済手當の給付を受けつゝある登
録失業者統計に就いては別表の如くである。フ
ランスの失業者の増大が極めて顯著となつて現
はれたのは一九三一年上半期以來であつて、同
年一月における手當支給失業者は總計二萬餘に
過ぎなかつたものが、年末には五萬六千に増加
し、更に一九三二年には一躍二十數萬に激増す
るに至り、その不況の深刻さを物語つてゐる。

V 文化

A 文化概観

フランスがヨーロッパ文化の中樞である所以
はそれがローマ文化を繼承し、そのラティン文
化の創造に努力したことにある。中世紀以來、フ
ランスは常に他國の文化を吸收し、特にルネッ

1. 初期資本主義時代 フランス大革命によ
つてプロレタリア、農民は依然解放されること
なく、ブルジョアの勃興、自由を見たにすぎな
かつた。一八三一年のリヨンの絹織職工の暴動
は、産業革命によるプロレタリア運動の代表で
ある。四〇年までに人權同盟、民友同盟等の秘
密結社が生れ、アウグスト・ブランキはその
指導者であつた。なほ三九年五月の暴動で彼は
失敗し捕へらる。更にサン・シモン社會主義
はこの運動の理論となつた。

2. 社會主義運動 プチ・ブル運動としての
社會運動がルイ・ブランによつて指導された。
彼の國民工場設立は四八年の二月革命におけ
る彼の著しい發展であつた。ブランキはこの
臨時政府を革命政府たらしめんとした。かくて
七一年のパリ・コムミュンが成立した。

3. パリ・コムミュン 一八七一年三月一
八日から五月二七日に亘る革命政府である。ユ
ーゼフ・ヴァレアン、ギユスターフ・フルラ
ン、ラウール・リゴール、等がその指導者で、マル
クス主義の展開であつた。パリゲードを築き、
遂に敗れ、「血の一週間」を經、慘殺二萬、處
刑四萬と稱せらる。この運動はインタナシヨナ
リズムの最初の勝利であつた。

4. 反動時代 この失敗後、フランスは反動
時代に入る。サンディカリズムが僅かにその反
抗を示した。労働黨はヌロン、ブルス一派に率
ひられ、革命的社會主義労働黨はアルマンによ

フランスによつてフランス文化は全く一新し、カトリック文化の精髓がこゝに集中した。特に民族的に熱情を有した知的に聰明なるため、科学と宗教と藝術との調和、発展はフランス人によつて巧みにもたらされ、時代の變遷は直ちにその文化の敏感な變化を必然ならしめた。フランス近代科学思想はデカルトの自我哲學に出発し、また古典的教養はモンテーニュの文學に、宗教と人間の矛盾は、アベラール・エロイーズの戀愛とパスカルの瞑想の中に示さる。ルイ十四世の近代植民地政策の實行と共に古典主義文化は完成の域に達し、その後新興ブルジョアの勃興はフランス革命前の唯物的革命思想に反映し、忽ち大革命の實現となり、ナポレオンの出現は自由をローマの法典の中に立法化し、なほ近代帝國主義と聯邦制の基礎を定め、これによりローマ主義文化はブルジョアの發展と共に展開し、その美術はルネッサンスの傑作を輩出す。特に詩、文學の近代的轉回、ヨーロッパの中心となり、以來、常にフランス文化は世界文化の第一線に立つ。かくてフランスの「直觀」「ドイツの體系」「イギリスの擴大」、ロシアの「實踐」はヨーロッパ文化の指導的役割を演じて來たのである。

B 宗教

フランスには國教を有せず、一九〇五年二月九日發布された法令により教會は國家から完全に分離され、而してすべての國民は完全なる信教の自由を享有することゝなつた。

またフランスでは、各種のキリスト教が行はれるが、元來舊教國にして、ローマン・カトリックが壓倒的優勢にして、バリのノートルダム寺院はその大本山にあつてゐる。その他、小教の新教、ユダヤ教行はれてゐるも、いづれも十

萬に達しない現状である。

C 教育

1. 概説 フランスの歴代政府は普佛戦争の大敗の結果が國民教育の不振によるものとして、その後大いに改善普及に努力した結果、教育は著しく發達し、現在世界において最もその完全に發達せる國の一つに屬する。

2. 初等教育 一八八一年六月一六日の法律により、すべての初等學校に於ける教育は絕對的に無料にして、滿六歳以上一三歳までの全兒童に對して義務教育制が規定さる。一九三一—三二年度における學校統計によれば幼年學校三、六九九校(うち私立四八一校)、その兒童三七〇、六七七名(うち私立二七、九七一名)、小學校八〇、五八五校(うち私立一一、八〇二校)、その兒童四、九一四、七九四名(うち私立九一六、〇八九名)である。

また一九三一年一月一五日現在には、高等小學校は男子三二八校(その生徒三八、九三四名)、女子二四〇校(その生徒三九、〇七九名)を數へる。

3. 中等教育 フランスの中等教育は官立中等學校(Lycée)、コンミュン・カレッジ(College)或は私立中等學校(Boole Lycee)により行はれる。その修學年限は七年以上である。

4. 高等教育 官私立の大學及び専門學校によつて行はれる。大學は次の一七校あり、一九三二年七月三一日現在の學生數は八二、六五五名に上る。 Aix-Marseille; Alger; Besancon; Bordeaux; Caen; Clermont-Ferrand; Dijon; Grenoble; Lille; Lyon; Montpellier; Nancy; Paris; Poitiers; Rennes; Strasbourg; Toulouse.

D 思想

【近世哲學】 デカルト (René Descartes, 1596—1650) は「コギト・エルゴ・スム」の自我の認識により明晰判明の觀念を舊來の神學的闇暗から解放し、解析幾何學を發見、晩年北歐のクリスチナ女王に招聘され「感情論」を講じ、寒氣のために客死す。この近代的思惟はパスカル(Blaise Pascal, 1623—63)に影響し、數學の權威は更

に主張す。
【インテリゲンチヤ】 近代社會思想の深刻な矛盾はアンドレ・ジイドの思想となり、世界大戦は、特にロシア革命は強くフランス・インテリゲンチヤに影響し、ジイドは更に左翼的轉向を遂げた。一方、ポール・ヴァレリーによる科學と藝術との綜合思想は、ヨーロッパ文化主義の主張となり、またフェルナンデス、クレミュー等の現代の不安とインテリゲンチヤの問題は「M.R.F.」のシエスタ哲學の展開となる。ロマン・ロランの人道主義的平和主義は一時、アンリ・バルビュス等と論戦し、今は益々孤立的となる。

【宗教的動向】 現代の不安に對しカトリシズムの復活が強力に主張さる。ジョージ・ユウは社會カトリシズムを唱へ、カトリック社會運動は頗る盛んとなつた。「大衆行動」派がその主なものである。

また一方トマス・アクイナス主義のジャック・マリタンは益々スコラスティックな思想に進んでゐる。アランは文藝評論の大家として、シュアレス、ティボーテ、或は若きフェルナンデス、クレミュー等と共に新しき文學思想を強調してゐる。

E 科 學

1. 哲學 【中世紀】 フランス哲學は主としてローマのスコラ哲學の影響の下にあつて、特にアベラール(Abelard, 1079—1142)は古代神學の矛盾を批判して多くの迫害を蒙り、ギリシアの未知主義を主張す。エロイズ(Helois)との哲學的共感の思想を通じて中世紀的戀愛を書籍に託し、その美しき愛の哲學は近代的哲學への重要な契機となつた。更にこの知識と信仰との矛盾は近代的科學への方向に進んだ。

1. 大革命前 近世初期のデカルト、パスカル、モンテーニュ等の思想の基礎は常にフランス思想全部を貫くものである。一六世紀のギョダン、ヴォルテールの啓蒙思想は、モンテスキュー、ルソー、ディドロ、ダランベール等の百科全書學派の思想となり、また近代唯物論はデメトリイ、ホルバック等の批判的思想となり、フランス革命の指導理論となる。

2. 一九世紀初期 シヤトリアン、スタエル夫人、サント・ブーアのローマン主義思想は、サン・シモンの革命的社會思想となる。これはフランス革命期のパブーフの理想論より出て、これがコントに及んで近代社會學の實踐主義思想を展開す。これを繼承してフェーリニはイデーの力を基礎とする協同主義思想を體系づけた。なほこれはブルードンの熱情によつて俄かに實行化した。またルイ・ブランの行動派にチリーの歴史主義が對立した。

一八七一年のバリ・コンミュニオンはブルードンの思想の影響であり、マルクスはこれに對して「哲學の貧困」をもつて批判す。なほ社會思想の學的展開はビエール・ルリによつて綜合され、彼は「個人主義」を徹底的に批判した。

3. 社會思想の實行期 一八八〇年フランスに「労働黨」が組織され、三つの思想系統が存した。(一)ポール・ラファルグ等のマルキシスト、(二)フランキズムを繼承するエドワード・ヴァイヤンの理想的コンミュニスト、(三)マロン、ジャン・ジョーレス等の綜合的ソシアリスト等の對立を示した。ソレルはサンシカリズムを主張し、而してベルグソン哲學を具體化したものである。

4. 現代社會思想 【アクション・フランセイズ】 シャルル・モラスは王黨主義を唱へ、レオ・ドローテはそのフランスの國粹主義を積極的

1717—93) はアンジクロバティストとして不可知論を主張し懷疑論となる。

【一九世紀】 フランス大革命により、ブルジョア自由主義と共にローマン主義哲學が盛んとなり、シヤトリアン、スタンダール、バルザック等の偉大なる文學思想を生み、なほコンテ(Auguste Comte, 1798—1857)は社會學の創始者で、實證哲學の體系化をなす。また實證主義的宗教、人道主義を最後に主張す。なほサン・シモン(Saint-Simon, 1760—1825)は近代社會思想の父で、彼の思想がコントに及んで社會學を大成せしめた。メルク・ド・コラン(Maine de Biran, 1766—1824)は感覺主義を唱へ、心理的形而上學を建てんとした。またメーヌストル(Marie de Maistre, 1754—1821)は反革命的カトリック哲學を建設す。更にテーヌ(Hippolyte Taine, 1828—93)は自然主義哲學を體系立し、文學、歴史等の領域に進み、ルナン(Ernst Renan, 1823—92)は實證主義による宗教解釋を行ふ。またレーノー(Jean Reynaud, 1806—63)は地質學を専門とし、サン・シモンを繼いで社會哲學を形而上學化した。ルヌヴィエ(Charles Renouvier, 1815—1903)はコントとロントを統一する新批判哲學を唱ふ。なほリボイ(Armand Ribot, 1839—1917)は内觀的病理心理哲學を體系立した。ブートロー(Emile Boutroux, 1845—1921)は偶然の哲學を主張す。

【二〇世紀】 ヴルグナン(Henri Bergson, 1859—)は純粹持續の理論から創造的進化の哲學を説いて直觀主義、時間論の獨創的見解を示す。レヴィ・ブリエル(Lévy-Bruhl, 1857—)はエダヤ系の原始心理の哲學を明かにす。ル・ロア(Paul Le Roy, 1870—)はポアンカレを繼ぎ新實證哲學を説く。またルトゥルノー(Charles Leighton, 1831—1902)の人類學哲學は今日に

おいても大きな影響を興へてゐる。またルボン(Gustave Le Bon, 1841—1932)は群集心理の総合的研究をなす。なほルボン・ダンテック(Felix Le Dantec, 1863—1917)は生物學的哲學を體系化する。

【現代哲學】今日フランス哲學においてはベルダン(Bergson)を筆頭にフョントワネル(Fontenelle)・ウオーヴナラ(Vauvenargues)・ルロア(Leroy)・アラン(Aln)等が特に注目される。マクグナン(Henri Bergson)は一九一九年の「精神力」(L'Énergie spirituelle)の序言に豫告してゐた第二の論集「思惟と運動」(La Pensée et le mouvement)を出した。その序説において彼は自己の哲學的方法の諸始源とその方法を適用して進んだ過程とを述べてゐる。他の諸章はいづれも一九〇三—二〇年間の講演收録で、何ら新しきものを期待することは出来ないが、フランスでも稀觀書とされてゐた彼の最初の論文「形而上學序説」が収録されてゐることは多とすべきである。彼の第一論集「精神力」が研究の結果を示すものであるに對して新著は研究の方法、或は研究そのものに關するものといふべく、純粹持續の直接的直觀に到つた道程を示すものである。

一九三四年のフランス哲學界において最もセンセーションを起したものはブロンネル(Maurice Blondel)の「思惟」(Pensée)二巻である。第一巻は「思惟の生成とその自發の上昇の諸階層」(La Genèse de la Pensée et les Paliers de son ascension spontanée)と副題され、第二巻は「思惟の諸責任とその到達の限界」(Les Responsabilités de la Pensée et la Possibilité de son Achèvement)と副題されてゐる。次にシヤンティヌムの隨將アムル・レー(Abel

Rey)の最近著「キリシヤ科學の少壯期」がある。これは La Renaissance du Livre 刊行に關する Bibliothèque de Synthèse historique 中の「人類の發展」叢書(Evolution de l'humanité)に屬し、「古代に於ける科學」の第二巻に當り、同じ著者の「キリシヤ以前の東方科學」を承けるものである。それはロマンの「キリシヤ思想」(同一叢書)と著し對照をなすものである。

【キリシヤ大學哲學科關係講座】現在ソルボンヌの文學部の哲學科關係の教授は左の人々である。「哲學辭典」(Vocabulaire de la philosophie)の編者として有名なマントレ・ラランヌ(André Lalande)——哲學。綜合的「哲學史」(全三卷)(Histoire de la philosophie)の著者エマル・ブノイエ(Emile Bréhier)——哲學及び哲學史。「キリシヤ哲學に於ける生成の問題と物質の觀念」(Le problème du devenir et la notion de l'attribut dans la philosophie grecque)「キリシヤ哲學に於ける本質と存在の觀念」(Les notions d'essence et d'existence dans la philosophie de Spinoza)等を知らるべきマルセル・リマオ(Albert Rivaud)——哲學及び哲學史。「キリシヤ思想」(La pensée grecque)の著者として、またブノイエに關する權威として有名なエドモン・ロビン(Edmond Robin)——キリシヤ哲學。日本でも夙にマルセル・ブノイエの研究家として知られ、その近著「自我の認識」(De la connaissance de soi)や「知的生活序説」(Introduction à la vie de l'esprit)に多くの讀者を見出した數理哲學者シモン・ブランシヤック(Jean Brunshvieg)——近世哲學。最近「精神の哲學」(全三卷)「全體的存在」(De l'être — La dialectique de l'éternel présent)と云ふ小書を出したルネ・ラヴァレ(Louis Lavalle)——哲學。「所謂シヤンティヌムの隨將アムル・レー

モン、フエリール、ブルドドンあり、更にシヤン・ジョーレス等の社會思想家を出す。【法律學】公法學者にラルド、ジョセフ・バルテルミ、私法學者にカピタン等を出す。政治學者としてはジョークフリがあり、そのアメリカ批判は著名である。【歴史學の叢書】アンリ・ベルの監修せる「人類進化叢書」アルファンとサニヤクとの監修せる「民族と文明叢書」、バイエ社發刊の「歴史文庫」(Alcan)の「現代史文庫」(L'Alcan)の「アルマン・コラン叢書」等は著名なるものである。3. 自然科學 【物理學】フランスの自然科學はダランセル(D'Alembert, 1717—1783)、ラグランジ(Lagrange, 1736—1813)、クレロー(Claireaut, 1713—1765)等が出つ、力學數學等が發達す。カルノー(Sadi Carnot, 1802—1849)は熱力學を始め、電氣學のアンペール(Ampère, 1775—1836)はその權威である。なほ最近キエリー夫妻(Curie)はラヂウムの發見をなし、またルイ・ド・ブロイ(Luis de Broglie)は波動力學の大家となる。【化學】ラヴォアシエ(Lavoisier, 1743—1794)は物體質量の天秤による分析をなし、またシヤン・イルトアの周期率の研究、ムルテロー(Marthelet, 1827—1907)には炭素による有機化學の研究があり、パスツール(Pasteur, 1822—1895)は細菌學、その他あらゆる部門に互る天才的業績を示す。今日、パスツール研究所は世界各地に設立されてゐる。

【地質學】博物學者ビュッフォン(Buffon, 1707—1788)が地質學の創設をなし、近代のブーケー(Rouquai)・ラクロア(Lacroix)等はこの方面の著名なる學者である。【生理學】ラマルク(Lamarck, 1744—1829)はダーウインの「進化論」に反對して變異論を唱

それを繼承せるソシオロジスムにデュルケイム學派がある。經濟社會學にはシミアン、アルバクス、ブルガン等があり、法律社會學にはフョコネ、レイ・レヴィ、アンリ・レヴィ、ブリュールがあり、藝術社會學に、ギユロー、ラロ等が出た。宗教社會學には、モス・シミアン、ドラクロア、デュルケイム、また神話のクウシュは著名である。原始心理研究のレヴィ・ブリエル、病理心理學のシヤル・ブロンデル等がある。【歴史學】また歴史學にはローマ史のビガニオル、古代史のセイニョボー、エジプト學のモレ、古代文明史のロバン、支那學のグラネ、ギリシア史のルウセル、シエルネ、中央アジアのアッカン、インド學のヤン・ルウセル等がある。【民族學】モニエ、ルノアル等が民族學の權威である。民俗學にはファン・ゲネブ、サンティエブ等がある。ローマ考古學のサロモン・レイナク、一般考古學のカピタン、ブルイユ、またゴール史のジュリアン、ギリシア史のグロツ、ローマ史のオモ、中世史のロー、イスラエル史のデモビシ、宗教美術史のマール、大革命史のオラル、マチエ、及シヤン・ジョーレス、更にミシュレー、テヌ、ブルンティエール等の最高史家がある。

【人類地理學】シヤン・ブリュン、ヴァロ、ドマンジャン等がある。【言語學】メイエ、ブリュノ、ヴァンクドレ等の諸權威が輩出す。【心理學】シヤネ、デュマ、ドラクロア、リボ、ブロンデル、ワロン等の大家がある。【經濟學】ケネーのフイヅオクラート以來フランスの經濟學は獨特な發達を遂げた。ジイドは近代ソリダリテの經濟學說の權威である。アンリ・セイは經濟學史、ビルウ、アンリ・オーゼはまた有名である。社會主義經濟學にはサン・シ

(Abel Rey)——科學の哲學及び科學史。宗教心理の研究者として知られてゐるアンリ・ド・マラクロア(Henri Delacroix)——心理學。現在學長を兼ね、その編輯する「心理學叢論」及び「心理學叢論」(Nouveau Traité de la psychologie) (執筆者 Chaurry, Lalande, Lapieque, Parnier, Rivet, Tournay, Wallon)は有名なシエル・ド・ドゥイ(George Dumas)——實驗心理學。その下にイニエーム・メーヤン(É. Meyerson)・アンリ・クロン(H. Wallon)——兒童心理學。ジャン・クロン(Célestin Bouglé)——社會經濟史。「責任論」(Responsabilité)の著者ポール・フェルネ(Paul Fauconnet)——社會學。ル・ノアンヌ(Paul Faconnet)——社會學。【シヤンティヌム道徳史】(Histoire de la morale en France)の著者アルベール・バヤエ(Albert Bayet)——道徳學。

尚ソルボンヌ教授の近業には前掲アムル・レーの「キリシヤ科學の少壯期」の他に「ブランシヤックの「知性の時代」(「判斷の様態」(第二版)「ユラクロアの「心的生活の主要形態」等がある。また「これは哲學關係ではないが同じくソルボンヌの書箱に於て、卓れたる文明史家サヨエ(Charles Seignobos)が「歐羅巴史」(Histoire de l'Europe)「純正フランス國民史」(Histoire sincère de la Nation française)等相次いで出したことは附記するに値するであろう。その他歴史の方面には「Peuples et Civilisation」叢書(Louis Halphen 及び Philippe Sagnat)の第十九巻が完成された。題して「歐洲の危機と世界大戰」(La crise européenne et la grande guerre, 1904—1918)と云ふ。筆者はルネ・マン(Pierre Renouvin)である。

2. 社會學 【社會學】フランス社會學の創設者にモンテスキエ、コンドルセ、ブノイエ等があり、その完成者にオーキエト・コントがある。

道す。これより先き一八世紀にはラ・メトリーは人間機械論をなして、人間の生物學的研究をなす。これがラマルクの「動物哲學」(無脊椎動物史)の二著を書かせる動機となつた。【數學】フランスは數學の國と稱せられる。整數論のジョルダン、ポアンカレ、エミール・ビカール、代數學には群論の創唱者なるガロア、ペルトラン、エルミット等があり、幾何學にはアンペア、ダールブ(微分幾何學)等があり、解析學にはデカルト、メレー、パルルヴェー、運動學にはケニグ、アグマール、力學にはギユエー、ポアンカレ、パルルヴェー、プーシネク等の録々たる世界的權威を輩出せしめた。特にポアンカレは現代フランスの自然科學の主宰者たる地位を占めるものであつた。ボレルは函數學の第一人者であり、前相パルルヴェーは政治と數學との兩者を堂々と實踐した。

【醫學】クロード・ベルナル(Claude Bernard, 1813—1881)は實驗生理學を建設し、ソラの「ルン・マカール」小説の基礎原理たるものである。パスツールは病原の研究をなし、炭疽病の權威である。ワクチンの製作を可能にす。狂犬病に對する研究は世界的功績を残す。

F 藝術

1. 音樂 【起源】一二世紀の南部プロヴァンス地方のトルバドウル音樂と、その後北部に起つたトルヴェルがその起源をなす。これ等の音樂は民族的情操の直現で未だ教會に拘束されず、極めて明るき自由なるもので藝術的に大いなる價值を有してゐる。【近世音樂】一六世紀にフランダー音樂からフランス音樂は獨立す。一七世紀のイタリヤ。オペラはフランスに移入さる。フロレンス人ツリはルイ一四世に愛せられ、オペラが勃興

す。フランスのア・クーブランはハーブシコード曲の傑作を出し、ルクレールはヴァイオリン曲の美しき音楽を創造す。一八世紀のラモアの天才は音楽を科學的方法にて研究し、その和聲學は近代音樂の基礎理論となる。バツハによつて彼の理論は藝術化された。以後フランス音樂は益々ワグネルに愛好され、かくてグラント・オペラの創始者となつた。

【一九世紀】 中葉まで、メニル、ルヌール、オベール等の音樂家があり、また外國樂人の來るもの頗る多い。特にエクトル・ベルリオーズは眞に天才的作曲家であり、彼によつてフランス音樂は大成さる。一九世紀後半にはビゼー、クノー、マスネ、トーマス、セザール・フランク、サン・サーンス等の諸天才を輩出し、燦然たるフランス音樂の黄金時代を現出す。またドイツのワグネルの音樂は歴史的な魅力をもつてフランスに移入された。

【二〇世紀】 今世紀に這入つてパリを中心とする新興フランス音樂が俄かに勃興し、その中心はドビュッシー(一八六二—一九一八年)の反ワグネル運動であり、一九〇二年の歌劇「ペレアスとメリサンデ」は劃期的音樂であつた。彼と共にヴァンサン・ダンディ、ガブリエル・フォーレは最も有力なる新興作曲家であつた。次にモリス・ラヴェルは現代フランス音樂の中心をなしてゐる。

【現代フランス音樂】 ラヴェルはシヤブリエより出發し、今日は全く獨自なるものとなつてゐる。「クーブランの墓」を作曲す。彼はストラヴィンスキと共にシヤズ音樂に積極的な意向を示す。特に近作「ボレロ」は一九二九年のシーズンに初演され、オーケストラはコンセル・ラムルーであつた。このスペイン舞曲の韻律は全世界を風靡した。彼と共にザムカは「アリアヌと青鳥」を書き、シミットは「サロメの悲劇」を書き、ルツセルは「蜘蛛の祭」等を出した。更に新しき音樂はオネッガの出現によつて更に精彩を加へた。「パシフィック二三一號」は機關車の運動を音樂化し、「潜水艦」も藝術のメカニズム化であり、「ラグビー」はスポーツの音樂化である。更にオネガの六人組と云はれるダリウス・ミローは「世界創造」を出し、プーランクは精麗なる音樂を創造し、オリックは近代的知識の尖鋭なる表現であり、ゲユレは幽玄なる音調を愛好し、タインフェルは女流音樂家として秀技である。彼等は近代的な知的音樂なるエリック・サティの影響が極めて濃厚である。

【二七世紀】 フランドル・ル・シャレンバインユが出で、フッサンとクロード・ロシーンバインユが美術を超えてフランス國民美術を創造す。【一八世紀】 サロン文化の發達は益々貴族趣味となり、ロココ時代美術を形成す。特に上流社會の趣好に適應するものにはブーシェの柔和なる女性趣味があり、その弟子、フラゴナールは女性美のリアリスティックな感覺的表現をなす。

【一七世紀】 このロココ主義に對立してグレコ・ローマン主義が盛んとなり、ネオ・クラシズムの主張となり、タヴィドが中心となる。その弟子ジュネラル、シロデー、トリオン等はそのクラシズムを繼承す。弟子グロは始め古典主義であり、後にローマン主義へと展開す。一八一九年のサロンにおけるジュエリコの「メデュー

フロイドの無意識の心理分析方法を美術に取り入れてシユール・レアリスムがジャン・コクトオ、フランシス・ピカビア、ルイ・アラゴン、アンドレ・ブルトン等によつて創始さる。更にこれがアンドレ・マッソン、マックス・エルンスト、ホアゾン・ロミオ、ジョルジョ・ド・キリコ等の純粹美術ビュリズムに展開す。

これ等の新傾向は、物體の幾何學的方法化であり、かくて「新造型主義」(ネオ・プラスティシズム)と呼ばれる。なほカトリシズムの美術はモリス・ドニー、室内派と云はれるボンナール、また、素描派のゴッサーク等が新精神を代表する。また「パリ派」として新興美術運動のピカソ、ヴァン・ドッゲン、シヤガール、モディリアニ、バスキン、藤田嗣治、マリ・ローランサン等の存在が輝いてゐる。

【現代フランス繪畫】 一般にシユール・レアリスムの運動は既に過去のものたらんとしてゐる。一方は左翼的に轉向し、一方は古典主義に歸らんとしてゐる。ピカソは一九三三年に「解剖學」を描き、コスモスの原型に達せんとしてゐる。彼のメカニズムの極致を古典的に表現してゐる。またジャン・リュルサは、哲學、醫學、詩に才能を有し、世界的遍歴をなし、詩的繪畫を創作してゐる。アンリ・ロオランは立體派であり、原始藝術の形式を示す。アンドレ・マッソンは立體派からシユール・レアリスムに轉じ、力強い素描による幻想を表はす。また舞臺裝置にも異常なる天分を持つてゐる。ピエル・ロアは科學的藝術を創造し、室内畫風の新しい様式を製作してゐる。

3. 彫刻 【近世彫刻】 ロココ彫刻として一七世紀にシラルドンとコアイズヴォーとがあつてグレコ・ローマン趣味の豊かなものを創作す。宮廷外にビュジエがあり、またクレストウ

兄弟は近代のアカデミズムの基礎を作る。一八世紀にはアカデミズムが主であり、ブーシャルドン、ルモアニス、ファルコネ、ピガール、ウードン等の彫刻家があつた。一八世紀に入るや、ローマン主義が盛んとなり、その代表にリニードが出て、熱烈なる國民的感情を象形す。然しカルポーはこれをアカデミズムに結びつけ、ダルーもこの傾向を進めた。次いでアカデミズムが盛んとなり、シヤビニエ、ファルグエール、フレミエー等がその主なるものである。【ロダン以後】 この枯渴形式化するアカデミズムに對し、絶對的に對立したオーギュスト・ロダン(一八四〇—一九一七)は一八六四年のサロンに「鼻かけ」を出して落選、イタリヤに赴きミケランジェロ、ドナテロの本質を捉へ、一八七七年のサロンに「青銅時代」を出して物議をかます。以後、「ヨハネ」、「地獄の門」、「考へる人」、「接吻」、「バルザック」等の最高傑作を作り、彫刻界における革命的大事業を完成す。彼の歿後、その弟子ブールデル(一八六一—一九二九年)は構造的な重量感、豪壯な建築感と豊富な詩的情操において、最大の天才を發揮し、「ヘラクレス」、「ロダン像」、「聖母子」、「アルヴェル將軍」等の最高の傑作を出す。

またベルナル(一八六六—)はロダンの影響の下に東洋風のアルカイズムを製出し、「アルモニー」、「青春」、「愛情」、「フオーヌ」等の傑作を出す。なほマイヨール(一八六一—)はギリシア彫刻の美を研究し、その近代的繊細美を表現、「フロラ」、「浴女」、「ヴェヌス」等は麗麗なる逸品である。一方、アカデミズムはこれ等の反抗を研究して更に新しい展開を示し、バルトロメヤランドウスキー等が新しい作品を出す。

【二〇世紀建築】 ルー・スピッツはスエ

【一九世紀建築】 ナポレオン時代にはエトアールの凱旋門、マドレーン教會等の如きローマン主義建築が出づ。トロキヤデロ宮は折衷式である。復興主義にはパリのグラント・オペラ劇場、モナコのカジノ等がある。

【二〇世紀建築】 これ等の傾向に對し、反アカデミーの主張が、印象派のマネー、外光派のモネー、社會派のドーミエが輩出し、更に近代畫の大宗セザンヌのリアリズムは愈々近代科學の上に立つ美術を創造し、かくて、ピサロ、シスレーの風景畫、ルノアール、ドワーガ、ロートレークの新印象派、更にゴッガンの原始美の探求、ファン・ホッフの深刻な線描派等を出し、近代フランス美術の燦然たる世界を現出す。柔軟なニアンスに富むカリエール、詩的雰囲気のアンドリー・ルソー、これ等の外に超然としてルネッサンス以來の大道を高く進むピュヴィス・ド・シャヴァヌ等の現代最大の天才はモニユメタルな壁畫に歴史的な象徴美を表現す。

【二〇世紀】 今世紀に入つて印象派の反動生じ、マチス、ドラン、ヴラマンク等の「野獸群」の運動が生じ、一九〇五年のサロン・ドートンヌに新興美術の反抗を起す。一九一〇年にはピカソによる立體派の美術が主張され、メカニズムの強調となる。これと共に戦争後の混亂によるダダイズムの狂熱的傾向を出す。更にこれは

【ゴシック建築】 一三世紀から一五世紀にわたる。サン・ドニの本寺が代表的建築物である。【ロマネスク建築】 シャールマーニュ大帝以後の建築様式はアールのサン・トロフィムの建築が代表する。なほ北佛系にはノルマンディ地方のアペー・オー・ゾムヤアペー・オー・ダームの如きノルマン建築を有す。

【ゴシック建築】 一三世紀から一五世紀にわたる。サン・ドニの本寺が代表的建築物である。【ロマネスク建築】 シャールマーニュ大帝以後の建築様式はアールのサン・トロフィムの建築が代表する。なほ北佛系にはノルマンディ地方のアペー・オー・ゾムヤアペー・オー・ダームの如きノルマン建築を有す。

【ルネッサンス様式】 ルイ王朝建築であり、シャトー建築と呼ばれ、なほゴシックとの混合がある。フォンテンブローの宮殿がそれに屬する。一七世紀は古典期であり、ヴェルサイユ宮殿、ルーヴル宮殿が代表する。一八世紀末バンテオンの古典建築がある。

【一九世紀建築】 ナポレオン時代にはエトアールの凱旋門、マドレーン教會等の如きローマン主義建築が出づ。トロキヤデロ宮は折衷式である。復興主義にはパリのグラント・オペラ劇場、モナコのカジノ等がある。

大運河防戦記念碑を建設す。古代と現代との綜合である。一九二〇年ローマ賞が與へらる。またル・コルビュジエは新都市を計劃し、メカニズムの積極的表現を示す。トニー・ギョルニエは工業都市の計畫を完成。彼によりリヨンの鐵筋コンクリート記念建造物競技場が建設される。

5. 文學 【起源】 ゴール人による神話、傳説の剛莊なるものを既に一一世紀に見ることが出来る。南方フランスには吟遊詩人の群はトルスマン(Troubadour)、北方ではノルウェール(Trouvère)と呼ばれ、キリスト教以前の素材にして麗麗なる物語詩を残した。これは物語詩(Les Romans)と云はれ、「ブルトン物語」は代表作である。武功史詩 Les Chanson de Geste、狐物語 Roman de Renart、寓話詩 Les Fabliaux 等がある。

【中世紀】 十字軍時代にはウィルヘルム・ドゥ・ノンは「コンスタンティノブルの征服」を書き、ジョワヌ・ヴェルは「聖王ルイの史記」を書いた。また百年戦争にはララン・シヤルティエの「四人論争」があった。なほフランス・ウィロン(François Villon, 1431-3)は最も秀抜なる盜賊詩人であった。また一方には宗教受難劇が盛んであった。

【近世初期】 ユマニストの運動はフランス文學に導入してナヴァルの女王アルゲリートの「七日物語」となつて「デカメロン」に對した。一六世紀には大詩人クレマン・マロオ(Etienne Marot, 1497-1544)は牢獄につながらつて、美しく偉大なる詩を書いた。一方ロンサール(Pierre de Ronsard, 1524-1584)はブレイヤード派の主宰、古代ギリシア・ラチン詩を復活、ルネッサンス第一の詩人。なほラブレネ(François Rabelais, 1494-1553)は「ガルガントエタ」「パンダグルエール」等の大長篇を出し、時代を深刻

に諷刺す。更にモンテニエ(Michel de Montaigne, 1533-59)は宏大なる古典知識を示せるは「エセイ」の典型的なる傑作を出す。

【ルイ王朝時代】 ヘレニズムとヘブライズムとの渾然融合せる黄金時代を現出す。特にサロンの文化はその豪華の極點に達す。ラ・ファイエット夫人の「クレウ公爵夫人」は心理小説の先驅であり、シヤランの「ラ・モエセル」はジャン・ヌダルクの生涯の莊大なる叙情詩である。更にルネエ(Pierre Corneille, 1606-84)は悲劇「ル・シット」「ロモム」等のギリシア古典劇に匹敵する最高傑作を出す。三一致法則論を主張す。ランシー(Jean Baptiste Racine, 1639-99)は「内面的悲劇」を書き、「フェルムル」「マキドック」等の流麗沈痛な戯曲を出す。なほモリエール(Moliere, 1622-73 Jean Baptiste Poquelin)の筆名)は世界最大の喜劇作者で、「人間嫌ひ」「タルテュフ」等の社會諷刺の代表作を書く。また批評界のボワロ(Nicolas Boileau, 1636-1711)は詩を書き「語法」等を出す。ラ・フォンテーヌ(Jean de La Fontaine, 1621-95)は十二冊の「寓話詩集」等を出し、人間性の深い解剖を示す。ラ・ブリヤエール(Jean de la Bruyere, 1645-96)は人間學の權威で、「性格論」は人生批評の傑作である。なほフュメロン(François Mache-Francelon 1651-1715)は「テラック物語」を書き、ルイ一四世時代を諷刺す。

【啓蒙時代】 王權衰微期にフランス文學は批評的となり、ヘメル、ボントネルの次いでヴォルテール(François Marie de Voltaire, 1694-1778)は時代文化の指導者であり、唯物論者の總帥となり、「フリードリッヒ大王の師」となる。ルソー(Jean Jacques Rousseau, 1712-78)は「自然に還れ」を唱へ、文明の痛烈な批評を試みた。また百科全書學派のディデロー(Denis Diderot 1713

「人間の條件」フエミナ賞はフォコニエの「クロオド」、アンテラリエ賞はブルジュ・バイユロン「ブラジルの男」等であった。すべて題材は日常生活以上の問題、外的世界を勇敢に取扱つたものである。

なほ三四年にはジイド等によるフランス知識階級聯盟の展開は五月に至つて具體的となり、左翼的傾向が強いラモン・フェルナンデスは「ジイドへの公開状」を書き、シユールレアリストであつたアンドレ・ブルトンも積極的に社會的方向に進出した。また一般に植民地文學が盛んでルポルターシの形式が非常に多い。シャルロアス賞を得たドリユ・ラ・ロッシュの「シャルロアの喜劇」はインテリゲンチヤの社會的關心の益々大なるものを知る。

主要作家と作品—アンドレ・ジイドはソヴエーリの方向に進み、「全集」を刊行し、「日記抄」と「ルセフォス」を出す。「ルセフォス」は上演され、ストラウヴィンスキイが作曲し、イダ・ルビンシュタインによつて舞踊された。「N・R・F」誌は益々社會的・現實的關心を濃厚にしてゐる。フェルナンデス、テイボオデ、クレミユウ、パンダ等は政治的問題を勇敢に書くに到つた。

なほポール・ヴァレリーのメロドラマ「セミラミス」が、イダ・ルビンシュタインによつて上演された。作曲はホネガーがなせるものである。ヴァレリーは「オートル・ロンブ」「ネット」等を出す。アカデミー賞はアンリ・ドゥ・モンテルランに與へられ、その作品「獨身者」は孤獨なる人々の本質を描出す。シユール・ロマンの大長篇「薔き意志の人」は、第五、六、七、八巻が刊行される。ジャン・ジノの「世界の歌」は稀に見る莊大な、世界、人間の宇宙的叙事詩的小説である。アンドレ・モロアは「幸福の本能」を書き、人間生活に存在する秘密と幸福との微妙な關係を展開する。

—84)は當時の唯物的思想を綜合す。これによつてフランス新興ブルジョアジのイデオロギーは構成されたのである。

【ローマン主義時代】 フランス革命によつて舊クラシズムの文學は亡び、「ポールとウィルシエ」「オーベルマン」等のローマン主義作品が出づ、シヤトリアン(René de Chateaubriand, 1768-1848)は「アタラとルネ」を描き、ラファエール(Alphonse de Lamartine, 1790-1869)は偉大なる叙事詩を書き、「モーネー(Victor Hugo, 1802-85)は殉難たる詩と「マモラブル」等の大作を書き、バルザック(Honoré de Balzac, 1799-1850)は「人間喜劇」の莊大な近代リアリズムの最高峰を示し、ルコンティールの古典派、ボードレール(Charles Baudelaire, 1821-67)は「惡の華」に近代詩の感覺美の精華を示した。

【自然主義文學】 フローベル(Gustave Flaubert, 1821-80)は「ボヴァリー夫人」「サラムボ」に自然主義の創造をなし、モウパッサン(Guy de Maupassant 1850-93)は典型的な自然主義短篇を書き、ゾラ(Emile Zola, 1840-1902)は「ルモン・カール」二〇巻に自然主義の集大成を示す。アナトール・フランス(Anatole France 1844-1924)はラティン文化の綜合的表現をなし、自然主義を克服す。

【二〇世紀】 自然主義の反抗としてマラルメ、ヴェルレーヌ等の象徴主義文學があり、またメーラルリク等の影響もあり、ロマン・ロリアン(Romain Rolland, 1866-)の「ジャン・クリストフ」「ベルセル・ブルウスト」(Marcel Proust, 1871-1929)の回想小説「失はれし時を求めて」は近代意識の分析の典型を示す。アンドレ・ジイド(André Gide, 1869-)は象徴詩派から出發し、「ワイルド・ニイチエ」ドストイエフスキーを通過

し、インテリゲンチヤの内的諸問題に就いて深刻に苦しみ、アフリカに旅行して白人植民地の不平等を痛感し、遂に今日の資本主義の矛盾はソヴェート・ロシアの政治的傾向を必然なりとして左翼に轉向す。ポール・ヴァレリ(Paul Valéry, 1871-)は象徴詩運動に加入、以後詩作を絶つて精密科學の研究に入り、一九一七年詩に復歸、二四年「ヴァリエテ」を刊行、現代フランス詩壇最高の詩人であり、またその評論は知的な綜合的方法、ダヴィンチ的方法による新しき文化建設を企圖してゐる。

一方戦後の新興文學は尖鋭なるメカニズムの感覺を呼び、ジャン・コクトー(Jean Cocteau, 1892-)は詩、小説、劇、畫等に異常な天分を發現す。また大戦直後の世界の混亂を多彩に點描し、感覺の最大の象徴を示せるポール・モーラン(Paul Morand, 1888-)は世界の夜中の姿を描く。なほ詩王としてのポール・フォール(Paul Fort, 1872-)は象徴詩派の清高なる詩想を描き、今は病に篤く、日本よりも最近その病床に慰めの品を送らる。なほポール・ジエ(Paul Bonfret, 1852-)は繊細な心理解剖に自然主義後の小説をユイスマス(Joris Huysmans, 1848-1907)と共に大成す。

なほメーテルリクスの Le grande loi, アンドレ・キヨアの Chantiers américains, ポール・モーランの Londres 等は著名な作品である。またポール・フォールに一九三三年のアカデミー詩の賞が與へられた。その他、最近の評傳には Pourtales の「ワグネル」、Ejaloux の「ゲーテ」等が主要なものである。

【最近のフランス文學界】 一九三三年の文學大賞はアンリ・ド・ヴェルノアの「或る女の影」、アカデミー賞はロジエ・ショウウレの「ボアドファン嬢」、ゴンクウル賞はアンドレ・マルロオの

評論—またフランス文學評論界においてはアランは「神々」の中に宗教史的叙事詩を書いた。マルセル・レエモンは「ボードレールからシユール・レアリスムへ」には批評賞が與へられた。

6. 演劇 古来よりフランス演劇はヨーロッパの王位を占めてゐた。戯曲の製作数は世界第一位である。ルイ王朝は特にその最も盛大な時期であり、一四世紀時代のコルネユ、ラシーヌ、モリエールの大劇作家の輩出は、ギリシア古典劇と相對立する演劇の黄金時代であつた。以來一九世紀を通じてフランスの演劇は歐洲の中心であり、パリには大劇場を非常に多數に有してゐる。五個の大劇場は國立であり、即ち歌劇にはオペラ座、オペラ・コミック座、演劇にフランス座、オデオン座、兩者兼用の民衆劇場(テアトル・ポプュレール)がある。フランス座は「モリエールの家」と云ふ。なほこの劇場はモリエール、ラシーヌの古典、サルドオ、ユーゴのローマン主義、ベック・キュレルの近代劇をすべて交互に全體的に上演してゐる。國立民衆劇場は一九二〇年に創立、映畫、音樂も低料金で興行してゐる。この他にブウルヴァル芝居がある。シムナアズ座、ミシヨディエール座、マドレエヌ座、ヴァリエテ座、グラン・ギニョール座、ジャン・ジリゼ座、ビギヤール座等の大劇場を有し、また前衛的な小劇場もルイ・ショウエ座、アトリエ座、ガストン、パティのモンパルナス座、ピトエフの劇團等がある。なほ十五人座もある。併し一般にコポオ、アントワヌ等の新劇運動はパリにては大衆の觀客を持つことは出来ない。

【著名劇作家】 また現代フランスの著名な劇作家にはクロデル、シユール・ロマン、ベルナル、シムメル、ジャン・サルマン、マルセル・アシャール、トルスタン・ベルナル、サッシャ・ギトリ、アルフレッド・サヴァール、アンリ・ルノルマ

第に低く、幾條かの河川は之に發して流域に沃野を展き、この平原はやがてドイツ、ベルギーに延びて所謂ヨーロッパ平原の一部を成す。斯く氣候概して適順、乾濕そのよろしきを得、廣大なる綠野に恵まれ、加ふるに鐵、石炭の如き天然物質に富み且つ水力にも恵まれてゐるので、産業従つてまた盛大を極め、近世資本主義的産業の最高段階にまで達してゐる。

中部高原地帯には鐵、石炭の埋藏多く、加ふるに戦後ローレン地方の豊富な鐵礦地を回復し得て、鐵の産額ではヨーロッパ第一位、世界で第二位を占め、また石炭に於いてもザール炭坑の一五ヶ年占有権を得、この方面でも世界第四位を占めてゐる。その他地下埋藏物としてはアルミニウム(プロヴァンス)、石油、ボタス(アルサス)、石材(ノルマンディー)及び少量の黃鐵礦、マンガン、銅、錫、鉛、アンチモン、砒素、タングステン等を擧げることが出来る。

温暖な氣候と廣大な沃野(全土の約八割五分)に恵まれてゐるところから農産、畜産の豊富なこと全歐的で、農産物には小麥を筆頭に大麥、燕麥、馬鈴薯、亞麻、甜菜、玉蜀黍、果實、花卉、煙草等を數ふべく、畜産には牛、馬、羊のいづれも良質なるものを産す。

B 地理

1. 山系 ヨーロッパの脊梁をなすアルプス山脈は國の東南境に大彎曲をなして聳え、イタリヤとの境界を形成し、ジュラ山脈はその外縁に並走してスイスとの國境をつくる。その北方にはヴォージュ山脈、その他の古期割削山地相連り、ドイツに延びて中帶山脈を形成する。別に西北ノルマンディー、ブルターニュ兩半島にも之に似た古い丘陵が發達して、所謂アルモリカ(Armorica)山地をなしてゐる。國の中央稍南

に偏して火山性の中央高臺あり、オーヴェルニュ高原と呼び、諸川の分水嶺をなしてゐる。南方スペインとの國境にはピレネー山脈が峙つて、斷層山地の特色を示してゐる。

これ等の山地の間を主要河川が流れて盆地又は谷を形成し、セーナ及びロアルド二川の流域にはパリ盆地、ガロンヌ河の流域にはアキテーヌ盆地、ソーヌ、ローヌ、両河の流域にはソーヌ、ローヌの陥落地があり、これ等各河川の相互の分水界は極めて低い鞍部にして運河によつて容易に通ずることが出来る。

【アルプス山脈】アルプスは第三紀の若い褶曲帯に屬する高山性の山地で、その最高峰は同時期にアルプス全山脈中の最高峰モンブラン(四八〇〇米)である。然しフランスに於けるアルプスの占むる面積は寧ろ狭小と稱すべく、急斜面をこの國に向け、その麓にはドワイエネ、急サヴォア、ジュラの三山脈が並走し、二、〇〇〇米内外の山地を形成し、次第にローヌ及びソーヌ河谷に陵夷してゐる。ジュラ山脈はローヌ河とソーヌ河との間にスイスとの國境に沿つて東北方に走つてゐる。アルプスに比すれば小規模な褶曲山地で、最高峯も一、七二二米にすぎない。

【ヴォージュ山脈】その他、ジュラ山脈の北、ライン河に近くヴォージュ山脈あり、對岸の黒森と共にライン地溝帯を構成する。その北方にはローレン高原、ドイツ、ベルギーの國境にはアルダンヌの山地があり、南に延びてコトドール、モルバン等の臺地性山地が横がつてゐる。これらはドイツの中帶山脈の連続であつていづれも古期の岩層から成り、古期の造山帯を形成し、地質學者の所謂ヴァリスカン山脈をなしてアルモリカン山脈とその高さを襲つたが、長年月の割削によつて現に見る如き斷片的な山脈の遺址を残すに過ぎない。但しこの古期山地は中

ト・ドールの石灰岩丘陵地の北斜面に發して北西に向ひ、同方面より來れるオーブ河と合し、ヨンス、マルヌ河と會し、その下にオワーズ河を受け、パリ以下著しく屈曲し、ルアンを過ぎ河口開いて喇叭狀を呈し、英吉利海峡に注ぐ。トロワ以下船便がある。

【ロアルド河】フランス第一の大河で、源をセヴェンヌ山脈のモン・メーゼンに發し、支流のアリエーと併行して進み、ネヴェルの下に於いて相會し、平野に出で北西に向ひ、オルレアンより南面に轉じ、左岸にアンドル河とヴィエンヌ河を、右岸にメーヌ、エ、ロアルドを容れ、ビスカヤ灣に注ぐ。ロアン以下舟航の便を有す。

【ジロンド河】ガロンヌ、ドルドニー兩河の合同せるもので、主流ガロンヌ河は源をピレネー山中に發しフランスに入り同方面より來る諸水を併せ、ソールズに至つて地中海に注ぐ。オード河との間にミザ運河を通じ、本流は中央山地より排水するロト河を容れ、ポルドー市の下に至つて均しく中央山地より流れ來れるドルドニー河と會し、ビスカヤ灣に注ぐ。

【ローヌ河】スイスのジュネーヴ湖の水を受けリヨンに下りてソーヌ河を容れ、南流してアイル・シニール・ローヌに近づかんとするや西方に小ローヌ分流を派し、大ローヌとの間に大三角洲を抱き地中海に注ぐ。

【ソーヌ河】源をヴォージュ山脈のフォージュ山脈に發し、バール・ガナデー平野を過ぎて南流し、ライン・ローヌ運河によりてライン河と連なり、中央運河によりてロアルド河と結び、下流マルセユ・ローヌ運河を通じて南西ミザ運河と連結する。

4. 海岸 地中海岸ではローヌ河口の東方と西方とで著しく異り、東方は岩石海岸で岬角が突出して時に良港を與へる。ローヌ河口は三

に石炭、鐵礦等を含むことが頗る多く、人類に貢獻するところは偉大なるものがある。

【アルモリカン山地】フランス東北部のヴォージュ山脈、アルダンヌ山地等に對抗すべきは北西部に發達するノルマンディー及びブルターニュの兩半島に於ける割削臺地で、花崗岩及び古期の砂岩、粘板岩等から成つてゐる。この山地は海峡を越えてイギリスに至り同様古期の山地を造つた。このアルモリカン山脈とヴァリスカン山脈との相接する所に中央高臺を見る。

【中央高臺】北及び西方は徐々に高まるが、南方にはラングドック低地に斷層を以つて對し、また東方にはローヌ及びソーヌの地溝帯に急傾斜の斷層を以つて臨んでゐる。その基盤の構造は古期の褶曲山地であるが、多くの地塊運動を受けて一般的隆起及び諸所に地溝を形成し、更に火山の噴出があつて所謂オーヴェルニュ高原の現状をなした。火山には最高峯一、八八六米を有するモン・ドール火山を初め、トロイデ式のブイ火山群、巨大なカンタル(一、八五八米)の火山地帯がある。アリエーの地溝及びその南方のブイ火山群はアルモリカン及びヴァリスカン兩脈の境にある。

【ピレネー山脈】スペインとの國境に殆んど一直線に四三〇新に互つて連なり、その中央部が最も高く、兩端に到るに隨ひて低くなる。その中で、モン・ペルディユ(三、三五二米)、アネトウ(三、四〇四米)等の高峯を含むマラデッタ山地からはガロンヌ河が流れ出る。雪線の高さは二、八五〇米といはれるが現在に於ける氷河の發達は不良である。しかし氷蝕地形の壯大なことはアルプスに劣らず、峠はアルプスよりも寧ろ高く存在する。

2. 平野 【パリ盆地】上記諸山脈、諸高地の間に展開する諸平野のうち、最も興味ある

角洲の發育が良好で土砂を西方に運び、西方海岸には砂嘴と潟湖とが多い。ビスカヤ灣岸は主として堆積海岸で砂丘の發達がよく、屢々河口を北偏せしめる。ピレネー山脈及びブルターニュ半島にはリヤス海岸が發達する。イギリス海峡に面する海岸は海蝕が著しく多く白堊の礫岩が壁立し、リヤス海岸が發達する。ノルマンディー半島以東はやや平滑な海岸を形成し、カンデー半島を越れば再び砂丘の海岸となる。

C 氣候

灣流が西岸を洗つてゐるので氣温は著しく中和せられ、西部は特に著しく、雨量も大である。北部平野と中部山地に至つて稍々大陸的となる。地中海沿岸は冬季は雨が多く、夏は高温乾燥である。故にフランスの氣候區は大體之に三分に分けることが出来る。即ち(一)大西洋岸區(海洋性氣候區)、(二)内陸性氣候區、(三)地中海性氣候區、これである。

D 面積・人口

フランス本國の面積は地中海上のコルシカ島を併せて二二、六五九平方哩(五五、一八〇平方哩)にして、行政上これを九〇縣に分つてゐる。その人口は一九三一年三月の調査によれば

人口の増加
Table with columns: 年度, 人口, 一年増加率(%)

註 アルサス・ローレン地方を含む。

ものはパリ盆地である。同盆地はセーナ河の東支流及びロアルド河の一部の潤す處で、三疊紀、侏羅紀、白堊紀及び第三紀層の皿狀に重り合つた地層から成り、その中心は略パリ市である。即ち岩石の硬軟に應じて所謂ケスタ地形を呈し、自然景も人文景も皆此の地形の支配を受けて、著名なシャンパン酒の原料となる葡萄の如きも多くのケスタ附近に耕作される。

【アキテーヌ盆地】パリ盆地と同様中生層及び第三紀層から成り、パリ盆地とはポアチエの低地によつて結合してゐる。この盆地の地層はパリ盆地の如くケスタ地形を成さず、平行な地片をなして堆積し、南西方ガロンヌ河まで若い層が次第に相並んで露れ、古い第三紀層はガロンヌを越えてその左岸メドック地方に露はれ、葡萄栽培を好適ならしめてゐる。

【ソーヌ・ローヌ地溝】中央高臺及びパリ盆地の高い東縁はかなり急な斷層崖を以つて狭長なソーヌ河及びローヌ河の地溝に降る。地溝の東側はアルプス及びジュラ山脈で境される。地溝はライン地溝の續きと考へられその北部はソーヌ河に、南部はローヌ河によつて潤される。別にロアルドの低地があるが、その構造はパリ盆地と不可分で、ロアルドの上流地方はかつてはセーナ河に合流してゐたものと見られてゐる。今日では流路を北西に轉じ、オルレアンから南西に流れて海に注ぐ。源流地の中央高臺は雨が多く、而もその岩石は水に對し、不透過性であるがため多雨の季節には洪水の憂がある。低地は大部分耕地と葡萄園とである。

3. 水系 河川は長大なるものなく、多くは自國に發源して地中海、ビスカヤ灣、及び英佛海峡の三斜面に排水し、就中、セーナ、ロワール、ジロンド及びローヌ四川を主とす。【セーナ河】フランス第三の巨川で源をコー

總計四一、八三四、九二三人（一九二六年三月現在において四〇、七四三、八九七人）にして、一平方哩平均人口密度は一九六・七人になる。一九一九年六月二八日のドイツとの平和條約によりアルサス・ローレン（Alsace-Lorraine）の地がフランスに割譲され、前者はこれを下ライン（Bas-Rhin）、上ライン（Haut-Rhin）の二縣に、後者はモゼル縣（Moselle）として上記九〇縣のうちに加へられた。なほザール流域七五〇平方哩、人口六五七、八七〇人の炭坑地帯はヴェルサイユ條約第四五條により一九二〇年以降一五ヶ年間の採掘権がフランスに譲られて来たが、一九三五年一月の人民投票によつてドイツ歸屬派の壓倒的大勝利となり、三月一日以來正式にドイツの主權下に還附された。（ザール問題に就いて詳しくは國際聯盟管理地なる「ザール地方」を参照）。

【人口の動態】フランスの人口の増加は別表に見られる如く極めて微弱にして、世界で最も人口増加率の少い國に屬する。過去五〇年間に於いて約四百萬の人口増加を示してゐるに過ぎない。これをドイツの人口増加率と比較する時國防上の重大問題となつてゐる。殊に死亡者と出生者とを比較して見る時、年々數萬の出生者の超過を示してゐるが、一九二九年年度の如きは反つて約八千餘の死亡者の超過を示してゐる。斯くの如きはフランスの人口の増加率が極めて微弱であることを明示するものである。なほ一九三一年における外國人の總數は二、八九〇、九二

フランス全領土の面積・人口 (1932年現在)

Table with 3 columns: Area (平方哩), Population (千人), and Country/Region. Rows include France, Asia (French Indo-China, French India, Kwang Chau Wan, Syria and Lebanon), Africa (French Equat. Africa, French West Africa, Algérie, Somaliland, Madagascar and Dep., Morocco, Fr. Zone, Réunion, Tunis, Camerouns, Togoland), and Americas (St. Pierre and Miquelon, Guadeloupe, Martinique, French Guiana, Pacific Islands, New Caledonia).

註 *印は概算数とする。

結婚・出生・死亡者數

Table with 4 columns: Year, Marriage, Birth, Death. Rows for years 1928, 1929, 1930, 1931, 1932.

註 以上の統計表のうち出生數のうち死産は含まれてない。尙1931年、32年度は概算数とする。

三人にして、一九二六年には二五、〇五〇、四七二人である。

現在フランスの全植民地は約千二百平方新にして、その人口は約五百萬人を突破してゐる。即ち面積においては本國の二十倍以上にあたり、人口においては本國より千數百萬人を突破してゐる。即ちフランスはイギリスに次いで世界の第二の植民地所有國なるも、これをイギリスに比較して見れば、面積においてその約四分

の一、人口においてはその約九分の一に近い。（なほフランスの各植民地及び委任統治地に就いては、大陸別に從つてそれぞれ獨立に取扱はれてゐるから、詳しくは各項を参照）。

G 植民政策

一七乃至一八世紀頃よりフランスは東方の植民地開拓を始め、一七八七年安南に條約を結んで佛領インド支那の基礎を作る。なほフランスは日本開國に大いに力を致す。一方アフリカ植民地に進出し、イタリヤとチュニス問題に、またモロッコ問題にて二〇世紀初頭ドイツと非常な危機を示し、世界大戦の原因となる。これより先きフランス植民政策は一時普佛戰爭にて防壁されたが、アノトト外相は再び積極政策を實施し、寧ろ親獨關係を見せたが、更にデルカッセが外相となりて俄かに反獨的となり、これが世界大戦にまで進展す。大戦の結果、フランスは大いに植民地を擴大し、ボアンカレ内閣は一層植民地政策を自主的に實行し、國際聯盟はその植民地政策の執行機關となつた。併し三〇年以來、ドイツ・ナチスの物與は、この國際的封鎖のためにイタリヤ、中歐諸國との協力を必要とし、三五年多年の懸案たる對伊のアフリカ植民地問題を非常なる讓歩的妥協をもつて解決、一意對獨ナチス封鎖に努力す。しかもフランスの植民地は國富の最大部分を占め、この維持發展のために常に國際聯盟をその實行機關に利用してゐる。

VII 年 誌 (自一九三三年一月)

- 一九三三年 一月 農民五千人議會へ示威行進を行ふ

二八 ボンジュール内閣總辭職

- 二九 ダラディエ、組閣を受諾
- 二月 一般國際軍縮會議一般委員會で獨伊代表フランスの軍縮提案に反對
- 一六 ソ佛不侵略條約效力を發生す
- 三月 非武装地帯侵入につきドイツに對し抗議提出、ドイツ内政問題なりとしてこれを一蹴す
- 四月 四ヶ國條約案につき英佛會商す
- 一〇 英伊の媾和條約改訂案に反對す
- 一六 女流飛行家イルズ嬢の訪日飛行成功
- 二四 經濟豫備商議の代表エリオ、アメリカの大統領と會見
- 五月 佛外相、上院で對米戰債につき重要聲明をなす
- 二六 英品に對し爲替關稅を撤廢
- 二二 軍縮統一委員會で佛英、戰車廢止問題で論戰
- 六月 四ヶ國協力條約假調印さる
- 一七 對米戰債の支拂を拒絶
- 一八 爲替安定策で英米佛三國交渉直直し
- 二二 オーストリア・ハンガリー兩國合併案に對し反對に轉向
- 二四 フランス閣議で經濟會議に對する四原則を確立す
- 二八 英佛、爲替安定に關し意見一致
- 七月 歐洲六國共同して金本位維持を聲明
- 三 首相ブロック經濟へ直進を暗示
- 一〇 佛代表經濟會議より引揚げを通告
- 一三 南支群島の先占を宣言
- 一五 四國協力條約の調印終了す
- 一九 南京政府、フランスの南支群島先占に對し抗議
- 二六 最速巡洋艦完成す
- 二八 南支群島の先占權主張に對し日本の一實業家より反對出す
- 八月 一 ナチスの反塊宣傳に對し英佛共同して抗議す
- 二 英佛兩國の抗議をドイツ拒絶
- 七 日本、南支群島先占につき佛政府へ正式抗議
- 二二 鮭鱈に就き日佛協定成立す
- 九月 一 オーストリア補助軍新設を英佛へ通牒
- 二 佛投資代表、滿洲國開發に欣然參加の旨表明
- 二七 一〇月 一 英・米・佛三國ドイツの再軍備を拒否
- 一三 英・米・佛提案の軍縮案をドイツ受諾せず
- 一九 ドイツの軍縮會議退にも拘らず會議繼續に英佛の意見一致
- 二四 赤字補填の官吏減俸案で破れ内閣倒る
- 二六 關稅休日協定を廢棄
- 二七 二五日組閣の大命を受けたサロウの第四次急進社會黨内閣成る
- 三〇 報復行爲としてブラッセル品に從價一〇割の附加税を一律に課す
- 十一月 一 サロウ第四次内閣總辭職
- 二四 急進社會黨を中心とするショータン新内閣成立。日佛合併の株式會社日佛對滿事業公司(資本金一〇萬圓)設立さる